

The 73rd National Convention of IPSJ
平成23年



第73回全国大会 大会案内 / プログラム

グリーンIT
ー人類の未来のための情報処理技術ー

会期：2011.3.2(水) ▶ 4(金)

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス

東京都目黒区大岡山2-12-1

《大会会期中連絡先(大会本部)》

Tel/Fax (03)5734-3206



第73回全国大会スポンサー

《ゴールドスポンサー》



株式会社とめ研究所



NTT

日本電信電話株式会社



ネットワンシステムズ株式会社

《スタンダードスポンサー》



株式会社知能情報システム

株式会社知能情報システム



GREE

グリー株式会社

MITSUBISHI

三菱電機
Changes for the Better
三菱電機株式会社



一般社団法人

情報処理学会

Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp/>



●ソフトウェアの実装品質向上へ! コーディング規約策定への指針!

SEC BOOKS 組込みソフトウェア開発向け コーディング作法ガイド [C++言語版]

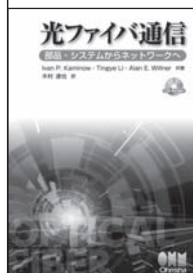
独立行政法人 情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター 編 B5変判/204頁/定価1,800円(税込)

プログラムの書き方を一定の規約としてまとめるためのポイントをまとめたものです。開発スタッフで規約を共有することにより、読みやすくバグの少ないコーディングが可能となり、開発効率のアップや品質向上をもたらすことができます。全てのソフトウェア開発者に読んでもらいたい一冊です。

●超高速光ファイバ通信、最先端の研究開発状況がわかる!

光ファイバ通信 部品・システムからネットワークへ

Ivan P. Kaminow・Tingye Li・Alan E. Willner 共編
木村達也 訳
A5判/2016頁・2巻セット/定価29,400円(税込)



最新の「部品・材料技術分野」と「システム・ネットワーク技術分野」をバランス良く取り上げた翻訳書です。世界第一線の研究開発者が執筆している点が大きな特徴で、今後Gビット以降の超々高速光通信時代を展望できるバイブル的書籍と位置づけられます。上下巻計2000頁(40章)にわたる内容は、本技術分野の指針となるものです。

●日本のコンピュータ・情報処理の発展を伝える正史!

日本のコンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編
A5判/388頁/定価7,980円(税込)



日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたもの。1980年以降2000年頃までを主対象とし、1980年以前は付録としてCD-ROMを添付。パソコンとインターネットの時代へとITが大きな変貌と遂げた激変の時代を最前線で関わった人たちが解説しました。

●「論理回路」の講義に沿った現代的な教科書!

新インターユニバーシティ 論理回路

高木直史 編著
A5判/152頁/定価2,415円(税込)



電気・電子・情報系学科の大学学部向け2単位用のテキストシリーズの一卷。大学の電気・電子・情報系学科の専門科目である「論理回路」の教科書です。論理回路の基礎から、論理回路の構成や設計までを解説しています。章末にはまとめと演習問題を充実させました。

●暗号とセキュリティの基礎がコンパクトにまとめた教科書!

新インターユニバーシティ 暗号とセキュリティ

神保雅一 編著
A5判/186頁/定価2,415円(税込)



情報ネットワークを「総体的」に理解することを目的とした教科書です。やりとりされる情報そのもの、及び情報ネットワークの社会に与える影響から、ネットワークに接続される情報機器までを最低限の技術的知識とともに学ぶことができます。情報ネットワークと関連環境を読者が安全に活用できることが最終目標です。

プログラム目次

インフォメーション	1
東京工業大学 大岡山キャンパス図	2
館内案内図	3
タイムテーブル	9
講演論文集分類と内容	14
全国大会イベント企画のご案内	15
全国大会会場別プログラム	16
全国大会招待講演企画イベント企画の概要	20
一般/学生/デモ セッションプログラム詳細	49

(第1分冊 アーキテクチャ)

3A コンピュータ・アーキテクチャ	49
4A 組込みシステム設計技術	49
5G システムソフトウェア	49
6G 性能評価	49
1H プロセッサとFPGA	49
2H メモリと投機実行	49
3H システムLSI設計技術	49
4H アクセラレータ	50
5H 並列処理環境	50
6H メニーコア・アーキテクチャ	50
1J 組込みOSとAndroid	50
2J OS	50
3J 仮想化技術	50
4J ハイパフォーマンスコンピューティング	51
デモセッション	51

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

5A 開発技術	51
6A 論理・形式	51
1B プログラミングとアルゴリズム	51
2B 管理・評価	51
3B 数理モデルとシミュレーション	51
5J データマイニング (1)	52
6J データマイニング (2)	52
1K アルゴリズム (1)	52
2K プログラミング環境・支援	52
3K プログラミング言語	52
4K システム評価	52
5K 最適化とシミュレーション	53
6K アルゴリズム (2)	53
1L 要求	53
2L 管理・開発支援	53
3L ビジネスソフトウェア	53
4L 組込みソフトウェア	53
5L プログラム解析	54
6L 評価・検証	54

(第1分冊 データベースとメディア)

4B 索引技術・マイニング	54
5B ソーシャルWeb	54
6B 分散ストレージ	54
1C 情報システム	54
2C センサデータベース	54
1M 関連抽出・情報統合	55
2M 情報推薦 (1)	55
3M 推敲支援技術	55
4M 情報推薦 (2)	55
5M DBMS・ストレージ・省電力化	55
6M ネットワーク分析	55
1N 情報抽出	56
2N マイクロブログ	56
3N Webアプリケーション	56
4N XML・検索アルゴリズム	56
5N 検索アプリケーション	56
1P マルチメディア	56
2P 検索システム	57
3P 位置情報システム	57
デモセッション	57

(第2分冊 人工知能と認知科学)

3C 人工知能一般 (1)	58
4C 音楽情報科学	58
5C 人工知能一般 (2)	58
6C 画像処理	58
1D 情報抽出・検索	58
2D 自然言語処理	58
4P 対話・インタフェース	58
5P 人工知能一般 (2)	59
6P 音声・話者認識	59
1Q ニューラルネット	59
2Q 遺伝的アルゴリズム	59
3Q 人工知能一般 (1)	59
4Q ゲーム	59
5Q 強化学習	60
6Q 探索・推論	60
1R マルチエージェント (1)	60
2R 音楽・音響・音声の生成	60
3R 楽曲・演奏の認識・分析	60
4R 要約・用語抽出	60
5R 音楽音響信号処理	61
6R 学習	61
1S 自然言語インタフェース	61
2S 文書分類・検索 (1)	61
3S 情報抽出 (1)	61
4S 情報抽出 (2)	61
5S 文書分類・検索 (2)	62
6S 情報抽出 (3)	62
1T ロボットビジョン	62
2T 人・顔・行動	62
3T 画像符号化と画質改善	62
4T 画像合成・作成支援	62
5T マルチエージェント (2)	63
6T マッチング・トラッキング・パラメータ推定	63
1U セキュリティ・検査と画像検索	63
2U 文字・図形認識	63
デモセッション	63

(第3分冊 ネットワーク)

3D センサネットワークと位置情報	64
4D 環境技術	64
5D 社会システムと災害対策	64
6D クラウドとネットワーク	64
1E ネットワーク運用管理	64
3U 位置情報応用アプリケーション	64
4U ナビゲーションシステム	65
5U 車々間・路車間通信応用システム	65
6U 交通安全支援システム	65
1V 無線・センサネットワーク	65
2V アドホックネットワーク	65
3V センサネットワーク	66
4V 安全・安心ネットワーク	66
5V スマートフォン	66
6V スマートフォンとモバイルアプリケーション	66
1W ユビキタスサービス (1)	66
2W ユビキタスサービス (2)	67
3W ロケーションアウェアネス	67
4W ユーザ支援	67
5W コンテキストアウェアネス	67
6W ネットワーク制御	67
1X ネットワークシステム	68
2X ソーシャルグラフ	68
3X クラウドコンピューティング (1)	68
4X P2P ネットワーク	68
5X クラウドコンピューティング (2)	68
6X ネットワークプロトコル	68

(第3分冊 セキュリティ)

2E	暗号理論・実装.....	69
3E	ネットワークセキュリティ.....	69
4E	認証認可・ID連携.....	69
1Y	暗号.....	69
2Y	ネットワークセキュリティ.....	69
3Y	バイオメトリクス・アクセス制御.....	69
4Y	セキュリティシステム評価.....	70
5Y	トラストモデル.....	70
6Y	著作権保護・TPM.....	70
	デモセッション.....	70

(第4分冊 インタフェース)

5E	CG・インタフェース.....	71
6E	グループウェア一般.....	71
1Z	講義・会議支援.....	71
2Z	グループウェア一般.....	71
3Z	形状モデリング.....	71
4Z	レンダリング.....	71
5Z	アニメーションと可視化.....	72
6Z	CG 応用.....	72
1ZA	インタフェースシステム (1).....	72
2ZA	インタフェースシステム (2).....	72
3ZA	ネットワークコミュニケーション.....	72
4ZA	コミュニケーション支援.....	72
5ZA	計算機システムのインタフェース.....	73
6ZA	入出力インタフェース.....	73
1ZB	ロボットとエージェント.....	73
2ZB	インタフェースの分析・評価.....	73
3ZB	VR 応用.....	73
4ZB	AR.....	74
5ZB	タッチパネルインタフェース.....	74

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

1F	教育学習支援.....	74
2F	システムと社会環境.....	74
3F	QoL の向上.....	74
4F	情報教育・教育システム.....	74
5F	情報教育の理念・実践.....	75
6F	インテリジェントタッグ.....	75
1G	人文社会への応用.....	75
3G	産業応用.....	75
1ZC	語学・技能の学習支援.....	75
2ZC	教育学習支援 (1).....	75
3ZC	情報技術教育支援.....	76
4ZC	教育学習支援 (2).....	76
5ZC	教育学習支援システム.....	76
6ZC	教育支援ツール.....	76
1ZD	教育学習評価.....	76
2ZD	協調学習・活動支援.....	77
3ZD	学生生活支援.....	77
4ZD	社会活動と情報処理.....	77
6ZD	エンタテインメント評価.....	77
2ZE	地域活性化.....	77
3ZE	観光.....	78
4ZE	防災システム.....	78
5ZE	農業・水産業.....	78
6ZE	医療支援と公共の安全.....	78
1ZF	バイオ情報.....	78
2ZF	バイオ・医療情報.....	78
3ZF	医療情報.....	79
4ZF	空間把握.....	79
5ZF	企業活動と情報.....	79
6ZF	オフィス情報.....	79

ーインフォメーションー

■総受付（インフォメーションコーナー）百年記念館 1F ホール

受付時間：2 日（水）8:40-16:30 3 日（木）8:40-17:00 4 日（金）8:40-15:30
各種受付，講演論文集・DVD-ROM 販売，各種問合せ窓口

■大会本部・手荷物預かり 西 8 号館 3F W834

臨時電話（FAX 兼用）03-5734-3206（通話可能期間 3 月 2 日～4 日）

■大会イベント企画限定聴講参加費【大会イベント企画限定聴講参加章付き】（無料）

第 1～6 イベント会場で開催するイベント・デモセッション・各種展示のみ聴講参加できます。
*一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。
*プログラムは大会 web ページより印刷用プログラム（PDF）をダウンロードください。

■大会共通聴講参加費【プログラム・大会共通聴講参加章付き】（税込）

正会員：3,000 円 正会員（DVD-ROM 付）：8,000 円 一般非会員：6,000 円
学生：無料（会員非会員問わず）
*大会で開催される全てのイベント企画，一般セッション，学生セッションを聴講できます。

■講演論文集・DVD-ROM（税込）

講演論文集セット（個人・法人とも）：61,000 円 *全論文集・DVD-ROM・カバー付き
講演論文集各分冊（個人・法人とも）：13,000 円
講演論文集 DVD-ROM（個人）：8,000 円
講演論文集 DVD-ROM（法人）：55,000 円
講演論文集 DVD-ROM（学生割引会場販売）：4,000 円
* DVD-ROM には，一般・学生セッション講演全論文とプログラム収録。

■懇親会

日時：3 月 3 日（木）18:00-20:00
会場：百年記念館 3F フェライト会議室
参加費（税込）：一般（社会人）：5,000 円 学生：3,000 円

■その他お知らせ事項

【連絡掲示板】

大会会場での周知および伝言等は，総受付前に設置する「掲示板」に掲示しますのでご注意ください。
各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

【インターネット接続サービス（無線 LAN）】

利用可能エリア：全ての大会イベント会場，一般セッション会場，学生セッション会場内。
ご希望の方は，大会総受付に利用申込書がございますので必要事項をご記入のうえ総受付に提出してください。利用申込書と引き換えにアカウントとパスワードを記載した用紙をお渡し致します。

【食堂・売店】

- ・大岡山第 1 食堂（営業時間 11:00～14:00 *パン・飲料等 10:00～15:00）
- ・大岡山第 2 食堂（営業時間 11:00～20:00 *パン・飲料等 10:00～20:00）
- ・セブンイレブン大岡山キャンパス店（営業時間 7:00-22:00）
- ・大岡山購買書籍店（営業時間 10:00-18:00）

【喫煙について】

キャンパス内での喫煙場所は，キャンパス図（P.2）をご確認ください。
指定の場所以外は，キャンパス内は全て禁煙です。

【ゴミ処理について】

ゴミはできるだけ各自でお持ち帰り頂きますようご協力をお願いいたします。

【最寄り駅】

大岡山駅（東急大井町線・目黒線）徒歩 1 分

■今後の全国大会・FIT 情報（予定）

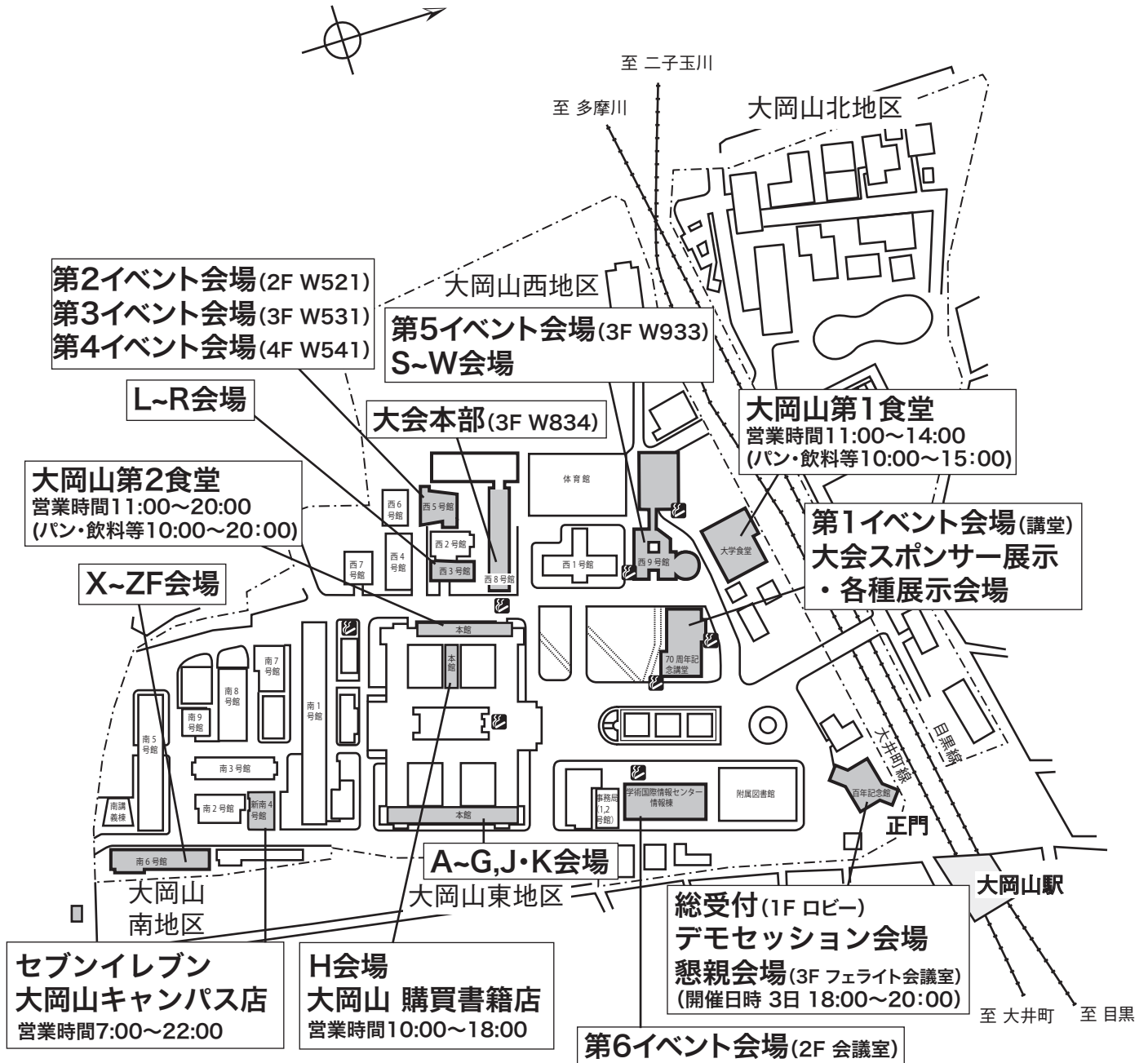
FIT2011 第 10 回情報科学技術フォーラム

会期：2011 年 9 月 7 日（水）～9 日（金） 会場：函館大学・函館短期大学

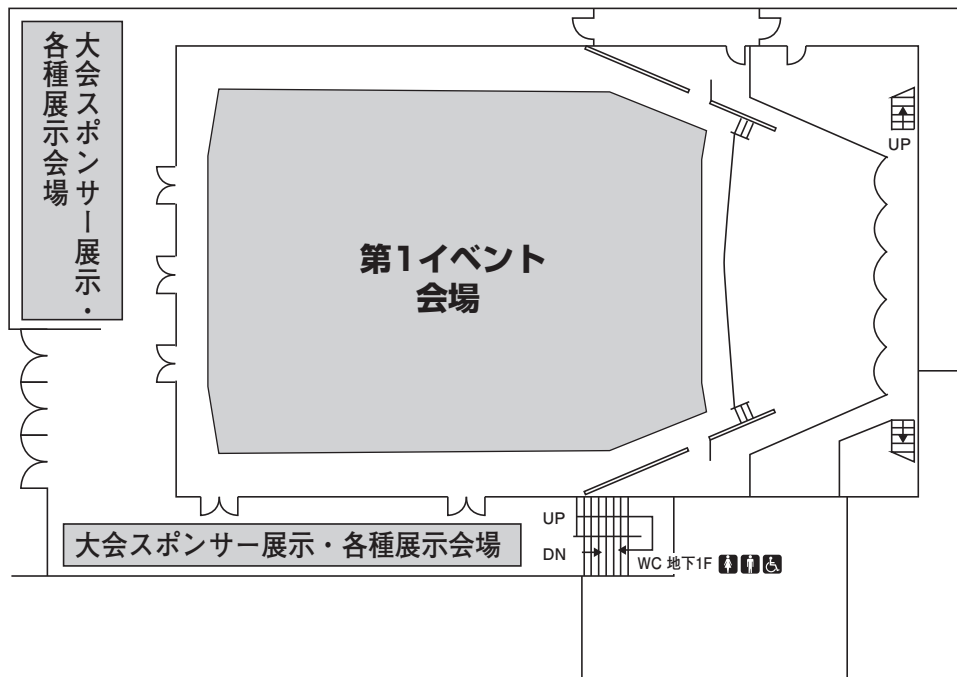
第 74 回全国大会

会期：2012 年 3 月 6 日（火）～8 日（木） 会場：名古屋工業大学

東京工業大学 大岡山キャンパス図

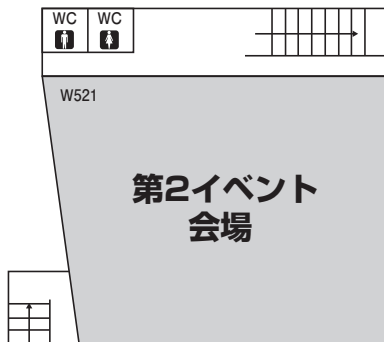


70周年記念講堂

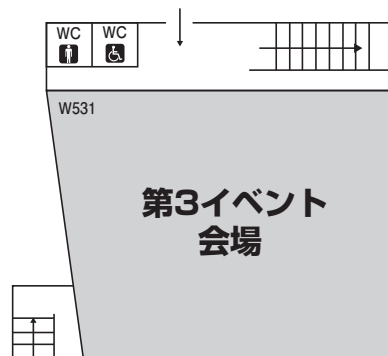


西5号館

2F



3F

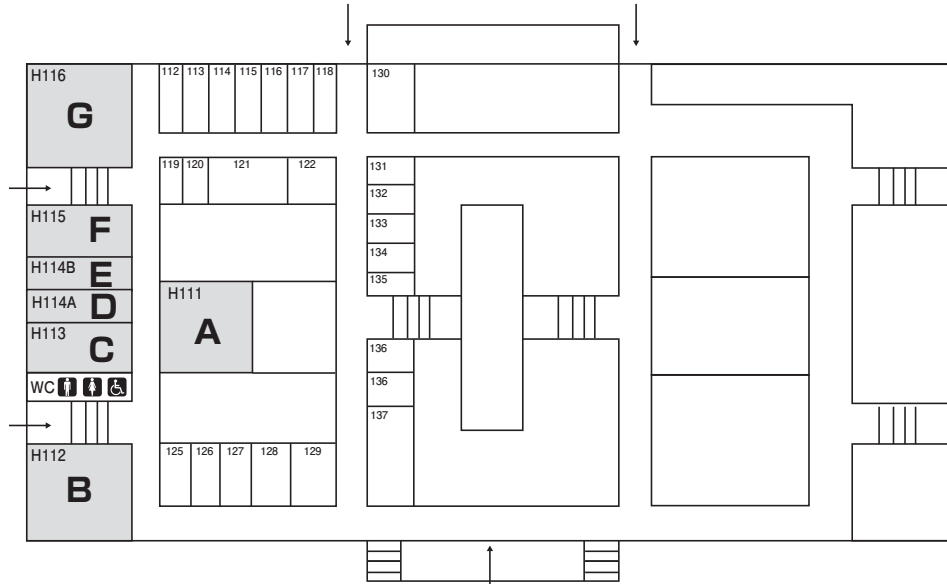


4F

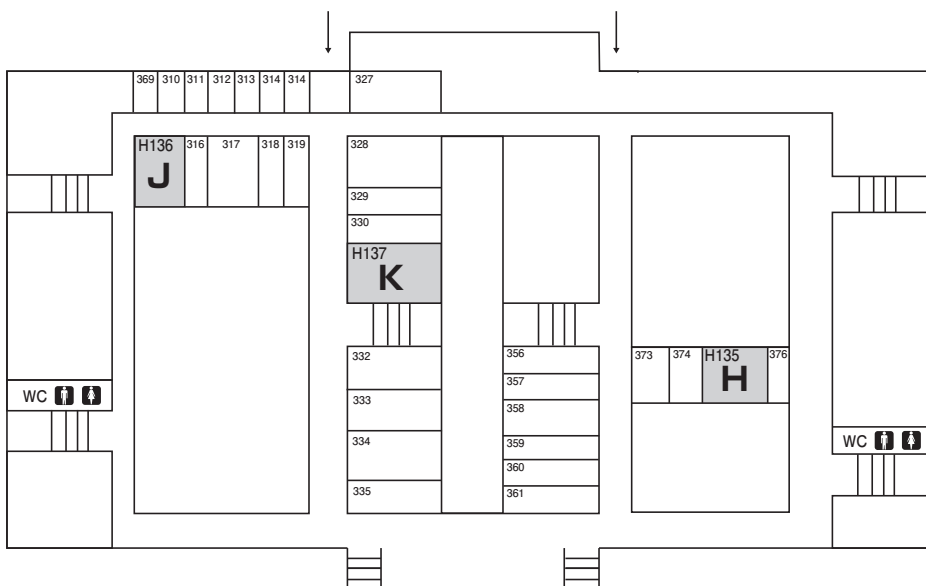


本館

1F

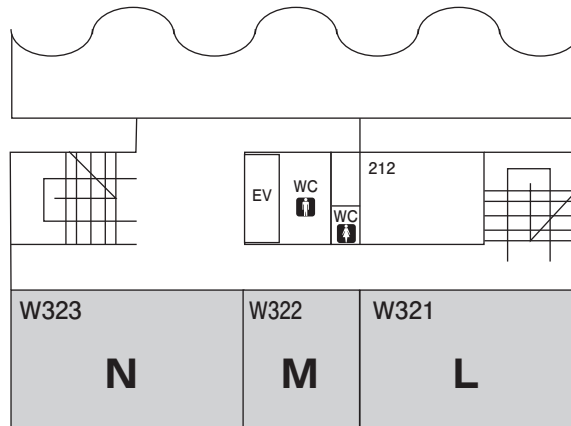


3F

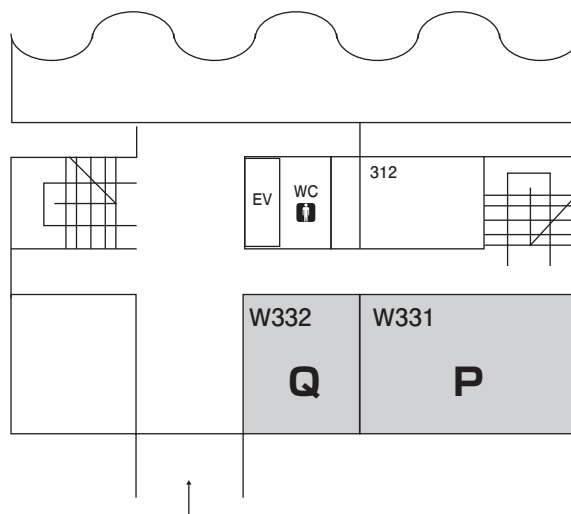


西3号館

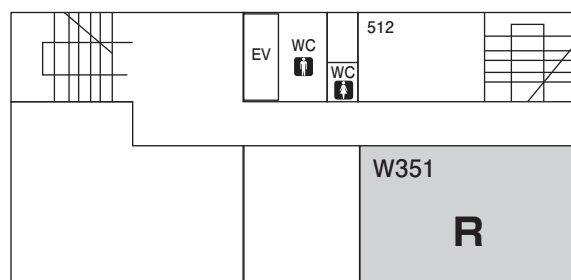
2F



3F



5F



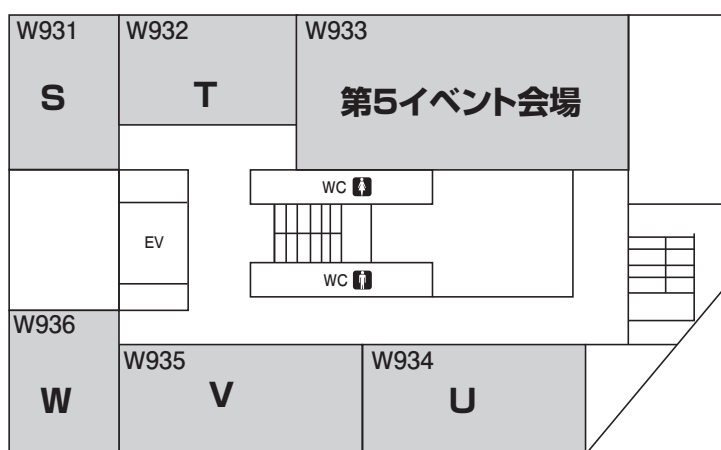
西8号館

3F

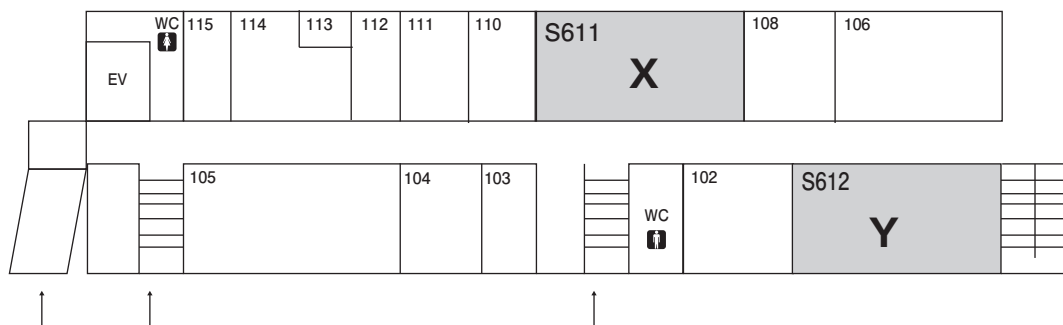


西9号館

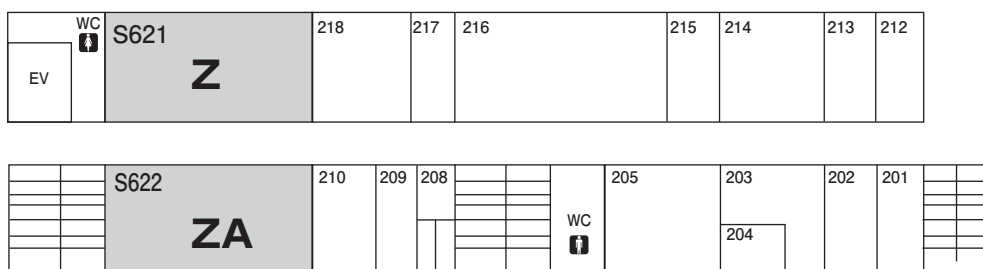
3F



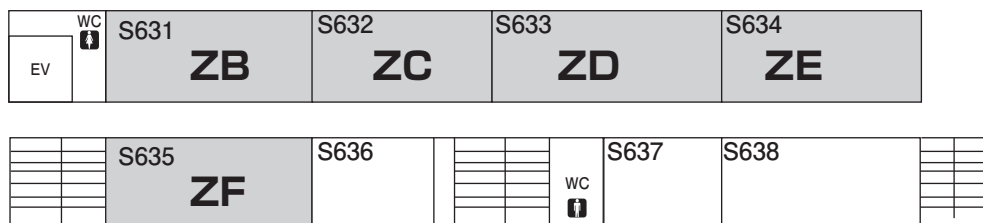
1F 南6号館



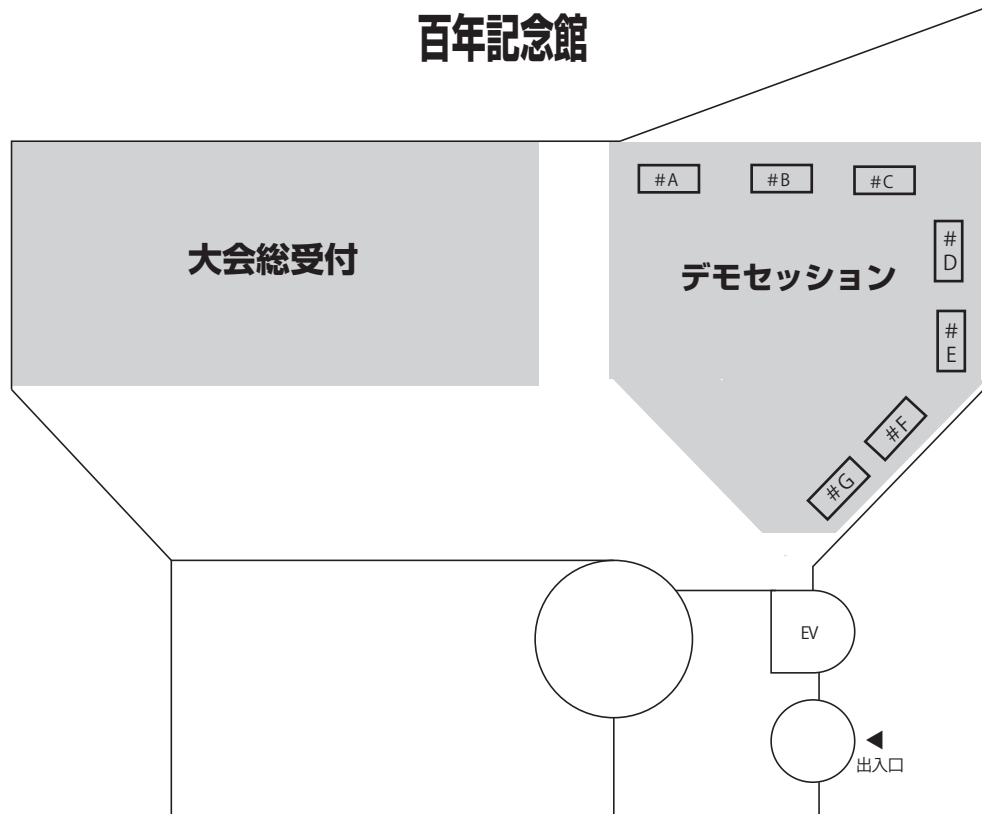
2F



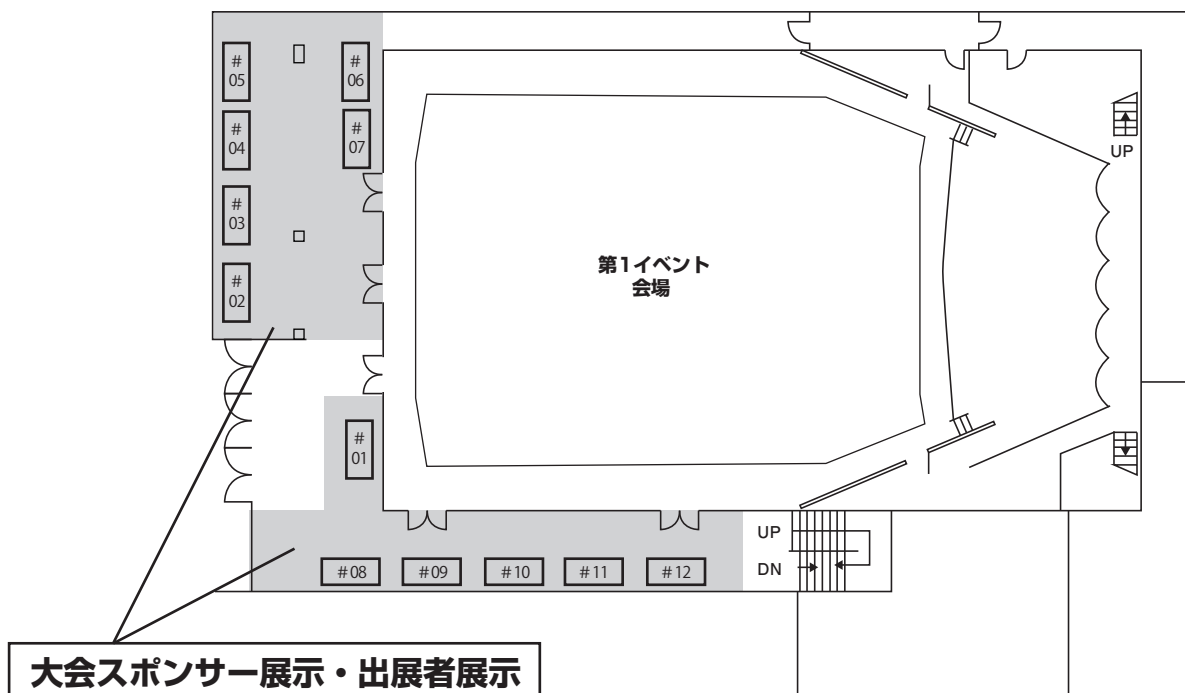
3F



百年記念館



70周年記念講堂（大会スポンサー展示・各種展示会場）



- | | | | |
|------|-------------------------|------|-----------------------|
| # 01 | 株式会社とめ研究所（大会スポンサー） | # 07 | 株式会社アールティ |
| # 02 | 日本電信電話株式会社（大会スポンサー） | # 08 | 川田工業株式会社 |
| # 03 | ネットワンシステムズ株式会社（大会スポンサー） | # 09 | Bridge Learning Japan |
| # 04 | ぶらっとホーム株式会社 | # 10 | 共立出版株式会社 |
| # 05 | タヌキソフトウェア有限公司 | # 11 | 株式会社北大路書房 |
| # 06 | カクタス・コミュニケーションズ株式会社 | # 12 | 日本電気株式会社 |

情報処理学会 第 73 回全国大会 タイムテーブル

日	会場 時間	第 1 イベント会場 70 周年記念講堂	第 2 イベント会場 西 5 号館講義棟 2F W521	第 3 イベント会場 西 5 号館講義棟 3F W531	第 4 イベント会場 西 5 号館講義棟 4F W541	第 5 イベント会場 西 9 号館 3F W933	第 6 イベント会場 学術国際情報センター 情報棟 2F 会議室
3 月 2 日 (水)	9:30	スマートグリッドの 技術優位性を事業優位性に 活かす戦略	私の詩と真実 *9:30-12:30	情報教育関連合同 シンポジウム PC スキル教育からの脱却 －これからの一般情報教育 のあり方とは－	会員の研究活動活性化に 向けた論文の書き方・ 査読の仕方		
	12:00	21	30	37	44		
	13:00	招待講演 (1) 気象・気候の予測と コンピュータモデル 木本昌秀 (東京大学)					TSUBAME 大公開 A: 一般向け B: 技術者・研究者向け A: 9:30 ~ 10:30 B: 11:00 ~ 12:00 A: 14:30 ~ 15:30 B: 16:00 ~ 17:00
	13:50	20					
3 月 3 日 (木)	14:30	グリーンなスパコンで グリーンな未来を創る	ERATO 濃離散構造処理系 プロジェクトシンポジウム (第 2 回) *14:30-17:30	情報教育関連合同 シンポジウム 情報処理学会員の皆様、 間違っていないですか？	JGN2plus の成果と その後継プロジェクト		
	17:00	23	31	38	46		48
	9:30	グリーン・ライフ イノベーションと国際標準	RSA-1024 はもう危険なの か？暗号 2010 年問題を正 しく理解する	情報教育関連合同 シンポジウム 情報分野の高大連携			
	12:00	25	32	40			
3 月 3 日 (木)	13:00	大会挨拶 表彰式 認証式					
	13:40						
	13:50	招待講演 (2) MERLOT - the Multimedia Educational Resource for Learning and Online Teaching Sorel Reisman (IEEE-CS 会長)				ロボカップ春季競技会 1 次リーグ *10:00-17:30	TSUBAME 大公開 A: 一般向け B: 技術者・研究者向け B: 9:30 ~ 10:30 A: 11:00 ~ 12:00 B: 14:30 ~ 15:30 A: 16:00 ~ 17:00
	14:30	20					
3 月 4 日 (金)	14:35	招待講演 (3) Building Science Platform for Extremely Large Data Analysis Yoon Joon LEE (KIISE 会長)					
	15:15	21					
	15:30	プライバシー保護データ マイニング	情報教育関連合同 シンポジウム 情報科学技術における高度 人材育成の取り組み	情報教育関連合同 シンポジウム 発注者教育は どうあるべきか －発注者・運用者責任は どのように担保されるか (問題提起)－			
	17:30	26	34	42		47	48
3 月 4 日 (金)	9:30	グリーン IT の先進的な 取り組み －データセンタのエネル ギー効率向上について－	スマートシティ実現のため の IT 技術開発と省エネビ ルの現状				
	12:00	27	35				
	13:00	招待講演 (4) 生命現象と動的平衡 福岡伸一 (青山学院大学)				ロボカップ春季競技会 決勝リーグ *9:30-15:30	
	14:15	21					
3 月 4 日 (金)	14:30	医療クラウドは 患者生存に貢献できるか －情報通信医学への序章－		情報教育関連合同 シンポジウム 大学学部専門教育での 情報教育			
	16:30	29		43		47	

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

情報処理学会 第73回全国大会

日	会場 時間	一般セッション A 本館 1F H111	一般セッション B 本館 1F H112	一般セッション C 本館 1F H113	一般セッション D 本館 1F H114A	一般セッション E 本館 1F H114B	一般セッション F 本館 1F H115	一般セッション G 本館 1F H116	学生セッション H 本館 3F H135
3月2日 (水)	9:30	1	プログラミングとアルゴリズム	情報システム	情報抽出・検索	ネットワーク運用管理	教育学習支援	人文社会への応用	プロセッサとFPGA
			山中 克久 (電通大)	橋本 隆子 (千葉商科大)	藤井 敦 (東工大)	石原 丈士 (東芝)	高岡 詠子 (上智大)	鈴木 卓治 (国立歴史民俗博物館)	近藤 正章 (電通大)
	12:00		① 51	① 54	② 58	③ 64	④ 74	④ 75	① 49
3月3日 (木)	13:00	2	管理・評価	センサデータベース	自然言語処理	暗号理論・実装	システムと社会環境		メモリと投機実行
	13:50								
	14:30								
3月3日 (木)	14:30	3	阿萬 裕久 (愛媛大)	渡辺 陽介 (東工大)	荒牧 英治 (東大)	鈴木 幸太郎 (NTT)	原田 要之助 (情報セキュリティ大)		森 敦司 (富士通)
	17:00		① 51	① 54	② 58	③ 69	④ 74		① 49
	9:30	4	コンピュータ・アーキテクチャ	数理モデルとシミュレーション	人工知能一般 (1)	センサネットワークと位置情報	ネットワークセキュリティ	QoLの向上	産業応用
3月3日 (木)			仲池 卓也 (日本IBM)	小林 聡 (電通大)	ライエル グリムベンゲル (東京工科大)	大橋 正良 (ATR)	北澤 繁樹 (三菱)	中山 泰一 (電通大)	児玉 公信 (情報システム総研)
	12:00		① 49	① 51	② 58	③ 64	③ 69	④ 74	④ 75
3月3日 (木)	13:00	5	組込みシステム設計技術	索引技術・マイニング	音楽情報科学	環境技術	認証認可・ID連携	情報教育・教育システム	アクセラレータ
	13:40								
	13:50								
3月4日 (金)	14:30	6	システムソフトウェア	分散ストレージ	画像処理	クラウドとネットワーク	グループウェア一般	インテリジェントタッグ	性能評価
	14:35								
	15:15								
3月4日 (金)	15:30	7	組込みシステム設計技術	索引技術・マイニング	音楽情報科学	環境技術	認証認可・ID連携	情報教育・教育システム	アクセラレータ
			瀬戸 謙修 (東京都市大)	古川 哲也 (九大)	北原 鉄朗 (日大)	串田 高幸 (日本IBM)	須賀 祐治 (インターネットイニシアティブ)	立田 ルミ (獨協大)	長谷川 揚平 (東芝)
	17:30		① 49	① 54	② 58	③ 64	③ 69	④ 74	① 50
3月4日 (金)	9:30	8	開発技術	ソーシャル Web	人工知能一般 (2)	社会システムと災害対策	CG・インタフェース	情報教育の理念・実践	システムソフトウェア
			紫合 治 (電機大)	飯沢 篤志 (リコー)	櫻井 祐子 (JST)	荒川 豊 (九大)	金森 由博 (筑波大)	久野 靖 (筑波大)	乃村 能成 (岡山大)
	12:00		① 51	① 54	② 58	③ 64	④ 71	④ 75	① 49
3月4日 (金)	13:00	9	論理・形式	分散ストレージ	画像処理	クラウドとネットワーク	グループウェア一般	インテリジェントタッグ	性能評価
	14:15								
	14:30								
3月4日 (金)	14:30	10	論理・形式	分散ストレージ	画像処理	クラウドとネットワーク	グループウェア一般	インテリジェントタッグ	性能評価
			立石 孝彰 (日本IBM)	山口 実靖 (工学院大)	船富 卓哉 (京大)	佐藤 文明 (東邦大)	金子 聡 (日本アイ・ピー・エム・サービス)	義久 智樹 (阪大)	盛合 敏 (NTT)
	16:30		① 51	① 54	② 58	③ 64	④ 71	④ 75	① 49
3月4日 (金)	16:30	11	メニーコア・アーキテクチャ	分散ストレージ	画像処理	クラウドとネットワーク	グループウェア一般	インテリジェントタッグ	性能評価
	16:30								

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

タイムテーブル

学生セッション J 本館 3F H136	学生セッション K 本館 3F H137	学生セッション L 西 3 号館 2F W321	学生セッション M 西 3 号館 2F W322	学生セッション N 西 3 号館 2F W323	学生セッション P 西 3 号館 3F W331	学生セッション Q 西 3 号館 3F W332	学生セッション R 西 3 号館 5F W351	学生セッション S 西 9 号館 3F W931
組込み OS と Android 河野 健二 (慶大) ① 50	アルゴリズム (1) 来嶋 秀治 (九大) ① 52	要求 大西 淳 (立命館大) ① 53	関連抽出・情報統合 大塚 真吾 (神奈川工科大) ① 55	情報抽出 福井 美佳 (東芝) ① 56	マルチメディア 高久 雅生 (物質・材料研) ① 56	ニューラルネット 本村 陽一 (産総研) ② 59	マルチエージェント (1) 伊藤 孝行 (名工大) ② 60	自然言語 インタフェース 橋本 泰一 (東工大) ② 61
OS 毛利 公一 (立命館大) ① 50	プログラミング 環境・支援 石崎 一明 (日本 IBM) ① 52	管理・開発支援 松下 誠 (阪大) ① 53	情報推薦 (1) 土方 嘉徳 (阪大) ① 55	マイクロブログ 灘本 明代 (甲南大) ① 56	検索システム 石川 大介 (国立情報学研) ① 57	遺伝的アルゴリズム 牧野 貴樹 (東大) ② 59	音楽・音響・ 音声の生成 平井 重行 (京産大) ② 60	文書分類・検索 (1) 相澤 彰子 (国立情報学研) ② 61
仮想化技術 笹田 耕一 (東大) ① 50	プログラミング 言語 伊地知 宏 (ラムダ数学教育 研究所) ① 52	ビジネスソフト ウェア 鷺崎 弘宣 (早大) ① 53	推薦支援技術 宇陀 則彦 (筑波大) ① 55	Web アプリケーション 八重樫 理人 (香川大) ① 56	位置情報システム 垂水 浩幸 (香川大) ① 57	人工知能一般 (1) 小松 孝徳 (信州大) ② 59	楽曲・演奏の認識・ 分析 帆足 啓一郎 (KDDI 研) ② 60	情報抽出 (1) 渋谷 英潔 (横浜国大) ② 61
ハイパフォーマンス コンピューティング 滝澤 真一朗 (東工大) ① 51	システム評価 櫻庭 健年 (日立) ① 52	組込みソフトウェア 野田 夏子 (NEC) ① 53	情報推薦 (2) 堀 幸雄 (香川大) ① 55	XML・検索 アルゴリズム 江口 浩二 (神戸大) ① 56	対話・インタフェース 西本 卓也 (東大) ② 58	ゲーム 田中 哲朗 (東大) ② 59	要約・用語抽出 高村 大也 (東工大) ② 60	情報抽出 (2) 吉田 稔 (東大) ② 61
データマイニング (1) 神嵐 敏弘 (産総研) ① 52	最適化と シミュレーション 高階 知巳 (ニコン) ① 53	プログラム解析 小林 隆志 (名大) ① 54	DBMS・ストレージ・ 省電力化 須賀 啓敏 (NTT) ① 55	検索 アプリケーション 服部 峻 (東京工科大) ① 56	人工知能一般 (2) 保木 邦仁 (電通大) ② 59	強化学習 鶴岡 慶雅 (JAIST) ② 60	音楽音響信号処理 亀岡 弘和 (NTT) ② 61	文書分類・検索 (2) 岩倉 友哉 (富士通研) ② 62
データマイニング (2) 鈴木 智也 (茨城大) ① 52	アルゴリズム (2) 山中 克久 (電通大) ① 53	評価・検証 岸 知二 (早大) ① 54	ネットワーク分析 平手 勇宇 (楽天) ① 55		音声・話者認識 篠田 浩一 (東工大) ② 59	探索・推論 小谷 善行 (東京農工大) ② 60	学習 保木 邦仁 (電通大) ② 61	情報抽出 (3) 岩倉 友哉 (富士通研) ② 62

情報処理学会 第73回全国大会

日	会場 時間	学生セッション T 西9号館3F W932	学生セッション U 西9号館3F W934	学生セッション V 西9号館3F W935	学生セッション W 西9号館3F W936	学生セッション X 南6号館1F S611	学生セッション Y 南6号館1F S612	学生セッション Z 南6号館2F S621	学生セッション ZA 南6号館2F S622
3月2日 (水)	9:30	ロボットビジョン	セキュリティ・検査と画像検索	無線・センサネットワーク	ユビキタスサービス(1)	ネットワークシステム	暗号	講義・会議支援	インタフェースシステム(1)
		川本 一彦 (千葉大)	舟川 政博 (金沢工大)	石原 進 (静岡大)	戸辺 義人 (電機大)	加藤 由花 (産業技術大)	藤崎 英一郎 (NTT)	小林 稔 (NTT)	古市 昌一 (日大)
	12:00	② 62	② 63	③ 65	③ 66	③ 68	③ 69	④ 71	④ 72
3月3日 (木)	13:00								
	13:50								
	14:30	人・顔・行動	文字・図形認識	アドホックネットワーク	ユビキタスサービス(2)	ソーシャルグラフ	ネットワークセキュリティ	グループウェア一般	インタフェースシステム(2)
3月3日 (木)		金子 正秀 (電通大)	長谷川 修 (東工大)	松垣 博章 (電機大)	今井 倫太 (慶大)	金井 敦 (法大)	竹森 敬祐 (KDDI 研)	由井 隆也 (北陸先端大)	中村 喜宏 (日大)
	17:00	② 62	② 63	③ 65	③ 67	③ 68	③ 69	④ 71	④ 72
3月3日 (木)	9:30	画像符号化と画質改善	位置情報応用アプリケーション	センサネットワーク	ロケーションアウェアネス	クラウドコンピューティング(1)	バイオメトリクス・アクセス制御	形状モデリング	ネットワークコミュニケーション
		上倉 一人 (NTT)	桐村 昌行 (三菱)	神崎 映光 (阪大)	大内 一成 (東芝)	田上 敦士 (KDDI 研)	高橋 健太 (日立)	齊藤 剛 (電機大)	郷 健太郎 (山梨大)
	12:00	② 62	③ 64	③ 66	③ 67	③ 68	③ 69	④ 71	④ 72
3月3日 (木)	13:00								
	13:40								
	13:50								
3月3日 (木)	14:30								
	14:35								
	15:15								
3月3日 (木)	15:30	画像合成・作成支援	ナビゲーションシステム	安全・安心ネットワーク	ユーザ支援	P2P ネットワーク	セキュリティシステム評価	レンダリング	コミュニケーション支援
		岡部 孝弘 (東大)	梅津 高朗 (阪大)	土屋 隆司 (鉄道総研)	山崎 達也 (NICT)	原 隆浩 (阪大)	朴 美娘 (神奈川工科大)	新谷 幹夫 (東邦大)	宮下 芳明 (明大)
	17:30	② 62	③ 65	③ 66	③ 67	③ 68	③ 70	④ 71	④ 72
3月4日 (金)	9:30	マルチエージェント(2)	車々間・路車間通信応用システム	スマートフォン	コンテキストアウェアネス	クラウドコンピューティング(2)	トラストモデル	アニメーションと可視化	計算機システムのインタフェース
		服部 宏充 (京大)	関 馨 (JARI)	菊地 悠 (NTT ドコモ)	梅澤 猛 (NICT)	野呂 正明 (富士通研)	島 成佳 (情報処理推進機構)	佐藤 尚 (神奈川工科大)	川又 武典 (三菱)
	12:00	② 63	③ 65	③ 66	③ 67	③ 68	③ 70	④ 72	④ 73
3月4日 (金)	13:00								
	14:15								
	14:30	マッチング・トラッキング・パラメータ推定	交通安全支援システム	スマートフォンとモバイルアプリケーション	ネットワーク制御	ネットワークプロトコル	著作権保護・TPM	CG 応用	入出力インタフェース
3月4日 (金)		原田 達也 (東大)	屋代 智之 (千葉工大)	深澤 佑介 (NTT ドコモ)	長谷川 輝之 (KDDI 研)	藤崎 智宏 (NTT)	盛合 志帆 (ソニー)	齋藤 豪 (東工大)	中村 嘉志 (産総研)
	16:30	② 63	③ 65	③ 66	③ 67	③ 68	③ 70	④ 72	④ 73

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

タイムテーブル

学生セッション ZB 南 6 号館 3F S631	学生セッション ZC 南 6 号館 3F S632	学生セッション ZD 南 6 号館 3F S633	学生セッション ZE 南 6 号館 3F S634	学生セッション ZF 南 6 号館 3F S635	デモセッション デモ会場 百年記念館 1F ホール	大会スポンサー・ 各種展示会場 70 周年記念講堂周辺
ロボットと エージェント 橋本 直 (JST) ④ 73	語学・技能の学習支援 中平 勝子 (長岡技科大) ④ 75	教育学習評価 井上 仁 (九大) ④ 76		バイオ情報 瀬々 潤 (お茶の水女子大) ④ 78	デモセッション 5 件	大会スポンサー展示・ 各種展示 12 件
インタフェースの 分析・評価 志築 文太郎 (筑波大) ④ 73	教育学習支援 (1) 井上 仁 (九大) ④ 75	協調学習・活動支援 渡辺 博芳 (帝京大) ④ 77	地域活性化 柿崎 淑郎 (東理大) ④ 77	バイオ・医療情報 関嶋 政和 (東工大) ④ 78	デモセッション 7 件	大会スポンサー展示・ 各種展示 12 件
VR 応用 野嶋 琢也 (電通大) ④ 73	情報技術教育支援 中村 純 (広島大) ④ 76	学生生活支援 小松川 浩 (千歳科学技術大) ④ 77	観光 富澤 眞樹 (前橋工科大) ④ 78	医療情報 日紫喜 光良 (東邦大) ④ 79	デモセッション 5 件	大会スポンサー展示・ 各種展示 12 件
					デモセッション 5 件	大会スポンサー展示・ 各種展示 12 件
AR 興梠 正克 (産総研) ④ 74	教育学習支援 (2) 坂東 宏和 (ボトス) ④ 76	社会活動と情報処理 兼宗 進 (大阪電通大) ④ 77	防災システム 塚田 晃司 (和歌山大) ④ 78	空間把握 小林 亜令 (KDDI 研) ④ 79	デモセッション 5 件	大会スポンサー展示・ 各種展示 12 件
タッチパネル インタフェース 寛 康明 (慶大) ④ 74	教育学習 支援システム 長 慎也 (明星大) ④ 76		農業・水産業 神沼 靖子 (IPSJ フェロー) ④ 78	企業活動と情報 児玉 公信 (情報システム総研) ④ 79	デモセッション 5 件	大会スポンサー展示・ 各種展示 12 件
	教育支援ツール 中野 由章 (千里金蘭大学) ④ 76	エンタテインメント 評価 高田 明典 (フェリス女学院大) ④ 77	医療支援と 公共の安全 瀬々 潤 (お茶の水女子大) ④ 78	オフィス情報 辻 秀一 (東海大) ④ 79		

第 73 回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

●第 1 分冊

・アーキテクチャ

計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング, エレクトロニクス用設計自動化・CAD

(3A～4A, 5G～6G, 1H～6H, 1J～4J)

(デモセッション: デ-01)

・ソフトウェア科学・工学

アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング, システム評価

(5A～6A, 1B～3B, 5J～6J, 1K～6K, 1L～6L)

・データベースとメディア

データベース, 情報検索, メディアと情報開発・共有・流通

(4B～6B, 1C～2C, 1M～6M, 1N～5N, 1P～3P)

(デモセッション: デ-05, デ-06)

●第 2 分冊

・人工知能と認知科学

人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学, ゲーム

(3C～6C, 1D～2D, 4P～6P, 1Q～6Q, 1R～6R, 1S～6S, 1T～6T, 1U～2U)

(デモセッション: デ-02, 04)

●第 3 分冊

・ネットワーク

マルチメディア通信と分散処理, インターネットと分散システム運用技術, マルチメディア符号化, モバイルコンピューティング, ユビキタスコンピューティング, ITS

(3D～6D, 1E, 3U～6U, 1V～6V, 1W～6W, 1X～6X)

・セキュリティ

セキュリティ基盤技術, ネットワークセキュリティ, システムセキュリティ, セキュリティと社会, 危機管理とリスク管理, 信頼性

(2E～4E, 1Y～6Y)

(デモセッション: デ-03, デ-07)

●第 4 分冊

・インタフェース

ヒューマンコンピュータインタラクション, グループウェア, グラフィクスと CAD, 仮想現実感

(5E～6E, 1Z～6Z, 1ZA～6ZA, 1ZB～5ZB)

・コンピュータと人間社会

情報システム, コンピュータと教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, バイオ情報学, エンタテインメントコンピューティング, 標準化, その他

(1F～6F, 1G, 3G, 1ZC～6ZC, 1ZD～4ZD, 6ZD, 2ZE～6ZE, 1ZF～6ZF)

ー全国大会イベント企画のご案内ー

■招待講演 (1) 2日 (水) 13:00-13:50

第1 イベント会場 (70 周年記念講堂)
「気象・気候の予測とコンピュータモデル」
木本 昌秀 (東京大学 大気海洋研究所 教授・副所長)

■招待講演 (2) 3日 (木) 13:50-14:30

第1 イベント会場 (70 周年記念講堂)
「MERLOT – the Multimedia Educational Resource for Learning and Online Teaching」
Sorel Reisman (IEEE Computer Society 会長)

■招待講演 (3) 3日 (木) 14:35-15:15

第1 イベント会場 (70 周年記念講堂)
「Building Science Platform for Extremely Large Data Analysis」
Yoon Joon LEE (KIISE 会長)

■招待講演 (4) 4日 (金) 13:00-14:15

第1 イベント会場 (70 周年記念講堂)
「生命現象と動的平衡」
福岡 伸一 (青山学院大学 理工学部 教授)

■大会挨拶・表彰式・認証式 3日 (木) 13:00-13:40

■イベント企画

第1 イベント会場 (70 周年記念講堂)

- ・2日 (水) 9:30-12:00 スマートグリッドの技術優位性を事業優位性に活かす戦略
- ・2日 (水) 14:30-17:00 グリーンなスパコンでグリーンな未来を創る
- ・3日 (木) 9:30-12:00 グリーン・ライフイノベーションと国際標準
- ・3日 (木) 15:30-17:30 プライバシー保護データマイニング
- ・4日 (金) 9:30-12:00 グリーン IT の先進的な取り組み ～データセンタのエネルギー効率向上について～
- ・4日 (金) 14:30-16:30 医療クラウドは患者生存に貢献できるかー情報通信医学への序章ー

第2 イベント会場 (西5号館講義棟 2F W521)

- ・2日 (水) 9:30-12:30 私の詩と真実
- ・2日 (水) 14:30-17:30 The Art of Algorithms for Massive Data Processing ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム (第2回)
- ・3日 (木) 9:30-12:00 RSA-1024 はもう危険なのか? 暗号 2010 年問題を正しく理解する
- ・3日 (木) 15:30-17:30 情報教育関連合同シンポジウム 情報科学技術における高度人材育成の取り組み
- ・4日 (金) 9:30-12:00 スマートシティ実現のための IT 技術開発と省エネビルの現状

第3 イベント会場 (西5号館講義棟 3F W531)

- ・2日 (水) 9:30-12:00 情報教育関連合同シンポジウム PC スキル教育からの脱却ーこれからの一般情報教育のあり方とはー
- ・2日 (水) 14:30-17:00 情報教育関連合同シンポジウム 情報処理学会員の皆様、間違っていないですか?
- ・3日 (木) 9:30-12:00 情報教育関連合同シンポジウム 情報分野の高大連携
- ・3日 (木) 15:30-17:30 情報教育関連合同シンポジウム 発注者教育はどうあるべきかー発注者・運用者責任はどのように担保されるか (問題提起)ー
- ・4日 (金) 14:30-16:30 情報教育関連合同シンポジウム 大学学部専門教育での情報教育

第4 イベント会場 (西5号館講義棟 4F W541)

- ・2日 (水) 9:30-12:00 会員の研究活動活性化に向けた論文の書き方・査読の仕方
- ・2日 (水) 14:30-17:00 JGN2plus の成果とその後継プロジェクト

第5 イベント会場 (西9号館 3F W933)

- ・3日 (木) 10:00-17:30 ロボカップ春季競技会 1次リーグ
- ・4日 (金) 9:30-15:30 ロボカップ春季競技会 決勝リーグ

第6 イベント会場 (学術国際情報センター 情報棟 2F 会議室)

- ・2日 (水) 9:30-17:00 TSUBAME 大公開
- ・3日 (木) 9:30-17:00 TSUBAME 大公開

■大会スポンサー展示・各種展示 2日 (水) ～ 4日 (金) 9:30-17:00 * 4日 (金) は 16:00 まで

スポンサー展示・各種展示会場 (70 周年記念講堂周辺)

株式会社とめ研究所 (大会スポンサー)
日本電信電話株式会社 (大会スポンサー)
ネットワークシステムズ株式会社 (大会スポンサー)
ぶらっとホーム株式会社
タヌキソフトウェア有限公司
カクタス・コミュニケーションズ株式会社
株式会社アールティ
川田工業株式会社
Bridge Learning Japan
共立出版株式会社
株式会社北大路書房
日本電気株式会社

—全国大会 会場別プログラム—

【第1 イベント会場（70周年記念講堂）】		
日	時 間	内 容
2 日		スマートグリッドの技術優位性を事業優位性に活かす戦略
	9:30-9:50	講演(1)：調整中 野田 耕一（経済産業省）
	9:50-10:10	講演(2)：スマートグリッド関連技術の国際標準化動向とビジネスドメイン 長谷川義朗（東芝）
	10:10-10:30	講演(3)：スマートコミュニティ・マネジメントシステムにおける組込みシステムの重要性和インテグレーション上の課題 半谷 陽一（三菱重工業）
	10:30-10:50	講演(4)：エネルギー技術から見たスマート・グリッド 大和田野芳郎（産総研）
	10:50-12:00	パネル討論：技術優位を事業優位にする知の活用～ビジネスモデルと知財・標準マネジメント～ 司 会：妹尾堅一郎（東大） パネリスト：中西 宏典（経済産業省）、長谷川義朗（東芝）、半谷 陽一（三菱重工業）、大和田野芳郎（産総研）
	13:00-13:50	招待講演(1)：気象・気候の予測とコンピュータモデル 木本 昌秀（東京大学 大気海洋研究所 教授・副所長）
		グリーンなスパコンでグリーンな未来を創る
(水)	14:30-14:50	講演(1)：TSUBAME2.0 と JST-CREST における Ultra Low-Power HPC 松岡 聡（東工大）
	14:50-15:10	講演(2)：グリーンスパコンを作る 牧野淳一郎（自然科学研究機構）
	15:10-15:30	講演(3)：電極触媒反応の第一原理シミュレーション 杉野 修（東大）
	15:30-15:50	講演(4)：二酸化炭素地下貯留のシミュレーション 山本 肇（大成建設）
	15:50-16:10	講演(5)：次期 IPCC 報告書へ向けた温暖化予測実験－気候変動対策への貢献を目指して－ 河宮未知生（海洋研究開発機構）
	16:10-17:00	パネル討論：グリーンなスパコンでグリーンな未来を創る 司 会：佐藤 三久（筑波大学） パネリスト：松岡 聡（東工大）、牧野淳一郎（自然科学研究機構）、杉野 修（東大）、山本 肇（大成建設）、河宮未知生（海洋研究開発機構）
3 日		グリーン・ライフイノベーションと国際標準
	9:30-9:35	オープニング
	9:35-10:15	基調講演：新成長戦略の推進に向けた産学官への期待 野間口 有（産総研）
	10:20-12:00	パネル討論：グリーン・ライフイノベーションと国際標準 司 会：村上 篤道（三菱電機） パネリスト：野間口 有（産総研）、松山 隆司（京大）、関口 智嗣（産総研）、井上 友二（トヨタ IT 開発センター）、丸山 不二夫（早大）、大山 永昭（東工大）
		大会挨拶・表彰式・認証式
	13:00-13:40	情報処理学会会長挨拶 白鳥 則郎（東北大） 大会プログラム委員長挨拶 佐藤 三久（筑波大） 第72回全国大会優秀賞・奨励賞 表彰式 平成22年度山下記念研究賞 表彰式 平成22年度フェロー認証式 平成22年度学会活動貢献賞表彰式・感謝状贈呈式 平成22年度優秀教育賞・優秀教材賞 表彰式
	13:50-14:30	招待講演(2)：MERLOT – the Multimedia Educational Resource for Learning and Online Teaching Sorel Reisman (IEEE Computer Society 会長)
	14:35-15:15	招待講演(3)：Building Science Platform for Extremely Large Data Analysis Yoon Joon LEE (KIISE 会長)
(木)		プライバシー保護データマイニング
	15:30-16:20	講演：秘密情報が埋め込まれたネットワーク構造情報の機械学習 佐久間 淳（筑波大）
	16:30-17:30	パネル討論：プライバシー保護データマイニングの方向性と将来性 司 会：中川 裕志（東大） パネリスト：神瀧 敏弘（産総研）、高崎 晴夫（KDDI 総研）、山口 利恵（産総研）、菊池 浩明（東海大）

【第 1 イベント会場（70 周年記念講堂）】		
日	時 間	内 容
4	グリーン IT の先進的な取り組み ～データセンタのエネルギー効率向上について～	
	9:30-10:00	基調講演：高度情報化社会の省エネルギー化におけるグリーン IT の貢献 黒田 健児（グリーン IT 推進協議会・三菱電機）
	10:00-10:30	講演（1）：環境配慮型データセンタに向けた実践と技術開発 郷 博（日立製作所）
	10:30-11:00	講演（2）：環境配慮型データセンタの構築技術 八木 悟（富士通）
	11:00-11:30	講演（3）：グリーンネットワーク・システム技術研究開発プロジェクトの概要 松井 俊浩（産総研）
	11:30-12:00	講演（4）：日本発のデータセンタ省エネ新指標 D P P E の紹介 上 笠 健（NTT データ）
	13:00-14:15	招待講演（4）：生命現象と動的平衡 福岡 伸一（青山学院大学）
日	医療クラウドは患者生存に貢献できるかー情報通信医学への序章ー	
(金)	14:30-15:00	基調講演：医療データの有効活用に向けてークラウドコンピューティングへの期待ー 東福寺幾夫（高崎健康福祉大）
	15:00-15:20	講演（1）：モバイルによるライフログの医療データ貢献への可能性 大橋 正良（ATR メディア情報科学研）
	15:20-15:40	講演（2）：循環器疾患治療と I C Tー臨床家としての視点ー 八尾 武憲（岡村記念病院）
	15:40-16:00	講演（3）：医療の I C T 化は患者生存に貢献できるか 中川 晋一（情報通信研究機構）
	16:00-16:30	パネル討論：医療クラウドは患者生存に貢献できるか 司 会：中川 晋一（情報通信研究機構） パネリスト：東福寺幾夫（高崎健康福祉大）、大橋 正良（ATR メディア情報科学研）、 八尾 武憲（岡村記念病院）

【第 2 イベント会場（西 5 号館講義棟 2F W521）】		
日	時 間	内 容
2	私の詩と真実	
	9:30-10:10	【第 1 部】 情報処理技術遺産認定式
	10:20-11:20	【第 2 部】 シンポジウム「私の詩と真実」 講演（1）：設計地獄から設計天国へー回路設計自動化の夢を追って（Dichtung） CAD の門を開く（Wahrheit）ー 渡部 和（創価大）
	11:30-12:30	【第 2 部】 シンポジウム「私の詩と真実」 講演（2）：変化の時代に求められる情報教育 相磯 秀夫（東京工科大）
日	The Art of Algorithms for Massive Data Processing ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム（第 2 回）	
(水)	14:30-14:35	オープニング
	14:35-14:55	講演（1）：ERATO プロジェクトの立ち上げと研究の進展状況について 湊 真一（北大）
	14:55-15:25	講演（2-1）：複合ソート法による高速な全ペア類似度検索 津田 宏治（産総研）
	15:25-15:55	講演（2-2）：クリークマイニングとその応用 宇野 毅明（国立情報学研）
	15:55-17:30	ポスターセッション ポスター発表者：定兼 邦彦（国立情報学研）、野中 良哲（九大）、山中 克久（電通大）、 岸本 章宏（東工大）、猪口 明博（阪大）、櫻井 祐子（JST ERATO）、 吉仲 亮（JST ERATO）、川原 純（JST ERATO）、 斉藤 寿樹（JST ERATO）、田部井靖生（JST ERATO）
3	RSA-1024 はもう危険なのか？暗号 2010 年問題を正しく理解する	
	9:30-9:45	講演（1）：暗号世代交代の本質と課題 神田 雅透（情報処理推進機構）
	9:45-10:00	講演（2）：RSA 暗号危殆化曲線について 猪俣 敦夫（奈良先端大）
	10:00-10:15	講演（3）：ハッシュ関数の標準化動向 渡辺 大（日立製作所）
	10:15-10:30	講演（4）：政府機関の情報システムにおける SHA-1 及び RSA1024 の移行状況 山口 利恵（産総研）
	10:30-10:45	講演（5）：認証局運用の観点でみる暗号アルゴリズムの移行 木村 泰司（日本ネットワークインフォメーションセンター）
	10:45-11:00	講演（6）：社会基盤化しつつある暗号技術 松本 泰（セコム）
日	11:00-12:00	パネル討論：暗号 2010 年問題の解決に向けて 司 会：須賀 祐治（インターネットイニシアティブ） パネリスト：神田 雅透（情報処理推進機構）、猪俣 敦夫（奈良先端大）、 渡辺 大（日立製作所）、山口 利恵（産総研）、 木村 泰司（日本ネットワークインフォメーションセンター）、松本 泰（セコム）
(木)	情報教育関連合同シンポジウム 情報科学技術における高度人材育成の取り組み	
	15:30-16:00	講演（1）：東工大グローバル C O E 「計算世界観の深化と展開」での博士教育の取り組み 渡辺 治（東工大）
	16:00-16:30	講演（2）：JAIST 大学院教育センターにおける大学院教育の質保証に対する取り組み 浅野 哲夫（北陸先端大）
	16:30-17:00	講演（3）：学際計算科学・工学人材育成プログラム 柴山 悦哉（東大）
	17:00-17:30	講演（4）：人材育成としての JST さきがけ制度 中島 秀之（公立はこだて未来大）

【第2 イベント会場（西5号館講義棟 2F W521）】

日	時 間	内 容
4 日 (金)	スマートシティ実現のための IT 技術開発と省エネビルの現状	
	9:30-10:30	講演 (1)：スマートシティの一翼を担う ZEB の実現 高見 牧人 (経済産業省)
	10:30-11:00	講演 (2)：省エネビル推進標準化プロジェクトについて (省エネビル推進標準化コンソーシアム) 藤原 孝行 (東京都環境整備公社)
	11:00-11:30	講演 (3)：企業の目指すスマートシティ 岩野 和生 (日本 IBM)
	11:30-12:00	講演 (4)：スマート & スムース：社会インフラの高度化を実現する情報制御融合技術 前田 章 (日立製作所)

【第3 イベント会場（西5号館講義棟 3F W531）】

日	時 間	内 容
2 日 (水)	情報教育関連合同シンポジウム PC スキル教育からの脱却ーこれからの一般情報教育のあり方とはー	
	9:30-9:50	講演 (1)：現状の一般情報教育に関する実情と問題提起 河村 一樹 (東京国際大)
	9:50-10:15	講演 (2)：これからの一般情報教育としてのプログラミング教育 佐々木 整 (拓殖大)
	10:15-10:40	講演 (3)：これからの一般情報教育が越えるべき諸課題 湯瀬 裕昭 (静岡県立大)
3 日 (木)	10:50-12:00	パネル討論：これからの一般情報教育のあり方 司 会：立田 ルミ (獨協大) パネリスト：岡部 成玄 (北大), 瀧澤 武信 (早大), 佐々木 整 (拓殖大), 湯瀬 裕昭 (静岡県立大)
	情報教育関連合同シンポジウム 情報処理学会員の皆様、間違っていますか？	
	14:30-14:50	講演 (1)：初等中等教育委員会からの問題提起 久野 靖 (筑波大)
	14:50-15:10	講演 (2)：人と社会と情報技術 児玉 公信 (情報システム総研)
4 日 (金)	15:10-15:30	講演 (3)：1990 年「はじめて出会うコンピュータ科学」と 2009 年「デジタル社会はなぜ生きにくい」から考えてみる初等中等情報教育 徳田 雄洋 (東工大)
	15:30-17:00	パネル討論：わが国の次の時代を担う世代にどのような形で「情報」「情報技術」を学んでもらうべきかーそのために情報処理学会は何をするべきかー 司 会：辰己 丈夫 (農工大) パネリスト：久野 靖 (筑波大), 児玉 公信 (情報システム総研), 徳田 雄洋 (東工大), 高岡 詠子 (上智大), 神沼 靖子 (情報処理学会)
	情報教育関連合同シンポジウム 情報分野の高大連携	
	9:30-9:40	オープニング
3 日 (木)	9:40-10:00	講演 (1)：e-Learning コンテンツを活用した高大連携の試み 飯田 秀延 (都立東村山高)
	10:00-10:20	講演 (2)：高等学校 (あるいはその将来を見越した教育委員会) が望む高大連携的な授業改善モデル事業ークラウド型の協調学習コミュニティを目指してー 三宅なほみ (東大)
	10:20-10:40	講演 (3)：理数学習支援における高大連携について 岩淵 晴行 (科学技術振興機構)
	10:40-11:00	講演 (4)：スーパーコン：高校生・高専生のためのスパコンコンテスト 渡辺 治 (東工大)
4 日 (金)	11:00-11:20	講演 (5)：高校生を対象としたオープンキャンパスや体験授業への取り組み 増澤 利光 (阪大)
	11:20-12:00	パネル討論：情報分野からの初等中等教育への貢献 司 会：萩谷 昌己 (東大) パネリスト：飯田 秀延 (都立東村山高), 三宅なほみ (東大), 岩淵 晴行 (科学技術振興機構), 渡辺 治 (東工大), 増澤 利光 (阪大)
	情報教育関連合同シンポジウム 発注者教育はどうあるべきかー発注者・運用者責任はどのように担保されるか (問題提起)ー	
	15:30-16:30	基調講演：動かないコンピュータと発注者教育の課題 大和田尚孝 (日経 BP 社)
4 日 (金)	16:30-17:30	パネル討論：発注側 IT 高度人材育成と情報処理教育のあり方 司 会：旭 寛治 (日立技術情報サービス) パネリスト：大和田尚孝 (日経 BP 社), 大岩 元 (帝京平成大), 酒森 潔 (産業技術大), 真辺 純裕 (新日本製鐵)
	情報教育関連合同シンポジウム 大学学部専門教育での情報教育	
	14:30-14:50	講演 (1)：情報専門学科カリキュラム標準「J07」と関連話題 角田 博保 (電通大)
	14:50-15:10	講演 (2)：理工系情報学科の専門教育内容のシラバスによる調査 疋田 輝雄 (明大)
4 日 (金)	15:10-15:30	講演 (3)：情報システム領域 神沼 靖子 (情報処理学会)
	15:30-15:50	講演 (4)：インフォメーションテクノロジー領域 駒谷 昇一 (元筑波大)
	15:50-16:10	講演 (5)：副専攻領域 玉井 哲雄 (東大)
	16:10-16:30	講演 (6)：IPA における産学連携 IT 人材育成活動 大島 信幸 (情報処理推進機構)

【第 4 イベント会場（西 5 号館講義棟 4F W541）】			
日	時 間	内 容	
2 日 (水)	会員の研究活動活性化に向けた論文の書き方・査読の仕方		
	9:30-10:00	講演 (1)：論文を書く前に ～或いは、平均点の論文を書くには～	市川 周一 (豊橋技科大)
	10:00-10:30	講演 (2)：学術雑誌、学術論文および引用の実際	安達 淳 (国立情報学研)
	10:30-11:00	講演 (3)：査読プロセスの実運用と妥当性確保のための取り組み	明石 修 (NTT 未来ねっと研)
	11:00-12:00	パネル討論：執筆者、査読者、編集者の立場から見た論文投稿の活性化の課題 司 会：横田 治夫 (東工大) パネリスト：市川 周一 (豊橋技科大)、安達 淳 (国立情報学研)、 明石 修 (NTT 未来ねっと研)、奥乃 博 (京大)、田中 譲 (北大)、 宗森 純 (和歌山大)	
	JGN2plus の成果とその後継プロジェクト		
	14:30-14:55	講演 (1)：JGN2plus の成果概要	下條 真司 (情報通信研究機構)
	14:55-15:20	講演 (2)：センサ情報流通基盤の構築とその利用	中山 雅哉 (東大)
	15:20-15:45	講演 (3)：無線・有線融合ネットワーク技術	鶴 正人 (九工大)
	15:45-16:10	講演 (4)：広域オーバーレイネットワーク基盤の構築とその利用	寺西 裕一 (阪大)
2 日 (水)	16:10-16:35	講演 (5)：仮想化ノードと JGN-X	中尾 彰宏 (東大)
	16:35-17:00	講演 (6)：JGN-X とネットワークオーケストレーション	山本 成一 (東大)

【第 5 イベント会場（西 9 号館 3F W933）】			
日	時 間	内 容	
3 日 (木)	ロボカップ春季競技会		
	10:00-17:30	予選 1 次リーグ	
4 日 (金)	ロボカップ春季競技会		
	9:30-15:30	決勝リーグ	

【第 6 イベント会場（学術国際情報センター 情報棟 2F 会議室）】			
日	時 間	内 容	
2 日 (水)	TSUBAME 大公開		
	A：一般向け／B：技術者・研究者向け		
	A：9:30～10:30		
	B：11:00～12:00		
	A：14:30～15:30		
	B：16:00～17:00		
3 日 (木)	TSUBAME 大公開		
	A：一般向け／B：技術者・研究者向け		
	B：9:30～10:30		
	A：11:00～12:00		
	B：14:30～15:30		
	A：16:00～17:00		
3 日 (木)	解説：松岡 聡 (東工大)、遠藤 敏夫 (東工大)		
	案内：渡邊 寿雄 (東工大)、丸山 直也 (東工大)		

【一般セッション：A～G 会場（7 会場）】本館			
【学生セッション：H～ZF 会場（23 会場）】本館、西 3 号館、西 9 号館、南 6 号館			
2 日 [9:30～12:00, 14:30～17:00], 3 日 [9:30～12:00, 15:30～17:30], 4 日 [9:30～12:00, 14:30～16:30]			

【デモセッション：デモ会場】百年記念館 1F ホール			
2 日～4 日 [9:30-17:00] * 4 日は 16:00 まで			

【大会スポンサー展示・各種展示会場】70 周年記念講堂周辺			
2 日～4 日 [9:30-17:00] * 4 日は 16:00 まで			

【懇親会会場】百年記念館 3F フェライト会議室			
3 日 [18:00～20:00]			

全国大会 招待講演企画・イベント企画の概要

招待講演 1 「気象・気候の予測とコンピュータモデル」 3月2日（水）13:00-13:50 [第1 イベント会場（70周年記念講堂）]

木本 昌秀（東京大学 大気海洋研究所 教授・副所長）

【講演概要】

室内での実験が困難な地球科学、ことに毎日天気予報を求められる宿命にある気象学においては、コンピュータシミュレーションが仮説検証や予測の重要な手段となっている。天気予報は、毎日結果が検証できるが、近年では地球温暖化に伴う百年以上先の予測も求められている。

本講演では、気象や気候のコンピュータモデルの構成、計算の特徴、結果の検証法や予測に必要な観測データの同化技術などについてご説明する。

予測と言っても、好きなだけ先までどんな現象でも当たるわけではない。そして、どんな予測でも不確実性は避けられない。このことは、人類にとって初めて体験する地球温暖化の問題では深刻である。よくわかってから対策を練っている余裕はないからである。また、気象や気候の予測情報を社会・産業のさまざまな面で活用してゆく動き（端的に言うと、気温や雨量などの物理量から例えば米の収穫量に変数変換する作業）が活発である。気象予測に関わるこのような面にも触れてみたい。



【略歴】

1957年大阪府生まれ。京都大学理学部卒業後、気象庁に入庁。UCLA 大気科学専攻博士課程修了。気象庁予報部、気象研究所、東大気候システム研究センターを経て2010年より現職。気候のコンピュータモデルを用いて、異常気象や気候変動、地球温暖化の研究を行っている。2007年より気象庁に設置された異常気象分析検討会で会長を務める。2010年6月、日産科学振興財団・第17回科学賞を受賞。

招待講演 2 「MERLOT – the Multimedia Educational Resource for Learning and Online Teaching」 3月3日（木）13:50-14:30 [第1 イベント会場（70周年記念講堂）]

Sorel Reisman (IEEE Computer Society 会長)

【講演概要】

Dr. Reisman, the managing director of MERLOT, will describe the internationally renowned, free, online consortium of open educational resources designed for higher education faculty, staff, and students who subscribe to the sharing philosophies that are the foundation of Open Education Resources (OER). He will discuss MERLOT's strategic goal of improving the effectiveness of teaching and learning by increasing the quantity and quality of shareable, peer reviewed, online learning materials that can be easily incorporated into faculty designed instruction. He will describe MERLOT's 1) leading edge, user-centered, collection of approximately 24,000 selected higher education, online learning materials catalogued by academic discipline by its more than 90,000 registered members, and 2) MERLOT's faculty development support services that promote the use of technology in teaching and learning. The presentation will provide an overview of MERLOT, focusing on the system's functions and services and their relationship to Open Education Resources. He will present examples of MERLOT online services, and their relationship to a variety of issues relevant to the use and reuse of online learning at all levels of education. The session will also describe issues related to learning object standards and metadata mapping among international learning object repositories available through the MERLOT website - <http://www.merlot.org>.



【略歴】

Dr. Sorel Reisman, 2010 President Elect and 2011 President of the IEEE Computer Society, is Managing Director of the international, higher education consortium MERLOT.ORG, and Professor of Information Systems at California State University Fullerton. He has held senior management positions at IBM (Canada and US), Toshiba (US), and EMI (UK). He is a Senior IEEE member, was Vice President of the Computer Society Publications Board, and Vice President of the Electronic Products and Services Board where he developed and initiated the Computer Society's eLearning and online books programs.

Dr. Reisman was editorial board member/columnist on *IEEE Software*, founding board member of *IEEE Multimedia* and *IEEE ITPro*, author of the column, *The Ivory Tower*, and reviewer for *IEEE Transactions in Education*. Reisman has presented/published 50+ articles and the books *Multimedia Computing: Preparing for the 21st Century*, and *Electronic Learning Communities – Current Issues and Best Practices*. He is an advisory board member of the Adobe Higher Education Advisory Board, a member of the MERLOT African Network, and liaison to the Australian, European, Japanese and Canadian national digital library consortium, GLOBE. Reisman received his electrical engineering degree, and MA and PhD in Computer Applications from the University of Toronto.

招待講演 3 「Building Science Platform for Extremely Large Data Analysis」 3月3日（木）14:35-15:15 [第1 イベント会場（70 周年記念講堂）]

Yoon Joon LEE (KIISE 会長)

【講演概要】

This work is to build a model platform for analyzing an extremely large volume of the genome sequences of botanical lives. We first build the platform with the help of the open-source parallel processing softwares such as Hadoop. Then we parallelize the conventional algorithms for genome sequence analysis and run them on our platform. Experiencing the parallel execution of the algorithms on the platform, we further study the way of improving our parallel algorithms and the analysis platform.

This work is significant in that the needs for big data analysis in scientific communities are rapidly increasing. Data in these fields are remarkably huge. Thus, many scientific communities such as Bioinformatics and Astrology require their efficient methods to analyze their massive volume of data in a "tolerable time". Interdisciplinary work is required to build the system that well supports that size of analysis. However, it has not been well studied so far due to the lack of interdisciplinary communication and the lack of experiences on building an analysis platform. We try to solve the problem by providing a model platform which enables to analyze the massive scientific data by executing the analysis in parallel over many commodity PCs. This project has been conducted with collaboration with KISTI (Korea Institute of Science and Technology Information) and KRIBB (Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology).

【略歴】



Yoon Joon LEE is a professor in the Computer Science Department at KAIST (Korea Advanced Institute of Science and Technology) and was elected as the president of KIISE (Korea Institute of Information Science and Engineering) for 2011. He organized the first DASFAA conference in 1989 with researchers and professors of IPSJ SIGDBS including the late Professor Kambayashi and is currently served as a member of steering committee. He received BS in Computer Science and Statistics 1977, MS in Computer Science 1979 and Doctor of Engineering in Informatics 1983 from Seoul National University, KAIST and ENSIMAG (École nationale supérieure d'informatique et de mathématiques appliquées de Grenoble) respectively. He joined at KAIST in 1984 and participated in and conducted several national R&D projects. He published more than 100 papers in journals and conferences. He had worked at KOSEF (now NRF), Korean R&D funding agency, as the director of IT from 1999 to 2001. He was awarded as a distinguished member in scientific work from KIISE in 1998.

招待講演 4 「生命現象と動的平衡」 3月4日（金）13:00-14:15 [第1 イベント会場（70 周年記念講堂）]

福岡 伸一（青山学院大学 理工学部 教授）

【講演概要】

現在、私たちの周りには生命操作を巡る様々な議論がある。遺伝子組み換え、クローン技術、ES細胞、臓器移植・・・これらを可能とする先端技術の通奏低音には、ひとつの明確な生命観がある。生命とはミクロな部品が集まってできたプラモデルであるという見方、すなわち機械論的生命観である。ルドルフ・シェーンハイマーは、生命が「動的な平衡状態」にあることを最初に示した科学者だった。私たちが食べた分子は、身体を構成する分子と絶え間なく交換されつづけている。つまり生命とはプラモデルのような静的なパーツからなりたっている分子機械ではなく、パーツ自体のダイナミックな流れの中に成り立っている効果そのものである。

この「動的平衡」論をもとに、生物を無生物から区別するものは何かを、私たちの生命観の変遷とともに改めて考察してみたい。

【略歴】

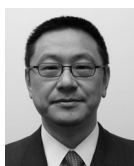


京都大学卒。米国ハーバード大学研究員、京都大学助教授などを経て、青山学院大学理工学部教授。著書『生物と無生物のあいだ』（講談社現代新書）は、サントリー学芸賞、および中央公論新書大賞を受賞し、68万部を超えるベストセラーに。他に『もう牛を食べても安心か』（文春新書、科学ジャーナリスト賞）、『動的平衡』（木楽舎）、『世界は分けてもわからない』（講談社現代新書）、『ルリボシカミキリの青』（文藝春秋）など。現在、NHK-BS「いのちドラマチック」に、レギュラーコメンテーターとして出演中。

スマートグリッドの技術優位性を事業優位性に活かす戦略 3月2日（水）9:30-12:00 [第1 イベント会場（70 周年記念講堂）]

【セッション概要】

スマートグリッドは通信・情報処理機能により電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化することができる送電網である。我が国では安定した電力網のインフラを有し、高機能電力メーターのようなIT機器では強みを持っている。一方でこうしたスマートグリッドにおける技術的優位性をどのように事業の優位性に結びつけていくのか、その中で国際標準化・規格化というのを戦略としてどのように位置付けていくのか、今後の製品・サービスでの工夫、事業構築の道筋、ビジネスモデルについてパネリスト・フロア参加者とともに討論する。



司会：関口 智嗣（独）産業技術総合研究所 情報技術研究部門 研究部門長）

【略歴】

独立行政法人 産業技術総合研究所、情報技術研究部門長。長年に亘り並列処理技術、スーパーコンピュータ技術、グリッドやクラウドコンピューティングなどに関する研究に従事。市村賞、文部科学大臣表彰等を受賞。日本学術会議連携会員、グリッド協議会会長、情報処理学会理事、日本応用数学会評議員、Open Grid Forum 理事、S I A M、IEEE 各会員。著書に『グリッド時代～技術が起すサービス革新』（アスキー）などがある。

9:30-9:50 講演 (1)「調整中」
野田 耕一 (経済産業省 産業技術環境局 基準認証政策課 課長)

9:50-10:10 講演 (2)「スマートグリッド関連技術の国際標準化動向とビジネスドメイン」
長谷川 義朗 ((株)東芝 電力流通・産業システム社 太陽光発電システム事業推進統括部 太陽光発電システム技術部 技術第一担当 グループ長)

【講演概要】

平成 22 年 電気学会電子・情報・システム部門大会の企画セッション「情報・通信を中心としたスマートグリッド関連の国際標準化と海外動向」で発表した項目の中から国際標準化に向けた活動状況に関する情報を紹介する。スマートグリッドの適用例として将来、太陽光発電システムなど分散電源が大量に導入された際に想定される電力系統運用面での課題とそれを解決する為の情報・通信技術の適用案を紹介する。上記のスマートグリッドに関連し進められている技術の標準化動向とスマートグリッドで有望視されるビジネスドメインの関連性を紹介する。

【略歴】

1983 年株式会社東芝に入社し電力会社向け電力系統用監視制御システムの開発として中央給電指令所システム、系統監視制御システム、配電自動化システム、遠方監視制御システムおよび保護装置を担当。システム構成技術として高信頼化技術、高性能化技術および情報通信技術が専門分野。2009 年太陽光発電システム事業推進統括部の発足に伴い現職に移行し電力会社向けメガソーラーシステムの開発を担当。

10:10-10:30 講演 (3)「スマートコミュニティ・マネジメントシステムにおける組込みシステムの重要性和
インテグレーション上の課題」

半谷 陽一 (三菱重工業 (株) 機械・鉄構事業本部 機械・鉄構業務部 企画グループ 主席部員)

【講演概要】

国内外で実証研究が開始されたスマートコミュニティ事業において、社会インフラのインテグレーターとして参画する三菱重工業が関係する案件の概要を示した上で、当該案件に携わる講演者が、現場のプロジェクトマネージャの視点でスマートコミュニティ・マネジメントシステムに要求されている内容を概観し、それを実現する上で、日本の技術が優れていると想定される点について言及するとともに、実現上の課題を提示する。また、この課題解決に必要な打ち手 (仮説) を示し、パネルディスカッションのテーマに一石を投ずる。



【略歴】

1996 年 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 (修士)。1996-2005 年 三菱重工業にてプラントエンジニアリングに従事。2005-2009 年 株式会社 ボストン・コンサルティング・グループにて、幅広い事業分野のコンサルティングに携わる。2009 年 三菱重工業に再入社しスマートコミュニティ関連事業の企画に従事中。

10:30-10:50 講演 (4)「エネルギー技術から見たスマート・グリッド」
大和田野 芳郎 ((独) 産業技術総合研究所 環境エネルギー分野 副研究統括)

【講演概要】

国内、海外において様々に論じられているスマートグリッドについて、エネルギー技術の観点から、安定な電力供給、再生可能エネルギーの大量導入、デマンドサイドマネジメントによる省エネ等の目的と必要な技術を整理すると共に、多方面に広がりつつある将来のエネルギーシステム像についても述べる。



【略歴】

1979 年 東京大学電気工学博士課程修了、工学博士。同年 工業技術院電子技術総合研究所入所。1984-85 年 英国ラザフォードアップルトン研究所客員研究員。1999 年 電子技術総合研究所エネルギー部長。2001 年 産業技術総合研究所 電力エネルギー研究部門長。2004 年 同所 エネルギー技術部門長。2008 年 同所 研究コーディネータ (環境・エネルギー担当)。2010 年 同所 環境・エネルギー分野 副研究統括。

10:50-12:00 パネル討論 技術優位を事業優位にする知の活用
～ビジネスモデルと知財・標準マネジメント～

【討論概要】

とかく日本の研究者は、大学・企業・公的研究機関を問わず、「技術で勝てれば事業で勝てる」と思い込んでいるフシがある。そのようなモデルは既に陳腐化していないか。「プロテクノロジー時代」「プロパテント時代」は終焉を迎え、「プロイノベーション時代」「プロビジネスモデル時代」になってきていることをなぜ直視しないのか。そのビジネスモデル競争の鍵を握るのは、国際標準化である。ただし、国際標準を先導できなければ負けるが、それだけで勝てるわけではない。競争優位になるビジネスモデルを構築できるかが勝負だから、その中で標準戦略を見極める必要がある。クラウドコンピューティングの関係者が、この点をしっかり意識して研究開発を進めていることを、切に願うものである。



司会：妹尾 堅一郎（東京大学 知的資産経営総括寄附講座 特任教授／NPO法人産学連携推進機構 理事長）
【略歴】

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム株式会社を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院システム・情報経営学博士課程満期退学。産能大学、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授等を経て、2008年より現職。一橋大学大学院 MBA、青山学院大学院、放送大学、九州大学等の客員教授を兼務。内閣知財戦略本部専門調査会長、内閣国際標準化戦略タスクフォース座長、コンピュータ利用教育学会（CIEC）会長。

パネリスト：中西 宏典（経済産業省 基準認証課 課長）

長谷川 義朗（（株）東芝 電力流通・産業システム社 太陽光発電システム事業推進統括部 太陽光発電システム技術部 技術第一担当 グループ長）

略歴・写真は講演(2)「スマートグリッド関連技術の国際標準化動向とビジネスドメイン」を参照。

半谷 陽一（三菱重工業（株） 機械・鉄構事業本部 機械・鉄構業務部 企画グループ 主席部員）

略歴・写真は講演(3)「スマートコミュニティ・マネジメントシステムにおける組込みシステムの重要性とインテグレーション上の課題」を参照。

大和田野 芳郎（（独）産業技術総合研究所 環境エネルギー分野 副研究統括）

略歴・写真は講演(4)「エネルギー技術から見たスマート・グリッド」を参照。

グリーンなスパコンでグリーンな未来を創る 3月2日（水）14:30-17:00 [第1イベント会場（70周年記念講堂）]

【セッション概要】

スーパーコンピュータは、科学においては理論や実験で明らかにできない真理に迫り、技術においては高度なシミュレーションで設計や最適化を支えてきた。地球環境の危機が叫ばれる今日、スーパーコンピュータはグリーンな地球に貢献することが求められているし、またそのポテンシャルを有している。このポテンシャルのひとつの側面は、スーパーコンピュータの処理能力により地球環境の改善に資する科学技術のイノベーションに貢献することであり、もうひとつ側面は、スーパーコンピュータ自身が地球環境にやさしいグリーンなスパコンになるということである。本セッションでは、グリーンなスパコンでグリーンな未来の地球に貢献する研究において最先端で活躍されている方々を招き、スーパーコンピュータが創るグリーンな地球の未来像を探る。



司会：須田 礼仁（東京大学 情報理工学系研究科 教授）

【略歴】

1993年東京大学理学部修士課程修了。同年東京大学理学部助手。1997年名古屋大学工学研究科講師、2000年同助教授。2002年東京大学情報理工学系研究科助教授、2010年同教授。2010年現在、情報処理学会ハイパフォーマンスコンピューティング研究会主査、日本応用数理学会理事、自動チューニング研究会主査。高性能計算、数値アルゴリズム、自動チューニングの研究に従事。

14:30-14:50 講演（1）「TSUBAME2.0とJST-CRESTにおけるUltra Low-Power HPC」
松岡 聡（東京工業大学 学術国際情報センター 教授）

【講演概要】

東工大TSUBAME2.0はTSUBAME1.0の後継スーパーコンピュータであるが、僅か4年半の間に30倍の性能向上を果たしたにも関わらず、通常運用時の電力消費はTSUBAME1.0と同等であり、また世界の大規模スパコンの電力性能効率を競う「The Green 500」においても世界トップかそれに近い成績を残すことが期待されている。その背景にはJST-CREST研究領域「情報システムの超低消費電力化を目指した技術革新と統合化技術」における、松岡らの「ULP-HPC: 次世代テクノロジーのモデル化・最適化による超低消費電力ハイパフォーマンスコンピューティング」の研究があり、成果達成はそれらによるところが大きく、本講演ではその内容を紹介する。



【略歴】

博士(理学)(東京大学)。2001年より東京工業大学学術国際情報センター教授。専門は高性能システムソフトウェア・グリッド/クラウド・並列処理(GPU・省電力・高信頼)など。NAREGIプロジェクト(2003-2007)、科研特定領域・情報爆発(2006-2010)、JST-CREST Ultra Low Power HPC(2007-2011)のリーダー。2006年のスパコンTSUBAMEは我国トップを二年間維持・世界最大のGPUスパコンとなり、現在日本初のベタフロップススパコンのTSUBAME2.0を構築中。OOPSLA 2002,CCGrid2003/2006, Supercomputing 2009の論文委員長など、国際学会の要職を多々歴任。情報処理学会坂井記念賞(1999年)、学術振興会賞(2006年)、ISC Award(2008年)など受賞。欧州ISCフェロー。

14:50-15:10 講演（2）「グリーンスパコンを作る」
牧野 淳一郎（自然科学研究機構 国立天文台 天文シミュレーションプロジェクト 教授）

【講演概要】

省電力スパコンの開発には色々なアプローチがあるが、ある意味究極の方法は、演算器以外の使わない回路がない、専用化したハードウェアを作ることである。しかし、LSI開発の初期コスト、特に設計コストが莫大なものになったため、多数のアプリケーション向けにそれぞれ専用回路を開発するのは現実的ではなくなっている。次善策としては、ある程度アプリケーションレンジに対応しつつも、プロセッサの演算器以外の部分、すなわちメモリーインターフェース、キャッシュメモリ、制御回路といったものを可能な限り切り詰めることが考えられる。

我々が開発したGRAPE-DRは、トランジスタ利用効率の向上を目指したものであるが、結果的に極めて高い電力性能比を実現することになった。90nmと2010年では5年遅れ程度のプロセスを使いながら、プロセッサチップ自体の電力当り性能では45nmプロセスで製造した汎用プロセッサの10倍前後を実現した。講演では、この方向のアプローチの将来を展望したい。



【略歴】

1990年東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了。東京大学教養学部助手を経て94年より同助教授、99年より同大学大学院理学系研究科助教授、2006年6月より国立天文台教授、現在にいたる。学術博士。

15:10-15:30 講演 (3)「電極触媒反応の第一原理シミュレーション」
杉野 修 (東京大学 物性研究所 准教授)

【講演概要】

燃料電池や太陽電池は次世代のエネルギー社会を支える要素技術であるが、その基礎過程を探っていくと、電子やイオンが電荷およびエネルギーを荷って、物質中をどのように伝達するかという物質科学の大問題に行き着く。しかし、最近になってシミュレーションを用いてその詳細を明らかにしようとする研究が各地で行われるようになった。本講演では電極触媒の作用によってどのように化学エネルギーが電気エネルギーに変換されるかを追った一連の計算について紹介し、ペタフロップスの時代にはどのような研究が可能になるのかについて紹介する予定である。



【略歴】

1984 年東大理学部物理学科卒、1989 年同大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。同年 NEC 基礎研究所入社。第一原理計算の手法開発および電子材料応用等に従事。2002 年東京大学物性研究所准教授。理学博士。2000 年頃より燃料電池反応を始めとする界面電子移動反応を手掛け、現在に至る。

15:30-15:50 講演 (4)「二酸化炭素地下貯留のシミュレーション」
山本 肇 (大成建設 (株) 技術センター 土木技術研究所 地盤・岩盤研究室 主任研究員)

【講演概要】

二酸化炭素の回収・貯留 (CCS) は、火力発電所や製鉄所などの工場からの排気ガスに含まれる二酸化炭素を分離・回収し、船舶やパイプラインなどを通じて輸送し、ボーリングを通じて地層中に貯留する技術であり、地球温暖化対策の切り札の一つと考えられている。この貯留事業の経済性や安全性を評価するアプローチとして、数値シミュレーション技術は非常に重要である。本講演では、地球シミュレータなどの超並列スパコンを用い、地中に貯留された超臨界 CO₂ の挙動をシミュレートした事例を紹介する。



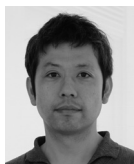
【略歴】

1995 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了 (地球システム工学専攻)。博士 (工学)。同年、大成建設株式会社入社。現在は、同社 技術センター 土木技術研究所 主任研究員。2003 ~ 04 年 ローレンスバークレー国立研究所 客員研究員。地下水の流れの調査や数値解析の研究をベースに、建設工事の周辺環境保全対策や放射性廃棄物の地層処分研究などに従事。土木学会、地盤工学会、アメリカ地球物理学会、各会員。

15:50-16:10 講演 (5)「次期 IPCC 報告書へ向けた温暖化予測実験 ―気候変動対策への貢献を目指して―」
河宮 未知生 ((独) 海洋研究開発機構 地球環境変動領域 主任研究員)

【講演概要】

2007 年に発行された IPCC 第 4 次報告書では、近年の温暖化傾向が人為起源であることがほぼ断定され話題になった。次の報告書は 2013 年に発行予定であり、それに向けた温暖化予測実験が進行中である。次期報告書で大きなテーマになると見られているのは、30 年程度の時間スケールを念頭に置いた近未来予測や、炭素循環などの生物・化学過程を考慮にいたした長期予測、集中豪雨や渇水などの極端現象予測であり、温暖化の緩和抑制策・適応策への貢献を強く意識したものとなっている。講演では最新の予測結果を紹介するとともに、温暖化予測に対して「地球シミュレータ」が果たす役割や、次世代計算機「京」が占める位置付けについても触れたい。



【略歴】

専門：気候モデリング・海洋物理学。1969 年愛知県生まれ。東京大学大学院博士課程修了。東京大学気候システム研究センター研究員、独キール海洋学研究所研究員などを経て現職。その間、東京大学客員准教授、東北大学非常勤講師などを歴任。日本海洋学会幹事、博士 (理学)。著書：「地球温暖化はどこまで解明されたか」(共著、丸善)、「計算力学シミュレーションハンドブック」(共著、丸善)、「Climate Sense」(共著、Tudor Rose)

16:10-17:00 パネル討論「グリーンなスパコンでグリーンな未来を創る」

【討論概要】

巨艦巨砲主義的とも言われるスパコンであるが、2つの意味でグリーン化に貢献している。第1のグリーン化はスパコンそのものの省電力化、第2のグリーン化はスパコンを用いた省エネルギー化・グリーン化のための科学技術シミュレーション・大規模データ処理である。本パネルでは、「イマ」の最先端を走る方々によって、グリーンスパコンとグリーンシミュレーションの「ミライ」を明らかにする。すなわち、スパコンをはじめとする情報技術の地球環境への貢献の可能性。また、それを実現するために必要となる超省電力超高性能ハードウェア技術、高性能並列化ソフトウェア技術、数値アルゴリズムとシミュレーション手法、物理現象のモデリング手法、大規模データ処理によるシミュレーションモデルの精緻化およびシミュレーション結果の分析等の研究課題を論じ、スパコンによる地球のグリーン化への道筋を指し示す。



司会：佐藤 三久 (筑波大学 計算科学研究センター 教授)

【略歴】

1959 年生。1982 年東京大学理学部情報科学科卒業。1986 年同大学院理学系研究科博士課程中退。新技術事業団研究員を経て、1991 年、通産省電子技術総合研究所入所。1996 年、新情報処理開発機構並列分散システムパフォーマンス研究室 室長。2001 年より、筑波大学システム情報工学研究科 教授。2007 年より、同大学計算科学研究センターセンター長。理学博士。2009 年度より、情報処理学会理事、並列処理アーキテクチャ、言語およびコンパイラ、計算機性能評価技術、グリッドコンピューティング等の研究に従事。

パネリスト：松岡 聡（東京工業大学 学術国際情報センター 教授）

略歴・写真は講演(1)「TSUBAME2.0とJST-CRESTにおけるUltra Low-Power HPC」を参照。

牧野 淳一郎（自然科学研究機構 国立天文台 天文シミュレーションプロジェクト 教授）

略歴・写真は講演(2)「グリーンスパコンを作る」を参照。

杉野 修（東京大学 物性研究所 准教授）

略歴・写真は講演(3)「電極触媒反応の第一原理シミュレーション」を参照。

山本 肇（大成建設（株） 技術センター 土木技術研究所 地盤・岩盤研究室 主任研究員）

略歴・写真は講演(4)「二酸化炭素地下貯留のシミュレーション」を参照。

河宮 未知生（（独）海洋研究開発機構 地球環境変動領域 主任研究員）

略歴・写真は講演(5)「次期IPCC報告書へ向けた温暖化予測実験－気候変動対策への貢献を目指して－」を参照。

グリーン・ライフイノベーションと国際標準 3月3日（木）9:30-12:00 [第1イベント会場（70周年記念講堂）]

[セッション概要]

国際標準化や知的財産化は研究開発の成果の出口のひとつであるとともに、グローバル市場への入り口のひとつでもある。技術標準化効果は市場拡大、知的財産権効果はシェア拡大である。我が国の新成長戦略は、環境・医療など、日本を道場として、グローバル事業戦略と連動した知的財産権重視の国際標準化活動を行い、国際市場性を満たす情報通信システム構築やサービスの提供を行っていくことである。そこで、過去のファクシミリや映像情報符号化などの成功例を踏まえて、環境・医療などの新たなイノベーション分野の標準化ビジネスモデルに対して、情報通信技術が果たすべき役割について、当該分野の第一線の研究者を交えて産官学で討論いただく。



司会：吉川 正俊（京都大学 大学院情報学研究科社会情報学専攻 教授）

[略歴]

1980年 京都大学工学部情報工学科卒業。1985年 同博士後期課程修了。京都産業大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学を経て、2006年 京都大学大学院情報学研究科教授。2009年～2011年 本会理事。データベース、XML、Webなどの研究に従事。

9:30-9:35 オープニング

9:35-10:15 基調講演「新成長戦略の推進に向けた産学官への期待」
野間口 有（（独）産業技術総合研究所 理事長／JISC 会長）

[講演概要]

経済をはじめ諸々の社会システムのグローバル化が進展して止まない現代にあつては、先進国、途上国を問わず成長戦略の成否が、その国の競争力を決定づける。情報処理技術は、これまで世界の成長を支えてきたが、引き続き技術そのものの進化及び他の技術との連携融合によって新たなイノベーションを生み出す力がある。社会の新たな可能性の創造、安全安心及び高効率社会の実現に貢献するべきである。わが国の成長戦略は、単なる規模の拡大を志向するのではなく、環境との共生などに配慮したバランスの取れたものとなっている。その実現のためには、産学官連携によって多分野の人材が参加したオープンイノベーションを推進が不可欠である。国際標準化など、グローバル競争を意識した出口戦略が重要である。



[略歴]

1940年11月18日生まれ。1965年3月 京都大学大学院理学研究科修士課程修了。1965年4月 三菱電機（株）に入社。1975年3月 工学博士。1991年12月 材料デバイス研究所長。1995年6月 取締役 情報技術総合研究所長。1997年6月 常務取締役 開発本部長。2001年4月 代表取締役 専務取締役。インフォメーションシステム事業推進本部長。2002年4月 代表取締役 取締役社長。2006年4月 取締役会長。2009年4月 産業技術総合研究所 理事長就任。現在に至る。

10:20-12:00 パネル討論「グリーン・ライフイノベーションと国際標準」

[討論概要]

低炭素化社会の実現に向けて情報処理技術の果たすべき役割は大きい。昨今、社会・公共・生活インフラの基盤となるエネルギーと情報ネットワークのスマートな統合とサービスの提供が緊急の課題となっている。人類の未来のためのグリーン・ライフイノベーションは、国際的合意によるオープンな環境で推進され、市場性のあるグローバルなビジネスへと成長する事が期待されている。産官学連携による学術、教育、産業、標準化分野における情報処理技術の高度化と人材育成への取組みが成長戦略の要となる。本特別セッションでは、ITを活用したエネルギーの情報化、クラウドネットワークにおけるグリーンコンピューティングとプラットフォーム、国民IDによるスマート認証とライフイノベーション、環境に配慮したもののづくりと知的財産権の強化、国際標準化とグリーンICT技術のアジア展開の視点から有識者の提言を戴き、未来社会に向けたロードマップについて議論する。



司会：村上 篤道（三菱電機（株） 開発本部 フェロー）
「オープンイノベーションと知的財産権」

[略歴]

1971年三菱電機（株）入社。パターン認識、高能率符号化、マルチメディア通信・デジタル放送・蓄積・高精細表示技術の研究開発を先導し、ITU・ISO IEC/MPEGを始めとする国際標準策定に貢献。IEEE論文賞、映像情報メディア学会丹羽高柳功績賞、電子情報通信学会業績賞、全国発明表彰特許庁長官賞、米国R&D100賞等を受賞。博士（情報科学）、IEEEフェロー、電子情報通信学会監事、日本工学会アカデミー会員、情報処理学会副会長。

パネリスト：野間口 有（(独) 産業技術総合研究所 理事長 / JISC 会長）
「ものづくりと国際標準」

略歴・写真は基調講演「新成長戦略の推進に向けた産学官への期待」を参照。



パネリスト：松山 隆司（京都大学 情報学研究科知能情報学専攻 教授）
「グリーンイノベーションとエネルギーの情報化」

【略歴】

1976 年京大大学院修士課程修了。京大助手、東北大助教授、岡山大教授を経て 1995 年より京大大学院電子通信工学専攻教授。現在同大学院情報学研究科知能情報学専攻教授。2002 年学術情報メディアセンター長、京都大学評議員、2005 年情報環境機構長、2008 年副理事長。工博、画像理解、分散協調視覚、3 次元ビデオの研究に従事。最近では「人間と共生する情報システム」、「エネルギーの情報化」の実現に興味を持っている。文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）ほか受賞多数。情報処理学会元理事、国際パターン認識連合、情報処理学会、電子情報通信学会フェロー、日本学術会議連携会員



パネリスト：関口 智嗣（(独) 産業技術総合研究所 情報技術研究部門 研究部門長）
「グリーン IT とクラウドコンピューティング」

【略歴】

独立行政法人 産業技術総合研究所、情報技術研究部門長。長年に亘り並列処理技術、スーパーコンピュータ技術、グリッドやクラウドコンピューティングなどに関する研究に従事。市村賞、文部科学大臣表彰等を受賞。日本学術会議連携会員、グリッド協議会会長、情報処理学会理事、日本応用数理学会評議員、Open Grid Forum 理事、S I A M、IEEE 各会員。著書に『グリッド時代～技術が起こすサービス革新』（アスキー）などがある。



パネリスト：井上 友二（(株) トヨタ IT 開発センター 代表取締役会長）
「グリーン ICT アジア」

【略歴】

1973 年 九大大学院電子工学修士課程修了。同年電電公社に入社し、網同期、デジタル NW、NW アーキテクチャにかかわる研究開発と国際標準化に従事。2000 年 NTT データ取締役、2002 年 NTT 取締役で R&D 責任者。2007 年（社）TTC 理事長。2010 年（株）トヨタ IT 開発センター代表取締役会長（現職）。工博、IEICE 及び IEEE フェロー。モンゴル科学技術大学名誉教授など。



パネリスト：丸山 不二夫（早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 客員教授）
「クラウドプラットフォームと Android」

【略歴】

東京大学教育学部卒。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。稚内北星学園短期大学教授。同短大の四年制大学移行に伴い、稚内北星学園大学学長を二期務める。その後、早稲田大学情報生産システム研究科客員教授、公立はこだて未来大学情報科学部特任教授。日本 Java ユーザ会会長。クラウド研究会代表。日本 Android の会会長。



パネリスト：大山 永昭（東京工業大学 大学院理工学研究科附属像情報工学研究施設 教授）
「ライフイノベーションと国民 ID」

【略歴】

1982 年東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報工学専攻博士課程修了 1983 年東京工業大学工学部附属像情報工学研究施設助手、1986 年～1987 年アリゾナ大学放射線科研究員（画像再構成についての研究）1988 年東京工業大学工学部附属像情報工学研究施設助教授を経て 1993 年同教授となり 2000 年 4 月フロンティア創造共同研究センター情報系研究機能教授 2010 年 4 月像情報工学研究所教授となり現在に至る。専門分野は医用画像工学、光情報処理、社会情報流通システム。工学博士。

プライバシー保護データマイニング

3 月 3 日（木）15:30-17:30 [第 1 イベント会場（70 周年記念講堂）]

【セッション概要】

インターネットには情報が溢れているが、実はインターネットに公開されない組織内情報を統合してデータマイニングを行えば、企業活動や社会生活に役立つ情報が得られる。たとえば、複数の医療機関の情報を統合してデータマイニングすれば、伝染病患者の発生源の特定などクリティカルな情報が得られる。しかし、企業の機密保持、個人情報保護などによって、このような複数組織に渡るマイニングはできない。そこで、組織内の情報を外へ漏らすことなく、データマイニングの結果だけを複数組織で共有できるプライバシー保護データマイニングが注目されている。この企画では、技術の現状に関する基調講演に続いてパネルディスカッションを行い、この分野の可能性、課題などについて探っていく。



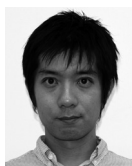
司会：中川 裕志（東京大学 情報基盤センター 教授）
【略歴】

1975 年東京大学工学部卒業。1980 年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。1975 年より 1999 年まで横浜国立大学工学部電子情報工学科（教授）。1999 年より東京大学情報基盤センター教授。2006 年 -2009 年本学会自然言語処理研究会（NL）主査。統計的機械学習、自然言語処理の研究を行っている。

15:30-16:20 講演「秘密情報が埋め込まれたネットワーク構造情報の機械学習」
佐久間 淳（筑波大学 システム情報工学研究科 准教授）

【講演概要】

ソーシャルネットワークサービスの発展に象徴されるように、人間同士の交流・経済関係や人間とサービスとの関係など、個人の生活に密接に関係したネットワーク構造情報が蓄積されつつあります。詳細度の高い個人情報悪用を防ぐための慎重な取り扱いを要しますが、私たちの生活を支援する画期的なサービスを生み出す源泉ともなります。本研究では、ネットワーク構造に埋め込まれた秘密情報の保護と活用を両立させる機械学習について紹介します。



【略歴】

2003年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。同年4月日本アイ・ビー・エム株式会社入社、東京基礎研究所に配属。2004年7月、東京工業大学総合理工学研究科助手、2007年4月同助教、2009年4月、筑波大学システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻准教授、2009年10月、科学技術振興事業団さきがけ研究員（知の共生と情報社会）兼任、現在に至る。機械学習と知識発見、セキュリティとプライバシーの研究に従事。

16:30-17:30 パネル討論「プライバシー保護データマイニングの方向性と将来性」
司 会：中川 裕志（東京大学 情報基盤センター 教授）

略歴・写真は「プライバシー保護データマイニング」司会紹介を参照。



パネリスト：神宮 敏弘（独）産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門 情報数理グループ 主任研究員）

【略歴】

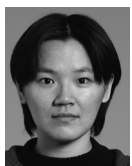
1992年京都大学情報工学科卒業。1994年同大学院修士課程終了。同年電子技術総合研究所入所。2001年博士（情報学）。同年電子技術総合研究所は産業技術総合研究所へ再編。機械学習やデータマイニング、特にクラスタリング、順序変量、転移学習、推薦システムに関する研究に従事。



パネリスト：高崎 晴夫（株）KDDI 総研 取締役 主席研究員）

【略歴】

1980年3月東北大学法学部卒。同年4月KDDI（旧KDD）入社。事業部を経て、2005年12月より現職。経産省の情報大航海プロジェクトでパーソナル情報の二次利用に関する消費者受容性に関する調査を担当。職務の傍ら、九州大学経済学府博士後期課程に所属し、ミクロ経済学及び情報経済学を研究中。学習院大学経済学部非常勤講師。玉川大学非常勤講師就任のほか、情報通信学会事業企画委員会委員（H22.9～）、次世代パーソナルサービス推進コンソーシアム、次世代ネットワーク推進フォーラムのWGメンバーに所属。



パネリスト：山口 利恵（独）産業技術総合研究所 内閣官房情報セキュリティセンター 研究員・センター員）

【略歴】

2003年 津田塾大学理学研究科数学専攻修士課程修了、2006年 東京大学大学院情報理工学系研究科博士後期課程修了。博士（情報理工学）。2006年4月より独立行政法人 産業技術総合研究所 情報セキュリティ研究センター研究員、2007年11月より内閣官房情報セキュリティセンター員 兼務。情報セキュリティ一般の研究を行う。特に、プライバシーに関して研究を行っている。



パネリスト：菊池 浩明（東海大学 情報通信学部 教授）

【略歴】

1990 明治大博士前期課程修了。1990 富士通研究所勤務。1994 東海大学工学部 電気工学科助手、2008 同情報通信学部 通信ネットワーク工学科 教授。2009 より本学会コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC) 主査。2010 情報処理学会 JIP Outstanding Paper Award。電子情報通信学会、日本知能情報ファジィ学会、IEEE、ACM 各会員。情報処理学会フェロー。

グリーン IT の先進的な取り組み ～データセンタのエネルギー効率向上について～
3月4日（金）9:30-12:00 [第1 イベント会場（70周年記念講堂）]

【セッション概要】

高度情報化社会における情報量の爆発的増加とともに、IT機器のエネルギー消費の増大についても意識が高まっている。特に、IT機器を大量に所有するデータセンタの省エネ化の取組は、現在非常に注目を浴びているところである。グリーンIT推進協議会では、IT機器・エレクトロニクス機器の省エネについて各種の取組を進めているが、特にデータセンタについては、使用するIT機器及び付帯ファシリティ設備の観点から省エネ効果を予測してきた。また、データセンタのエネルギー効率指標についても、国際的指標を開発すべく米欧と協議を進めているところである。本セッションでは、こうしたデータセンタの省エネ化について、先進的に取り組んでいる企業、研究機関の皆様にご講演をいただく。



司会：縣 敦子（社）電子情報技術産業協会 環境部 グループ長）

【略歴】

慶應義塾大学卒業。家電メーカーに勤務後、社団法人電子情報技術産業協会にてコンピュータの省エネ法、国際エネルギースタンププログラム、欧州および中国の化学物質規制等、環境関連の業務に従事。現在は環境部グリーンIT推進室で「グリーンIT推進協議会」事務局を担当している。

9:30-10:00 **基調講演「高度情報化社会の省エネルギー化におけるグリーン IT の貢献」**
黒田 健児（グリーン IT 推進協議会 政策委員会委員長／三菱電機（株）常務執行役 インフォメーションシステム事業推進本部長）

【講演概要】

地球温暖化対策において、IT 産業は自らの事業における CO₂ 排出削減に努めるだけでなく、社会全体のエネルギー使用の効率化を推進する役割を担っている。グリーン IT 推進協議会は、こうしたイニシアチブを実現するための産官学のパートナーシップとして、2008 年に 7 つの業界団体を発起人として設立された。IT 機器自身、または IT 機器による省エネ効果の予測等をもとに、スマートな社会の構築に向けて様々な情報発信を行っている。特に、膨大な情報処理を遂行し社会経済の中核となっている「データセンタ」のエネルギー効率に関する研究は、世界の先端をいくものであり、今後ますます高度化する情報化社会をサステナブルなものとして維持していくために、必須のものであると考えている。



【略歴】

1974 年 3 月 東京大学工学部卒業。1974 年 4 月 三菱電機株式会社入社。1997 年 6 月 同社 情報通信システム開発センター高性能サーバ開発部長。1999 年 10 月 同社 情報システム製作所サーバ部長。2001 年 4 月 同社 情報通信システム開発センター長。2002 年 4 月 同社 情報技術総合研究所マルチメディア技術部門統括。2003 年 4 月 同社 開発本部開発業務部長。2006 年 4 月 同社 執行役員 インフォメーションシステム事業推進本部副本部長。2009 年 4 月 同社 常務執行役 インフォメーションシステム事業推進本部本部長。

10:00-10:30 **講演（1）「環境配慮型データセンタに向けた実践と技術開発」**
郷 博（(株)日立製作所 情報・通信システム社 IT サービス事業部 データセンタ本部 本部長）

【講演概要】

日立グループでは、「地球温暖化の防止」「資源の循環的な利用」「生態系の保全」を三本柱とする環境ビジョンに基づき、その総力を結集するデータセンタ省電力化プロジェクト CoolCenter50 を 2007 年から推進している。データセンタのエネルギー効率向上に対しては、例えば、あらゆる分電盤の電力を自動計測するなど、古くからセンタ環境の多面的な可視化を実現し、改善の PDCA を実行している。その中で PUE の挙動を分析することで、問題の発見や対策に役立っている。また、さらなる効率向上を目指し、外気冷房や IT・設備連係管理など新たな技術開発にも取り組んでいる。こうした社内の実績をソリューションとしてまとめ、お客様のデータセンタ効率化にも貢献している。



【略歴】

1985 年 株式会社日立製作所入社。メインフレームやスーパーコンピュータをはじめとしたサーバー用途の実装技術開発を経て、データセンタの省電力化技術開発を主導。また、データセンタ向け省電力化技術の国内外展開を取りまとめ、現在、データセンタ事業の推進に従事している。

10:30-11:00 **講演（2）「環境配慮型データセンタの構築技術」**
八木 悟（富士通(株)アウトソーシング事業本部プロセス改革統括部長兼グリーン・データセンタ・プロジェクト室長）

【講演概要】

「環境配慮型データセンタの構築技術」の全体フレームワークを示し、そのフレームにそって、各構築技術を紹介する。データセンタのエネルギー消費状況を見えるようにし、IT エネルギーを最適に配置し、少ないエネルギーで最適に空調する技術を解説する。



【略歴】

1980 年 4 月富士通入社。日本語情報システム、アプリケーション開発技術、2000 年対応、ナレッジマネジメント等のシステム技術適用に従事。後に、データセンタ運用技術（IT SM 基盤）、環境配慮型データセンタの構築技術の開発・適用に従事。現在に至る。

11:00-11:30 **講演（3）「グリーンネットワーク・システム技術研究開発プロジェクトの概要」**
松井 俊浩（(独)産業技術総合研究所 情報通信・エレクトロニクス分野副研究統括 NEDO グリーンネットワーク PL）

【講演概要】

IT の進展に伴い、IT 機器が総発電量の 5% を占めるまでに至っている。今後、さらに急上昇が予想されるのは、データセンタとネットワークである。経済産業省と NEDO は、グリーン IT プロジェクトの一環として、データセンタの冷却や電源の高効率化やクラウドコンピューティングの動的最適化による省エネ、電子ルータの近未来の省エネ化や光パスネットワーク導入による大幅な省エネ化に必要な技術開発を進めている。9 つのサブプロジェクトの概要を発表する。



【略歴】

1982 年東京大学大学院情報工学修士。1991 年同大学院工学博士。1982 年より電総研においてマルチメディアディスプレイ、オブジェクト指向言語 EusLisp、幾何モデラー、移動型オフィスロボットなどの研究。1991 年から 1999 年にかけて、米国スタンフォード大学、MIT、オーストラリア国立大学などの客員研究員。2003 年より、産総研デジタルヒューマン研究センター副センター長。現在は、産総研情報通信エレクトロニクス分野副研究統括、日本ロボット学会フェロー。

11:30-12:00 講演 (4)「日本発のデータセンタ省エネ新指標D P P Eの紹介」
上笠 健 (株)NTTデータ ビジネスソリューション事業本部データセンタビジネスユニット ITM ソリューション
統括部 統括部長)

【講演概要】

情報量の増大によりIT化需要は益々増加傾向にある、それに伴いデータセンタの需要増加、技術の進歩による機器の高密度化等によりデータセンタ全体のエネルギー消費も増え続けている。地球温暖化問題の高まりの中、データセンタはより高いエネルギー効率で運用されることが望まれている。目標を立て省エネを進めるためには指標が必要となる。一般的にデータセンタの省エネ指標は、PUEが用いられることが多いが、PUEのみではIT機器のエネルギー効率等は評価できない。グリーンIT推進協議会では、データセンタの様々な省エネ努力を評価でき、また総合的なデータセンタのエネルギー効率を表せる新指標D P P Eを開発し、国内外に提唱している。



【略歴】

1986年(株)NTTデータ入社 技術開発部門、ネットワーク設計部門を経て、2007年よりデータセンタビジネスユニットにて、データセンタの開発/運用部門を担当。2009年よりグリーンIT推進協議会にてデータセンタ新指標開発WGの主査を務める。

医療クラウドは患者生存に貢献できるかー情報通信医学への序章ー
3月4日(金)14:30-16:30 [第1イベント会場(70周年記念講堂)]

【セッション概要】

近年、電子カルテや保険請求の電子化等、医学界では診療データの電子化が急激に進んだ。最近、これら臨床データにオントロジー構造を与えデータを二次利用することにより、医療の効率化や統計データの収集を行うなど応用が考案されつつある。本セッションでは、遠隔医療学会を中心に検討されている医療データ交換の標準化動向を俯瞰し、ライフログによるデータ収集手法との互換性、実際の臨床現場からのICTへの期待、患者からの要求事項の4つの視点からの講演をもとに、医学領域でのクラウドコンピューティングが医療をどのように変革していく可能性があるかを討論する。



司会: 中川 晋一 (独)情報通信研究機構 主任研究員)

【略歴】

1988年滋賀医大、1996年京大院(医)、2010年東工大院(理工学)終了。医師、博士(医学・学術)。1996年国立がんセンター研究所、1998年より情報通信研究機構にて次世代インターネットGリーダ、APIIテクノロジーセンター長等を歴任。現在新世代ネットワーク研究センター主任研究員。2009年情報処理学会学会活動貢献賞受賞、2009年度本誌CWG主査

14:30-15:00 基調講演「医療データの有効活用に向けて - クラウドコンピューティングへの期待 -」
東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学 健康福祉学部 教授)

【講演概要】

医療の電子化に伴い、電子カルテの普及率は主要病院の半数を超えるまでになった。一方、様々な診療科で顕在化した医師の不足と偏在を補うための遠隔医療の導入も進んだ。従来院内に閉じていた電子化診療情報の利用にも、地域で交換し活用したいというニーズが加わってきた。その解のひとつとしてクラウドコンピューティングが登場したが、情報の共通理解を含むデータ互換性が課題と認識され、情報技術にその解決が期待されている。



【略歴】

1976年オリンパス光学工業(株)入社。自動血液分析装置、臨床検査システム、テレパソロジーシステム、光カード健康管理システムなどの開発に従事。2004年高崎健康福祉大学健康福祉学部教授、現在に至る。博士(工学)。日本遠隔医療学会理事、日本IHE協会理事、群馬健康クラウドネットワーク協議会理事長。

15:00-15:20 講演 (1)「モバイルによるライフログの医療データ貢献への可能性」
大橋 正良 (ATRメディア情報科学研究所 所長)

【講演概要】

ICT提供側からの視点として、モバイルによるライフログを活用することにより、個人の健康/医療データを蓄積し、これを医療分野に貢献する可能性について、これまでの研究開発事例を踏まえ議論を行う。



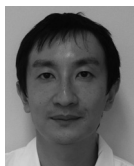
【略歴】

1983年京大修了。同年国際電信電話(株)(現KDDI)入社。2008年よりATRメディア情報科学研究所所長。この間、移動体衛星通信、IMT-2000、ユビキタスネットワークの研究開発に従事。工博。

15:20-15:40 講演 (2)「循環器疾患治療とICT－臨床家としての視点－」
八尾 武憲 (岡村記念病院 医員)

【講演概要】

循環器疾患の診断において、12誘導心電図は最も簡便な検査でありながら多くの重要な情報を得ることができる。1枚の心電図が患者の生死を左右することは日常の出来事であり、循環器医にとって心電計は必須の検査機器であるが、ICTの観点から心電計を見ると現在の医療分野におけるICTのさまざまな問題点が浮かび上がってくる。大規模な医療情報システム導入が進む一方、「医療情報」というだけでA4サイズの心電図1枚すら簡単に情報共有できない現状において、「ICTが患者を救う」ために必要なこととは何かを医療現場から提言する。



【略歴】

2000年滋賀医大卒、2005年同大学院修了。医師、博士(医学)、同附属病院循環器科医員を経て2009年より岡村記念病院循環器科循環器内科医員(不整脈)。日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、第二種情報処理技術者

15:40-16:00 講演 (3)「医療のICT化は患者生存に貢献できるか」
中川 晋一 ((独) 情報通信研究機構 主任研究員)

略歴・写真は「医療クラウドは患者生存に貢献できるか－情報通信医学への序章－」司会紹介を参照。

【講演概要】

ユビキタスからクラウドへと情報の可搬性と検索可能性に関する情報インフラの発達は医療における様々な問題を解決した・しつつあるように扱われるが、会誌49(8)で指摘したように、「都会の公衆トイレの中での孤独死」にICTが貢献できるとは言えない。このようなClinicalな視点から「ICTによる患者生存への貢献とは何か」に関する問題点の整理・提案を行う。

16:00-16:30 パネル討論「医療クラウドは患者生存に貢献できるか」

【討論概要】

1990年代から始まった医療のデジタル化は、電子カルテや電子レセプトの実用化と実運用、遠隔医療技術の発達により、診断・手術・情報管理のための基本的技術が実用化されたといえる。しかし、本セッションで指摘するように、患者のための医療技術として定着するために、運用指針、情報共有の手順など実際の医療側の要件を整理し総合的に「役に立つ」根拠を示してゆく必要がある。本討論では今後発展が期待される医療クラウドコンピューティングが実社会・実医療に対して役立つシステムとなるための必要要件について検討する。

司 会：中川 晋一 ((独) 情報通信研究機構 主任研究員)

略歴・写真は「医療クラウドは患者生存に貢献できるか－情報通信医学への序章－」司会紹介を参照。

パネリスト：東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学 健康福祉学部 教授)

略歴・写真は基調講演「医療データの有効活用に向けて－クラウドコンピューティングへの期待－」を参照。

大橋 正良 (ATRメディア情報科学研究所 所長)

略歴・写真は講演(1)「モバイルによるライフログの医療データ貢献への可能性」を参照。

八尾 武憲 (岡村記念病院 医員)

略歴・写真は講演(2)「循環器疾患治療とICT－臨床家としての視点－」を参照。

私の詩と真実

3月2日(水) 9:30-12:30 [第2イベント会場 (西5号館講義棟 2F W521)]

【セッション概要】

情報処理学会歴史特別委員会ではオーラルヒストリのインタビューを進めているが、大先輩のお話は毎回大変示唆に富み印象的なもので、これを広く会員の方々に、特に若い世代の会員に直接お聞かせできないものかと検討してきた。そして海外の事例なども参考にし、コンピュータパイオニアあるいは情報処理学会会長経験者、またはそれらに相当する経歴の大先輩をお招きして、若い頃の研究生生活の思い出や今の若い世代に伝えたい経験談などをお話いただくシンポジウムを企画した。なお本シンポジウムは第70回大会から開催しており今回が第4回目となる。



司会：和田 英一 ((株) I I J イノベーションインスティテュート 所長)

【略歴】

1955年東京大学理学部物理学科卒業。1957年修士課程終了。1957年～1964年小野田セメント調査部統計課。1964年～1992年東京大学工学部計数工学科。1992年～2002年富士通研究所。2002年～IJJ技術研究所。IFIP WG2.1メンバー、WIDEプロジェクトメンバー、情報処理学会プログラミング・シンポジウム委員会運営委員長、情報処理学会会誌編集長などを歴任。

9:30-10:10 【第1部】情報処理技術遺産認定式

【概要】

情報処理技術遺産と分散コンピュータ博物館の認定を今年も行います。3回目となる今回もわが国の貴重な技術遺産の所有者および貴重な技術遺産を保存、展示しているコレクションの責任者をお招きして情報処理学会会長から認定証をお渡します。

10:20-11:20 **【第2部】シンポジウム「私の詩と真実」講演（1）**
「設計地獄から設計天国へ」－回路設計自動化の夢を追って（Dichtung）CADの門を開く（Wahrheit）－
渡部 和（創価大学 名誉教授）

【講演概要】

私がNECに入社した当時（'53）、通信システムの戦後復興の柱は周波数分割多重通信で、濾波器はその中核機器であった。その担当を命ぜられた私は従来の近似的簡便設計法を排し、アベル積分論に準拠した数学的設計理論を創造し、基礎理論に基づく合理的設計こそ技術の王道であると信じて全ての設計を数学（回路網理論）で設計する決心をして電動計算器にしがみつき死に物狂いで殺到する設計要求（計算）と戦った。数値計算は技術の王道を阻む断崖絶壁であり、これを克服しなければ技術の未来はないと思いつめ、自動化する道を探って計算機を構想し、その実現に身を挺した。幾多の試練を経て1960年頃に夢に見た計算機が稼働し、設計自動化システムが完成し、どんな設計要求も直ちに解決できる様になった。これは設計業務の革命であり、それまでの設計地獄は設計天国となった。



【略歴】

1953年京都大学工学部電気工学科卒業、日本電気に入社。伝送通信事業部で濾波器設計、回路理論研究、計算機開発に従事。1968年中央研究所コンピュータ・サイエンス研究部長、1976年情報処理小型システム事業部長。1980年同社支配人。1991年創価大学教授（工学部情報システム学科長、大学院工学研究科情報システム学専攻長、工学部長歴任）。2005年創価大学名誉教授。信学会稲田賞（1960）、論文賞（1961、1967、1968）、著述賞（1968）、IEEE Fellow（1971）、IEEE Centennial Medal（1984）、東京都科学技術功労賞（1990）、IEEE CAS Van Valkenberg 賞（1991）、情報処理学会名誉会員、The IEEE Third Millennium Medal、Circuits and Systems Society Golden Jubilee Medal、電子情報通信学会フェロー（2000）、IEEE-Kirihioff 賞（2010）。

11:30-12:30 **【第2部】シンポジウム「私の詩と真実」講演（2）**
「変化の時代に求められる情報教育」
相磯 秀夫（東京工科大学 理事）

【講演概要】

半世紀余にわたる情報系学術分野における教育・研究の体験を振り返り、私自身の移り変わり、教育・研究の変遷、大学・産業・政府の役割、大学改革の成果と期待などについて述べます。私は大学に進学して初めて高等教育の意義を知り、研究所勤務と留学を経験して基礎教育と先端研究との関係を理解し、研究者として生きる道を選びました。その後、大学人に転身しましたが、それまでの体験は学生の育成や先端研究のあり方に大いに役立ちました。また、新しい情報系学問分野の開拓、延いては大学改革にも努力してきました。特に人材育成に際して、個性（親譲りの能力）・運・努力・人間関係も人生の要として重要で、それらを如何に活かすかについても述べたいと考えています。



【略歴】

1955年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業。1957年同大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。1957年通商産業省工業技術院電気試験所電子部技官。1960年米国イリノイ大学計算機研究所研究助手。1971年慶應義塾大学工学部教授。1982年英国ケンブリッジ大学ダウニングカレッジ及び計算機研究所訪問教授。1990年慶應義塾大学環境情報学部学部長。1994年同大学大学院政策・メディア研究科委員長。1999年東京工科大学メディア学部学部長。同大学学長。現在同大学理事。1992年情報処理学会副会長。

The Art of Algorithms for Massive Data Processing
ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム（第2回）
3月2日（水）14:30-17:30 [第2イベント会場（西5号館講義棟 2F W521）]

【セッション概要】

まずERATO 湊離散構造処理系プロジェクトの位置づけ、研究領域、最近の状況について述べる。次に、本プロジェクトの重要課題の1つである、超大規模データを扱うためのアルゴリズム技術に関する最近の話題を中心とした基調講演を行う。引き続き、ERATO メンバおよび共同研究関係者の最新の研究内容5～10件をポスターセッションにより紹介し、参加者同士の実質的な技術討論を行うことにより、本研究分野のさらなる発展を目指す。



司会：山中 克久（電気通信大学 大学院情報システム学研究科 助教）

【略歴】

2007年群馬大学大学院 工学研究科 博士後期課程修了 博士（工学）。2008年 電気通信大学 大学院情報システム学研究科 助教。専門は、アルゴリズム理論、グラフ理論。

14:30-14:35 **オープニング**

14:35-14:55 **講演（1）「ERATO プロジェクトの立ち上げと研究の進展状況について」**
湊 真一（北海道大学 大学院情報科学研究科 教授）

【講演概要】

計算機は、産業プロセスの最適化や解析、マーケティング、バイオインフォマティクスなど、様々な情報処理に活用されているが、近年の爆発的に増大している大規模データを処理するためには、計算機ハードウェアの高速化だけでなく、膨大な離散構造データを数学的に簡約化し効率よく計算する技術の重要性が高まっている。今年度より開始されたERATO 湊離散構造処理系プロジェクトでは、基本的な離散構造である論理関数を処理するBDD（Binary Decision Diagram）と、その進化形であるZDD（Zero-Suppressed BDD）を基盤とした離散構造処理系の研究に取り組んでいる。本講演では、ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトの初年度からの立ち上げ状況について述べ、最近の研究の進展状況について説明する。



【略歴】

1988年京都大学工学部情報工学科卒業、1990年同大学大学院修士課程、1995年博士課程（社会人）修了。1990年日本電信電話（株）入社。NTT研究所にて大規模論理データ処理アルゴリズムの研究に従事。2004年北海道大学大学院情報科学研究科 助教授。2010年10月より同教授。現在に至る。2009年10月よりJST ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト研究総括（兼務）。BDD（二分決定グラフ）を用いた大規模離散構造の演算処理に興味を持つ。情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会、IEEE 各会員。博士（工学）。

14:55-15:25 **講演 (2-1) 「複合ソート法による高速な全ペア類似度検索」**
津田 宏治 (産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター 主任研究員)

【講演概要】

近年、画像や信号などを、数十ビット程度のスケッチとよばれるビット列で表す手法が、多く提案されている。ここから、半教師つき学習などに必要な類似度ネットワークを作成するには、ハミング距離の意味で近いペアを網羅的に発見する必要がある。しかし、全てのペアに関して距離を計算する方法は遅すぎ、三角不等式を用いて 枝刈りをする方法を用いても十分な速度が得られない。本発表では、アイテムセットマイニングに用いられる Pattern Growth 法と、基数 ソートを組み合わせた複合ソート法という手法を紹介し、160 万サンプルの画像 データに適用して、cover tree, Lanczos bisection などの他手法よりも、大幅に高速であることを示す。特に、Locality sensitive hashing を用いてスケッチを作成した際の平均的な偽陰性確率 (見逃しの確率) や、重複した発見を避けるための工夫についても述べる。



【略歴】

1994 年京都大学工学部情報工学科卒業。1996 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1998 年同博士課程修了。電子技術総合研究所入所。2000 年独 GMD FIRST 客員研究員。2003-2004 独 Max Planck 研究所研究員。2006-2008 同チームリーダー。博士(工学)。現在、産業技術総合研究所生命情報工学研究センター機械学習研究班長、主任研究員。JST-ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトサブリーダー兼任。国立情報学研究所客員准教授 (最先端研究開発プログラム)。

15:25-15:55 **講演 (2-2) 「クリークマイニングとその応用」**
宇野 毅明 (国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 准教授)

【講演概要】

全ての頂点が枝で繋がれた部分グラフはクリークと呼ばれる。クリークは密な部分構造を表す自然なモデルであるため、データマイニングやデータベースの分野で盛んに利用されてきた。一方、アルゴリズム分野では、長らくクリークは最適化の対象であったが、2000 年以後、現実的な時間で動く極大解列挙アルゴリズムが相次いで発見された。それにより、現実の巨大データに対する解析が実際に可能となった。本稿では発表者らが開発した極大クリーク列挙アルゴリズムの概略と、それを用いた全く新しいタイプのパターンマイニング手法を紹介する。



【略歴】

1998 年 3 月東京工業大学総合理工学研究科博士課程終了。博士(理学)を取得。1998 年 4 月東京工業大学経営工学専攻助手着任。2001 年 2 月国立情報学研究所助教授着任。2005 年 5 月より 2006 年 8 月までスイス連邦工科大学に滞在。現在、情報学プリンシプル研究系准教授。日本オペレーションズリサーチ学会、情報処理学会、電気情報通信学会に所属。専門はアルゴリズム理論、特に離散アルゴリズム、列挙アルゴリズム、計算量理論、組合せ最適化、データマイニング・データベースにおけるアルゴリズム。2010 年文部科学大臣表彰 科学技術部門 若手科学者賞受賞。

15:55-17:30 **ポスターセッション**

【セッション概要】

ERATO メンバおよび共同研究関係者の最新の研究内容をポスター形式で紹介する。ポスターセッションに入る前に、各ポスターの概要を簡単に紹介し、その後、ポスターにて自由討論を行う。来場者と発表者の相互の活気ある自由討論により、それぞれの研究の発展を狙うとともに、離散構造処理系をベースとした分野横断的な研究者コミュニティの一層の強化を図る。

ポスター発表者：定兼 邦彦 (国立情報学研究所)、野中 良哲 (九州大学)、山中 克久 (電気通信大学)、岸本 章宏 (東京工業大学)、猪口 明博 (大阪大学)、櫻井 祐子 (JST ERATO)、吉仲 亮 (JST ERATO)、川原 純 (JST ERATO)、斉藤 寿樹 (JST ERATO)、田部井 靖生 (JST ERATO)

RSA-1024 はもう危険なのか？暗号 2010 年問題を正しく理解する
3 月 3 日 (木) 9:30-12:00 [第 2 イベント会場 (西 5 号館講義棟 2F W521)]

【セッション概要】

米国国立標準技術研究所 (NIST) による次世代暗号アルゴリズムへの移行スケジュール公開を皮切りに、様々な場面において暗号 2010 年問題を無視できない状況になりつつある。今後、本問題により相互運用性の欠如などの問題・障害が生じることが予想されている。本セッションは広く暗号 2010 年問題の本質を理解して頂くために、できるだけ実例をピックアップし、それぞれのスタンスで現場で何を行うべきなのか、何が不足しているかなどを整理する場を提供すべく企画された。



司会：須賀 祐治 ((株) インターネットイニシアティブ セキュリティ情報統括室 シニアエンジニア)

【略歴】

1995 年九州大学理学部数学科卒業。1997 年九州大学大学院数理学研究科修士課程修了。(財)九州システム情報技術研究所、電気機器メーカーを経て 2008 年 7 月より現職。季刊技術レポート IIR の執筆など、暗号と情報セキュリティ全般に関わる調査・研究活動に従事。情報処理学会 CSEC 研究会運営委員。電子情報通信学会会誌編集委員会 WG-A 副主査。情報処理学会平成 16 年度山下記念研究賞受賞。

9:30-9:45 **講演 (1)「暗号世代交代の本質と課題」**
神田 雅透 ((独) 情報処理推進機構 セキュリティセンター 暗号グループ 研究員)

【講演概要】

2005年に米国NISTが提起した「暗号の世代交代 (いわゆる「暗号2010年問題」)」に関連して、日本でも2008年にNISCが公表した「政府機関の情報システムにおいて使用されている暗号アルゴリズム SHA-1 及び RSA1024 に係る移行指針」をベースに政府内での取り組みが進められている。しかしながら、暗号が社会全体の通信ネットワーク基盤を支える重要な技術として広く利用されるようになった現代では、政府内での対応だけでは限界があり、様々なステークホルダーが暗号の世代交代の必要性について正しく理解することがまずその第一歩となる。

今回、NIST からの発表を機に起こった問題の本質とこれまでの経緯について紹介する。



【略歴】

1993年東京工科大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年NTT入社。2004年よりNTT情報流通プラットフォーム研究所主任研究員。2008年より現職を兼務、CRYPTREC事務局として電子政府推奨暗号リスト改訂を担当。情報セキュリティ、特に共通鍵暗号に関する研究開発並びに普及啓発活動等に取り組む。第53回前川賞、平成17年度情報処理学会業績賞、等受賞。著書「最新暗号技術 (NTT R&D 情報セキュリティシリーズ)」。博士 (工学)。

9:45-10:00 **講演 (2)「RSA 暗号危殆化曲線について」**
猪俣 敦夫 (奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授)

【講演概要】

インターネットをはじめとする様々な分野で利用されている公開鍵暗号 RSA は素因数分解の困難性に安全性を置いている。現在広く RSA1024 ビット鍵が利用されているがムーアの法則に倣い、暗号解読能力が向上している現在十分な鍵長ではないと認識されている。今回、RSA において何ビットの鍵を利用すれば十分安全なのかを知るために、Lenstra, Verheul らによる検討結果とともに我々が別途見積もった RSA 暗号危殆化曲線について紹介する。



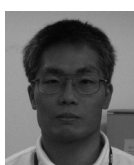
【略歴】

2000年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。2002年筑波大学先端学際領域センター客員研究員。同年独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センターを経て、2006年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科特任准教授。現在に至る。博士 (情報科学)。情報セキュリティの研究開発に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、映像情報メディア学会、教育システム情報学会、日本自治体危機管理学会、各会員。

10:00-10:15 **講演 (3)「ハッシュ関数の標準化動向」**
渡辺 大 ((株) 日立製作所 システム開発研究所 主任研究員)

【講演概要】

ハッシュ関数は、電子認証において必要不可欠の技術である。本講演では、現在米国で進められている次世代ハッシュ関数標準 SHA-3 の選考過程を中心に、ハッシュ関数の標準化を概観する。



【略歴】

1996年東北大学理学研究科数学専攻博士前期課程修了。1999年 (株) 日立製作所に就職。現在までシステム開発研究所に勤務。2007年東京理科大学理工学研究科電気工学専攻博士課程修了。主に、ストリーム暗号やハッシュ関数など共通鍵暗号の設計と安全性評価に関する研究に従事。博士 (工学)。

10:15-10:30 **講演 (4)「政府機関の情報システムにおける SHA-1 及び RSA1024 の移行状況」**
山口 利恵 ((独) 産業技術総合研究所 内閣官房情報セキュリティセンター 研究員・センター員)

【講演概要】

日本政府において、政府機関の情報システムにおいて使用されている暗号アルゴリズム SHA-1 及び RSA1024 に係る移行指針が2008年4月に情報セキュリティ政策決定されている。また、2009年4月には、最短で2014年度早期に新しい暗号方式に移行を開始する予定についても発表された。

今回は、移行指針をはじめ、政府における暗号の移行指針の準備状況について紹介する。



【略歴】

2003年 津田塾大学理学研究科数学専攻修士課程修了。2006年 東京大学大学院情報理工学系研究科博士後期課程修了。博士 (情報理工学)。2006年4月より独立行政法人 産業技術総合研究所 情報セキュリティ研究センター研究員。2007年11月より内閣官房情報セキュリティセンター員 兼務 情報セキュリティ一般の研究を行う。特に、プライバシーに関して研究を行っている。

10:30-10:45 **講演 (5)「認証局運用の観点でみる暗号アルゴリズムの移行」**
木村 泰司 ((社) 日本ネットワークインフォメーションセンター 技術部・インターネット推進部)

【講演概要】

暗号アルゴリズムの移行は、特に暗号技術を利用したシステムを提供する者にとって重要な課題であり、時には難しい判断を伴うことのある課題である。認証局運用の現場では、ユーザの視点とシステムの設計の両方を踏まえることは前提として、"より多くのユーザが不便にならない"という観点で移行時期を計画する必要がある。ここでは認証局運用に関わる、技術標準を含めた関連要素と時系列の要素の2つについて考察した上で"移行チャート"について紹介したい。



【略歴】

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター所属。1999年 奈良先端科学技術大学院大学博士前期課程修了。博士後期課程を単位習得退学。分散環境における認証システムとアクセス制御、及びPKI(Public-Key Infrastructure)に関する研究に従事。2002年より現職。電子認証・電子署名技術の国際動向の調査、及びIPアドレスの管理とインターネット経路制御のセキュリティに関する調査研究に従事。正会員。

10:45-11:00 **講演 (6) 「社会基盤化しつつある暗号技術」**
松本 泰 (セコム (株) IS 研究所 基盤技術ディビジョン認証基盤グループ グループリーダー)

【講演概要】

現代の情報システムにおいて、暗号技術はインターネットやICカード、携帯電話など我々の身近なところで当たり前のように利用されており、既に社会基盤化しつつある。しかし、暗号技術に利用される暗号アルゴリズムは、計算処理性能の向上により徐々に脆弱化し、更には新たな解析・攻撃手法の発見等により脆弱化が加速するため、世代交代が不可欠となってくる。ここでは暗号アルゴリズムの世代交代に必要な課題を「アルゴリズム」「標準」「実装」「社会基盤」という4つのレイヤに分けて考察するとともに、社会基盤化が進む暗号技術の移行が何故難しいのか、移行を推進させるには何が必要なのか、といった点について掘り下げた議論を行いたい。



【略歴】

1984年 UNIX 上のビデオテキストの開発に従事。1990年 UNIX 上の大規模パソコン通信システムの開発に従事。1994年 各種インターネットサービスの開発に従事。1998年 サイバーセキュリティ事業の立ち上げに従事。2007年 経済産業省商務情報政策局長表彰「情報セキュリティ促進部門」受賞。2010年現在 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会、PKI 相互運用技術 WG リーダー、IPA 情報セキュリティ分析ラボラトリー非常勤研究員、日本データセンター協会セキュリティ WG リーダー、CRYPTREC 構成員。

11:00-12:00 **パネル討論 「暗号 2010 年問題の解決に向けて」**

【討論概要】

パネルディスカッションを通して、問題解決に向けての方策を探る。時間中に会場などから質問・コメントを Twitter 経由で募集する。公式ハッシュタグは #ipsj73crypt である。

司 会：須賀 祐治 ((株) インターネットイニシアティブ セキュリティ情報統括室 シニアエンジニア)

略歴・写真は「RSA-1024 はもう危険なのか? 暗号 2010 年問題を正しく理解する」司会紹介を参照。

パネリスト：神田 雅透 ((独) 情報処理推進機構 セキュリティセンター 暗号グループ 研究員)

略歴・写真は講演 (1) 「暗号世代交代の本質と課題」を参照。

猪俣 敦夫 (奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授)

略歴・写真は講演 (2) 「RSA 暗号危殆化曲線について」を参照。

渡辺 大 ((株) 日立製作所 システム開発研究所 主任研究員)

略歴・写真は講演 (3) 「ハッシュ関数の標準化動向」を参照。

山口 利恵 ((独) 産業技術総合研究所 内閣官房情報セキュリティセンター 研究員・センター員)

略歴・写真は講演 (4) 「政府機関の情報システムにおける SHA-1 及び RSA1024 の移行状況」を参照。

木村 泰司 ((社) 日本ネットワークインフォメーションセンター 技術部・インターネット推進部)

略歴・写真は講演 (5) 「認証局運用の観点でみる暗号アルゴリズムの移行」を参照。

松本 泰 (セコム (株) IS 研究所 基盤技術ディビジョン認証基盤グループ グループリーダー)

略歴・写真は講演 (6) 「社会基盤化しつつある暗号技術」を参照。

情報教育関連合同シンポジウム
情報科学技術における高度人材育成の取り組み
3月3日 (木) 15:30-17:30 [第2 イベント会場 (西5号館講義棟 2F W521)]

【セッション概要】

情報科学技術の推進の牽引役となる高度な技術力・実現力を持った人材をどのように育成していくかは、我が国の情報科学技術の今後の振興の鍵になる。そうした高度人材育成の試みは一通りではない。このシンポジウムでは、いくつかの異なる側面からの取り組みを連続講演の形で紹介する。



司会：渡辺 治 (東京工業大学 情報理工学研究所 教授)

【略歴】

1956年東京工業大学情報科学科卒業。現在、東京工業大学情報理工学研究所数理・計算科学専攻教授。工学博士 1987 年。計算の理論、とくにアルゴリズムの設計と解析、計算の複雑さの理論の研究に従事。情報処理学会 (フェロー)、電子情報通信学会、EATCS、L A 各会員。グローバルCOE「計算世界観の深化と展開」(2007～2011) 拠点リーダー。

15:30-16:00 **講演 (1) 「東工大グローバルCOE「計算世界観の深化と展開」での博士教育の取り組み」**

渡辺 治 (東京工業大学 情報理工学研究所 教授)

略歴・写真は「情報教育関連合同シンポジウム 情報科学技術における高度人材育成の取り組み」司会紹介を参照。

【講演概要】

平成 19 年度より文部科学省のグローバル COE (Center of Excellence) プログラムの 1 つとして東京工業大学で始めた「計算世界観の深化と展開」での博士教育の取り組みについて紹介する。計算世界観という考え方のもとに、計算を中心とした新たな科学の手法の基盤の確立と、それを実践する人材の育成を目指して活動している。とくに、人材育成 (博士教育) に力を入れており、「計算」を武器に様々な分野で活躍できる人材の育成を目指している。その成果、問題点、今後に向けての展望を述べる。

16:00-16:30 講演 (2)「JAIST 大学院教育センターにおける大学院教育の質保証に対する取り組み」
浅野 哲夫 (北陸先端科学技術大学院大学 大学院教育イニシアティブセンター及び情報科学研究科 センター長, 教授)

【講演概要】

今年度より文部科学省の特別経費支援事業として北陸先端科学技術大学院大学に大学院教育イニシアティブセンターが設置され、本学が取り組んできた大学院教育に関する先進的な取組実績を基礎に、国内外の大学院との緊密な連携を図りながら、国際的通用性を備えた大学院教育の質保証と修了基準の確立に取り組み、他大学の範たる次世代スタンダードの提示を目指して活動を開始した。本講演では、基本的な考え方について述べる。



【略歴】

1977 年大阪大学基礎工学部博士課程修了、大阪電気通信大学教授を経て、現在、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授、大学院教育イニシアティブセンター長、計算幾何学と組合せ最適化理論に関する研究に従事。ACM 学会 (フェロー)、情報処理学会 (フェロー)、電子情報通信学会 (フェロー) 各会員。

16:30-17:00 講演 (3)「学際計算科学・工学人材育成プログラム」
柴山 悦哉 (東京大学 情報基盤センター 情報メディア教育研究部門 教授)

【講演概要】

科学の諸分野において、計算シミュレーションが果たす役割は年々増大しており、従来は不可能であった大規模な計算により新しい科学の知見が得られるケースも増えている。一方、今日および次世代のスーパーコンピュータを用いて大規模シミュレーションを効率的に行うには、科学そのもの、モデリングやアルゴリズムの技法、ソフトウェアの構成法、ハードウェアの特性などに関する総合的な理解が必要となる。そこで東京大学では、情報基盤センターを中心に関連する学部・研究科・研究所の緊密な協力のもと、2008 年度より学際計算科学・工学人材育成プログラムによる教育が始まっている。本講演では、このプログラムの概要を紹介する。



【略歴】

1981 年京都大学理学部卒。1983 年同大学院修士課程修了。同年、東京工業大学理学部助手。その後、龍谷大学理工学部講師、東京工業大学理学部助教授、同大学院情報理工学研究科助教授および教授を経て、2008 年より東京大学情報基盤センター教授。理学博士。プログラミング言語、ソフトウェアセキュリティ、ユーザインタフェースソフトウェアなどに興味を持つ。現在、産業技術総合研究所招へい研究員、日本ソフトウェア科学会理事長。

17:00-17:30 講演 (4)「人材育成としての JST さきがけ制度」
中島 秀之 (公立はこだて未来大学 学長)

【講演概要】

JST の「さきがけ」制度は国の重点研究課題に沿った特定領域の課題を解決するための個人研究プロジェクトを支援する制度である。しかしながら「さきがけ」の名が示唆しているように、比較的若手の研究者のチャレンジを支援するという意味において人材育成にも寄与している。研究資金の提供だけでなく、総括とアドバイザー数名からなるチームが研究内容に関する示唆を行うことや、年 2 回開催される領域会議において研究者相互の研究交流なども支援している。本発表では私が総括を務めている「知の創生と情報社会」領域の活動を中心に、さきがけの人材育成としての現状と意義について述べる。



【略歴】

1983 年、東大情報工学専門課程修了 (工学博士)。同年、電総研入所。2001 年より産総研サイバーアシスト研究センター長。2004 年より公立はこだて未来大学学長。認知科学会元会長、ソフトウェア科学会元理事、人工知能学会元理事・フェロー、情報処理学会元副会長・フェロー、マルチエージェントシステム国際財団元理事、日本工学アカデミー会員、電子情報通信学会会員、日本学術会議連携会員、未踏ソフトウェア元 P M、さきがけ総括。

スマートシティ実現のための IT 技術開発と省エネビルの現状
3 月 4 日 (金) 9:30-12:00 [第 2 イベント会場 (西 5 号館講義棟 2F W521)]

【セッション概要】

IT 技術などを駆使しエネルギー効率を高め、省資源化を徹底した環境配慮型の街づくりが進んでいる。都市環境においては、オフィスビルなどが費やすエネルギー消費は膨大であり、効率的なビルエネルギー管理が望まれている。特に、中小規模のビルを総合的に管理し、管理コストを低減するための試みがされている。本セッションでは、スマートシティの実現において、現在進む省エネビルの実現に向けた技術課題、標準化について講演を行う。



司会：瀬戸 洋一 (産業技術大学院大学 産業技術研究科 教授)

【略歴】

1979 年慶應義塾大学大学院修了、同年 (株) 日立製作所入社、システム開発研究所にて、リモートセンシング、医療情報システム、情報セキュリティの研究開発に従事。セキュリティ研究センター副センター長、セキュリティビジネスセンターセンター長、主管研究員を歴任後、2006 年公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学教授に就任。プライバシーリスクマネジメント、データ保護の教育研究に従事。最近スマートシティのセキュリティに興味を持つ。工学博士 (慶大)、技術士 (情報処理)

9:30-10:30 **講演 (1)「スマートシティの一翼を担うZEBの実現」**
高見 牧人 (経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課 課長)

【講演概要】

2010年6月に閣議決定されたエネルギー基本計画において、2030年までに新築ビルの平均でZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を達成する目標が掲げられた。ZEBの達成のためには、省エネ建築や自然エネルギー利用、照明・空調など多様な新技術の組み合わせと、運用段階における各技術の統合制御が必要である。一方で、統合制御を可能にするためには、各種設備・機器のインターフェースやデータ仕様の標準化も重要である。経済産業省では、ビル管理システムのベンダーやビルオーナー、IT関連企業などが参画する「省エネビル推進標準化コンソーシアム」を設け、中小ビルの省エネ推進に向けた各種設備・機器のインターフェースやデータ仕様の標準化について検討してきた。ZEBを巡る最近の政策動向及び「省エネビル推進標準化コンソーシアム」について説明をする。

【略歴】

1988年京都大学大学院卒、同年通商産業省に入省。以後、リサイクル推進課、化学物質管理課、大臣官房政策審議室、経済協力課、秘書課、資源エネルギー庁省エネ新エネ部国際室等の業務を経て新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）ワシントン事務所長を経て2010年7月より資源エネルギー庁省エネ新エネ部省エネ課長。



10:30-11:00 **講演 (2)「省エネビル推進標準化プロジェクトについて（省エネビル推進標準化コンソーシアム）」**
藤原 孝行 ((財)東京都環境整備公社 東京都環境科学研究所 調査研究科 主任研究員)

【講演概要】

わが国の最終エネルギー消費の推移の内、業務部門については、1990年比で4割程度増加した後、高止まりしており、中でも業務セクターの約1/3を占める中小のビルや公共施設は省エネ対策の更なる強化が求められている。中小ビルにおける従来のビルエネルギー管理システムにおいては、異なるメーカー間では接続インターフェースやデータ仕様に互換性が乏しいとともに、通信プロトコルが非公開であり相互接続が困難である。このため、機器選択や最適なシステム構築に自由度が乏しく、コスト低減・技術競争が生じにくい等の問題が存在している。これらのインターフェースや通信データ仕様が標準化されることにより、異なるベンダーの製品でも相互接続が可能となり、機器のモジュール化と価格競争によるシステム構築時のコスト低下、ベンダーに依存しない最適なシステム構築、ネットワーク経由での省エネサービスのアウトソース等の新ビジネス参入が期待される。

【略歴】

1966年東京都庁入庁。都庁では、建築設備の設計工事監督など営繕系の仕事に従事。主な経歴は新宿東京都庁舎の設計工事を6年間、東京都市博覧会の計画を5年間担当など。2008年都庁定年退職後、(財)東京都環境整備公社 東京都環境科学研究所に入所し現在に至る。研究所では、建築物の省エネ対策手法の研究、設備制御システムのオープン化研究、都市づくりにおけるCO2削減技術のポテンシャルの調査研究などを担当。



11:00-11:30 **講演 (3)「企業の目指すスマートシティ」**
岩野 和生 (日本アイ・ビー・エム(株) 未来価値創造事業 執行役員)

【講演概要】

現在、人口の都市集中化や低炭素化を背景にして都市をスマート化するプロジェクトが起きている。IBMはエネルギー、水、交通などの分野でこれまでのハードウェア中心の社会インフラをイノベーションするスマートープラネットを提唱している。近年爆発的に普及したセンサーや機能化デバイスを通信で相互接続し集まる大量のデータを統合し解析してフィードバックすることにより、地球上のさまざまな無駄を減らし人々の行動に影響をあたえることが可能になってきている。特に顕著な進化としては、精緻なモデルの上に大量に集まる需要側のデータを短時間に解析、シミュレーション、予測できることで供給側は設備投資やオペレーションを最適化できる情報技術の登場である。

【略歴】

日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 未来価値創造事業 担当。1975年 東京大学理学部数学科卒業後、日本アイ・ビー・エム(株)入社。1987年米国Princeton大学Computer Science学科よりPh.D取得。1995年から2000年まで東京基礎研究所 所長、その後、米国ワトソン研究所を経て、2002年より先進事業 (Emerging Business)、2004年より大和ソフトウェア開発研究所 所長を担当し、2009年より現職。東京工業大学、筑波大学客員教授。情報処理学会フェロー、日本学術会議連携会員。IEEE、ACM、SIAM 会員。専門分野：グラフアルゴリズム、組み合わせ最適化、オートノミックコンピューティング、クラウドコンピューティング。



11:30-12:00 **講演 (4)「スマート&スムーズ：社会インフラの高度化を実現する情報制御融合技術」**
前田 章 ((株)日立製作所 情報制御システム社 CTO)

【講演概要】

21世紀の都市においては、地球温暖化、資源問題、都市の少子高齢化などの課題を解決し、持続可能な社会、企業、生活を実現することが求められる。そのためにはITを活用し、都市全体をシステムとして高度にマネジメントすることが必要であり、ここではそれを「スマートシティ」と呼ぶ。従来、電力・交通・水といった社会インフラは、個別に制御技術によって高い信頼性を実現してきたが、スマートシティではこれらを連携させた全体最適化が必要となる。そのためには物理的に広域に分散している社会インフラシステムを高信頼かつリアルタイムに制御する技術と、豊富な計算リソースを活用した大規模データ処理技術・シミュレーション技術等の情報システム技術をいかに融合させるかが重要である。この分野における日立の技術開発コンセプトと、具体事例における取り組み状況を紹介する。

【略歴】

1981年、(株)日立製作所入社。システム開発研究所・中央研究所・情報制御システム社にて、画像処理や高度情報処理に関する研究開発、技術マネジメントに従事。情報処理学会、電気学会、IEEE等の会員、工学博士。



情報教育関連合同シンポジウム PC スキル教育からの脱却 ―これからの一般情報教育のあり方とは― 3月2日(水) 9:30-12:00 [第3 イベント会場 (西5号館講義棟 3F W531)]

[セッション概要]

以前から大学の一般情報教育に対しては、PCスキル教育しか行われてこなかったという指摘があった。これに対して、一般情報教育委員会では、非情報系学科の学生に向けた情報科学教育を実現するために、コンピュータサイエンスをベースにした標準カリキュラムやシラバスあるいは知識体系(Body of Knowledge)の策定を進めてきた。本シンポジウムでは、大学の一般情報教育に関する各立場(高校側、大学内部、企業側)での現状認識に関する問題提起を明らかにした上で、プログラミング教育と情報倫理教育についての最近の話題を提供する。これらをもとにして、これからの一般情報教育のあり方について、パネリストとともに全員で議論を深めたい。



司会：立田 ルミ（獨協大学 経済学部 教授）

[略歴]

津田塾大学理学研究科修士課程修了，1987年より獨協大学経済学部経営学科教授，獨協大学大学院経済学研究科委員長，1974年より情報処理学会会員，SSS2006プログラム委員長，コンピュータと教育研究会幹事を歴任，現在運営委員，一般情報教育委員会幹事，情報教育特集号編集委員，情報処理学会代表委員，イリノイ大学客員研究員・客員教授，教育システム情報学会論文編集委員を歴任，CIEC理事，私立大学情報教育協会教育改革IT化フォーラム委員。

9:30-9:50 講演(1)「現状の一般情報教育に関する実情と問題提起」
河村 一樹（東京国際大学 商学部 教授）

[講演概要]

過去から現在までの一般情報[処理]教育委員会の活動として，一般情報[処理]教育に関するカリキュラムの策定，シラバスの策定，知識体系の策定，標準教科書の発刊について概観する。それとともに，大学の一般情報教育に関する現状認識にもとづく問題提起について，高校側，大学内部，企業側それぞれの立場から明らかにする。これらを踏まえた上で，これからの一般情報教育のあり方について議論するきっかけを提供する。



[略歴]

宮城大学事業構想学部情報デザイン学科助教授を経て，現在，東京国際大学商学部情報ビジネス学科教授，1955年東京生まれ，立教大学理学部卒，日本大学大学院理工学研究科電子工学専攻博士前期課程修了，博士(工学)，情報教育工学の研究・教育に従事，情報処理学会一般情報教育委員会委員長を歴任。

9:50-10:15 講演(2)「これからの一般情報教育としてのプログラミング教育」
佐々木 整（拓殖大学 工学部 准教授）

[講演概要]

一般情報[処理]教育委員会の活動の中で議論されてきた一般情報教育としてのプログラミング教育の内容を基に，専門教育としてのプログラミング教育との対比を行いながら，これからのプログラミング教育のあり方について議論するきっかけを提供する。



[略歴]

1991年拓殖大・工・情報卒 1993年同大大学院修士課程了，1995年同大工学部助手，現在同学部准教授，博士(工学)，専門は教育工学，インターネットとコンピュータの教育利用に関する研究に従事，2001年日本教育工学会研究奨励賞，IEEE Education Society Japan Chapter vice chair，電子情報通信学会教育工学研究会専門委員，日本教育工学会編集委員，教育システム情報学会新技術開発・活用委員会副委員長など

10:15-10:40 講演(3)「これからの一般情報教育が越えるべき諸課題」
湯瀬 裕昭（静岡県立大学 経営情報学部 准教授）

[講演概要]

一般情報教育は，一般情報教育だけでは乗り越えられない諸課題が存在すると思われる。例えば，情報倫理について考えると，一般的な道徳観や倫理観を持っていない人に対して，一般情報教育の中の情報倫理教育だけで教えるのは難しい。同じようなことが，一般情報教育を行う前の様々なことについて当てはまる。そこで，今後の一般情報教育を実施する上で乗り越えていかなければならない諸課題について問題提起し，パネルディスカッションにつなげていく。



[略歴]

1986年秋田大学鉱山学部電子工学科卒業，1988年同大学大学院修士課程修了，2008年東北学院大学大学院博士課程修了，博士(学術)，1988年秋田県立西目高等学校電子機械科教諭を経て，1991年静岡県立大学経営情報学部助手，現在，同大学同学部准教授，情報教育，遠隔講義システム等の研究に従事，情報処理学会，日本e-Learning学会等各会員。

10:50-12:00 パネル討論「これからの一般情報教育のあり方」

【討論概要】

一般情報教育委員会では、一般情報教育についてあるべき姿を検討してきたが、あるべき姿を実現するのは困難が伴う。しかし、その道筋は示す必要があるということで、オーム社から『情報とコンピューティング』と『情報と社会』の2冊の本を出版してきた。今回、どのような事を教育してゆくのかの指針となるコア時間を決め、それに従って2冊の本の改定を行った。この中で、特にプログラミング教育と情報倫理教育についてどうあるべきかを議論する。また、文科系学生に一般情報を教える立場から、現在どのような内容で教育を行っているか、どこに問題があるのか、そしてどのように教えてゆけばよいのかについて議論したい。

司 会：立田 ルミ（獨協大学 経済学部 教授）

略歴・写真は「情報教育関連合同シンポジウム PC スキル教育からの脱却 -これからの一般情報教育のあり方とは-」司会紹介を参照。



パネリスト：岡部 成玄（北海道大学 情報基盤センター 教授）

【略歴】

1978年、北海道大学理学研究科博士課程修了（理博）。現在、北海道大学情報基盤センター教授。著書「情報学入門—大学で学ぶ情報科学・情報活用・情報社会（コロナ社）」ほか、教育システム情報学会、情報処理学会、日本教育工学会、日本情報科教育学会各会員。



パネリスト：瀧澤 武信（早稲田大学 政治経済学術院 教授）

【略歴】

1951年生まれ。1980年早稲田大学大学院理工学研究科数学専攻博士後期課程単位取得後退学。玉川大学工学部助手、専任講師、早稲田大学政治経済学部専任講師、助教授、教授を経て、現在早稲田大学政治経済学術院教授。ファジイ理論、数値ゲーム理論、人工知能の研究に従事。

パネリスト：佐々木 整（拓殖大学 工学部 准教授）

略歴・写真は講演(2)「これからの一般情報教育としてのプログラミング教育」を参照。

湯瀬 裕昭（静岡県立大学 経営情報学部 准教授）

略歴・写真は講演(3)「これからの一般情報教育が越えるべき諸課題」を参照。

情報教育関連合同シンポジウム 情報処理学会員の皆様、間違っていますか？ 3月2日（水）14:30-17:00 [第3イベント会場（西5号館講義棟 3F W531）]

【セッション概要】

情報や情報技術に対するフルエンシー（分かった上で使いこなす素養・技能）はこれからの情報社会に不可欠であり、各国の初等中等教育ではその育成に力を入れている。しかしわが国の小学校・中学校・高校における情報教育は多くの問題を抱えており、次世代においてまともに情報社会を発展させて行けるかに多くの懸念がある。しかし国民の大多数はこの問題に関心であるし、情報技術の専門家である学会員の多くも同様だと思われる。本セッションでは初等中等教育委員会から、現在の情報教育に関する問題を解説し、これとは立場を異にする講演者からも問題提起を頂いた上で、情報処理学会や学会員が上に述べた危機的な状況を打破するためにどのように行動するべきかについて議論を試みる。



司会：辰巳 丈夫（東京農工大学 総合情報メディアセンター 准教授）

【略歴】

1993年 早稲田大学大学院理工学研究科数学専攻修了。修士（理学）。廣瀬健の元で数理論理学や定理自動証明、計算量理論の証明論による分析などを研究。その後、早稲田大学情報科学研究教育センター助手、神戸大学発達科学部講師を経て、2003年から東京農工大学総合情報メディアセンター助教授（後に准教授）。現在は、情報教育、情報倫理、数学教育の情報化などに興味をもつ。2002年～2005年 CE 研究会幹事、2000年から現在まで初等中等教育委員会委員。2001年から現在まで一般情報教育委員会委員。2007年から情報処理教育委員会委員。他に、電子情報通信学会技術者倫理検討WG委員、技術と社会・倫理研究会専門委員。

14:30-14:50 講演（1）「初等中等教育委員会からの問題提起」

久野 靖（筑波大学 ビジネス科学研究科 教授）

【講演概要】

本講演では、わが国の初等中等教育における情報教育が抱える問題について紹介する。内部的な問題としては、情報教育を担当する教科・時間が、小学校（総合的な学習の時間）、中学校（技術・家庭）、高校（教科「情報」）とバラバラでつながりが無いことと、どの段階でも教える教員に情報や情報技術の専門性が無いことがある（小学校の教員は全教科を教える。中学校では技術の教員であるため情報技術を必ずしも専門としない。高校では教科新設時に数学や理科から移って来た教員が中心であり、大学で「情報」の免許を取得しても採用がない）。このため、WordやExcelの操作のみを教えるなどの授業が多く行われている。外部的な問題としては、学校の管理者や他教科教員の理解が得られず、学校によっては未履修（他の受験教科にこっそり振り替えるなど）が横行するなどがある。初等中等教育委員会では、このような状況を打破するためには、情報や情報技術のコンピュータサイエンス的側面に光を当て、プログラミングなどの体験を実際に持ってもらうことで「コンピュータとはどのようなものか」を知ること、「科学的・技術的な面白さ」に接してもらうことが必要だと考えている。そのような形で情報教育を変えて行くために、学会や学会員の皆様の協力をお願いしたいと考える。



【略歴】

1984年 東京工業大学理工学研究科情報科学専攻博士後期課程単位取得退学。同年 同大学理学部情報科学科助手。1989年 筑波大学講師。同大学助教授を経て、現在、筑波大学ビジネス科学研究科教授。理学博士（1986年 東京工業大学）。プログラミング言語、ユーザインタフェース、情報教育に興味を持つ。著書に「UNIXの環境設定」「入門JavaScript」「Rubyによる情報科学入門」「Javaによるプログラミング入門」などがある。

14:50-15:10 講演 (2)「人と社会と情報技術」
児玉 公信 ((株) 情報システム総研 取締役副社長)

【講演概要】

初等中等教育委員会は、プログラミングなどの体験を重要視しているが、初中等教育において、それが他の学習機会を押しつけてまで重要であるとは思えない。情報技術を学ぶのではなく、学びの環境として自然に情報技術が使われるような授業設計こそが望ましい。かつてはそのような教育実践もされてきた。そもそも、初中等教育ではしっかりとした学習の土台 (Bateson の学習 II) を形成することが肝要だが、それができていない。これは情報処理教育の問題ではなく、初中等教育そのものの問題なのである。情報処理学会は、総合的学習の時間の中で、人や社会との交わりを通して自ずと情報技術に触れるような授業設計、教育実践を支援すべきである。



【略歴】

1978 年東京都立大学人文学部 (心理学) 卒業。石油元売り、大学受託研究員、システムインテグレータを経て 2009 年より現職。オブジェクト指向、モデル中心、アジャイル開発の基幹システム再構築プロジェクトを抱える。技術士 (情報工学部門)、博士 (情報学)。慶應義塾大学准教授 (有期、非常勤) ほかに 5 校で非常勤講師。情報処理学会技術士委員会委員長、情報システムと社会環境研究会幹事。著書に「UML モデリングの本質」、「UML モデリング入門」(ともに日経 BP 刊)、「実践! ファンクションポイント法」(JMAM 刊) のほか、オブジェクト指向技術の訳書多数。

15:10-15:30 講演 (3)「1990 年「はじめて出会うコンピュータ科学」と 2009 年「デジタル社会はなぜ生きにくい」から考えてみる初中等情報教育」
徳田 雄洋 (東京工業大学大学院 情報理工学研究所 教授)

【講演概要】

「はじめて出会うコンピュータ科学」(岩波書店 全 8 巻) は操作中心でないコンピュータサイエンスの楽しい見方を伝える 1990 年の試みである。その当時その後も、操作中心の情報教育は圧倒的に主流である。21 世紀初頭に入り我々を取りまく環境はさらに急速に変化している。今日では、現実主義的な操作中心教育も、浮き世離れたコンピュータサイエンスの楽しい見方も、個人の生存に必要な知識・技術として不十分なものとなった。現在の我々、現代の大人・子供にとって、2009 年「デジタル社会はなぜ生きにくい」(岩波新書) で試みたような「ビッグピクチャ」の理解が不可欠となっている。



【略歴】

1977 年東京工業大学大学院博士課程中退。理学博士。カーネギーメロン大学 (1983-84 年) およびピサ大学 (1999 年) 客員科学者。現在、東京工業大学大学院教授。ソフトウェア生成系、情報ネットワークの研究に従事。2004 年 Web 工学国際会議最優秀論文賞 (ICWE2004 ミュンヘン開催) 受賞、2009 年文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。著書に「言語と構文解析」「コンパイラの基礎」など。

15:30-17:00 パネル討論「わが国の次の時代を担う世代にどのような形で「情報」「情報技術」を学んでもらうべきか? そのために情報処理学会は何をするべきか?」

【討論概要】

本セッションのテーマは、わが国の初等中等教育における情報教育がどのような問題を抱えているか、またそのような現状をどのように変えて行くことが望ましいのかについて共通の理解を形成した上で、それを実際にインプリメントしていく上で情報処理学会や個々の学会員がどのような形で具体的に貢献して行くべきかを考えることである。これまで、教育の問題に対しては「このような問題があるから改めて欲しい」という「要望・提言」がなされることが多かったが、それでは単に外野から意見を言っていると受け取られるだけである。今後はこれを改め、学会が自らの問題として取り組み、実際に教育に関与することを始めなければならないのではないか。そのような考え方に基づいて、学会や個々の学会員が具体的に何を実際に行うべきなのかについて、議論したい。

司 会：辰己 丈夫 (東京農工大学 総合情報メディアセンター 准教授)

略歴・写真は「情報教育関連合同シンポジウム 情報処理学会員の皆様、間違っていないか?」司会紹介を参照。

パネリスト：久野 靖 (筑波大学 ビジネス科学研究科 教授)

略歴・写真は講演 (1)「初等中等教育委員会からの問題提起」を参照。

児玉 公信 ((株) 情報システム総研 取締役副社長)

略歴・写真は講演 (2)「人と社会と情報技術」を参照

徳田 雄洋 (東京工業大学大学院 情報理工学研究所 教授)

略歴・写真は講演 (3)「1990 年「はじめて出会うコンピュータ科学」と 2009 年「デジタル社会はなぜ生きにくい」から考えてみる初等中等情報教育」を参照。



パネリスト：高岡 詠子 (上智大学 理工学部情報理工学科 准教授)

【略歴】

慶應義塾大学理工学部数理科学科卒業、同大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了、博士 (工学)。千歳科学技術大学総合光科学部准教授等を経て、現在上智大学理工学部情報理工学科准教授。他に、非常勤として国際基督教大学 (2010 年度より)、明治学院大学 (2011 年度より) で情報科教育法を担当。主著：情報科学の基礎 (07)、(財) 放送大学教育振興会、e ラーニングからブレンディッドラーニングへ (共立出版)、The Art of Computer Programming Volume 3 Sorting and Searching Second Edition 日本語版 (アスキー)。プログラミング教育、情報教育、教材作成、教育支援システムなどに興味をもつ。2004 年～2008 年 CE 研究会運営委員、2008 年～現在まで CE 研幹事、2010 年から初等中等教育委員会、論文誌編集委員、学会誌編集委員。



パネリスト：神沼 靖子 (一般社団法人情報処理学会 フェロー)

【略歴】

1961 年 日本鋼管 KK に始まり、横浜国大、埼玉大、帝京技科大を経て、前橋工科大教授を 2003 年 3 月に定年退職。現在、情報システム教育のアドバイザー、企業における人材育成研修講師、書籍の執筆などに携わる。学術博士。情報システム学、高度 IT 人材の育成に興味をもつ。当学会フェロー。情報処理教育委員会、情報システム教育委員会、アクレディテーション委員会、初等中等教育委員会等のメンバー。

情報教育関連合同シンポジウム

情報分野の高大連携

3月3日(木) 9:30-12:00 [第3 イベント会場 (西5号館講義棟 3F W531)]

[セッション概要]

8大学情報系研究科長会議のもとに設置された委員会(情報科目入試検討ワーキンググループ・情報教育検討委員会・情報教育実施委員会)では、情報分野における高大連携に関して活発な議論を行って来た。当初は、教科「情報」を大学の入試科目に導入しようとする運動を行ったが、教科「情報」は多くの構造的な問題を内包しており、そのような運動は挫折し現在に至っている。残念ながら、それらの問題は新しい指導要領のもとでも依然として残っている。したがって、高大連携によりそれらの問題を解決する努力を継続しつつも、教科「情報」を越えた高大連携の新たな形が求められている。本シンポジウムでは、情報分野における高大連携の現状と将来に関して講演をいただくとともに、パネルを開いて広く議論したい。



司会: 萩谷 昌己(東京大学 大学院情報理工学系研究科 研究科長・教授)

[略歴]

1980年東京大学理学部情報科学科卒業。1982年同大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。京都大学数理解析研究所を経て、現在、東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻教授。理学博士。本年4月より、同研究科研究科長。8大学情報系研究科長会議において高大連携を担当。同情報教育実施委員会委員長。情報処理学会会員。日本情報科教育学会会員。

9:30-9:40 オープニング

9:40-10:00 講演(1)「e-Learning コンテンツを活用した高大連携の試み」

飯田 秀延(東京都立東村山高等学校 教諭)

[講演概要]

本校では平成20年12月より北海道情報大学(北海道江別市)と高大連携の協定を結んでいる。これは、通信教育学部のe-Learning科目である「プログラミング基礎」(C言語)のコンテンツを選択科目「情報B(22年度は情報C)」の中のプログラミングの単元などで活用するものである。今回、e-Learningコンテンツを利用することにより、教員は個別のデバッグや質問に専念できるようになり、苦手な生徒のフォローができると同時に、能力や意欲のある生徒が退屈せずに学習が進められた。また生徒へのアンケートにより、大学の本物のカリキュラムを体験することによる進学意識の向上の効果も確認できたので、報告する。



[略歴]

1994年慶應義塾大学大学院電気工学専攻修了。松下技研(株)、松下電器産業(現パナソニック)、慶應義塾志木高等学校非常勤講師などを経て、2007年より東京都立東村山高等学校情報科教諭。東京都高等学校情報教育研究会会員。本年度は同会高大連携専門委員会委員長。

10:00-10:20 講演(2)「高等学校(あるいはその将来を見越した教育委員会)が望む高大連携的な授業改善モデル事業ークラウド型の協調学習コミュニティを目指して」

三宅 なほみ(東京大学 大学院教育学研究科 教授)

[講演概要]

大学発教育支援コンソーシアムは、東京大学の他、京都市京都大学、名古屋大学、お茶の水女子大学、早稲田大学の5つの大学がそれぞれ大学知を活用して小中高等学校現場の教育の質を高めるための活動を行う連合体である。東京大学に置かれた本コンソーシアム推進機構では、現在9つの教育委員会と連携し、学習科学を活用して先生方と一緒に学習者中心型の新しい教材を作り、実践しつつその評価方法をも検討する連携事業を進めている。21世紀に求められる学習ゴールを設定し、広く学会や産業界からえられるプロの知見も活用して、一度作った教材をみんなで使いまわしながら学びの質を高めて行くクラウド型のコミュニティ形成を目指したい。



[略歴]

1949年東京都出身。1972年お茶の水女子大学文教育学部卒業。1982年カリフォルニア大学サンディエゴ校心理学科博士課程修了。1984年青山学院女子短期大学助教授。1991年中京大学情報理工学部教授。2009年東京大学大学院教育学研究科教授。東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構副機構長。認知科学、知能情報学、学習科学(コンピュータによる協調学習支援)。

10:20-10:40 講演(3)「理数学習支援における高大連携について」

岩渕 晴行((独)科学技術振興機構(JST) 理数学習支援部長 兼 理科教育支援センター企画室長)

[講演概要]

日本と世界にイノベーションを起こす優れた科学技術人材を育てるためには、大学、学会などの研究教育機関に小中高校の理数学習を支援していただくことが不可欠です。大学、学会等の取り組みをスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)、情報、数学を含む科学オリンピック、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)などの事例に基づきご紹介いたします。さらに高校対抗のチーム競技「科学の甲子園」、中学校段階の才能教育への展開など新規の施策と大学、学会に期待される役割を提案し、議論をいただきたく存じます。



[略歴]

'58年宮城県生まれ。仙台第一高校、東北大学理学部(物理)修士課程卒。'82年科学技術庁入庁。経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)職員、石川県環境部参事、インドネシア科学院(LIPPI)顧問、内閣府参事官(科学技術統括官付)、九州大学教授等で多様な科学技術・教育行政に従事。'09年から独立行政法人科学技術振興機構(JST)理数学習支援部長、理科教育支援センター(CPSE)企画室長を兼任。

10:40-11:00 講演 (4) 「スーパーコン：高校生・高専生のためのスパコンコンテスト」

渡辺 治 (東京工業大学 情報理工学研究所 教授)

【講演概要】

高校生・高専生を対象に1995年より毎夏実施しているスパコンを利用したプログラミングコンテスト「スーパーコン SuperCon」の取り組みを紹介する。コンテストでは、予選を勝ち抜いてきたチームが東京(東工大)と大阪(阪大)に集まり、スパコンのプログラム開発に取り組む。一題だけ出される難問に数日間挑むのである。講演では、コンテストの概要、歴史、課題問題例、エピソードなどを述べる。すばらしい高校生・高専生たちがいることを知って頂ければ幸いである。



【略歴】

1956年東京工業大学情報科学科卒業、現在、東京工業大学情報理工学研究所数理・計算科学専攻教授。工学博士1987年。計算の理論、とくにアルゴリズムの設計と解析、計算の複雑さの理論の研究に従事。情報処理学会(フェロー)、電子情報通信学会、EATCS、L A各会員。スーパーコンの実績に対して文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)受賞。

11:00-11:20 講演 (5) 「高校生を対象としたオープンキャンパスや体験授業への取り組み」

増澤 利光 (大阪大学 大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻 教授)

【講演概要】

高校生の「情報系学部離れ」が進み、大学の情報系学部では志願者数減少や合格点の低下が問題となっている。このような状況を改善するためには、高校生の情報科学に対する認識を深め、情報科学への興味と期待を抱いてもらうことが重要である。このことを目的として、多くの大学で、高校生を対象としたオープンキャンパスや体験授業が実施されている。ここでは、高校生の「情報系学部離れ」への対応策としての、これらの高大連携の取り組みの事例を紹介し、その効果、現状の問題点や今後の方向性について議論したい。



【略歴】

1982年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1987年同大学院基礎工学研究科博士後期課程了。工学博士。同年同大情報処理教育センター助手。同大基礎工学部助教授を経て、1994年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。2000年大阪大学基礎工学研究科教授。2002年同大情報科学研究科教授。現在に至る。また、1993年米国コーネル大客員准教授(文部省在外研究員)。主として、分散アルゴリズムに関する研究に従事。

11:20-12:00 パネル討論「情報分野からの初等中等教育への貢献」

【討論概要】

情報分野における高大連携の可能性について議論を行う。教科「情報」を通じた高大連携に加えて、教育学の広い視野から理想的な高大連携とは何かを念頭に置きつつ、理数分野全体の高大連携の取組を参考にしながら、情報分野の高大連携を、理数分野全体の中に位置づける可能性について議論したい。理数分野では、コンテスト・オリンピック・キャンプ・課外講座・クラブ活動支援・教員の育成というように、ありとあらゆる活動が着々と進んでいる。このような理数支援の取り組みの中に情報分野の高大連携を位置づけ、情報分野から初等中等教育全体に貢献する可能性について議論したい。

司 会：萩谷 昌己 (東京大学 大学院情報理工学系研究科 研究科長・教授)

略歴・写真は「情報教育関連合同シンポジウム 情報分野の高大連携」司会紹介を参照。

パネリスト：飯田 秀延 (東京都立東村山高等学校 教諭)

略歴・写真は講演(1)「e-Learning コンテンツを活用した高大連携の試み」を参照。

三宅 なほみ (東京大学 大学院教育学研究科 教授)

略歴・写真は講演(2)「高等学校(あるいはその将来を見越した教育委員会)が望む高大連携的な授業改善モデル事業—クラウド型の協調学習コミュニティを目指して—」を参照。

岩淵 晴行 ((独) 科学技術振興機構 (JST) 理数学習支援部長 兼 理科教育支援センター企画室長)

略歴・写真は講演(3)「理数学習支援における高大連携について」を参照。

渡辺 治 (東京工業大学 情報理工学研究所 教授)

略歴・写真は講演(4)「スーパーコン：高校生・高専生のためのスパコンコンテスト」を参照。

増澤 利光 (大阪大学 大学院情報科学研究科コンピュータサイエンス専攻 教授)

略歴・写真は講演(5)「高校生を対象としたオープンキャンパスや体験授業への取り組み」を参照。

情報教育関連合同シンポジウム

発注者教育はどうあるべきかー発注者・運用者責任はどのように担保されるか（問題提起）ー
3月3日（木）15:30-17:30 [第3イベント会場（西5号館講義棟 3F W531）]

【セッション概要】

東京証券取引所の誤発注事件をはじめとして、情報システムの不具合に対する発注側、運営側の社会的責任が問われるようになっていきます。情報システムがビジネスと切り離せなくなった現代、情報システム部門はどのように情報システムを企画し、実現を図り、社会的責任を担保しようとしているのか、また、製作者はそれをどう受け止めようとしているのか。

情報処理学会は、これまでソフトウェアの作り手の技術に関する議論を重ねてきましたが、それに比べて企画者、発注者、運営者が持つべき技術に関する議論が足りませんでした。作り手ではない側の情報処理教育および高度人材育成という側面から、これまで見えていなかった課題を明らかにしていきます。

司 会：児玉 公信（(株) 情報システム総研 取締役副社長）



【略歴】

1978年東京都立大学文学部(心理学)卒業。石油元売り、大学受託研究員、システムインテグレータを経て2009年より現職。技術士(情報工学)、博士(情報学)。慶應義塾大学准教授(有期、非常勤)。情報処理学会技術士委員会委員長。

15:30-16:30 基調講演「動かないコンピュータと発注者教育の課題」
大和田 尚孝（(株) 日経 BP 社 日経コンピュータ編集部 副編集長）

【講演概要】

情報システムを前提に社会が成り立つといっても過言ではない現在、多くの企業は、不具合の少ないシステムを構築し、それを安定的に運用する社会的な責任を負っています。本講演では、システム障害によって顧客の信頼を失いかけ、社長が辞任するまでに至った東京証券取引所が、情報化推進体制を立て直し、世界最高レベルの性能と信頼性を誇る新システムの構築に成功した実例を基に、システム構築の「発注者」としての責任の果たし方と、情報化を推進する人材の育成方法について紹介します。システム障害によって損失が発生した場合の、発注者とシステム開発会社、顧客における損失分担のあり方についても考えます。



【略歴】

ユーザー企業のシステム子会社でシステムエンジニアとして従事した後、日経 BP 社に転じ、日経コンピュータ編集部に所属。9年間にわたり、大規模システムの稼働事例などの取材・執筆を続ける。2010年4月から副編集長。著書に『システムはなぜダウンするのか』（日経 BP 社）『システム統合の正攻法』（同）『システム改革の正攻法』（同）がある。

16:30-17:30 パネル討論「発注側 IT 高度人材育成と情報処理教育のあり方」
司会：旭 寛治（(株) 日立技術情報サービス）



【略歴】

1971年東京大学工学部卒業。同年(株)日立製作所入社。同社基本ソフトウェア本部長、ストレージソリューション本部長、(株)日立テクニカルコミュニケーションズ代表取締役等を歴任。1999年本会理事、2005年副会長。ITプロフェッショナル委員長、高度IT人材資格検討WG座長、歴史特別委員会委員、コンピュータ博物館実行小委員会主査。本会フェロー。

パネリスト：大和田 尚孝（(株) 日経 BP 社 日経コンピュータ編集部 副編集長）
略歴・写真は基調講演「動かないコンピュータと発注者教育の課題」を参照。



パネリスト：大岩 元（帝京平成大学 現代ライフ学部 教授）

【略歴】

1965年、東大理学部物理学科卒。1971年東大大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。東大理学部助手、豊橋技術科学大学講師、同助教授、同教授を経て1992年慶応大学環境情報学部教授。2008年帝京平成大学現代ライフ学部教授、慶應義塾大学名誉教授。情報教育学、ソフトウェア工学、認知工学の研究に従事。研究業績：超微細加工装置の設計理論と実現、キー入力訓練法の開発、日本語入力方式の開発、KJ法支援、都市景観設計支援、ソフトウェア技術者育成法の開発、情報教育の理念と方法。



パネリスト：酒森 潔（産業技術大学院大学 産業技術研究科 専攻長 教授）

【略歴】

1976年 熊本大学理学部物理学科卒業。1978年 日本アイ・ビー・エム株式会社入社。社内情報システム部門でシステムの開発・保守・運用に従事、その後システムインテグレーション部門において顧客のシステム開発プロジェクトをプロジェクトマネージャとして多く体験した。2006年 産業技術大学院大学 教授。2010年 情報アーキテクチャ専攻長。専任教授としてITSSに準拠した情報教育を研究。専門はプロジェクトマネジメント。資格:情報処理技術者(PM, AU, SA, AE, AN, SM, 特種, 一種, 二種, オンライン), 技術士(情報工学), PMP



パネリスト：真辺 純裕（新日本製鐵(株) 業務プロセス改革推進部 部長）

【略歴】

1958年 長崎県出身。1983年 豊橋技術科学大学 生産システム工学専攻 修士課程修了。1983年 新日本製鐵(株) 入社 八幡製鉄所システム部 システム設計グループ。1988年(出向)新日鉄情報通信システム(株) <分社子会社> 西日本支社 技術室。1996年(復職) 八幡製鉄所 生産システム部 システムグループ。2002年 本社 業務プロセス改革推進部 現在に至る

情報教育関連合同シンポジウム 大学学部専門教育での情報教育 3月4日（金）14:30-16:30 [第3 イベント会場（西5号館講義棟 3F W531）]

【セッション概要】

情報処理学会は2008年3月に大学の情報専門学科向けのカリキュラム標準 J07 を定めて公表した。J07 は米国のカリキュラム標準 CC2005 と整合した内容を取り、5 領域を設定し、それぞれに、学習対象となる知識体系を定めている。J07 を公表してから2年が経過し、その間に、米国でのカリキュラム標準の継続的改訂、J07 の大学側や産業界への浸透が進んできている。本報告では、まず、J07 の概説と、それを取り巻く動きの紹介をした後、コンピュータ科学領域、情報システム領域、インフォメーションテクノロジー領域における最新の活動状況について紹介する。また、理工系学科で情報を副専攻として扱う学科における情報関連科目のカリキュラム標準についての最新の活動も紹介するとともに、IPAにおける産学連携 IT 人材育成活動について紹介する。



司会：角田 博保（電気通信大学 情報理工学研究科 情報・通信工学専攻 准教授）
【略歴】

1974 年東京工業大学情報科学科卒業。1981 年同大学院博士課程単位取得退学。1982 年電気通信大学計算機科学科助手。現在、電気通信大学大学院情報・通信工学専攻准教授。理学博士。ACM、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、日本認知科学会、ヒューマンインタフェース学会、人間中心設計機構各会員。情報処理教育委員会幹事、コンピュータ科学教育委員会委員長、ア krediteーション委員会幹事、コンピュータと教育研究会主査。計算機システムのヒューマンインタフェース、教育支援システム、文字列処理等に興味を持つ。

14:30-14:50 講演（1）「情報専門学科カリキュラム標準「J07」と関連話題」 角田 博保（電気通信大学 情報理工学研究科 情報・通信工学専攻 准教授）

略歴・写真は「情報教育関連合同シンポジウム 大学学部専門教育での情報教育」司会紹介を参照。

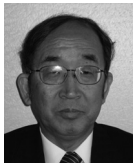
【講演概要】

情報専門学科カリキュラム標準「J07」は情報処理学会情報処理教育委員会の下に情報専門学科カリキュラム標準策定プロジェクト J07 として 2006 年 7 月に発足し、CS、IS、SE、CE、IT の領域ごとに委員会を設けて作業が進められ、2008 年 3 月に最終報告がなされた。以下の講演の前提知識として、まず J07 の内容について概説する。つづいて、最終報告後の J07 に関連した話題として、情報分野を対象とする国際相互承認協定として 2008 年に発足したソウル協定への JABEE の加盟と情報系プログラムの認定審査の新しい枠組の設定等、最近の状況を紹介する。

14:50-15:10 講演（2）「理工系情報学科の専門教育内容のシラバスによる調査」 足田 輝雄（明治大学 理工学部情報科学科 教授）

【講演概要】

多様と言われる、大学理工系情報学科の具体的な授業内容について、授業シラバスを用いて定量的な調査を行っている。J07-CS におけるコンピュータ科学知識体系 CS-BOK-J 2007 は、15 のエリア、下位レベルとして 138 のユニットから構成されているが、各ユニットがその学科においてどの程度教えられているかについて、時間数などの定量的なデータを得る。理工系情報学科協議会（加入約 150 学科）のうちの、今回は 49 学科の調査データを作成した。理工系情報学科全般として、特に各エリアについての、授業内容の傾向と分布のいくつかの統計データの一次的な結果を得たので報告する。



【略歴】

1989 年から明治大学理工学部情報科学科教授。ウェブ技術に興味をもっている。2003 年から 2010 年まで情報処理学会コンピュータ科学教育委員会委員長。著書は「コンパイラの理論と実現」（共立出版）など。「情報科学こんせぶつ」（朝倉書店）編集。

15:10-15:30 講演（3）「情報システム領域」 神沼 靖子（一般社団法人情報処理学会 フェロー）

【講演概要】

情報システム教育カリキュラム J07-IS を策定して 2 年を経た。この間、5 つのモデルカリキュラム（情報システム、経営情報システム、ネットワーク情報システム、教育情報システム、高度情報システム）の普及活動に努めてきた。また、ISBOK やラーニングユニットを活用して教育目的と学習目標を明示化し、学生が何のために何を学習しているのか、どのような知識とスキルを獲得できたのかを認識・自覚できることの重要性を訴えてきた。産学の人材育成関係者の議論の場で、最近ようやく、情報システム教育が何を目指しているのかについて理解され始めたという感触が得られるようになった。これらの背景をもとに IS 教育の動きについて語る。



【略歴】

1961 年 日本鋼管 KK に始まり、横浜国大、埼玉大、帝京技科大を経て、前橋工科大教授を 2003 年 3 月に定年退職。現在、情報システム教育のアドバイザー、企業における人材育成研修講師、書籍の執筆などに携わる。学術博士。情報システム学、高度 IT 人材の育成に興味をもつ。当学会フェロー。情報処理教育委員会、情報システム教育委員会、ア krediteーション委員会、初等中等教育委員会等のメンバー。

15:30-15:50 講演 (4)「インフォメーションテクノロジー領域」
駒谷 昇一 (元筑波大学 大学院システム情報工学研究科 教授)

【講演概要】

J07のインフォメーションテクノロジー(IT)領域は専門情報教育のなかで最も最近に創られた領域である。大学における実践的な情報教育のニーズが拡大しつつあり、どのような授業をどのように実施したらよいのかが問われている。IT領域は科学的な理解を求めるCS領域の対極にあり、実践的教育の1つのあり方を示している。J07ではIT領域のBOKとモデルカリキュラムを作成し公開してきた。講演では、IT領域の概念、最新のIT領域に関するBOKやカリキュラムの改定状況を報告する。



【略歴】

1985年東京理科大学卒。1985～2007年NTTソフトウェア株式会社。2007年から株式会社NTTデータ。2007～2010年筑波大学。2006年～情報処理学会インフォメーションテクノロジー教育委員会委員長。著書 情報処理学会IT Textシリーズ『情報ネットワーク』、『情報システム基礎』、『情報と社会』、『情報と職業』他。

15:50-16:10 講演 (5)「副専攻領域」
玉井 哲雄 (東京大学 大学院総合文化研究科広域システム科学系 教授)

【講演概要】

情報処理学会教育委員会および関連する委員会は、2007年度までに情報専門学科の知識項目(BOK)および標準カリキュラムモデルとしてJ07を作成した。それに引き続き、情報を副専攻とする学科に対して、そのカリキュラムの中に情報関連科目をどのように位置づけたいかという指針として、「情報副専攻領域」のための知識項目を作成した。それは、現在の多くの大学の学部・学科等において、電子情報工学科、機械情報工学科、経営情報学科といった、「情報」という名を有していても情報を主とする専門学科ではなく、情報を副専攻として学習するケースが多数あること、および「情報」が学科名に含まれていなくても、分野として情報が重要な位置づけにある学科も少なくない、という事実を背景としたものである。実際、それらの学科に学ぶ学生の総数は、情報専門学科の学生数よりもむしろ多い。この情報副専攻領域のための知識項目の概要と、その作成後の状況について報告する。



【略歴】

1970年東京大学工学部計数工学科卒業。1972年同大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。同年(株)三菱総合研究所入社。1989年筑波大学大学院経営システム科学専攻助教授。1994年東京大学教養学部教授。1996年東京大学大学院総合文化研究科教授。現在に至る。工学博士。ソフトウェアの仕様・検証技術、モデル化技術、進化プロセスの分析、協調計算モデルの開発、等の研究及び実践的な問題への適用に従事。著書に「ソフトウェア工学の基礎」(岩波書店)など。

16:10-16:30 講演 (6)「IPAにおける産学連携IT人材育成活動」
大島 信幸 ((独)情報処理推進機構 IT人材育成本部 産学連携推進センター センター長)

【講演概要】

IPAでは情報系学部学科を対象として産学連携IT人材育成活動を推進している。具体的にはモデル大学拠点にて、習得したIT技術知識を融合させてシステムデザイン能力、業務遂行能力などを育成するための先端的、実践的なカリキュラムの産学共同設計・実証と、J07教育体系にも則った大学からのニーズの高い産学連携教育コンテンツ基盤の整備など今後産学連携活動を継続的に推進するための仕組みを構築している。本講演では活動概要とJ07教育体系と関連させた産学連携カリキュラム体系につき考察する。



【略歴】

1971年3月名古屋大学大学院工学研究科修士課程(電気電子専攻)修了。同4月(株)日立製作所入社ソフトウェア工場配属。1992年2月同ソフトウェア工場計画部長。1996年8月(株)日立製作所・情報事業本部にシステム製品企画部長。2002年8月(株)日立製作所・研究開発本部新事業企画センター長。2004年8月IT政策推進本部長、(独)情報処理推進機構IT人材育成本部産学連携推進センター長、情報処理学会正会員。

会員の研究活動活性化に向けた論文の書き方・査読の仕方
3月2日(水) 9:30-12:00 [第4イベント会場(西5号館講義棟 4F W541)]

【セッション概要】

情報処理学会論文誌ジャーナル/JIP編集委員会では、会員の研究活動活性化の一環として、論文の投稿数、採択数を増やすために特別セッション企画することにした。改めて言うまでもなく、研究者にとって論文を投稿し、それが採択されることは、研究成果を広く発信し、業績として残すという面で極めて重要である。そのためには、基本的な論文の作成技法を身につけると同時に、参考文献の選び方やその影響についても理解する必要がある。さらに、採択決定の前提となるピアレビューでは論文投稿者が査読者の立場になることもあり、正当な評価を行うための査読の仕方も身につけることが重要である。情報処理分野の論文を対象に、論文の書き方/査読の仕方に関する講演と、パネル討論を行う。



司会: 横田 治夫 (東京工業大学 大学院情報理工学研究科 教授)

【略歴】

1980年東京工業大学工学部卒。1982年同大学修士課程修了。同年富士通株式会社。同年(財)新世代コンピュータ技術開発機構研究所(ICOT)。1986年(株)富士通研究所。1992年北陸先端科学技術大学院大学助教授。1998年東京工業大学助教授。2001年東京工業大学教授。現在に至る。博士(工学)。主として情報の蓄積と活用の研究に従事。情報処理学会フェロー・理事。電子情報通信学会フェロー。ACM SIGMOD 日本支部長。日本データベース学会理事。人工知能学会、IEEE、ACM各会員。

9:30-10:00 講演 (1)「論文を書く前に ～或いは、平均点の論文を書くには～」
市川 周一 (豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 准教授)

【講演概要】

本発表では、これから論文を書こうとしている若手の方を対象として、論文を書く前に知っておきたい幾つかのポイントを紹介します。いくら研究内容が良くても論文原稿が不完全であれば価値が理解されませんし、査読で reject されます。実際、投稿論文の相当部分(時には半分近く)には明白な欠点があつて、一見するだけで採録できないことがわかるのです。これでは著者の努力も報われませんし、それを扱う査読者や編集委員も不幸です。こうした不幸を減らすために、この発表では致命的な欠点のない論文(平均点以上の論文)を書くための方法と技術について議論します。



【略歴】

東京大学理学部 情報科学科卒業(1985年)、東京大学大学院 理学系研究科修士課程修了(1987年)、理学博士(東京大学・1991年)。新技術開発事業団・後藤磁束量子情報プロジェクト研究員、三菱電機 LSI 研究所、名古屋大学工学部 電子情報学科・助手、豊橋技術科学大学 知識情報工学系・講師～助教授～准教授をへて、現在 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系・准教授。主な研究分野は、専用回路設計、並列処理。

10:00-10:30 講演 (2)「学術雑誌、学術論文および引用の実際」
安達 淳 (国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 教授)

【講演概要】

学術活動の成果は、主に学術論文として雑誌に掲載され流通し、それを引用し成果を積み重ねることにより、人類共通の資産として共有されるというモデルが確立していた。この15年余りの期間で電子ジャーナルへ移行しつつあるが、まだ途上であり、これからも学術成果の流通のあり方は変わっていくと思われる。その中で特に情報分野での論文執筆の際に考慮すべき点を整理したい。情報分野での論文発表や評価の在り方が、他の学術分野とどのように異なるか、またインパクトファクターを始めとする指標の意味と考え方についても、可能な範囲で整理し、今後の学会員の論文執筆に寄与する情報を紹介したい。



【略歴】

1981年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。東京大学大型計算機センター助手、文部省学術情報センター研究開発部助教授、教授を経て現在国立情報学研究所教授。東京大学大学院情報理工学研究科教授を併任。データベースシステム、情報検索等の開発研究に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE、ACM 各会員。

10:30-11:00 講演 (3)「査読プロセスの実運用と妥当性確保のための取り組み」
明石 修 (NTT 未来ねっと研究所 主幹研究員)

【講演概要】

論文査読は研究者によるピアレビューが基本であり、その基本となる枠組、手順、実運用を理解することは重要である。一方、査読プロセスは一連の論文査読の手引として公開されている資料に明文化されているものの、実際の査読プロセスにおいては、担当する分野毎、論文毎に状況が異なり、査読者や編集委員会の判断によって運用せざるを得ない部分も少なくない。編集委員会は査読報告書を中心に査読結果を最終承認するが、全論文を詳細まで読むことは不可能であり、査読者や担当編集委員レベルでの処理の妥当性と、編集委員会での査読結果のチェックが重要となる。本報告はこれらの状況を背景として、実際の査読プロセスの流れと実運用、査読者の立場での留意点、査読妥当性確保のための取り組み、に関して述べる。



【略歴】

1987年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1989年同大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程修了。同年日本電信電話株式会社入社。以来、分散システム、ネットワークアーキテクチャ、マルチエージェントシステムなどの研究に従事。現在、NTT 未来ねっと研究所主幹研究員。博士(理学)。ACM、情報処理学会、日本ソフトウェア科学会各会員。

11:00-12:00 パネル討論「執筆者、査読者、編集者の立場から見た論文投稿の活性化の課題」

【討論概要】

前半の論文の書き方／査読の仕方の3件の講演を受け、講演者および情報処理学会論文誌ジャーナル/JIP編集委員会関係者がパネリストとなり、執筆者の立場、査読者の立場、編集者の立場から見た論文投稿の活性化の課題に関して議論を行うと同時に、フロアとの意見交換を行う。

司 会：横田 治夫 (東京工業大学 大学院情報理工学研究科 教授)
略歴・写真は「会員の研究活動活性化に向けた論文の書き方・査読の仕方」司会紹介を参照。

パネリスト：市川 周一 (豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 准教授)
略歴・写真は講演(1)「論文を書く前に ～或いは、平均点の論文を書くには～」を参照。

安達 淳 (国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 教授)
略歴・写真は講演(2)「学術雑誌、学術論文および引用の実際」を参照。

明石 修 (NTT 未来ねっと研究所 主幹研究員)
略歴・写真は講演(3)「査読プロセスの実運用と妥当性確保のための取り組み」を参照。



パネリスト：奥乃 博 (京都大学 大学院情報学研究科 教授)

【略歴】

1972年東京大学教養学部基礎科学科卒業。日本電信電話公社入社、NTT 基礎研究所、1998年科学技術振興事業団、1999年東京理科大学を経て、2001年現職。音環境理解、音楽情報処理、ロボット聴覚、人工知能などの研究に従事。博士(工学)。本学会理事、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会元理事。



パネリスト：田中 譲（北海道大学 大学院情報科学研究科 教授）

【略歴】

1972 年京都大学卒業，1990 年北海道大学大学院工学研究科教授，2004 年同大学院情報科学研究科教授，1996 年より北海道大学知識メディアラボラトリ長，1998 年から 2000 年まで京都大学大学院社会情報学専攻教授（併任），本会理事（1995-1996，2000-2001 年度），知識メディアのアーキテクチャと応用フレームワークの研究に従事。



パネリスト：宗森 純（和歌山大学 システム工学部デザイン情報学科 教授）

【略歴】

1984 年東北大学大学院工学研究科電気及通信工学専攻博士課程修了，工学博士，同年，三菱電機（株）入社，鹿児島大学工学部助教授，大阪大学基礎工学部助教授，和歌山大学システム情報学センター教授を経て，2002 年同大学システム工学部デザイン情報学科教授，1997 年度本会山下記念研究賞，1998 年度本会論文賞，2002 年 IEEE-CE Japan Chapter 若手論文賞，2004 年度本会学会活動貢献賞，2005 年，2006 年 DICOMO 優秀論文賞，2005 年 KES' 05 Best Paper Award をそれぞれ受賞，本会論文誌編集委員会ネットワークグループ主査，グループウェアとネットワークサービス研究会主査などを歴任，現在，本会理事，グループウェア，形式的記述技法，神経生理学等の研究に従事，IEEE，ACM，電子情報通信学会，各会員。

JGN2plus の成果とその後継プロジェクト 3 月 2 日（水）14:30-17:00 [第 4 イベント会場（西 5 号館講義棟 4F W541）]

【セッション概要】

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）を中心として，2008 年 4 月から 3 年間進められて来た研究開発テストベッドネットワークの一つである JGN2plus では，産学官や地域等を連携し，新世代ネットワークへとつながる研究と，その実現に向けた関連技術の幅広い研究開発が進められてきた。本プログラムでは，JGN2plus における研究成果のいくつかを報告するとともに，次年度以降に計画されている後継プロジェクト（JGN-X）の進め方について紹介する。



司会：中山 雅哉（東京大学 情報基盤センター 准教授）

【略歴】

1989 年東大工学系研究科情報工学専攻修了，同年豊技大知識情報工学系助手，1993 年東大大型計算機センター助教授となり，現在，同大情報基盤センター准教授，博士（工学），広域ネットワークにおける情報の分散アクセス方式に関する研究開発に従事。

14:30-14:55 講演（1）「JGN2plus の成果概要」
下條 真司（（独）情報通信研究機構 上席研究員）

【講演概要】

ネットワークテストベッドの意義と展望，破壊的な実験が可能なテストベッドこそがイノベーションをもたらす，JGN の果たしてきた意義を振り返りながら，新たなフェーズに向けた展望を語る。



【略歴】

1981 年 3 月大阪大学基礎工学部情報工学科卒業，1983 年 3 月大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士前期課程修了，1986 年 3 月大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻博士後期課程修了，1986 年 4 月大阪大学基礎工学部助手，1989 年 2 月大阪大学大型計算機センター講師，1991 年 4 月大阪大学大型計算機センター助教授，1998 年 4 月大阪大学大型計算機センター教授，2000 年 4 月大阪大学サイバーメディアセンター応用システム研究部門教授，2008 年独立行政法人情報通信研究機構 上席研究員兼，大手町ネットワーク研究統括センター長。

14:55-15:20 講演（2）「センサ情報流通基盤の構築とその利用」
中山 雅哉（東京大学 情報基盤センター 准教授）
略歴・写真は「JGN2plus の成果とその後継プロジェクト」司会紹介を参照。

【講演概要】

最近，多様なセンサがネットワークに接続されるようになり，社会生活などで利活用する方法について検討が進められる様になってきた。本講では，JGN2plus において進められてきたセンサ情報を流通させるための基盤技術について報告する。

15:20-15:45 講演（3）「無線・有線融合ネットワーク技術」
鶴 正人（九州工業大学 情報工学研究院 教授）

【講演概要】

DTN (Delay Tolerant Networking) 技術は，従来のインターネットでのエンドツーエンド通信技術の枠を超えて，多種多様な有線網と無線網，さらには，交通網を活用した車や人の移動による情報運搬も組み合わせ，人・モノ対人・モノの膨大な情報交換・共有をコスト効率よく実現するために不可欠である，情報ロジスティックスとも呼べる，このような無線融合ネットワーク基盤のための技術に関して，JGN2plus における研究開発の取り組みと，新世代ネットワークへ向けた JGN-X への展望を述べる。



【略歴】

1985 年沖電気工業，1990 年長崎大学助手，2003 年九州工業大学情報工学部助教授，2006 年同学部教授，2008 年同大学大学院情報工学研究院教授，2010 年より同大学情報科学センター長兼任。

15:45-16:10 講演 (4)「広域オーバーレイネットワーク基盤の構築とその利用」
寺西 裕一 (大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授)

【講演概要】

JGN2plus の研究活動のひとつとして進めてきた、広域オーバーレイネットワーク基盤の構築とその応用方法に関する取り組みを紹介する。広域に分散したセンサーやデータベースなどをユビキタスサービス・グリッドサービス等の各種アプリケーションにおいてスケラブルに統合利用することを可能とするため、分散データフュージョン技術、構造化・適応的オーバーレイ技術に基づくネットワークサービスプラットフォーム基盤の検討をおこない、JGN2plus テストベッド上で実証・検証を進めている。本発表では、ショッピングモールで行なわれた実証実験や、大規模センサー可視化システムなどの応用事例をまじえた研究開発成果の紹介と、今後の展開について中心に述べる。



【略歴】

1993 年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1995 年同大学院基礎工学研究科博士前期課程修了。同年日本電信電話株式会社入社。2005 年大阪大学サイバーメディアセンター講師。2007 年同大学院情報科学研究科准教授。現在に至る。博士 (工学)。マルチメディア情報システム、ユビキタス応用システムなどの研究開発に従事。

16:10-16:35 講演 (5)「仮想化ノードと JGN-X」
中尾 彰宏 (東京大学 情報学環 准教授)

【講演概要】

東京大学と NICT では、ネットワーク仮想化の基盤技術とそのアプリケーションの研究開発を推進している。ネットワーク仮想化基盤技術は、広義のネットワークを、ネットワーク資源、コンピュータ資源、ストレージ資源などを全て含む通信のためのインフラと捉え、それらの資源を統合的に確保する (スライスする) 基盤技術であり、新世代ネットワークを支える重要な技術として期待されている。本講演では、我々の推進する基盤技術プロジェクトのうち、CoreLab (ソフトウェアベース)、VNode (ハードウェアベース)、WiVi (無線ネットワーク仮想化) というプロジェクトについて紹介する。また、JGN-X におけるこれらのプロジェクトの期待と展望を議論する。



【略歴】

1991 年 東京大学理学部 物理学科 卒業。1993 年 東京大学大学院 工学系研究科 情報工学専攻 修士修了。IBM Texas Austin 研究所、IBM 東京基礎研究所などを経て、米国・プリンストン大学大学院情報科学科にて修士号および Ph.D. 取得。2005 年 東京大学大学院 情報学環 准教授。2007 年より NICT 客員研究員。

16:35-17:00 講演 (6)「JGN-X とネットワークオーケストレーション」
山本 成一 (東京大学 生産技術研究所 助教)

【講演概要】

JGN2plus は、独立行政法人 情報通信研究機構が運用する、産・学・官と連携し、地域・他国際機関等と協調した超高速・高機能研究開発用テストベッドネットワーク環境である。本テストベッドネットワークでは、JGN2plus の組織内プロジェクトによる直轄研究利用に加え、多くの一般ユーザによる研究開発利用がされてきた。これらのユーザが利用したサービスは、前プロジェクトである JGN2 からの提供サービスに加え、JGN2plus になってからの新規サービスとして、開発および試行を行ってきた仮想化ルータおよび仮想化ストレージサービスも含まれる。本稿では、JGN2plus ネットワーク運用の総括として、これらのサービス開発課程の紹介、活用事例紹介の他、JGN-X で展開予定である新規サービスについての紹介を行う。



【略歴】

2006 年 12 月 東京大学大学院情報理工学系研究科 博士 (情報理工) 取得。2006 年 10 月より同大学総括プロジェクト機構 JR 東海寄付研究部門、IP マルチキャスト環境におけるトラフィックエンジニアリング技術の研究に従事。2008 年 9 月より、東大生産技術研究所 助教。2008 年 4 月より、JGN2plus ネットワーク運用センター 短時間研究員 (2010 年 4 月からは招聘専門員) を兼務。テストベッドネットワークにおける運用技術、仮想化技術を用いたテストベッドネットワークサービス構築に興味をもつ。

ロボカップ春季競技会

3 月 3 日 (木) 10:00-17:30 1 次リーグ / 3 月 4 日 (金) 9:30-15:30 決勝リーグ
[第 5 イベント会場 (西 9 号館 3F W933)]

【セッション概要】

マルチエージェント・マルチロボットの協調・学習手法の研究題材・テストベッドとして世界中で取り組まれているロボカップの競技会を行う。
競技種目: サッカー 2D, サッカー 3D, レスキュー

TSUBAME 大公開

3月2日(水) 9:30-17:00 / 3日(木) 9:30-17:00

[第6イベント会場 (学術国際情報センター 情報棟 2F 会議室)]

[セッション概要]

東工大が誇る TSUBAME スーパーコンピュータシステムが、今年度、大幅に増強され、日本初のベタコンとして新たに生まれ変わりました。この新 TSUBAME の見学を含め、スパコンとは何か、スパコンの魅力、TSUBAME の特徴などを1時間程度でご紹介します。Aは一般の方向け、Bは情報処理技術者・研究者向けです。

スケジュール

【2日(水)】A：一般向け／B：技術者・研究者向け

A：2日 9:30～10:30

B：2日 11:00～12:00

A：2日 14:30～15:30

B：2日 16:00～17:00

【3日(木)】A：一般向け／B：技術者・研究者向け

B：3日 9:30～10:30

A：3日 11:00～12:00

B：3日 14:30～15:30

A：3日 16:00～17:00

解説：松岡 聡 (東京工業大学 学術国際情報センター 教授)



[略歴]

博士(理学)(東京大学)。2001年より東京工業大学学術国際情報センター教授。専門は高性能システムソフトウェア・グリッド/クラウド・並列処理(GPU・省電力・高信頼)など。NAREGIプロジェクト(2003-2007)、科研特定領域・情報爆発(2006-2010)、JST-CREST Ultra Low Power HPC(2007-2011)のリーダー。2006年のスパコン TSUBAME は我国トップを二年間維持・世界最大の GPU スパコンとなり、現在日本初のベタフロップススパコンの TSUBAME2.0 を構築中。OOPSLA 2002, CCGrid2003/2006, Supercomputing 2009 の論文委員長など、国際学会の要職を多々歴任。情報処理学会坂井記念賞(1999年)、学術振興会賞(2006年)、ISC Award(2008年)など受賞。欧州 ISC フェロー。

解説：遠藤 敏夫 (東京工業大学 情報理工学研究科 准教授)



[略歴]

1974年生。2001年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。博士(理学)。東京大学情報理工学系研究科特任助手、東京工業大学学術国際情報センター特任講師などを経て、2007年より東京工業大学グローバル COE「計算世界観の深化と展開」特任准教授。主に分散処理やヘテロ型アーキテクチャ上での並列計算の研究に従事。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、ACM、IEEE-CS 各会員。

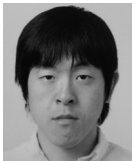
案内：渡邊 寿雄 (東京工業大学 学術国際情報センター 准教授)



[略歴]

1995年筑波大学第一学群自然科学類化学専攻卒業。現在、東京工業大学 学術国際情報センター 特任准教授。博士(理学)2000年。計算化学、特に分子・原子・電子のレベルを取り扱う分子軌道法や分子動力学法などの手法の開発や大規模分子への応用の研究に従事。情報処理学会、日本化学会、日本コンピュータ化学会、分子科学会、CBI学会各会員。

案内：丸山 直也 (東京工業大学 学術国際情報センター 助教)



[略歴]

2008年東京工業大学情報理工学研究科数理計算学専攻博士課程修了。現在、東京工業大学学術国際情報センター助教。理学博士2008年。ハイパフォーマンスコンピューティングおよび分散システムの研究。特に耐故障性、低消費電力、GPU アクセラレータ利用技術の研究に従事。情報処理学会、ACM 各会員。

第1分冊

(アーキテクチャ)

一般セッション [3A会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

コンピュータ・アーキテクチャ 座長 仲池 卓也 (日本IBM)

- 1 HPC向け省電力階層ストレージの性能向上のための負荷分散手法と効果の検証

○赤池洋俊 (日立), 藤本和久, 黒川大樹,
三浦健司, 村岡裕明 (東北大)

- 2 アクセス予測を利用したHPC向け省電力・高速階層ストレージの性能向上のための負荷分散アルゴリズムに関する検討

○黒川大樹, 藤本和久 (東北大), 赤池洋俊 (日立),
三浦健司, 村岡裕明 (東北大)

- 3 計算機システム研究のためのハードウェア試作

○吉瀬謙二 (東工大)

- 4 メニーコアプロセッサの空間冗長性を利用するTMRの提案

○佐藤真平, 吉瀬謙二 (東工大)

- 5 (講演取消)

- 6 2パス限定投機システムによる難並列化ループの高速化

○十鳥弘泰, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 7 WAN接続クラスター群をメモリ資源として利用するためのメモリサーバ自動選定システム

○鈴木悠一郎, 緑川博子, 市野晴菜 (成蹊大)

一般セッション [4A会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)

組込みシステム設計技術 座長 瀬戸 謙修 (東京都市大)

- 1 非同期通信仕様を表すプロトコル状態マシンからの試験ケース生成方式の提案と評価

○川崎将人, 大塚 亮, 後沢 忍 (三菱)

- 2 MIPSソフトプロセッサへの浮動小数点演算ユニットの実装と評価

○藤枝直輝, 吉瀬謙二 (東工大)

- 3 (講演取消)

- 4 1トランジスタ型メモリセルを用いた積層方式不揮発性半導体メモリの設計法

○渡辺重佳 (湘南工科大)

- 5 組込みプロセッサによるモータ制御をベースとした教育教材システムの開発

○松崎隆哲, 平野 剛, 原谷直実, 園田敏勝, 久良修郭 (近畿大)

一般セッション [5G会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

システムソフトウェア 座長 乃村 能成 (岡山大)

- 1 プロセススケジューラが仮想マシンへ与える影響に関する考察

○東賢一朗 (日立)

- 2 共通指標を用いた複数仮想マシン動作時における性能見積り方式

○藤若雅也, 竹村俊徳 (NEC)

- 3 仮想環境を利用したマルチテナントシステムの性能の考察

○市原利浩, 魚住光成 (三菱), 北山泰英,
小笠原大治 (三菱電機インフォメーションシステムズ)

- 4 ストレージ階層仮想化機能の実現方式検討

○須藤 梓, 坪 弘明, 大平良徳, 江口賢哲, 山本政行 (日立)

- 5 (講演取消)

- 6 WindowsCEにおける割り込み制御機能の強化

○水篠公範, 太田貴之, 飯田康志, 南角茂樹 (大阪電通大)

- 7 関数をfutureで評価する言語

○柳瀬龍郎, 田村信介 (福井大)

一般セッション [6G会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 16:30)

性能評価 座長 盛合 敏 (NTT)

- 1 周期実行制御における周期超過防止法の周期処理分割に関する評価

○古川友樹, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)

- 2 マルチコアシステムにおけるLinuxカーネル2.6のリアルタイム性評価

○徳丸潤一, 落合真一, 攝津 敦, 松本利夫 (三菱)

- 3 TIPCの組込機器内CPU間通信適用及びTCP/IPとの性能比較検討

○木村光宏 (東芝)

- 4 広域環境での使用に対応した分散ファイルシステムGfarmの性能評価

○竹川知孝, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

- 5 XFSの性能評価及び録画に適した設定の検討

○岡林伸秀 (東芝)

- 6 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT) 研究用計算設備 (GOSAT RCF) の取り組み

○開 和生, 松永恒雄, 横田康弘 (国立環境研究所),
二宮啓一郎 (情報数理研究所),

大塚登志男 (新日鉄ソリューションズ),

牧野大地 (デーコム), 久保博次, Xin Wang (日本SGI)

学生セッション [1H会場] (3月2日(水) 9:30 ~ 12:00)

プロセッサとFPGA 座長 近藤 正章 (電通大)

- 1 耐永久故障FPGAアーキテクチャの評価

○岡田崇志, 塩谷亮太, 五島正裕, 坂井修一 (東大)

- 2 スーパースカラ版MIPSCOREの実装と評価

○坂口嘉一, 松村貴之, 吉瀬謙二 (東工大)

- 3 Speeding processor up by employing instruction register

○Asri Mochamad, 松村貴之, 吉瀬謙二 (東工大)

- 4 マイクロアーキテクチャの異なるプロセッサの性能比較

○松村貴之, 坂口嘉一, 吉瀬謙二 (東工大)

- 5 CoreSymphonyにおける分岐予測器の分散化

○永塚智之, 吉瀬謙二 (東工大)

- 6 HWメニーコアシミュレータScalableCoreシステムの高速化

○高前田伸也, 吉瀬謙二 (東工大)

- 7 縮小レジスタを用いる先行実行プロセッサ

○笹河良介, 吉瀬謙二 (東工大)

- 8 投機的マルチスレッド実行を行うVLIWマシンによるILPとTLPの活用

○修 沢坤, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)

学生セッション [2H会場] (3月2日(水) 14:30 ~ 17:00)

メモリと投機実行 座長 森 敦司 (富士通)

- 1 ディスパッチト・イメージ・キャッシュ

○伊達三雄, 倉田成己, 伊藤悠二, 塩谷亮太,
五島正裕, 坂井修一 (東大)

- 2 最適なチェックポイントを選択するトランザクショナル・メモリ

○伊藤悠二, 塩谷亮太, 五島正裕, 坂井修一 (東大)

- 3 CAMを用いた分岐予測の信頼性

○永松優児, 大下尊晃, 西岡拓生, 孟 林, 小柳 滋 (立命館大)

- 4 CAMを用いた分岐予測器の提案

○大下尊晃, 永松優児, 孟 林, 小柳 滋 (立命館大)

- 5 投機メモリシステムのハードウェア実装

○北 直樹, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 6 2パス限定投機システムにおけるバス予測器の検討

○金海和宏, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 7 2パス限定投機システムにおける投機的メモリアクセスの解析

○関口祐司, 十鳥弘泰, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 8 2パス限定投機方式における動的最適化の効果

○津田 翼, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 9 2パス限定投機システムにおけるコードスケジューリング手法とその評価

○福田明宏, 十鳥弘泰, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

学生セッション [3H会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

システムLSI設計技術

座長 廣瀬 啓 (ソニー・エルエスアイ・デザイン)

- 1 多重解像度前景分離用Walsh変換回路の設計

○李ウエイ (首都大)

- 2 MPEG-4 ALSエンコーダのハードウェア化に向けた予測係数算出処理の並列最適化

○高橋 徹, 瀬戸謙修, 丸泉琢也 (東京都市大)

- 3 高速シミュレーションのためのNIOS2プロセッサのシステムレベルモデリング

○志賀瑞穂, 北道淳司 (会津大)

- 4 動的タイム Borrowingを可能にするクロッキング方式

○吉田宗史, 有馬 慧, 岡田崇志, 塩谷亮太,
五島正裕, 坂井修一 (東大)

- 5 平面型トランジスタ、SGT を用いたシステム LSI のパターン面積の比較検討

○小玉貴大, 渡辺重佳 (湘南工科大)

- 6 MOS ダブルゲート / CNT トランジスタを用いた論理回路の回路・パターン設計法

○林 隆程, 渡辺重佳 (湘南工科大)

- 7 相変化チャネルトランジスタを用いた、積層型 NOR PRAM の検討

○加藤 翔, 渡辺重佳 (湘南工科大)

学生セッション [4H 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

アクセラレータ 座長 長谷川 揚平 (東芝)

- 1 H.264 のデコード処理における 2 バス限定投機方式の並列性能評価

○川上愛騎, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 2 超並列 SIMD 型演算プロセッサ MX-1 によるモルフォロジカルウェーブレット変換処理の実装

○大澤昌弘, 板屋修平, 熊木武志, 藤野 毅 (立命館大)

- 3 CUDA によるフラクタル画像符号化の実装

○目出雅之, 田中宏二郎, 若谷彰良 (甲南大)

- 4 CUDA 利用による画像減色処理の高速化

○田中宏二郎, 目出雅之, 若谷彰良 (甲南大)

- 5 GPU を用いた画像ブロックの探索の高速化

○宮崎公貴, 山口実靖 (工学院大)

- 6 GPU におけるメモリアクセスの性能と消費電力に関する一考察

○酒井貴多, 山口実靖 (工学院大)

- 7 ハードウェアを用いた音声処理の検討

○山田彰巧, 松崎隆哲 (近畿大)

- 8 cell Broadband Engine を用いた近傍への通知による PSO 演算の並列化

○藤田大地, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)

学生セッション [5H 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

並列処理環境 座長 吉瀬 謙二 (東工大)

- 1 異なる OpenCL 実装を透過的に扱える Hybrid OpenCL の開発

○青木 亮, 追川修一 (筑波大), 土山了士, 中村孝史 (フィックスターズ)

- 2 プログラムループおよび実行パスに基づいた自動並列化システムの検討

○高橋辰平, 白戸卓志, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 3 スレッド間データ依存を考慮したパースペクティブ分割手法の検討

○塚本寛隆, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 4 インナークラススケジューラを伴う階層統合型粗粒度タスク並列処理

○岸 央希, 吉田明正 (東邦大)

- 5 階層統合型粗粒度タスク並列処理のための Fork/Join を用いた並列 Java コード生成

○笠松拓史, 吉田明正 (東邦大)

- 6 PC クラスタ環境下におけるシェルスクリプトの半自動並列化手法の提案と評価

○前田直人, 水谷泰治 (阪工大)

- 7 データ再演と巻き戻し実行を組み合わせた並列プログラムデバッグのための可視化システム

○黒坂竜之助, 丸山真佐夫 (木更津高専)

学生セッション [6H 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

メニーコア・アーキテクチャ 座長 児玉 祐悦 (産総研)

- 1 直接結合ネットワークにおけるバッファのリンク単位共有法

○深瀬尚久, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)

- 2 メニーコアプロセッサのオンチップネットワークに関する研究

○姜 軒, 吉瀬謙二 (東工大)

- 3 メニーコアアーキテクチャ向けソフトウェア分散共有メモリ

○佐野正浩, 吉瀬謙二 (東工大)

- 4 メニーコアプロセッサのためのタスク配置手法 RMAP の評価

○佐野伸太郎, 吉瀬謙二 (東工大)

- 5 MCViewer: オンチップネットワークを可視化する高機能ツール

○森 洋介, 吉瀬謙二 (東工大)

- 6 ポートの利用率に着目したオンチップルータにおける入力バッファ共有化

○棟岡朋也, 小林良太郎 (豊橋技科大)

- 7 NoC における QoS のハードウェアでの実装と評価

○森高晃大, 伊藤雄太, Truong Son Nguyen, 小柳 滋 (立命館大)

学生セッション [1J 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

組込み OS と Android 座長 河野 健二 (慶大)

- 1 Android 環境の基本性能に関する考察

○服部拓也, 山口実靖 (工学院大)

- 2 カーネルモニタを用いた Android 端末の無線 LAN 通信の解析

○三木香央理, 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大)

- 3 組込機器に搭載した Android の通信性能に関する評価

○大杉絵理奈 (お茶の水女子大)

- 4 Android におけるプロセス可視化環境の開発

○中川裕貴, 早川栄一 (拓大),

西野洋介 (東京都立八王子桑志高等学校)

- 5 組み込み用途向け SMP 環境におけるリアルタイム性能の向上

○斎藤奨悟, 追川修一 (筑波大)

- 6 実時間性の確保を重要視したハイブリッド OS の実装

○湯山圭一, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)

- 7 Plan9 と ECMAScript を用いた分散組込みシステムのプログラミングシステムの提案

○盛合智紀, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

- 8 T-Kernel における分散共有メモリの研究

○山原 亨, 刘 一杰, 寺島悠貴, 大谷 真 (湘南工科大)

- 9 センサノード用組込み OS のハードウェア化

○小林昌太, 三井浩康 (電機大)

- 10 REMON における割り込み制御を効率よく処理するための専用ハードウェアの研究開発

○飯田康志, 水篠公範, 浅田佳司, 南角茂樹 (大阪電通大)

学生セッション [2J 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

OS 座長 毛利 公一 (立命館大)

- 1 (講演取消)

- 2 ユーザコンテキストを用いた省電力コンピューティング環境に関する研究

○渡辺千洋, 中村 宏, 佐々木広 (東大)

- 3 OS とコンパイラとの連携による PG 制御方式の研究

○小林弘明, 茂木 勇, 木村一樹 (農工大), 藤田登志矢 (東大),

佐藤未来子 (農工大), 近藤正章 (電通大),

中村 宏 (東大), 並木美太郎 (農工大)

- 4 コア温度情報による細粒度パワーゲーティング制御を行う OS スケジューラ

○木村一樹 (農工大), 近藤正章 (電通大), 天野英晴 (慶大),

宇佐美公良 (芝浦工大), 中村 宏 (東大),

並木美太郎, 佐藤未来子 (農工大)

- 5 演算ユニットのスリープ頻度に応じてパワーゲーティング制御を行う Linux プロセススケジューラ

○高橋昭宏, 茂木 勇, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

- 6 Ruby による OS 構築法の研究

○吉原陽香 (農工大), 笹田耕一 (東大),

佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

- 7 プロセスを共有するためのシステムコール転送機構

○三添 匠, 小鍛冶翔太, 芝 公仁, 岡田至弘 (龍谷大)

- 8 ストレージ負荷を考慮したオンメモリ型低負荷データマイグレーション

○小山芳樹, 山田将也, 山口実靖 (工学院大)

- 9 上位キャッシュの動作を考慮した下位キャッシュの置換手法

○長廻雄介, 山口実靖 (工学院大)

学生セッション [3J 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

仮想化技術 座長 笹田 耕一 (東大)

- 1 SIVARM の設計と実装

○鈴木章浩, 追川修一 (筑波大)

- 2 仮想計算機モニタ Xen における RTOS 向け割り込み通知機構

○渡邊和樹, 瀧本栄二, 榎山武浩, 毛利公一 (立命館大)

- 3 Eucalyptus における仮想環境可視化ツールの開発

○落合秀晴, 早川栄一 (拓大)

- 4 KVM を用いたオペレーティングシステム学習環境の開発

○藤 正彦, 早川栄一 (拓大)

- 5 サーバ仮想化における Linux I/O スケジューラの活用
○太田 毅, 岡本秀輔 (成蹊大)
- 6 仮想化環境における I/O スケジューラの動作解析
○新居健一, 山口実靖 (工学院大)
- 7 仮想ディスクイメージのブロック再配置による仮想計算機の I/O 性能向上に関する考察
○山田将也, 山口実靖 (工学院大)
- 8 ライブマイグレーションによるプロセス性能劣化の解析
○久野陽介, 山口実靖 (工学院大)
- 9 高集約サーバ統合環境における仮想計算機の性能向上手法
○越智俊介, 山口実靖 (工学院大)

学生セッション [4J 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

ハイパフォーマンコンピューティング

座長 滝澤 真一郎 (東工大)

- 1 ハイブリッドマルチコア環境における関数型言語の実現手法
○新井一郎, 渡部卓雄 (東工大)
- 2 大規模並列コンピュータを対象とした通信アルゴリズムの可視化ツールの設計
○石井省吾, 石畑宏明 (東京工科大)
- 3 GPU を利用した線形方程式の反復解法の実装と性能評価
○片山 祐, 黒田久泰 (愛媛大)
- 4 LU factorization on Cypress GPU
○酒井智哉, 松本和也, 中里直人, Stanislav Sedukhin (会津大)
- 5 ブロックグラムシュミット法による QR 分解の高速化
○松尾洋一, 野寺 隆 (慶大)
- 6 (講演取消)
- 7 分子動力学法のマルチノード環境における GPU の電力効率の評価
○宇田川拓郎, 関嶋政和 (東工大)
- 8 GPGPU による並列処理を用いたモバイルアドホックネットワークシミュレーションの高速化
○中島和樹, 石原 進 (静岡大)

デモセッション [デモ会場]

デ-01 (3月2日 (水), 3月3日 (木), 3月4日 (金))

オープンソースリム-パブルデスクトップ環境の構築システム

- 桐山和彦 (鳥羽商船高専), 白石啓一 (香川高専),
原 元司 (松江高専), 本間啓道 (奈良高専),
白濱成希 (北九州高専), 岡田 正 (津山高専),
山本喜一 (OpenEdu プロジェクト)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [5A 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

開発技術 座長 紫合 治 (電機大)

- 1 (講演取消)
- 2 JavaEE5 対応 Web アプリケーションフレームワークの開発
○原田雅史 (三菱), 浅見可津志,
土屋 隆 (三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 3 双方向型 Web 画面自動生成ツールの開発
○河村美嗣 (三菱), 大島正晴,
小笠原淳子 (三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 4 An alternative method for reliably managing large files.
○河井 裕 (高エネルギー加速器研究機構),
Hasan Adil (University of Liverpool, Liverpool),
佐々木節 (高エネルギー加速器研究機構)
- 5 段階的開発指向型組織におけるソフトウェアプロダクトライン開発の適用
○明神智之, 深谷直彦, 小川秀人 (日立)
- 6 デジタルテレビの事例に基づくモデルベース開発導入の検討
○田代沙希子, 浅田幸則, 大條成人, 松本紀子 (日立)
- 7 資源制約モデルを用いた CPU 資源制御技術の開発とそのモデルベース開発ツールへの組み込み
○鈴木康文, 小川秀人 (日立)

一般セッション [6A 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

論理・形式 座長 立石 孝彰 (日本 IBM)

- 1 時間論理による仕様記述を用いた遺伝子ネットワークの定性的振る舞い解析
○伊藤宗平 (東工大), 泉 直子 (十文字学園女子大),
萩原茂樹, 米崎直樹 (東工大)
- 2 暗号文間の関係情報認知可能性に関する論理体系
○萩原茂樹, 小黒博昭, 米崎直樹 (東工大)
- 3 頻度オペレータを導入した Probabilistic CTL とそのモデル検査アルゴリズム
○富田 堯, 萩原茂樹, 樋浦 信, 伊藤宗平, 米崎直樹 (東工大)
- 4 シャフル表現による非同期イベント系列の記述
○阿部真也 (東京都立産業技術研究センター)

一般セッション [1B 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

プログラミングとアルゴリズム 座長 山中 克久 (電通大)

- 1 Balanced (C_n, C_n) -2t-Foil Decomposition Algorithm of Complete Graphs
○潮 和彦 (近畿大)
- 2 素体上多項式に対する計算困難な関数
○田中秀宗 (東工大),
Andrej Bogdanov (The Chinese University of Hong Kong),
河内亮周 (東工大)
- 3 クロード・シャノンがデジタルを論じていなかった
○得丸公明 (衛星システム・エンジニア)
- 4 クラスの動的拡張が可能なプログラム言語「Garnet」の開発
○高橋 平, 筧 捷彦 (早大)
- 5 ハイブリッドシステムモデリング言語 HyDL の数式処理実行系
○高田賢士郎, 渋谷 俊 (早大), 細部博史 (国立情報学研),
上田和紀 (早稲田大学理工学術院)

一般セッション [2B 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

管理・評価 座長 阿萬 裕久 (愛媛大)

- 1 CRUD マトリクスを用いたソフトウェア設計影響分析手法
○加藤正恭, 小川秀人 (日立)
- 2 タグ付与による開発成果物のトレーサビリティに対する考察
○阿部玲子, 山足光義, 田村直樹, 徳本修一,
高橋洋一, 篠崎 衛 (三菱)
- 3 テスト管理システムを用いたテスト状況の可視化方法の提案
○久連石圭, 河村 透, 小笠原秀人, 佐々木愛美 (東芝)
- 4 試験時に発生した異常に対応する試験方式
○大塚 亮, 後沢 忍, 永嶋規充, 川崎将人 (三菱)
- 5 組込みシステムへのモデル検査の適用
○中川雄一郎, 明神智之, 小川秀人 (日立)
- 6 ソフトウェアセキュリティ学習支援環境の提案
○樋山淳雄, 清水啓人 (東京学芸大)
- 7 統合アクセス制御モデルの標準化について
○芦野佑樹, 中江政行 (NEC)

一般セッション [3B 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

数理モデルとシミュレーション 座長 小林 聡 (電通大)

- 1 アクティビティ図で記述されたシステム運用操作からの可用性モデル合成方式
○但野紅美子, 前野義晴, 川戸正裕 (NEC)
- 2 障害箇所特定の方法
○山田耕一 (三菱)
- 3 IT 機器省電力システムにおける省電力効果シミュレーション方式の検討
○大沼聡久 (三菱)
- 4 モデル生態系における最小持続可能個体数と絶滅
○中桐斉之 (兵庫県大), 向坂幸雄 (茨城県医療大), 泰中啓一 (静岡大)
- 5 格子モデルによる雄の繁殖成功に多型がある生物種での集団ダイナミクス解析
○向坂幸雄 (茨城県医療大), 橋本 剛 (松江高専),
泰中啓一 (静岡大)
- 6 移動体の通過順序付けにおける公平性を考慮した遅延最小化
○澤田めぐみ, 白石 将, 尾崎敦夫, 松村寛夫 (三菱)

- 7 正規圧縮距離によるノイズを含むデータの分類の可能性
○石原正道 (郡山女子大)

学生セッション [5J 会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

- データマイニング (1) 座長 神島 敏弘 (産総研)
- 1 A Proposal for Outlier Detection in High Dimensional Space
○扎 那, 亀山 涉 (早大)
 - 2 決定論的ジャンプ過程の長期予測に適したデータサンプリング手法の検討
○大塚陽介, 鈴木智也 (茨城大)
 - 3 非線形予測誤差に基づいた株式ポートフォリオの構築
○猪瀬悟史, 鈴木智也 (茨城大)
 - 4 時系列間の影響波及の遅れを考慮した縮小推定による因果指標の拡張
○山下裕也, 渋谷 崇, 原田達也, 國吉康夫 (東大)
 - 5 バギングを用いた非線形時系列予測のリスク評価
○仲田和也, 鈴木智也 (茨城大)
 - 6 複雑システムの構造推定のためのグレンジャー因果性に基づく閾値決定法
○上岡祐太 (同志社大), 鈴木智也 (茨城大), 山本誠一 (同志社大)
 - 7 Ensemble Method for Anomaly Detection from Time Series Data
○THEERASAK THANOMPHONGPHAN (群馬大)
 - 8 次世代シーケンサーから得られた DNA 配列の高速クラスタリングに関する研究
○並木洋平, 石田貴士, 秋山 泰 (東工大)
 - 9 分布の異なる複数のドッキングソフトを用いたインシリコスクリーニング
○岡田正人, 塚本雅登, 大和田勇人, 青木 伸 (東理大)
 - 10 決定木による多次元データ分類モデルの構築
○堀江隆太, 杉本典子, 中富竜一郎, 光吉和哉 (崇城大)

学生セッション [6J 会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 16:30)

- データマイニング (2) 座長 鈴木 智也 (茨城大)
- 1 社会ネットワークにおける中心性の定量的な頑健性評価法の提案
○伏見卓恭, 斉藤和巳, 武藤伸明, 池田哲夫 (静岡県大)
 - 2 複数のドメイン, 複数の関係を含む Social Media におけるユーザーの興味予測 Interest prediction in multi-domain, multi-relational social media
○則のぞみ, ボレガラ ダヌシカ, 石塚 満 (東大)
 - 3 オンライングラフテイングのアンサンブル学習
○大井健吾, 二宮 崇 (愛媛大)
 - 4 音声からの感情推定におけるクラス分け指標の提案
○天沼沙織, 樽松理樹, 羽倉 淳, 藤田ハミド (岩手県大)
 - 5 ドキュメント分類のための単語クラスタリング手法の提案
○稲吉 洋, 岡本秀輔 (成蹊大)
 - 6 GPGPU を用いた不確定データベースからの高速な頻出アイテムセット抽出
○小澤佑介, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
 - 7 RoboCup2D シミュレーションリーグにおけるデータマイニングを用いたゴールキーパーの改良
○相川 稔, 中村克彦 (電機大)
 - 8 Bluetooth デバイスの検出履歴を用いたユーザー行動の分類
○出射健一郎, 河野恭之 (関西学院大)
 - 9 感情辞書を用いた提示システムの提案
○二瓶俊昭, 具 一郎 (会津大)

学生セッション [1K 会場] (3月2日(水) 9:30 ~ 12:00)

- アルゴリズム (1) 座長 来嶋 秀治 (九大)
- 1 2 頂点間ネットワーク信頼度の計算法と解析
○高野圭司 (東工大)
 - 2 格子方形描画のコンパクトな符号
○須田亮平, 中野真一 (群馬大), 山中克久 (電通大)
 - 3 順序なし 2 分木の効率的な符号
○岩田梢江, 中野真一, 石渡史朗 (群馬大)
 - 4 2 連結平面グラフの st-orientation の列挙
○Setiawan Andry, 中野真一 (群馬大)

- 5 (講演取消)
- 6 配送計画問題に対する差分近似アルゴリズムの実験的評価
○一川直弥, 名古屋孝幸 (鳥取環境大)
- 7 ボール・ピン確率モデルの拡張とその応用
○本橋早織 (東工大)
- 8 MANET 上での再配布を用いた複製配布におけるトラフィック抑制について
○道端伸之介, 守屋 宣, 樋口昌宏 (近畿大)
- 9 移動センサの一樣充填問題に対する分散解法の提案
○和田悦朗, 大下福仁, 角川裕次, 増澤利光 (阪大)

学生セッション [2K 会場] (3月2日(水) 14:30 ~ 17:00)

- プログラミング環境・支援 座長 石崎 一明 (日本 IBM)
- 1 Python から Ruby へとプログラムの自動変換を図るシステムの構築
○清水崇之, 小川翔二郎, 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)
 - 2 モデル検査ツール UPPAAL で検証したシステムの性質を満たした JAVA ソースコードの自動生成
○山根光裕, 田辺 誠 (宇部高専)
 - 3 IDE を活用した言語機構に頼らないコード再利用のためのモジュール化
○寺本裕基, 武山文信, 千葉 滋 (東工大)
 - 4 構文マクロ定義からのプログラム整形器の生成
○雨水佳奈子, 脇田 建 (東工大)
 - 5 教育用 Java プログラム視覚化ツール Jaolic の開発
○春藤祐一, 筑 捷彦 (早大)
 - 6 プログラミングスタイルの基礎を身につけさせるツールの開発
○南城恵里佳, 荒井正之 (帝京大)
 - 7 プログラム動作理解のためのメンタルモデル構築支援システム
○塩川雄樹, 松澤芳昭, 酒井三四郎 (静岡大)
 - 8 教育向けプログラミング言語を応用した高級言語学習のための環境の開発
○篠崎雄一郎, 佐々木晃 (法大)
 - 9 動的解析によるプログラミング初学者向けデバッグ支援システム
○崔 勲, 松澤芳昭, 酒井三四郎 (静岡大)

学生セッション [3K 会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

- プログラミング言語 座長 伊地知 宏 (ラムダ数学教育研究所)
- 1 オブジェクト計算における変更可能な継続
○久間恵美子, 松本大介, 西崎真也, 渡部卓雄 (東工大)
 - 2 プログラミング言語 Ruby のための Unicode 正規化ライブラリの実装と評価
○野島 歩, 水野達也, 塩澤 元, 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)
 - 3 Web アプリケーション開発のための分散 JavaScript 言語の提案
○加藤真人, 脇田 建 (東工大)
 - 4 組込みシステム向け教育用ドメイン特化型言語の開発
○石塚貴浩 (北海道情報大)
 - 5 形態素解析エンジンを利用した日本語プログラミング言語「Wowrus」の開発
○利根川翔, 筑 捷彦 (早大)
 - 6 関数型日本語プログラミング言語「クロガネ」の開発
○太田大地, 筑 捷彦 (早大)
 - 7 ビジュアル・プログラミング言語とその実行・開発環境の提案
○吉永卓矢, 脇田 建 (東工大)
 - 8 データの更新を漸次的に行う動的ソフトウェア更新機構
○荻山温夫, 小宮常康, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)
 - 9 拡張可能なドメイン特化型言語のエディタの生成手法
○市川 寛, 佐々木晃 (法大)

学生セッション [4K 会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)

- システム評価 座長 櫻庭 健年 (日立)
- 1 客同士の協調行動による待ち行列網の性能改善手法の提案
○木村龍明, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
 - 2 待ち行列を用いた EV ステーションの最適設備数の検討
○ト部静香, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
 - 3 コールセンターにおける「サービスレベル」と「途中放棄率」について
○本田 幸, 菱沼千明 (東京工科大)

- 4 SmartGrid における EV の活用に向けたシミュレーション手法の一検討
○唐石景子, 小口正人 (お茶の水女子大), Altintas Ounur (トヨタ IT 開発センター)
 - 5 Ambient Logic モデル検査におけるプロセス式のグループ化による検証の効率化
○森田哲平, 加藤 暢, 樋口昌宏 (近畿大)
 - 6 Ambient Calculus の時間拡張とそれに基づく物流監視システム
○村山静香, 樋口昌宏 (近畿大)
 - 7 コンビニにおける商品廃棄をゼロにする値引き法の提案
○平野直樹, 菱沼千明 (東京工科大)
- 学生セッション [5K 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
最適化とシミュレーション **座長 高階 知巳 (ニコン)**
- 1 遺伝的プログラミングにおける多段階探索交叉の有効性の検討
○細川長洋, 花田良子, 棟安実治 (関西大)
 - 2 多目的遺伝的アルゴリズムにおける多段階探索交叉の有効性の検証
○谷 拓夢, 花田良子, 棟安実治 (関西大)
 - 3 ランクベースアントシステムによる巡回セールスマン問題の解法に関する研究
○浅野貴哉, 弘畑和秀 (茨城高専)
 - 4 多目的組合せ最適化問題におけるカオスニューラルネットワークの性能評価
○岡澤政幸, 鈴木智也 (茨城大)
 - 5 衝突回避を導入した Fully Informed PSO による多峰性関数の最適化
○二方弘文, 二宮 洋, 坂下善彦 (湘南工科大)
 - 6 多数決で進行するボードゲームのプレイヤーの進化的生成
○粕谷貴志, 鈴木麗瑠, 有田隆也 (名大)
 - 7 照明と照度センサ間の影響度をデータベース化する個別分散最適制御照明システム
○米本洋幸, 三木光範, 廣安知之, 吉見真聡 (同志社大)
 - 8 イースト菌の少子化パラドックス
○大津武士, 萩原利行, 吉村 仁, 丑丸敬史, 泰中啓一 (静岡大)
 - 9 生物進化における適応放散のシミュレーション
○菅田紘介, 泰中啓一, 横山典侑 (静岡大)
- 学生セッション [6K 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)**
アルゴリズム (2) **座長 山中 克久 (電通大)**
- 1 単独エージェント探索における大規模並列化手法の提案と解析
○小林義和, 岸本章宏 (東工大)
 - 2 宇部高専の時間割自動作成アルゴリズムについて
○原田翔平, 田辺 誠 (宇部高専)
 - 3 準最適時間機械運動探索のための低計算オーダによる位相空間上探索木枝刈り手法
○菅原志門 (早大), 金 天海, 辻野広司 (ホンダ RI ジャパン), 菅野重樹 (早大)
 - 4 定数段回路の学習および定数段分布生成器に関する研究
○山口裕生 (東工大)
 - 5 多項式しきい値関数密度の上界の改善
○早坂智行 (東工大), 天野一幸 (群馬大)
 - 6 A proposal for Defining Collation Elements for Myanmar Language
○Htay Hlaing Tin, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
 - 7 LZ78 符号による正規化圧縮距離の性能解析
○遊佐俊彦 (東工大)
- 学生セッション [1L 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)**
要求 **座長 大西 淳 (立命館大)**
- 1 INCOSE で報告された要求管理ツールのケーススタディ報告
○荒川 暁, 嶋津恵子 (慶大)
 - 2 情報システム構築における要求定義の効率化と改善策の提案
○上田翔太, 石野正彦, 寺田郁二, 石田秀信 (福井工大)
 - 3 ゴールグラフを用いた要件分析とソフトウェアテスト観点との相互関係について
○大羽正浩, 八重樫理人, 高木智彦 (香川大), 木下大輔 (日立), 古川善吾 (香川大)
 - 4 動的コンテキストウェアサービス提供モデルの提案
○牧 慶子, 山崎 綾, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 5 ステークホルダに基づくペルソナの定義方法の提案
○大澤桜子, 竹村真由美, 小野田裕穂, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
 - 6 質問回答形式を用いた機能要求記述の解釈の齟齬の検出支援
○井上 渉 (東工大), 鶴岡孝典 (富士通研究所 / 東京工業大学), 林 晋平, 佐伯元司 (東工大)
 - 7 Web アプリケーション開発におけるミスマネージケースを利用したセキュリティ要求獲得手法の提案
○清水啓人, 橋山淳雄 (東京学芸大)
- 学生セッション [2L 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)**
管理・開発支援 **座長 佐伯 元司 (東工大)**
- 1 ソフトウェア開発演習データを用いた学生によるソフトウェア開発とOSS 開発・業務開発との比較調査
○高 牧, 橋山淳雄 (東京学芸大)
 - 2 コスト予測における対数変換すべき変数の自動判別手法の提案
○三好健太 (香川高専), 生方克馬 (阪大), 柿元 健 (香川高専), 楠本真二 (阪大)
 - 3 単回帰分析の加重平均による fault-prone モジュール判別モデルの精度向上に関する研究
○内垣聖史, 内田真司 (奈良高専), 門田曉人 (奈良先端大)
 - 4 (講演取消)
 - 5 スクリーンスクレーピングを用いたビジネスプロセスの統合方法
○青木祐香里, 塚本享治 (東京工科大)
 - 6 凝集度と結合度に注目する OOD 学習支援システム Fourcs の提案
○杉浦啓孝, 松澤芳昭, 酒井三四郎 (静岡大)
 - 7 ツアーマップを用いたコードリーディング支援ツールの提案
○大城卓也, 松澤芳昭, 酒井三四郎 (静岡大)
- 学生セッション [3L 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)**
ビジネスソフトウェア **座長 鷲崎 弘宣 (早大)**
- 1 サービス連携の「見える化」のための ESB 機能コンポーネントに関する一考察
○上野雄司, 武内 惇, 金子正人 (日大), 園田孝造 (マイクロテクノ), 泉 隆, 関根好文 (日大)
 - 2 サービス指向に基づくソフトウェア開発サービス実行環境の提案と評価
○長澤伸治, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
 - 3 BPMN によるソフトウェア開発プロセスの実行環境の提案と評価
○壁谷孝洋, 伊藤智基, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
 - 4 CRUD 分析中心の業務ロジックモデリングと機能型プロトタイプ自動生成
○奥田博隆, 小形真平, 松浦佐江子 (芝浦工大)
 - 5 動的モデルに着目した Rich Internet Application の Round-Trip Engineering 開発支援
○林 千博 (慶大), 名倉正剛 (日立), 高田真吾 (慶大)
 - 6 オブジェクト指向開発における事例ベース推論を適用したシステムの試作について
○斉藤恭彦, 吉村 晋 (サレジオ高専), 白鳥則郎 (東北大)
 - 7 PBL によるソフトウェアのフレームワーク設計力の強化
○平野智沙, 村山 満, 土屋陽介, 中鉢欣秀 (産業技術大), 宮浦智範 (日立インフォメーションアカデミー)
 - 8 クラス図とシーケンス図からのセマンティック Web 技術を用いたソフトウェアパターン検索
○長谷川明史, 塚本享治 (東京工科大)
 - 9 ウェブアプリケーション開発のための UI プロトタイピング支援環境の構築
○赤羽祐亮, 田胡和哉, 井垣 宏 (東京工科大)
- 学生セッション [4L 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)**
組込みソフトウェア **座長 野田 夏子 (NEC)**
- 1 C 言語プログラムの並列化戦略立案支援システムの提案
○青野圭祐 (静岡大)
 - 2 レゴ向けの状態遷移設計支援システム
○今井康平, 紫合 治 (電機大)
 - 3 システムモデリング言語 SysML の評価と考察
○片瀬由貴, 寺島悠貴, 山原 亨, 大谷 真 (湘南工科大)

- 4 プロパティに基づく自動車組込み協調制御アーキテクチャ設計方法の提案と評価
○田邊隼希, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 5 複数視点によるプロダクトラインモデル化方法の提案
○近藤貴大, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 6 モデルベース開発におけるプロダクトライン可変性モデルの提案
○平野将貴, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 7 An Approach to Model-Based Construction of Soft Real-Time Embedded Java Code
○Ilankaikone Senthoooran, 渡部卓雄 (東工大)

学生セッション [5L 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- プログラム解析** **座長 小林 隆志 (名大)**
- 1 Ruby 向け動的コンパイラに対するクラスの推定手法の実装と評価
○小泉有輝 (中大), 千葉雄司 (ルネサスソリューションズ), 久保田光一 (中大)
- 2 Java プログラミング初学者のクラス構成学習のための依存関係解析
○若林智徳, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 3 C プログラムのメモリ使用量表示システム
○岡村拓大, 岩澤京子 (拓大)
- 4 XML 形式を用いた C 言語用静的解析ツールの開発
○堀江佑太, 福原和哉, 今井信太郎, 新井義和, 猪股俊光 (岩手県大)
- 5 共通中間表現を用いた実行系列生成手法の提案
○竹内健太 (静岡大)
- 6 マルチスレッドに関するデザインパターン検出
○樋口 翔, 深海 悟 (阪工大)
- 7 HAPTIC によるプログラムの動的解析情報の感触化
○御古達也, 吉田 誠 (岡山理大)
- 8 実行可能なバイナリデータ形式の設計と実装
○大谷桂介, 脇田 建 (東工大)
- 9 Android 用アプリケーションの部品グラフを対象としたべき乗則の調査
○神田哲也, 真鍋雄貴, 松下 誠, 井上克郎 (阪大)

学生セッション [6L 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

- 評価・検証** **座長 岸 知二 (早大)**
- 1 自然言語処理を用いて設計書から試験項目とそのメタ情報を抽出する研究
○寺澤賢人, 丸山 広, 高嶋章雄, 中村太一 (東京工科大)
- 2 後工程引きソフトウェア開発法におけるトレーサビリティに関する一考察
○米谷成弘, 武内 惇, 金子正人 (日大), 蘭田孝造 (マイクロテクノ)
- 3 UML 要求仕様からのカバレッジに基づく機能テストのテストケース生成
○式見 遼, 小形真平, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 4 back-to-back テストを実行するテストツールの試作と評価
○内海武之, 高木智彦, 八重樫理人, 古川善吾 (香川大)
- 5 記号的実行によるテストケースの自動生成に関する研究
○廣葉貴寛, 高田真吾 (慶大)
- 6 UML 設計モデルからのコード生成によるモデル検査手法
○高野峰扶, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 7 証明支援系を用いた Morris の 2 分木走査アルゴリズムの実装の検証
○山田一宏, 森口草介, 渡部卓雄, 西崎真也 (東工大)

(データベースとメディア)

一般セッション [4B 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

- 索引技術・マイニング** **座長 古川 哲也 (九大)**
- 1 メトリック空間における最近傍探索アルゴリズムの高速化
○倉沢 央 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)
- 2 大規模多次元特徴ベクトルのハッシュに基づく検索法の性能比較
○村林 昇, 吉田健一 (筑波大)
- 3 事例から抽出された特徴に基づく関係型パターンマイニング法と他手法の比較
○中野裕介, 犬塚信博 (名工大)
- 4 Linked Data を利用した関係抽出に基づく情報拡張
○大西可奈子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 5 英語俳句の特徴抽出と文書ベクトルの構成
○檀 裕也, 墨岡 学 (松山大), 和田 武 (愛媛大)

一般セッション [5B 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- ソーシャル Web** **座長 飯沢 篤志 (リコー)**
- 1 Twitter を用いたテレビ番組からのイベント検出及びラベル付与手法
○中澤昌美, 帆足啓一郎, 小野智弘 (KDDI 研)
- 2 Twitter を用いた地域別食生活調査
○鈴木貴文, 今井慈郎, 堀 幸雄 (香川大)
- 3 統制語彙を利用した SBM 用ブラウザ機能の試作
○長屋 俊, 板橋慶造 (JAEA)
- 4 粒子フィルタを用いたユーザのネット上での検索要求背景推定
○佐藤 哲 (楽天)
- 5 曖昧性を考慮した多様なクエリ推薦
○江田毅晴 (NTT), 俵本一輝 (京大), 宮原伸二, 片淵典史, 片岡良治 (NTT)
- 6 情報推薦のための意外性判定方式の提案と評価
○村岡優輔, 久寿居大, 楠村幸貴, 水口弘紀 (NEC)

一般セッション [6B 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

- 分散ストレージ** **座長 山口 実靖 (工学院大)**
- 1 複数データソース間における効率的なデータ連携処理方式の提案
○楓 仁志, 高山茂伸, 菅野幹人 (三菱)
- 2 An evaluation of Fat-Btree based and HDFS based Storage Systems for Small File I/O Applications
○羅 敏, 横田治夫 (東工大)
- 3 Performance Comparison of Power-Proportional Approaches in Power Saving of Storage Systems
○HIEU HANH LE, 引田諭之, 横田治夫 (東工大)
- 4 OLTP を対象としたアプリケーション協調型大規模ストレージ省電力制御方式の提案及び評価
○西川記史, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)
- 5 Bloom フィルタを用いた分散 Web システムにおける共通アクセス履歴の効率のよい構築
○橋崎修二 (長崎大)

一般セッション [1C 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- 情報システム** **座長 橋本 隆子 (千葉商科大)**
- 1 Web サービスによる加工工程決定支援システム
○越田高志 (松江高専)
- 2 温室効果ガス排出による企業財務への影響分析のための XBRL タクソノミ
○佐藤史子 (日本 IBM)
- 3 ドメイン知識を用いた異名義 RDF エンティティの同一性推定手法の検討
○森田大翼, 飯塚京士, 村山隆彦, 赤埴淳一 (NTT)
- 4 「広告・広報・宣伝」効果を意識した大学発インターネット放送局設計
○藤本貴之 (東洋大)
- 5 アンケート調査実施のためのマークアップ言語とプロセッサの開発
○久保裕也 (千葉商科大)
- 6 Web 上の文書を対象とした産学連携研究開発情報抽出の試み
○蔵川 圭, 孫 媛, 西澤正己, 柿沼澄男, 相澤彰子 (国立情報学研)

一般セッション [2C 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

- センサデータベース** **座長 渡辺 陽介 (東工大)**
- 1 実世界認識エンジン活用プラットフォームの提案
○山田洋志, 白石展久, 有熊 威, 亀井真一郎, 河又恒久 (NEC)
- 2 実世界認識エンジン活用プラットフォームの試作
○有熊 威, 北野貴稔, 白石展久, 小山和也, 河又恒久 (NEC)
- 3 環境情報データベース向けリアルタイムセンサデータロード方式
○竹田義聡, 中村隆顕, 和田貴成, 郡 光則 (三菱)
- 4 環境情報データベース向け多拠点センサデータ管理方式
○森山令子, 郡 光則, 山岸義徳 (三菱)

- 5 環境情報データベース向け高性能センサデータ圧縮方式
○加藤 守, 谷垣宏一, 郡 光則 (三菱)
 - 6 大規模空間データからの最適領域集合の効率的な発見方法
○森川裕章, 浅井達哉, 多湖真一郎, 稲越宏弥, 湯上伸弘, 岡本青史 (富士通研)
- 学生セッション [1M 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)**
- 関連抽出・情報統合** **座長 大塚 真吾 (神奈川工科大)**
- 1 WWW 検索ログに基づく時系列に着目した検索語間の関連性の分析
○小澤泰輔 (芝浦工大), 望月崇由, 松田達樹 (NTT レゾナント), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
 - 2 携帯電話検索における検索語間の COS 関連度の可視化と分析
○鎌形 孟, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大), 貝谷實榮, 木村義彦 (エフルート)
 - 3 Wikipedia の時系列アクセス数に着目した関連度算出
○瀧口裕一, 大石哲也, 長谷川隆三, 藤田 博, 越村三幸, 倉門浩二 (九大)
 - 4 レコード間の相関を用いた Web 情報統合方式の評価
○于 美麗, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
 - 5 Web 上の HTML 文書を利用した辞書拡張
○伊藤 淳, 寛 捷彦 (早大)
 - 6 オントロジを用いたレシピ分類とベストプラクティスの抽出
○平岡光重, 佐賀亮介, 松本一教 (神奈川工科大)
 - 7 多言語 Wikipedia を用いた伝統文化の差異情報抽出の提案
○藤原裕也, 灘本明代 (甲南大)
 - 8 ストリーム管理機構を用いたコミュニケーションストリームポータル C-SPOT の提案と試作
○嘉村巨太, 川村 陸, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)
 - 9 オンライン教材として Wiki を用いた演習における Web 閲覧履歴の活用
○若菜勇気, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 学生セッション [2M 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)**
- 情報推薦 (1)** **座長 土方 嘉徳 (阪大)**
- 1 栄養情報を活用した目的指向料理推薦システムの試作
○岩上将史, 安藤哲志, 伊藤孝行 (名工大), 田中雅章 (鈴鹿短大)
 - 2 健康管理のための柔軟なレシピ推薦への取り組み
○三野陽子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
 - 3 Web 上の技術情報と企業間の関係を用いた提携企業推薦
○東井礼佳, 中村健二, 小柳 滋 (立命館大)
 - 4 イベント履歴を用いたスケジュール推薦カレンダーシステム
○大橋亮人, 白松 俊, 大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)
 - 5 相関ルールに基づく外れ値検出手法を用いたユーザレビュー情報の分析
○高橋 毅, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
 - 6 EC サイトにおけるユーザレビューが購買行動に与える影響に関する研究について
○江川雄太 (千葉工大), 一藤 裕 (国立情報学研), 今野 将 (千葉工大)
 - 7 レコメンデーションに誘導されやすい顧客を抽出する吉兆度方式の効率化
○高島隼也, 高山 毅, 村田嘉利, 佐藤永欣, 加藤大樹 (岩手県大)
 - 8 推薦対象に対する説明付加による推薦満足度向上手法
○中村 仁, 小林亜樹, 高橋 徹 (工学院大)
 - 9 創造的開発技法における因果モデル洗練のための閾値設定法の検証
○北見孝大, 佐賀亮介, 松本一教 (神奈川工科大)
- 学生セッション [3M 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)**
- 推敲支援技術** **座長 宇陀 則彦 (筑波大)**
- 1 (講演取消)
 - 2 ミーティングにおけるメモの効率的活用と議事録テキストからの背景情報の検索
○高橋 勲, 石戸谷顕太郎, 土田貴裕, 太平茂輝, 長尾 確 (名大)
 - 3 DrawerFinder: 収納箱に適した物探し支援システムの提案と運用
○小崎崎端穂, 塚田浩二, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 4 シナリオ記述支援のための情報管理システムの開発
○戀津 魁, 伊藤彰教, 三上浩司, 近藤邦雄, 菅野太介, 金子 満 (東京工科大)
 - 5 Wikipedia カテゴリおよび自己相互情報量に基づく関連検索キーワード生成による知識拡充支援
○河内沙織, 豊田哲也, 延原 肇 (筑波大)
 - 6 多言語対訳用語集における付加情報の活用
○村上知弘, 油井貴之, 桑原和宏 (立命館大)
 - 7 データ・書式の共有による書類作成支援システムに関する研究
○安田 愛, 藤澤公也 (東京工科大)
 - 8 セマンティックウェブを用いたニュース理解支援方式
○松岡巨樹, 井上 潮 (電機大)
- 学生セッション [4M 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)**
- 情報推薦 (2)** **座長 堀 幸雄 (香川大)**
- 1 明示的な嗜好評価を活用した商品推薦システムの実装とその評価
○伊藤ゆかり, 波多野賢治 (同志社大), 松本尚宏 (ワインスペース)
 - 2 スライド作成支援のためのコンテンツ再利用評価機構
○清水 堅, 白松 俊, 大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)
 - 3 ソーシャルネットワークに基づいた学務情報掲示板システムの提案
○雲下泰宏 (静岡大)
 - 4 完全グラフによる異ジャンル間の嗜好傾向表現と協調フィルタリングの発見性向上への応用
○杉本拓弥, 豊田哲也, 延原 肇 (筑波大)
 - 5 個人のコンディションや欲求を考慮した献立推薦システムの実装とその評価
○長村玲奈, 波多野賢治 (同志社大)
 - 6 ネットワークモデルに基づいたエージェントシミュレーションによる情報推薦システム評価方法の提案
○岡本幸樹, 佐賀亮介, 松本一教 (神奈川工科大)
 - 7 嗜好と異なる推薦による購買を後押しする商品推薦手法
○大豆生田久志, 小林亜樹, 佐藤宏紀 (工学院大)
 - 8 レビューデータの分析に基づく映画推薦方法の提案
○吉田 真 (都立産業技術高専), 本村陽一 (産総研), 梅津 文 (GEM Partners), 横井 健 (都立産業技術高専)
- 学生セッション [5M 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
- DBMS・ストレージ・省電力化** **座長 須賀 啓敏 (NTT)**
- 1 RDBMS の Planner におけるスキャンコスト見積もりの改善
○梅澤辰徳, 山口実靖 (工学院大)
 - 2 ストリーム処理エンジンと主記憶 DBMS の統合利用方式
○小山田昌史, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
 - 3 大規模な異種データ解析のための情報基盤
○山田拓人, 鈴木一徳, 和良品友大, 林 隆史 (会津大)
 - 4 クラウドストレージのスケラビリティ評価
○奥寺昇平, 長尾洋也, 中村俊介, 首藤一幸 (東工大)
 - 5 クラウドストレージを用いた日本語全文検索
○建部大輔, 首藤一幸, 中村俊介 (東工大)
 - 6 (講演取消)
 - 7 アクセス頻度情報を付与したインデックスによるデータベースの省電力化手法
○入谷 優, 横田治夫 (東工大)
 - 8 複数ディスクからなるストレージシステムの省電力化手法における電力削減効果の比較
○引田諭之, 横田治夫, Hieu Hanh LE (東工大)
 - 9 オンライントランザクション処理におけるスループットを考慮したブロッセッサ省電力手法の実験的考察
○早水悠登, 合田和生, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)
- 学生セッション [6M 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)**
- ネットワーク分析** **座長 平手 勇宇 (楽天)**
- 1 EC サイトへの訪問キーワードに着目したアクセス動向の可視化手法の提案
○久米 亨, 中村健二, 小柳 滋 (立命館大)
 - 2 NDC を用いた人物ディレクトリの開発
○浦 芳伸, 村上晴美 (大阪市大)

3 エゴセントリックネットワークのパターンマイニング

○竹内 晨, 犬塚信博 (名工大)

4 論文発表年数の分散分析を重みづけとして考慮したネットワーク分析による学術俯瞰

○大槻 明, 川上あゆみ (お茶の水女子大)

5 頂点間の類似度の足し合わせによるリンク予測精度の改善

○元田剛史, 村田剛志 (東工大)

6 データストリーム処理を利用した 複雑ネットワークグラフ処理

○雁瀬 優, 鈴木豊太郎 (東工大)

学生セッション [1N 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

情報抽出 座長 福井 美佳 (東芝)

1 Web 上からの段階的なイベント情報特定によるバンドメンバーの経歴自動収集

○澤田真吾, 吉谷幹人, 浜中雅俊 (筑波大)

2 関係の対称性を用いた Relational Search の精度向上法

○後藤友和, Nguyen Tuan Duc, Danushka Bollegala, 石塚 満 (東大)

3 文章中の重複表現の指摘方法の提案

○中野智彦, 丸山 広, 高嶋章雄, 中村太一 (東京工科大)

4 編集距離を組み込んだ Wrapper による類似タグ構造を持つ情報の抽出

○坪島恭平, 大和田勇人 (東理大)

5 木構造類似度算出法のための複数観点の抽出法

○池田健人, 波多野賢治 (同志社大)

6 逐次的なクエリ拡張のためのサポートベクターマシンの利用

○林 平将, 池田健人, 波多野賢治 (同志社大)

7 携帯電話検索ログの検索語以外の要素を用いた年代推定法の検討

○佐野勝浩, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大), 貝谷實榮, 木村義彦 (エフルート)

8 関連ファイルの発見におけるファイル RMC 操作の考慮

○呉 怡, 渡辺陽介, 横田治夫 (東工大)

9 アクセスログに基づくファイルと Web ページの関連性抽出手法

○宋 強, 渡辺陽介, 横田治夫 (東工大)

学生セッション [2N 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

マイクロブログ 座長 灘本 明代 (甲南大)

1 マイクロブログにおける関連語の自動抽出

○岩井一晃, 鈴木 優, 石川佳治 (名大)

2 マイクロブログの時系列情報を利用した関連語発見手法に関する研究

○和泉 諒, 西山裕之 (東理大)

3 人と計算機を情報資源とする統合情報検索システム CySearch の提案

○三津石智巳, 望月祥司, 森嶋厚行 (筑波大)

4 アカウント情報の信頼度を考慮した Twitter アカウント検索システムの設計と実装

○券田孝晴, 西山裕之 (東理大)

5 Twitter のリスト機能を用いたユーザの特徴抽出

○奥川 巧, 大石哲也, 長谷川隆三, 藤田 博, 越村三幸, 倉門浩二 (九大)

6 Twitter を使ったコミュニケーション BOT の開発

○上原潤紀, 木村泰輔, 小泉裕俊, 大谷 真 (湘南工科大)

7 マイクロブログと気象データを利用した眠気の予測

○矢野裕司 (都立産業技術高専), 加藤由花 (産業技術大), 横井 健 (都立産業技術高専)

8 Twitter ハッシュタグの構造化に関する研究

○谷田川将之, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)

9 Twitter 発言の時系列解析に基づくハッシュタグの内容説明

○黒木陽介, 大石哲也, 長谷川隆三, 藤田 博, 越村三幸, 田代祐一 (九大)

学生セッション [3N 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

Web アプリケーション 座長 八重樫 理人 (香川大)

1 (講演取消)

2 Ajax アプリケーションの Flash 変換システムの提案と実装

○長谷川慎哉, 早川智一, 正田輝雄 (明大)

3 円滑なメタパス内 PBL を指向した多言語環境の構築と評価

○田口亮輔, 中平勝子 (長岡技科大), 兼松秀行 (鈴鹿高専), 福村好美 (長岡技科大)

4 AWS ミドルウェアの現行仕様の問題点とその改善の検討 ~ AWS ミドルウェアとは ~

○平本真道, 木村泰輔, 大友浩照, 大谷 真 (湘南工科大)

5 AWS ミドルウェア: 動的モデル協調の改良

○大友浩照, 安齋太一郎, 木村泰輔, 大谷 真 (湘南工科大)

6 AWS(自律型 WEB サービス) フレームワークにおける並行取引の制御

○二宮良太, 大谷 真, 平本真道, 安齋太一郎 (湘南工科大)

7 自律型 Web サービス メッセージング基盤の開発

○木村泰輔, 二宮良太, 平本真道, 大谷 真 (湘南工科大)

8 AWS(自律型 Web サービス) における取引様式の互換性決定方式の研究

○安齋太一郎, 大友浩照, 二宮良太, 大谷 真 (湘南工科大)

学生セッション [4N 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

XML・検索アルゴリズム 座長 江口 浩二 (神戸大)

1 正規本文法のための差分抽出アルゴリズム

○堀江和磨, 鈴木伸崇 (筑波大)

2 XML スキーマの更新履歴からの XML 文書形式の自動変換

○光吉和哉, 杉本典子, 中富竜一郎, 堀江隆太 (崇城大)

3 XML データに対するファセット検索のユーザビリティ評価

○駒水孝裕, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

4 Valable LCA 探索のためのサイズを考慮した索引構成

○小林 径, 横田治夫 (東工大)

5 確率的スキーママッチングによる複数 XML データに対する問合せ

○添野隆之, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

6 数式データベースを用いた曖昧な数式の発見

○大瀬戸良輔, 甲斐 博 (愛媛大)

7 距離尺度の組み合わせによる Top-k 検索の提案

○鈴木貴敦 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)

8 連続関数データに対する問合せ処理の効率化

○加藤 翔, 加藤芳秀, 石川佳治 (名大)

学生セッション [5N 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

検索アプリケーション 座長 服部 峻 (東京工科大)

1 FACT-Graph を用いた社説の比較分析

○高見澤聖子, 佐賀亮介 (神奈川工科大), 辻 洋 (阪府大), 松本一教 (神奈川工科大)

2 潜在的な意味を考慮したトピック追跡の一考察

○芹澤 翠, 小林一郎 (お茶の水女子大)

3 CGM 画像の時系列トレンド可視化システム

○上條哲也, 伊藤正彦, 豊田正史 (東大)

4 感情ベクトルを用いた名言検索手法の提案

○高岡幸一, 灘本明代 (甲南大)

5 ユーザの嗜好にあったマイナースポーツの検索

○服部祐基, 灘本明代 (甲南大)

6 フレグランスのにおいの検索方式の効率化と購入支援システムの開発

○川崎 葵, 高山 毅, 村田嘉利, 佐藤永欣, 大上 藍 (岩手県大)

7 コーヒーのにおいと味を考慮した検索方式と購入支援システムの開発

○松田直子, 高山 毅, 佐藤永欣, 村田嘉利, 大上 藍 (岩手県大)

8 航空機製造のための精密ファスナ検索支援システムの試作

○窪田雄一, 大塚孝信, 伊藤孝行, 川口将吾 (名工大)

学生セッション [1P 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

マルチメディア 座長 高久 雅生 (物質・材料研)

1 DRM 導入検討者の意思決定支援システムの提案

○飯田陽一, 関亜紀子 (日大)

2 複数のソーシャルメディアを連携させる iGoogle ガジェットの開発

- 「トキ」に関する情報ポータル -

○杉本佳奈子 (東京工科大), 岡崎博樹 (仕事工房), 高橋正視 (教育ソフト研究所), 上林憲行 (東京工科大)

3 (講演取消)

4 MPEG-1/2 中の直流成分を利用した動画検索方式の評価

○小友知己, 伊藤慶明, 小嶋和徳, 石亀昌明 (岩手県大)

5 閲覧情報のリアルタイム共有による映像娯楽システムの提案

○伊藤永悟, 藤田光治, 藤本貴之 (東洋大)

6 映像と論文の部分引用関係に基づく映像シーン検索の高度化

○棚瀬達央, 山本圭介, 石戸谷顕太郎, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)

- 7 映像と論文のアノテーションに基づく論文読解支援
○山本圭介, 棚瀬達央, 石戸谷顕太郎, 太平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 8 汎用性を考慮した分割放送型配信システムの実現
○木村明寛, 後藤佑介, 谷口秀夫 (岡山大)

学生セッション [2P 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

検索システム 座長 石川 大介 (国立情報学研)

- 1 複数観点からのコンテンツ列挙型書籍検索インタフェース
○後藤達弥 (電通大), 藤村 考 (NTT)
- 2 Web サーバ側によるアノテーションサーバ指定の提案及び Annoplus による実装
○望月敬太, 栗野哲史, 塩澤 元, 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)
- 3 GWAP によるオントロジ構築手法の提案
○安永ゆい, 望月祥司, 森嶋厚行 (筑波大)
- 4 Web 文書への主観的評価を融合する Web2.0 型検索エンジンの開発
○田中直樹, 高山 毅, 佐藤永欣, 村田嘉利, 生田脩二 (岩手県大)
- 5 ハッシングを使ったアナグラム検索システム
○中野尚則, 奥井 順 (近畿大)
- 6 クラウド (GAE) 上の web ファイルシステムの検討
○秋山聖登, 田又裕一, 大谷 真 (湘南工科大)
- 7 Parallel Distance Based Outlier Detection in Very Large Datasets on Hadoop environment
○邱 倩如, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
- 8 Suffix Array による可変長 N-gram を用いた類似文字列検索
○木村光樹 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)
- 9 メモリ上の全文検索システムのためのデータ構造と処理の効率化
○渡辺健太郎 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)

学生セッション [3P 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

位置情報システム 座長 垂水 浩幸 (香川大)

- 1 AVM データのリアルタイムでのマイニングを導入した, タクシーの待ち / 流し位置レコメンデーション
○熊谷彩夏, 高山 毅, 佐々木貴済, 佐藤永欣, 村田嘉利 (岩手県大)
- 2 マイクロブログを利用した Web サイトの閲覧者像と地域性の推定
○西田綾佑, 高崎 隼, 平田紀史, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 マイクロブログからの地域の話題抽出に関する研究
○中本聖也, 北野光一, 寺口敏生, 田中成典, 西江将男 (関西大)
- 4 マイクロブログから抽出した地物情報と投稿間隔を考慮した位置情報推定
○河野愛樹, 中村健二, 小柳 滋 (立命館大)
- 5 マイクロブログのジオタグを用いたユーザの行動パターンの調査に関する研究
○酒巻智宏, 岩井将行, 瀬崎 薫 (東大)
- 6 地球観測衛星データと Web コンテンツの統合による新築建造物および地形変化の検出
○王 春永, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
- 7 センサデータを利用したナビゲーションのためのデータベースシステムの提案と実装
○伊藤嘉博, 荒井健次, 白石 陽, 藤野雄一, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 8 オンラインバスマップの研究・開発
○田中 亮, 松田勝敬 (東北工大)

デモセッション [デモ会場]

デ-05 (3月2日 (水), 3月3日 (木), 3月4日 (金))

専門家の知識と群衆の叡智を融合する次世代図鑑検索システムの研究開発

○高野 茂 (九大), 井上創造 (九工大), 馬場謙介 (九大)

デ-06 (3月2日 (水), 3月3日 (木), 3月4日 (金))

地方自治体向け例規管理システムの設計と開発

○齋藤大地, 野上正充, 鈴木英紀, 佐藤正文, 高林 彰 (クレステック)

第2分冊

(人工知能と認知科学)

一般セッション [3C 会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

人工知能一般 (1) 座長 ライエル グリムベンゲル (東京工科大)

- モンテカルロ碁におけるポテンシャルモデルの適用
○大島 真, 山田孝治, 遠藤聡志 (琉球大)
- 3 RO board analysis by Primitive Go
○星 淳一 (キャンノン)
- コンピュータ将棋への TD(λ) 法の適用 :Bonanza の評価関数パラメータ値
○五十嵐治一, 山本一将 (芝浦工大)
- 1次元2状態セル・オートマトンのネットワーク表現
○香山喜彦 (梅花女子大)
- 1次元セル・オートマトンのネットワーク表現におけるクラスタ構造
○今村泰正, 香山喜彦 (梅花女子大)
- 1/f ゆらぎにもとづく2次元3状態万能セルオートマトンの探索
○蜷川 繁 (金沢工大)
- 統計的解析に基づいた秘匿通信系カオスモデルの設計
○清水能理 (八戸工大)

一般セッション [4C 会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)

音楽情報科学 座長 北原 鉄朗 (日大)

- Speaker Localization Using Two-Channel Microphone on the SIG-2 Humanoid Robot
○Uihyun Kim, Toru Takahashi, Tetsuya Ogata, Hiroshi G. Okuno (Kyoto University)
- Classification of Harmonic and Textural Keyboard Playing Style Using Acoustic Features
○JOOYOUNG AHN, 前澤 陽, 糸山克寿, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- MIDI 鍵盤を用いた指くぐり習得支援システム
○堀川澄弘 (広島市大)
- WEB コミュニケーション連動楽曲再生システム
○石先広海, 帆足啓一郎, 小野智弘 (KDDI 研)
- マルコフ過程と GA を組み合わせた楽曲再生順序最適化
○石井 充, 松尾和洋 (金沢工大)

一般セッション [5C 会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

人工知能一般 (2) 座長 櫻井 祐子 (JST)

- クラス所属確率を用いた多クラス SVM におけるアンサンブル学習
○高橋和子 (敬愛大)
- CCCP を用いた最大マージンクラスターリングのカーネル化
○塚原裕史 (デンソーアイティラボラトリ), 高橋宏子, 趙 晋輝 (中大)
- 周期的環境に対するフーリエ混合強化学習法
○野田五十樹 (産総研)
- 資源供給ネットワークにおける資源・経路割り当てモデルと協調的な解法の検討
○松井俊浩, 松尾啓志 (名工大)
- 複数論点交渉問題の論点群生成に基づいた高速化手法の提案
○藤田桂英 (名工大 / マサチューセッツ工科大), 伊藤孝行 (名工大), Mark Klein (Massachusetts Institute of Technology)
- マルチエージェントシステムにおける ACO を用いた行動獲得手法の提案
○笹岡久行 (旭川高専)

一般セッション [6C 会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 16:30)

画像処理 座長 船富 卓哉 (京大)

- (講演取消)
- デジタルカメラ近赤外画像を用いた植生状況推定の評価
○尾崎敬二 (国際基督教大)
- 表面筋電信号からの指文字認識手法
○平山 亮 (金沢工大), 米山和也, 小池康晴 (東工大)
- 多段階画像処理におけるメモリアクセス削減の検討
○高橋幸恵, 境 隆二, 今田 敬, 加藤宣弘 (東芝)

- 次世代映像符号化技術の複雑度と性能の指針
○山岸秀一, 村上篤道, 杉本和夫, 山田悦久, 加藤嘉明 (三菱)
- 視覚障害者のための化粧支援の検討 - リップメイクの支援
○蔵屋直身, 小町祐史 (阪工大)

一般セッション [1D 会場] (3月2日(水) 9:30 ~ 12:00)

情報抽出・検索 座長 藤井 敦 (東工大)

- 質問応答システム Metis における深層格とオントロジーを用いた回答精度向上
○原田 実, 西岡晋太郎 (青学大)
- 評価表現の自動抽出とテキストマイニングシステム STM への組み込み
○原田 実, 泉 祥太, 関谷瑠紀 (青学大)
- 地域に関する意見収集のための Web 上の記事を用いたイベント追跡システム
○平田紀史, 白松 俊, 大田忠親, 新谷虎松 (名工大)
- Web ニュースからの LDA に基づく興味学習手法
○東原智幸, 渥美雅保 (創価大)
- (講演取消)
- 言語横断型の関係類似性を利用する潜在関係検索
○Tuan Duc Nguyen, Bollegala Danushka, 石塚 満 (東大)
- Web 掲示板を利用した QA データの自動収集と表示
○韓 東力, 早川晃史, 土方聡子, 前橋孝弘 (日大)

一般セッション [2D 会場] (3月2日(水) 14:30 ~ 17:00)

自然言語処理 座長 荒牧 英治 (東大)

- 副詞節の役割的關係及びヴォイスの解析精度向上
○原田 実, 加藤大知 (青学大)
- 章節構造をもつ長文にも対応した自動要約手法の開発研究
○原田 実, 西尾公秀 (青学大)
- 意味解析に基づく自然な対話によるロボット操作インタフェースの構築
○原田 実, 肥塚義明, 池田晃祐 (青学大)
- Sequential Co-clustering を用いた行列近似手法とその定量的分析
○稲垣隆史, Danushka Bollegala, 石塚 満 (東大)
- 複数翻訳機の利用による折り返し翻訳の精度不一致防止効果の検証
○宮部真衣, 吉野 孝 (和歌山大)
- 一般的概念関係を用いたなぞなぞ文生成システム
○金久保正明 (静岡理工科大)
- 外部知識としてウェブを用いた 3-gram 言語モデル拡張手法の検討
○西村竜一, 島田敏明, 田中雅康, 河原英紀, 入野俊夫 (和歌山大)

学生セッション [4P 会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)

対話・インタフェース 座長 西本 卓也 (東大)

- 複数サブワード認識結果統合による音声中の検索語検出の精度向上
ー複数の音響モデル・言語モデルの利用ー
○斉藤裕之, 伊藤慶明, 小嶋和徳, 石亀昌明 (岩手県大), 田中和世 (筑波大), 李 時旭 (産総研)
- 音声クエリによる未知語問題の改善と検索精度の向上
○本館修史 (岩手県大)
- 潜在的意味解析を用いた車内発話の話題推定に基づく目的地提案
○矢澤大心, 西崎博光, 関口芳廣 (山梨大), 北岡教英 (名大)
- 誤認識頻発状況下で選択肢列挙を行う音声対話システムとその評価
○松山匡子 (京大), 駒谷和範 (名大), 武田 龍, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 曖昧な発話に対応可能な音声制御システムの開発
○松本友里, 中村真吾, 橋本周司 (早大)
- 音声対話システムの応答における親密度と情報量に着目した心的負担に関する分析
○芦沢卓也, 西田昌史, 山本誠一 (同志社大)
- 神経力学モデルの引込みによる相槌タイミング予測
○佐野正太郎, 尾形哲也, 日下 航, 高橋 徹, 奥乃 博 (京大)
- 会話話者交替規則の検証
○天野浩太郎, 三浦孝夫 (法大)

学生セッション [5P 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

人工知能一般 (2) 座長 保木 邦仁 (電通大)

- インターネットを介した自律的なニューロ・マーケティング・システムの構築
○宮川和大 (一橋大), 木下寛大 (楽天), 参沢将匡 (富山大), 下川哲矢 (東理大)
- 生体情報のマイニングによる投資意思決定モデルの精緻化
○荒山泰佑, 下川哲矢 (東理大)
- 人工市場における神経経済学的分析: 意思決定バイアスとマーケットイベントを中心に
○酒谷拓孝, 下川哲矢 (東理大)
- セマンティックセンサーネットワークにおける時系列処理の提案
○尾形正泰, 大澤博隆, 今井倫太 (慶大)
- (講演取消)
- 生物の特徴を活かした筋配列モデル水中ロボットのシミュレーション
○早野洋起, 中沢 実, 渡辺弥壽夫 (金沢工大)
- セルオートマトンを用いた多値画像のストライプノイズに対するノイズ低減の評価
○澤田 学, 佐藤正平, 狩野 均 (筑波大)
- P2P 防犯エリアネットワークにおける動体の軌跡に基づく不審者検出方式の実装
○長宝有希, 一戸勇太, 佐藤永欣, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大)

学生セッション [6P 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

音声・話者認識 座長 篠田 浩一 (東工大)

- 音源数同定とブラインド音源分離を同時に行う infinite ICA
○柳楽浩平, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- L1 ノルム最小化による劣決定音源分離のための線形計画と二次錐計画の比較評価
○平澤恭治, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- ロボット聴覚のための Matching Pursuit による複数環境音の同定
○山川暢英 (京大), 北原鉄朗 (日大), 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 筋電位信号による子音認識のための認識パラメータの調査
○菅沼 健 (東京都市大)
- 話者照合と音声認識を併用したスマートフォン向け認証システムの作成
○平野邦彦 (法大)
- リフティングウェーブレットフィルタに基づく音声認証システムの開発
○深田晋吾, 高野 茂, 岡田義広, 藤崎清孝 (九大)
- GMM 間の KL 距離に基づく Anchor Model のクラスタリングによる話者認識
○細川光政, 西田昌史, 山本誠一 (同志社大)
- デジタル放送の字幕情報を用いた発話者のアノテーション
○山室慶太, 伊藤克亘 (法大)

学生セッション [1Q 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

ニューラルネット 座長 本村 陽一 (産総研)

- 神経力学モデルによる予測可能性を用いた身体識別
○信田春満, 尾形哲也, 奥乃 博, 高橋 徹, 日下 航 (京大)
- 動的環境へ適応可能な進化学習システムの提案
○角 秀夫, 大枝真一 (木更津高専)
- スパイキングニューラルネットにおけるマルチスバイク誤差逆伝搬学習法
○井上大輔, 服部元信 (山梨大)
- 再帰結合神経回路モデルへのスパース構造導入による学習能力の向上
○栗野皓光, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 高橋 徹, 奥乃 博 (京大)
- カオス複素多方向連想メモリにおける 1 対多の想起能力の向上
○古田明生, 長名優子 (東京工科大)
- 不応性を有する自己組織化特徴マップを用いた音楽検索における入力の揺らぎに対するロバスト性の向上
○趙 仲秋, 長名優子 (東京工科大)
- ニューロンの追加が可能な時系列パターンのための領域表現を用いた高速 KFM 連想メモリ
○天野淳平, 長名優子 (東京工科大)

- 重みベクトルの分布に基づいた想起が可能な改良型 KFM 連想メモリによる拡張適格度を用いた強化学習
○渡邊幸佑, 長名優子 (東京工科大)
- RBF ネットワークを用いた風景画像中の人工物領域の特定-K 平均法とエッジを用いた領域分割による精度の向上 -
○坂下裕太, 長名優子 (東京工科大)
- 不応性を有する自己組織化特徴マップによる人工物領域を考慮した類似画像検索-人工物領域の色情報を考慮した検索 -
○小林 港, 長名優子 (東京工科大)

学生セッション [2Q 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

遺伝的アルゴリズム 座長 牧野 貴樹 (東大)

- 遺伝的プログラミングを用いた多関節ロボットを対象とした強化学習における報酬関数の進化モデル
○角野翔太, 武藤敦子, 加藤昇平 (名工大)
- 写真のジオコーディング支援に用いる遺伝的探索における緩和問題の改善
○鳴瀬大二郎, 鈴木徹也 (芝浦工大)
- 移住の少ない分散遺伝的アルゴリズムにおけるエリート保存方式の検討
○佐藤一法, 吉野純一, 内田 健 (サレジオ高専)
- 複数許容解を探索する改良型 ABC アルゴリズム
○西元雅明, 宇谷明秀, 山本尚生 (東京都市大)
- PDGA における階層コーン型トポロジの探索性能及び構造に関する検証
○今 康德, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- 多プロセス並列 PtGA における移民戦略の改良についての検討
○赤平俊之, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- ゲーム確率モデルを用いた確率増殖プログラム進化と協調共進化による対戦ゲームの設計方法
○陳 浩洋, 森康久仁, 松葉育雄 (千葉大)
- Voronoi 手法による巡回セールスマン問題 (TSP) の解法の性能改善
○木村 翼, 高橋良英 (八戸工大)
- ライフライン網の相互連関を含む災害復旧計画問題への遺伝的アルゴリズムの適用
○味方さやか, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 進化計算を用いたロボットの行動学習に関する一考察
○曾我紗知子, 小林一郎 (お茶の水女子大)

学生セッション [3Q 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

人工知能一般 (1) 座長 小松 孝徳 (信州大)

- 神経回路モデルによる言語とロボット動作の相互連想学習
○日下 航, 尾形哲也, 高橋 徹, 奥乃 博 (京大)
- 顔画像からのエゴグラム推定手法の構築
○菊地昭文, 羽倉 淳, 樽松理樹, 藤田ハミド (岩手県大)
- グループ会話対応型会話エージェントにおける非言語情報による受話者決定方式
○馬場直哉 (成蹊大), 黄 宏軒 (立命館大), 中野有紀子 (成蹊大)
- ユーザの頭部動作に基づく会話参加態度の推定
○大古亮太, 中野有紀子 (成蹊大)
- コミュニケーション能力の差異に着目した学級集団形成モデル
○青木一喜, 武藤敦子, 加藤昇平 (名工大)
- メタバースアバタへのジェスチャ自動付与に向けたマルチモーダルインタラクションの収集と分析
○塚本剛生, 室谷優実, 岡本雅史, 中野有紀子 (成蹊大)
- 三次元仮想空間でのアバタコミュニケーションを支援するジェスチャの自動生成
○岡島周作, 土肥 浩, 石塚 満 (東大)
- 運動指令依存ノイズに着目した確率的 Broadcast Feedback 制御の到達運動への適用
○寺岡宏敏, 池田篤俊, 栗田雄一 (奈良先端大), 上田 淳 (Georgia Institute of Technology), 小笠原司 (奈良先端大)

学生セッション [4Q 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

ゲーム 座長 田中 哲朗 (東大)

- 囲碁の利きに対するモンテカルロ法の利用について
○鈴木 寛, 相場 亮 (芝浦工大)

- 2 囲碁における形の美しさの評価
○円城寺亮, 中山泰一 (電通大)
- 3 モンテカルロ碁におけるプレイアウトの高速化
○高橋大介, 中村克彦 (電機大)
- 4 モンテカルロ碁における高次パターンを用いた着手候補点の選択
○大久保貴弘, 中村克彦 (電機大)
- 5 UCT 証明確率探索による詰碁解法プログラムの研究
○松本清吾, 丸山真佐夫 (木更津高専)
- 6 効率的ゲーム開発のためのゲーム AI 構築支援環境の提案
○木下茂雄 (茨城大)
- 7 (講演取消)
- 8 シリアスゲームにおける AI の意思決定過程可視化法の提案
○高橋大樹, 佐々木夏郎, 萩原佑亮, 志市侑紀, 古市昌一 (日大)

学生セッション [5Q 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- 強化学習** **座長 鶴岡 慶雅 (JAIST)**
- 1 学習の効率化を目的とした粗視化を用いた強化学習
○細井健輔, 能登正人 (神奈川大)
 - 2 Profit Sharing による強化学習における報酬の分配方法に関する提案
○竹内 翔, 仲道俊介, 原田 拓 (東理大)
 - 3 Q 学習による知覚情報の粗視化による追跡動作の学習
○桑原直哉, 三浦孝夫 (法大)
 - 4 POMDPs 環境下での過去の観測系列を用いた学習
○高森洋平, 長名優子 (東京工科大)
 - 5 動的環境を対象とした適応的強化学習の提案
○齋藤智輝, 大枝真一 (木更津高専)
 - 6 強化学習における政策再利用転移学習
○吉田慎二, 長谷川修 (東工大)
 - 7 移動ロボットにおける走行特性を組込んだ方策の強化学習
○鈴木亮次, 五十嵐治一 (芝浦工大), 石原聖司, 田中一基 (近畿大)

学生セッション [6Q 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

- 探索・推論** **座長 小谷 善行 (東京農工大)**
- 1 PSO を用いた遺伝的アルゴリズムによる最適化手法
○松本泰幸, 松井丈弥, 能登正人 (神奈川大), 森住哲也 (ネットエスアイ東洋), 木下宏揚 (神奈川大)
 - 2 局所探索を用いた島モデル GA の解探索の効率化
○岸澤彦明, 長名優子 (東京工科大)
 - 3 活性度を考慮したクラスタ構造型 Particle Swarm Optimization
○松江健人, 松井丈弥, 能登正人 (神奈川大), 森住哲也 (ネットエスアイ東洋), 木下宏揚 (神奈川大)
 - 4 エージェントの行動に基づく視覚情報によるランダム選択法を用いた ACO
○梁 賢徳, 能登正人 (神奈川大)
 - 5 知識の意味的な包含・類似関係を利用した日本語文向き概略推論法
○佐藤雄也, 石川 勉 (拓大)
 - 6 因果関係の強さに基づく定性モデル記述手法
○橋浦悠二, 松尾徳朗 (山形大)
 - 7 ベイジアンネットワークにおけるインタラクティブモデル構築手法の検討
○吉見将太, 黒川悦子, 橋本和夫 (東北大)
 - 8 貪欲的でない最良優先探索の提案と解析
○今井達也, 岸本章宏 (東工大)

学生セッション [1R 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- マルチエージェント (1)** **座長 伊藤 孝行 (名工大)**
- 1 広域道路網を対象としたマルチエージェント信号制御
○杉山雅人, 小野田烈, 狩野 均 (筑波大)
 - 2 都市交通における協調的な運転行動の計算モデル化
○宮澤佑樹, 服部宏充 (京大)
 - 3 エージェントを用いた車車間アドホック通信による交通情報の提供
○和田結輝, 能登正人 (神奈川大)
 - 4 センサを活用した都市空間の歩行シミュレーション
○倉林 雅, 藤田 悟 (法大)
 - 5 人流シミュレーションによる店内レイアウトの効果分析
○邊見典子 (早大)

- 6 (講演取消)
- 7 口コミネットワークを介した政党支持率の短期的変動の人工社会モデル
○田中克典, 武藤敦子, 加藤昇平 (名工大)
- 8 議論フレームワークにおけるステージ意味論の解集合プログラミングによる計算
○龍沢昌宏, 若木利子 (芝浦工大)
- 9 プリファレンス付き議論フレームワーク PAF の ASP による議論意味論計算
○永吉信雄, 若木利子 (芝浦工大)

学生セッション [2R 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

- 音楽・音響・音声の生成** **座長 平井 重行 (京産大)**
- 1 遺伝的アルゴリズムと N グラムモデルを用いた自動作曲システム - 評価方法の改善と N の値による違いの検討 -
○藤井一樹, 竹下光紘, 長名優子 (東京工科大)
 - 2 楽譜コンテキストマイニングと確率モデルに基づく楽曲アレンジ生成システム
○岡村亮吾, 山西良典, 加藤昇平 (名工大)
 - 3 voice2instr.: 音声変換型楽器の提案
○松永 渉, 太田高志 (東京工科大)
 - 4 環境音を用いたモザイク音楽の生成条件の検討
○武井 祥, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大), 阿部匡伸 (岡山大)
 - 5 多地点間仮想空間コミュニケーションのための 3 次元音響機能
○中山裕美, 梶 克彦, 河口信夫 (名大)
 - 6 F0・音韻長・パワー制御による歌声らしさ・話声らしさの変化の評価
○阿曾慎平 (京大), 齋藤 毅 (金沢大), 後藤真孝 (産総研), 糸山克寿, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
 - 7 感情表現を意図した音楽理論に基づく音声合成手法の提案
○千葉史輝, 樽松理樹, 羽倉 淳, 藤田ハミド (岩手県大)
 - 8 逆再生を利用した効果音の伸長手法
○飯島智恵, 岡部 誠, 尾内理紀夫 (電通大)

学生セッション [3R 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- 楽曲・演奏の認識・分析** **座長 帆足 啓一郎 (KDDI 研)**
- 1 隣接する音符の音高差に着目した譜めくりタイミングの推定法の検討
○湊山梨紗 (芝浦工大), 野池賢二 (無所属), 鈴木泰山 (ピコラボ), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
 - 2 (講演取消)
 - 3 楽譜の自動譜めくりシステムのための演奏位置推定方法
○小倉 淳, 松島俊明 (東邦大)
 - 4 (講演取消)
 - 5 アニメーション作品制作のための BGM 選定支援ツールの作成
○小野田裕, 伊藤克宣 (法大)
 - 6 日本の歌謡曲における音価と発音単位の対応関係の変化
○米田 諒, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)
 - 7 ロックミュージックにおけるアーティストの影響力の分析
○柴田裕基, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)
 - 8 旋律に潜むアーティストの特徴を捉えた楽曲間類似度
○鈴木崇也, 長谷川智史, 穴田 一 (東京都市大)
 - 9 ポピュラー音楽の歌唱を対象とする高音域発声評価システムの構築
○平山健太郎 (法大)

学生セッション [4R 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

- 要約・用語抽出** **座長 高村 大也 (東工大)**
- 1 (講演取消)
 - 2 同一事象を報告する複数文書の比較に基づく個々の情報伝達の差異に対する一考察
○坂梨 優, 小林一郎 (お茶の水女子大)
 - 3 文書内のイベントを対象にした潜在的ディリクレ配分法によるクエリに特化した要約
○北島理沙, 小林一郎 (お茶の水女子大)
 - 4 要約のための物語文章の時系列推定
○瀧本洋喜, 奥村紀之 (長野高専)
 - 5 単語の専門性に着目した気象学論文データベースからの専門語抽出
○宇井敬一郎, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

- 6 Web 検索と EC サイト、Wikipedia を利用した固有物名の抽出
○荒井 徹, 大和田勇人 (東理大)
- 7 助詞を含む固有名詞の形態素の頻度情報による抽出
○木村 徹, 古宮嘉那子, 小谷善行 (農工大)
- 学生セッション [5R 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
- 音楽音響信号処理 座長 亀岡 弘和 (NTT)**
- 1 調波パラメトリック NMF による楽器演奏音響信号の分析合成
○安良岡直希, 糸山克寿, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 2 スペクトル解析と統計手法を用いた弦楽合奏の音色分類・検索法についての一考察
○大部麻美子, 華山宣胤 (尚美学園大)
- 3 歌詞と音響特徴量を用いた楽曲の印象軌跡推定
○西川直毅, 糸山克寿 (京大), 藤原弘将, 後藤真孝 (産総研), 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 4 潜在的調波配分法に基づく隠れセミマルコフモデルを用いたベイズ的スコアライメント
○前澤 陽 (京大), 後藤真孝 (産総研), 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 5 伝達関数のスパース性仮定に基づく音楽音響信号中のディレイエフェクトブラインド推定
○阪上大地, 安良岡直希, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 6 基本演奏技能の習得支援を搭載したピアノ練習支援システムの構築
○山田和広, 中平勝子 (長岡技科大)
- 7 累積頻度重みを適用したパーティクルフィルタによる実時間楽譜追従
○大塚琢馬 (京大), 中臺一博 (ホンダ RIJ), 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 8 演奏音全体の音響情報を用いた即興演奏システム
○菅原芳晴, 山口友之, 橋本周司 (早大)
- 9 Audio-visual musical instrument recognition
○Angelica Lim (京大), 中村圭佑, 中臺一博 (ホンダ Research Institute Japan), 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 10 音楽に調和したフォトムービー自動生成システム
○勝俣洋介 (東京都市大)
- 学生セッション [6R 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)**
- 学習 座長 保木 邦仁 (電通大)**
- 1 確率分類ベクターマシンを用いた文書分類方式の検討
○池上裕之, 阿部洋志, 小林 学, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 2 複素サポートベクターマシン
○篠田北斗, 服部元信, 小林正樹 (山梨大)
- 3 SVM 学習のためのデータサンプリング法の検討
○高橋 洸 (東北大), 松本一則 (KDDI 研), 橋本和夫 (東北大)
- 4 看板画像からの文字抽出における処理領域の限定と特徴量の補強に関する研究
○大原宏太, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- 5 対話的操作によるロボット走行における不明確性の解消—自動車教習所のコースを想定した場合—
○本間 輝 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT サイバーソリューション研究所), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 6 勾配型学習法に対する学習データの与え方の影響に関する研究
○阿部俊和, 二宮 洋, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 7 農業における失敗事例に基づく経験・知識の継承支援の試み
○磯江陽生, 仲谷善雄 (立命館大)
- 8 (講演取消)
- 学生セッション [1S 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)**
- 自然言語インタフェース 座長 橋本 泰一 (東工大)**
- 1 話題推薦システムのためのモデル構築手法
○富坂亮太 (東大), 鈴木崇史 (東洋大), 相澤彰子 (国立情報学研究所 / 東京大学)
- 2 物語からの動作・発話ベースの構築と類推による応答生成
○後藤伸男, 原田 実 (青学大)
- 3 チャンキングとカテゴリを利用した携帯電話向け予測入力手法の提案
○蛭澤綾乃, 松原雅文, Goutam Chakraborty, 馬淵浩司 (岩手県大)
- 4 備忘録機能を有する雑談型の自由対話システム
○中山敬太, 石川 勉 (拓大)
- 5 時系列データの形状認識に基づく言語化への取り組み
○土橋亮子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 対話型観光地推薦システムにおける頑健性の向上手法
○渡辺雄介, 磯崎 紘, 杉本 徹 (芝浦工大)
- 7 ローマ字転写による縦書きモンゴル語入力方式構築のためのモンゴル語文字頻度分析
○巴図孟克, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
- 8 会話パターンの機械学習と知識ベースを用いた会話システムの研究
○菊地啓夫, 田胡和哉 (東京工科大)
- 9 系列学習と料理オントロジーに基づく調理手順の生成
○岡 伸吾, 東原智幸, 渥美雅保 (創価大)
- 学生セッション [2S 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)**
- 文書分類・検索 (1) 座長 相澤 彰子 (国立情報学研)**
- 1 大規模な共起辞書に基づく文書分類システムの試作
○安藤哲志, 藤井雄太郎, 川口将吾, 伊藤孝行 (名工大)
- 2 文書内のイベントを対象にした潜在的トピック抽出手法の提案
○北島理沙, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 3 チャット文章の利用目的に着目した分類方法の提案
○原田修平, 丸山 広, 高嶋章雄, 中村太一 (東京工科大)
- 4 コーパスに応じた MDS によるクラスタリング
○橋爪達矢 (法大)
- 5 ユーザの興味を喚起するブログ記事推薦システムの研究開発
○佐藤香葉, 北野光一, 寺口敏生, 田中成典, 今城彰子, 西江将男 (関西大)
- 6 文体に着目したメール分類システムとその応用
○辻野友孝, 白松 俊, 大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 7 サーベイ論文の解析結果を用いた文献分類手法の提案
○福井達也, 中村健二, 小柳 滋 (立命館大)
- 8 広告手法の特徴に基づくクチコミの分類に関する研究
○柳田尚明, 北野光一, 寺口敏生, 田中成典, 今城彰子 (関西大)
- 学生セッション [3S 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)**
- 情報抽出 (1) 座長 渋谷 英潔 (横浜国大)**
- 1 On Causal Relation Mining from Care Records
○Ahmad Zufri, 蜂谷和士, Antonia Scheidel, 橋本和夫 (東北大)
- 2 数式構造と周辺テキストの両面を考慮した数式情報抽出
○横井啓介 (東大), Minh NGHIEM (総研大), 松林優一郎 (国立情報学研), 相澤彰子 (東大)
- 3 Web 上に書き込まれたレビューからのノイズ除去
○原口まどか, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大), 吉村宏樹 (富士ゼロックス)
- 4 ユーザ間の Tweet 頻度偏り補正に基づくローカルバースト検出手法
○東口大樹, 仲野雅幸, 佐野博之, 白松 俊, 大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 5 (講演取消)
- 6 句末の特徴を用いた事実情報の抽出
○小倉めぐみ, 乾 展子, 横井 健 (都立産業技術高専)
- 7 自然言語における話題の適合性判断システム
○北澤翔翔, 奥村紀之 (長野高専)
- 8 日本語テキスト CDL 化のためのエンティティ間関係の判別
○井口宜久, 石塚 満 (東大), 内田裕士 (UNDL 財団)
- 学生セッション [4S 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)**
- 情報抽出 (2) 座長 吉田 稔 (東大)**
- 1 文章における著者の特徴解析
○國廣直樹, 長谷川智史, 穴田 一 (東京都市大)
- 2 キーワードの相関性に基づく研究者, 研究機関ごとの特徴抽出
○安藤志宙, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 3 WordNet を用いた機械学習による談話構造解析
○伊藤直貴, Hugo Hernault, 石塚 満 (東大)
- 4 時間的要因を考慮した属性獲得手法
○波多腰優斗, 奥村紀之 (長野高専)

- 5 感情極性に基づく文書の俯瞰分析への取り組み
○吉田知世, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 On Mental State Detection and Tagging in Nursing Records
○Antonia Scheidel, 蜂谷和士, Ahmad Zufri, 橋本和夫 (東北大)
- 7 検索サイトを利用した自由記述式アンケートの P/N 分類
○星野詞文, 岡 誠 (東京都市大), 吉村宏樹 (富士ゼロックス)

学生セッション [5S 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- 文書分類・検索 (2) 座長 岩倉 友哉 (富士通研)
- 1 文書ベクトルの次元削減に基づく有効な類似文書判定への取り組み
○梅澤香矢乃, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 2 (講演取消)
- 3 複数単語間の距離情報及び共起情報を利用した文書分類手法の提案
○藤井雄太郎, 安藤哲志, 伊藤孝行 (名工大)
- 4 Amazon のレビューの自動分類
○桑田大徳, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大), 吉村宏樹 (富士ゼロックス)
- 5 ウェブ上での言及と実体の同一性判定
○竹澤友博, 松尾 豊, 石塚 満 (東大)
- 6 検索質問間の関係を考慮したランキング関数の学習
○吉川幹人, 関 和広, 上原邦昭 (神戸大)
- 7 LSI 文書検索精度に応じた特徴語抽出
○桜井敬介, 三浦孝夫 (法大)
- 8 ユーザーのインターネットへの投稿を基にした検索支援システム
○熊谷康平, 横井 健 (都立産業技術高専)

学生セッション [6S 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

- 情報抽出 (3) 座長 岩倉 友哉 (富士通研)
- 1 Web 検索を用いた質問応答システム
○宮澤啓治, 奥村紀之 (長野高専)
- 2 嗜好情報と文書構造を利用した Web ページの局所的フィルタリング
○牛田恵利, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 3 文書群から単語のイメージを抽出する手法の提案
○土橋 哲, 岸 義樹 (茨城大)
- 4 相互関係を利用した属性抽出手法
○谷 直紀, ダヌシカ ボッレーガラ, 石塚 満 (東大)
- 5 消費者の意見分析に基づく商品の比較への取り組み
○落合恵理香, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 ブログからのお出かけ情報抽出
○松本敦志, 遠藤 拓, 杉本 徹 (芝浦工大)
- 7 Web を利用したエンティティペア集合の代表的関係名抽出
○河崎 翔, ドック グェントアン, ダヌシカ ボレガラ, 石塚 満 (東大)

学生セッション [1T 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- ロボットビジョン 座長 川本 一彦 (千葉大)
- 1 移動体に搭載可能な撮影画像による摩擦係数推定システム
○後藤泰介, 今泉僚太, 堀越大輔, 小野里太志, 田村 仁 (日本工大)
- 2 3次元 VTN モデルとその面関係を用いた物体の形状・姿勢推定手法の提案
○岩田和也, 早瀬光浩, 青木公也 (中京大)
- 3 アピアランス変化に頑健な物体認識システムの構築
○梅田沙紀, 杉田拓己, 花畑圭佑, 渡邊昌平, 早瀬光浩, 濱川 礼 (中京大)
- 4 食事支援ロボットののための形状モデルを用いた皿上の料理位置推測
○若林 熱, 遠藤直弥, 佐々木健翔, 早瀬光浩 (中京大), 加藤央昌 (無所属), 清水 優 (中京大)
- 5 Time-of-flight camera based Probabilistic Polygonal Mesh mapping
○Louis-Kenzo Cahier, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 6 日常環境において同行者の動きに応じて安全に移動可能な自律移動ロボット
○高橋和也, 金子正秀 (電通大)
- 7 オンライン物体認識に関する一考察
○ピシャイ カーンクアクーン, 木村大毅, アラム カーウィーウォン, シリナート タンロアムサブ, 長谷川修 (東工大)

- 8 Robocup 標準プラットフォームリーグにおけるプレイヤの認識
○豊田 拓, 中村克彦 (電機大)
- 9 センサデータの取得と統合の安定化に関する研究
○百武 優 (阪工大)

学生セッション [2T 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

- 人・顔・行動 座長 金子 正秀 (電通大)
- 1 オプティカルフローを用いた顔動画からの表情変化の抽出
○西原悠貴, 樋口大悟, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 2 形状および対称性を用いたアニメキャラクターの顔検出
○高山耕平 (東大), Henry Johan (Nanyang Technological University), 西田友是 (東大)
- 3 目の特徴を用いた漫画キャラクタの認識
○新井里実, 荒井正之 (帝京大)
- 4 投球動作の癖に関する3次元動作分析
○野崎光希, 菅田雅彰 (早大)
- 5 学習者の振る舞いに着目した学習行動計測システムの構築
○川崎健太, 天野直紀 (東京工科大)
- 6 (講演取消)

学生セッション [3T 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- 画像符号化と画質改善 座長 上倉 一人 (NTT)
- 1 軽量な動き予測を用いた Distributed video coding に関する研究
○前田 遊, 金子晴彦 (東工大)
- 2 動き情報等を考慮した動画画像分散エンコーダの簡易圧縮
○中根 翔 (湘南工科大)
- 3 DCT 係数の符号情報に着目した構造情報圧縮手法の提案
○對馬直哉, 亀田昌志 (岩手県大)
- 4 非実写画像向け減色アルゴリズムにおける閾値設定法
○赤岡 歩, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 5 粒状ノイズの付加における画像の領域と質感向上との関係
○梅村靖子, 亀田昌志 (岩手県大)
- 6 高解像度スキャン画像を対象としたロゼットパターン除去手法の高精度化
○豊田敬史, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 7 2次 Bezier 曲線を用いた画像拡大法におけるグラデーション領域の歪み補正
○高橋奈穂美, 亀田昌志 (岩手県大)
- 8 撮影画像データを対象とした画質評価方法の検討
○吉田農里, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- 9 シームレステクスチャ生成法を用いた映画フィルムにおける欠損部の補完
○丸 和広 (芝浦工大), 松木靖明 (アイデンティファイ), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)

学生セッション [4T 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

- 画像合成・作成支援 座長 岡部 孝弘 (東大)
- 1 三点照明による CG 映像の質感評価実験
○塙 亮平, 菅野智世, 王 玉毎, 吉田真澄 (筑波学院大)
- 2 画像処理による CG 映像の質感補正方式
○菅野智世, 塙 亮平, 王 玉毎, 吉田真澄 (筑波学院大)
- 3 インタラクティブな勾配編集による Poisson 画像合成手法
○岡 良祐, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 4 ブルーバックを用いないリアルタイム動画編集ソフトの開発
○大曾根直生, 岡 良祐, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 5 Seam Carving を用いた画像合成ツールの開発
○高橋淳和, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 6 人物イラストのポーズ変更ツールの開発
○鈴木啓晃, 岡 良祐, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 7 トリックアート制作手法の検討
○神田尚希, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 8 混色計算における色材混合シミュレーション
○矢澤 学, 水野正志 (長野高専)

学生セッション [5T 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

マルチエージェント (2) 座長 服部 宏充 (京大)

- 1 複数論点交渉問題における効率的な部分的合意形成プロセスの提案
○水谷信泰 (名工大), 藤田桂英 (名古屋工業大学 / マサチューセッツ工科大学), 伊藤孝行 (名工大)
- 2 意思決定の質と費用の観点から見たオンラインコミュニティにおける投票方式の検討
○鍵福竜也, 松原繁夫 (京大)
- 3 エージェント間自動交渉に基づく集約的共同デザイン支援システムの試作
○奥村 命, 水谷信泰, 中川裕揮, 藤田桂英, 伊藤孝行 (名工大)
- 4 Coalition Formation based on Decisional Structures
○Rafik Hadfi (Nagoya Institute of Technology, Japan.), 伊藤孝行 (名工大)
- 5 歩み寄り戦略に基づく自動交渉エージェントの交渉過程の解析と評価
○川口将吾, 藤田桂英, 伊藤孝行 (名工大)
- 6 情報の公開量に比例した電子商取引評価システムのインセンティブ設計
○村形晃規, 松尾徳朗 (山形大)
- 7 RoboCup サッカー 3D シミュレーションリーグにおけるエージェントへの確率的行動選択の実装とその改良
○宮嶋健太, 屋敷仁人, 杉原一臣, 大熊一正, 山西輝也, 魚崎勝司 (福井工大)
- 8 情報量に基づくロボカップレスキューエージェントの協調行動
○呉 珊, 松井丈弥, 能登正人 (神奈川大)
- 9 (講演取消)
- 10 クラウドにおける情報制御のための PSO を用いた情報伝播シミュレーション
○松井丈弥, 能登正人 (神奈川大), 森住哲也 (ネットエスアイ東洋), 木下宏揚 (神奈川大)

学生セッション [6T 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

マッチング・トラッキング・パラメータ推定 座長 原田 達也 (東大)

- 1 1次割当て問題の近似計算に基づくブロックフロー計算ハードウェア
○内苑孝俊, 富岡洋一, 北澤仁志 (農工大)
- 2 ブロックフロー抽出のための類似度計算ハードウェア
○大作一矢, 富岡洋一, 北澤仁志 (農工大)
- 3 テンプレートマッチング法のパターンの変形に対する耐性の実験的評価
○阿久津裕之, 太田直哉 (群馬大)
- 4 テンプレートマッチングのための環状放射ネットワークモデル
○渡邊昌平, 早瀬光浩, 加納政芳 (中京大)
- 5 (講演取消)
- 6 局所領域における輝度変動を考慮した動的背景モデル
○吉永諭史, 島田敬士, 長原 一, 谷口倫一郎 (九大)
- 7 電子顕微鏡画像を対象とした Level Set Method におけるパラメータの自動算出
○真鍋秀章, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 8 単眼内視鏡操作動画からの内視鏡三次元位置推定の精度向上手法の提案
○三嶋孝知, 福井幸男, 三谷 純, 金森由博 (筑波大)

学生セッション [1U 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ・検査と画像検索 座長 舟川 政博 (金沢工大)

- 1 省電力化を目的とした防犯カメラシステムの構築
○大西篤史, 黒田久泰 (愛媛大)
- 2 オプティカルフローを用いた異常シーンの検出
○大芦麻衣, 太田直哉 (群馬大)
- 3 防犯カメラで撮影された低解像度ナンバープレートの数字識別
○神宮彩実, 太田直哉 (群馬大)
- 4 画像処理を用いたオートバイ暴走行為の検出
○吉田怜平, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 5 遺伝的アルゴリズムを用いたキズ検出アルゴリズムの性能評価に関する研究
○糸山修一, 河村 圭 (山口大)

- 6 人工物を含む画像の自動判別システム
○為ヶ井寛久, 堀越大輔, 小野里太志, 田村 仁 (日本工大)
- 7 画像の複比を検索キーに用いた文書検索
○平松正行, 江崎信行, 竹下鉄夫 (豊田高専)
- 8 SIFT 特徴の軸方向左右反転による擬似特徴を利用した教師特徴の増補
○増尾拓朗, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- 9 固有色空間の照合による薬剤パッケージ認識
○杉本憲治郎 (早大), 井上昂治, 黒木祥光 (久留米高専), 鎌田清一郎 (早大)

学生セッション [2U 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

文字・図形認識 座長 長谷川 修 (東工大)

- 1 統計的特徴量変換に基づく日本語手書き漢字合成
○大垣慶介, 齋藤大輔, 峯松信明, 広瀬啓吉 (東大)
- 2 確定節文法の学習にもとづく輪郭図形の構文的パターン認識
○井上寛樹, 中村克彦 (電機大)
- 3 閉輪郭線の文字らしさに基づく画像からの文字列検出
○西野友博, 山崎公俊, 岡田 慧, 稲葉雅幸 (東大)
- 4 A Proposed Multi-Feature Extraction Method for Khmer OCR
○ワンナ クルイ, 亀山 渉 (早大)
- 5 線図形の表現と形状検索
○米本京介, 大野正和, 吉田真澄 (筑波学院大)

デモセッション [デモ会場]

- デ-02 (3月3日 (木))
オーディオ MIDI 符号化技術「オート符」における音声符号化品質の改善
○茂出木敏雄 (大日本印刷)

デ-04 (3月3日 (木))

- Twitter のリプライ文と役割語変換を利用した会話文生成
○韓 東力, 木下翔央, 福地 隆, 幸崎 剣 (日大)

第3分冊

(ネットワーク)

一般セッション [3D 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

センサネットワークと位置情報 座長 大橋 正良 (ATR)

- 1 熟練者のライフログを活用した熟練度向上レコメンデーションに関する検討
○川崎仁史, 手塚博久, 八木貴史, 武藤伸洋 (NTT)
- 2 携帯電話で構成したセンサネットワークにおける統計量集計のための通信制御方式の実証実験の評価
○西村康孝, 茂木信二, 吉原貴仁 (KDDI 研)
- 3 ポケットに入れたセンサを用いた歩行者向けデッドレコニングに関する一検討
○村松茂樹, 渡邊孝文, 上坂大輔, 小林亜令 (KDDI 研), 岩本健嗣 (富山県大), 横山浩之 (KDDI 研)
- 4 (講演取消)
- 5 ユビキタス環境におけるネットワークロボットのサービス起動に関する一検討
○大橋正良, 川西 直 (ATR)

- 6 トリアージネットワークにおける密度変化に応じたデータ送信手法の検討
○斎藤卓也, 小林ひかる, 田村寛樹, 戸口裕人, 重野 寛 (慶大)
- 7 スポーツ観戦中の情報抽出と映像アノテーションへの利用
○大平茂輝, 長尾 確 (名大)

一般セッション [4D 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

環境技術 座長 串田 高幸 (日本 IBM)

- 1 (講演取消)
- 2 栗原グリーンプロジェクト-環境負荷低減型のまちづくりを目指した ICT システムの構築-
○高橋秀幸 (東北大), 寺邊正大 (三菱総研), 中村直毅 (東北大), 武田敦志 (東北学院大), 菅沼拓夫, 橋本和夫, 白鳥則郎 (東北大)
- 3 栗原グリーンプロジェクト-環境負荷低減のための生活支援システム-
○稲葉 勉, 小笠原孝志 (NTT 東日本), 関 義則 (日立東日本ソリューションズ), 高橋秀幸, 菅沼拓夫, 橋本和夫, 白鳥則郎 (東北大)
- 4 栗原グリーンプロジェクト-スマートフォンを用いたパークアンドライド支援システム-
○稲葉 勉, 小笠原孝志 (NTT 東日本), 高橋秀幸, 菅沼拓夫, 橋本和夫, 白鳥則郎 (東北大)
- 5 栗原グリーンプロジェクト-グリーン指向管理情報ベース (G-MIB)-
○松本和芳, 佐藤哲朗 (日立東日本ソリューションズ), 高橋秀幸, 菅沼拓夫, 橋本和夫, 白鳥則郎 (東北大)
- 6 栗原グリーンプロジェクト-広域分散地域におけるエネルギー管理システム-
○藤原正裕, 渡邊 剛 (NTT ファシリティーズ), 高橋秀幸 (東北大), 寺邊正大 (三菱総研), 菅沼拓夫, 橋本和夫, 白鳥則郎 (東北大)

一般セッション [5D 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

社会システムと災害対策 座長 荒川 豊 (九大)

- 1 Using location entropy and observed tweeting behavior to identify large events
○Asif Hossain Khan Md (The University of Tokyo), 岩井将行, 瀬崎 薫 (東大)
- 2 iPhone を用いて地域間で連携する地域防災 SNS システムの開発
○菊池達哉 (大分シーイーシー), 凍田和美, 吉山尚裕, 柴田雄企, 高橋雅也 (大分県立芸術文化短期大), 竹中真希子 (大分大), 青木栄二 (ハイパーネットワーク社会研究所)
- 3 非常時における地域の安全・安心確保のための ϵ -ARK デバイスを核とした情報通信環境の研究開発-(第4報) ϵ -ARK デバイスの開発の進捗状況-
○大野浩之, 井町智彦 (金沢大), 松島英章, 前田明夫, 西 麻里 (北陸通信ネットワーク), 米田 稔 (COM-ONE)

- 4 非常時における地域の安全・安心確保のための ϵ -ARK デバイスを核とした情報通信環境の研究開発-(第5報) 新たな技術開発動向-
○大野浩之, 井町智彦 (金沢大), 松島英章, 前田明夫, 西 麻里 (北陸通信ネットワーク), 米田 稔 (COM-ONE)
- 5 非常時における地域の安全・安心確保のための ϵ -ARK デバイスを核とした情報通信環境の研究開発-(第6報) IPv6 技術の導入-
○北口善明 (金沢大), 松島英章, 前田明夫, 西 麻里 (北陸通信ネットワーク), 米田 稔 (COM-ONE), 井町智彦, 大野浩之 (金沢大)
- 6 非常時における地域の安全・安心確保のための ϵ -ARK デバイスを核とした情報通信環境の研究開発-(第7報) Twitter を用いた情報発信実験-
○大野浩之, 井町智彦 (金沢大), 松島英章, 前田明夫, 西 麻里 (北陸通信ネットワーク), 米田 稔 (COM-ONE)
- 7 非常時における地域の安全・安心確保のための ϵ -ARK デバイスを核とした情報通信環境の研究開発-(第8報) 普及啓発活動から得た非常時情報通信環境の在り方-
○西 麻里, 松島英章, 前田明夫 (北陸通信ネットワーク), 米田 稔 (COM-ONE), 井町智彦, 大野浩之 (金沢大)

一般セッション [6D 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

クラウドとネットワーク 座長 佐藤 文明 (東邦大)

- 1 IMS における XDMS 高度利用のためのソフトウェアフレームワーク
○乃村能成, 長尾武憲, 谷口秀夫 (岡山山), 南 裕也, 並河大地 (NTT)
- 2 Condor VM ユニバーズを利用した HPC Cloud の試作
○二本邦尚 (アルゴグラフィックス), 田中良夫, 池上 努, 中田秀基, 竹房あつ子 (産総研)
- 3 仮想マシンのオペレーショントレースに関する考察
○高田慎也, 竹内 格, 石本英隆, 中原慎一 (NTT)
- 4 プロキシサーバを用いた Web ブラウザ-Web サービス間の接続集約によるマッシュアップ高速化手法の開発
○秋藤俊介, 関 洋子 (日立)
- 5 非構造化 P2P ネットワークにおける速達メカニズムを用いた評価値集約手法の提案
○矢野 充, 安富正矩, 松本愛咲, 重野 寛 (慶大)
- 6 小容量データ配信のための低遅延 P2P 配信木の予測手法の評価
○高原 誠 (電通大), 田上敦士, 阿野茂浩 (KDDI 研), 鈴木健二 (電通大)

一般セッション [1E 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

ネットワーク運用管理 座長 石原 丈士 (東芝)

- 1 中小事業所における IPv6 導入事例
○石島 倅, 平松初珠 (大阪府立産総研)
- 2 サービス運用管理における障害対応機能の開発
○川岸諒子, 武曾 徹, 相馬仁志 (三菱)
- 3 イベントの確率分布推定によるサービスレベル違反の予兆検出精度向上
○外川遼介, 登内敏夫 (NEC)
- 4 ネットワークサービスを非常時にも継続提供するためのアカウント管理方式の実装と評価
○田坂和之, 吉原貴仁 (KDDI 研)
- 5 VAP 集約場所決定のための情報収集システムの提案
○進藤博子, 濱口 毅, 永井隆博, 重野 寛 (慶大)
- 6 NGN におけるみなし音声による FAX 通信の品質に関する評価
○趙 奇方, 永園 弘, 磯部俊洋 (NTT データ)
- 7 イベント制御サーバを用いた情報配信システム
○小杉 優, 塚本良太, 小宮 崇, 馬場昭宏, 山足光義 (三菱)

学生セッション [3U 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

位置情報応用アプリケーション 座長 桐村 昌行 (三菱)

- 1 FeliCa 乗車券と降車バス停情報によるバスの遅延に対応した観光案内システム
○清水畑朋子, 大信田祥代, 佐藤永欣, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大)
- 2 自転車の走行情報利用に関する一検討
○並木 豊, 菅生啓示, 戸辺義人 (電機大)
- 3 Google Maps API を用いた最寄バス停案内システムの作成
○森富賢一郎, 田辺 誠 (宇部高専)

- 4 位置情報を用いた拡張現実アプリケーションの開発
○平野裕作, 須藤章裕, 橋本和夫 (東北大)
- 5 すれ違い通信による配信エリアの動的制御を特徴とする地域情報共有システム
○菊池大輝, 田島孝治, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 6 移動履歴に基づく動線分析情報の可視化手法の検討
○松本隆史, 白石 陽, 藤野雄一, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 7 ユーザの状況に合わせた行動支援システム
○瀬良知央, 湯浅将英, 大山 実 (電機大)
- 8 スケジュール機能を利用した情報配信システムの開発
○築瀬京平, 藤井雅弘, 渡辺 裕 (宇都宮大)
- 学生セッション [4U会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)**
ナビゲーションシステム 座長 梅津 高朗 (阪大)
- 1 助手席がドライバーを支援するためのナビゲーション支援システム
○森川直哉, 仲谷善雄 (立命館大)
- 2 あえて詳細な地図情報を見せない「見えない地図」を用いた観光ナビの提案
○田中 健, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 (講演取消)
- 4 運転者の特性に適応した経路ナビゲーションシステムの研究
○中村博昭 (電機大)
- 5 移動経路を共有するソーシャルネットワークサービスの構想
○吉成 敦, 大澤由憲, 橋本和夫 (東北大)
- 6 移動軌跡ストリームに対する連続的k-匿名化技法
○富山克裕, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
- 7 GIS情報を活用するための移動指示情報提示ツールキットの開発
○西田篤史, 北口善明, 大野浩之 (金沢大)
- 8 個人用知的移動体における移動体間の連携・協調アーキテクチャとその応用
○井上泰佑, 渡邊 賢, 長尾 確 (名大)
- 学生セッション [5U会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)**
車々間・路車間通信応用システム 座長 関 馨 (JARI)
- 1 車車間通信における効率的なジオキャスト伝送方式の検討
○山田達也, 光川真由, 島田秀輝, 佐藤健哉 (同志社大)
- 2 車車間通信を用いた車線変更協調方式の一考察
○後藤剛次, 田 学軍, 井手口哲夫, 奥田隆史 (愛知県大)
- 3 異種シミュレータ連携におけるデータ交換方式に関する考察
○中村慎吾, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 4 ARDS-Platformによる車々間通信を用いた自動追従走行システムの評価
○KIEN TRAN HONG, 井手口哲夫, Xuejun Tian, 奥田 隆 (愛知県大)
- 5 ランダムネットワーク符号化を用いた車々間通信による証明書失効リストの配布
○山本泰資, 岸本侑大, 白石善明 (名工大)
- 6 車載カメラ画像による視覚支援のためのランダムネットワーク符号化を用いた車々間通信による多対多ブロードキャストの再符号化処理について
○岸本侑大 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大)
- 7 OSGiを用いた自動車ネットワークサービスの連携アーキテクチャの提案と評価
○濱千代正弥, 片桐雅仁, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 8 VANETにおける情報配信システムのGNU Radio/USRP2を用いた実環境評価に関する検討
○金原辰典, 石原 進 (静岡大)
- 学生セッション [6U会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 16:30)**
交通安全支援システム 座長 屋代 智之 (千葉工大)
- 1 歩行者およびドライバーの安全性向上を目的とした画像投影を用いた情報伝達方法の検証
○八田真由子, 天野直紀 (東京工科大)
- 2 インターナショナルドライビングシミュレータ-シミュレータ用道路データ抽出と3D道路生成-
○斎藤慎弥, 村田嘉利, 高山 毅, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 3 夜間時の初心運転者の合流支援システム
○中村有貴, 仲谷善雄 (立命館大)
- 4 自転車の危険な振る舞いの検出
○松井賢太 (東京都市大)
- 5 バイノーラルマイクを用いた音源方向推定による危険予測
○持田悠介, 伊藤克亘 (法大)
- 6 小型プロジェクタを用いたウェアラブル歩行支援器のための投影情報安定化手法
○村田哲史, 藤波香織 (農工大)
- 7 小型無人移動体による個人用知的移動体のセンシング領域の拡張とその応用
○渡邊 賢, 井上泰佑, 長尾 確 (名大)
- 学生セッション [1V会場] (3月2日(水) 9:30 ~ 12:00)**
無線・センサネットワーク 座長 石原 進 (静岡大)
- 1 通信中に携帯電話網と無線LAN間をシームレスに移動できるMobilePPCの提案
○福山陽祐, 渡邊 晃, 鈴木秀和 (名城大)
- 2 複数の無線センサノードへプログラムを効率的に転送するOver-the-Air Programming手法の提案
○猪狩秀紀, 宮崎敏明 (会津大)
- 3 複数無線機路におけるトラフィック分配方式の検討
○藤井 賛, 菅野 理 (関西大), 瀧本栄二 (立命館大), 安達直也, 滝沢泰久 (関西大)
- 4 無線通信における帯域幅集約ミドルウェアのパフォーマンスと経路選択手法に関する検討
○宮崎悦子 (お茶の水女子大), オヌル アルトゥンタシュ (トヨタIT開発センター), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 移動端末から送出する固定ビットレートデータのための帯域確保型TCPの性能評価
○安藤玲未 (お茶の水女子大), 村瀬 勉 (NEC), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 6 環境情報を利用したマルチプルアクセス手法の一検討
○松本真紀子 (お茶の水女子大), Onur Altintas, 西堀満洋 (トヨタIT開発センター), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 SCoPにおけるデータ圧縮方法
○加々本貴志, 竹内雄亮, 横山 聖, 戸辺義人 (電機大)
- 8 SCoP: 構築型センシングデータ収集機構
○竹内雄亮, 横山 聖, 加々本貴志, 高木篤大, 戸辺義人 (電機大)
- 9 1ビットフラグRFID識別方式における受信タイミングのずれの影響に関する一検討
○中村有貴, 藤井雅弘, 渡辺 裕 (宇都宮大)
- 学生セッション [2V会場] (3月2日(水) 14:30 ~ 17:00)**
アドホックネットワーク 座長 桧垣 博章 (電機大)
- 1 集団管理を考慮したモバイルP2P情報共有システムの設計と実装
○岩井貴彦, 券田孝晴, 西山裕之 (東理大)
- 2 アドホックネットワークにおける迂回経路を用いたマルチパス通信方式の検討
○中原裕成, 高橋 修, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 3 ストロングビートーンを用いたアドホックネットワークにおけるメディアアクセス方式の提案
○森 一養, 渡邊 晃, 後藤秀暢 (名城大)
- 4 アドホックネットワークにおける人の移動特性を考慮した情報伝達方式
○堤 智昭, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 5 マルチバンダーを用いたマルチホップ通信プロトコルについて
○玉置健太, Raptino Ari (静岡大), 萬代雅希 (上智大), 渡辺 尚 (静岡大)
- 6 階層的ネットワークインフラを用いたMANETのためのインターネット接続方式
○松野雄太, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 7 アドホックネットワークにおけるスマートアンテナ制御の効果について
○青木勇太 (静岡大), 萬代雅希 (上智大), 渡辺 尚 (静岡大)

- 8 片方向リンクを含む無線ネットワークへのネットワークコーディングに関する検討
○完山和希, 大竹健司, 白石 陽, 高橋 修, 川嶋稔夫 (はこだて未来大)

学生セッション [3V 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

センサネットワーク 座長 神崎 映光 (阪大)

- 1 無線センサネットワークにおけるエナジーハーベストの有効性に関する考察
○千葉義人, 吉田将也 (静岡大), 萬代雅希 (上智大), 渡辺 尚 (静岡大)
- 2 通信形態の変化を考慮したセンサネットワークプロトコル
○鈴木歩夢, 宇谷明秀, 山本尚生 (東京都市大)
- 3 無線センサネットワークを利用した農業支援環境の見える化の実現と評価
○松野智明, 増井崇裕, 安部恵一, 峰野博史 (静岡大), 大須賀隆司 (静岡県農林技術研究所), 水野忠則 (静岡大)
- 4 Topology Control of Mobile Wireless Sensor Nodes based on Quality of Observation and Quality of Communication
○平井亮太, 松垣博章 (電機大)
- 5 センサネットワークにおけるネットワークコーディングの効率的通信方式の検討
○白石朋広, 安達直也, 滝沢泰久 (関西大)
- 6 仮想センサネットワークを用いた検証環境の構築
○野口泰裕 (千葉工大)
- 7 無線センサネットワークにおける複数シンクを用いた負荷分散型ネットワークの構築
○後藤 典, 能登正人 (神奈川大)
- 8 有線 / 無線相互補完通信のためのハイブリットルーティングプロトコルの実装
○中野裕貴, 澤田尚志, 栗山 央, 峰野博史, 水野忠則 (静岡大)
- 9 壁上メディアを利用したオブジェクトの所有権情報提示の手法の研究
○植田俊輔, 谷口祐司 (慶大), 大澤博隆 (科学技術振興機構), 今井倫太 (慶大)

学生セッション [4V 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

安全・安心ネットワーク 座長 土屋 隆司 (鉄道総研)

- 1 センサネットワークのための異常強度信号通知を用いたワームホール攻撃検出方式
○石坂勇樹, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 2 ドメイン登録情報を利用した迷惑メール判定システムの構築
○石倉辰彦, 黒田久泰 (愛媛大)
- 3 Web アクセスログの詳細情報を解析するシステムの構築
○佃 杏奈, 黒田久泰 (愛媛大)
- 4 災害時孤立集落を想定したソフトウェアに依存しない情報共有システムの提案
○山田俊輔, 福井 悠, 丸山博史, 塚田晃司 (和歌山大)
- 5 電子トリアージシステムにおけるモバイルノードを用いた RSSI 位置推定に関する研究
○澤村啓太, 水野忠則, 峰野 博 (静岡大)
- 6 災害情報の優先度を考慮した情報共有手法の提案
○丸山博史, 福井 悠, 山田俊輔, 塚田晃司 (和歌山大)
- 7 SVM を用いた災害時の可視光通信における受信誤り率の低減
○村吉翔大, 原山拓士, 塚田晃司 (和歌山大)
- 8 化学実験の安全学習支援のための情報の多義性の効果検討
○宗官祥史, 松澤沙緒里, 侯 明偉, 江木啓訓, 品川徳秀, 藤波香織 (農工大)

学生セッション [5V 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

スマートフォン 座長 菊地 悠 (NTT ドコモ)

- 1 スマートフォンを用いた屋内位置の推定と歩行 AR ナビゲーションシステムの提案
○岡島匠吾 (東京工科大)
- 2 高性能携帯端末を用いた位置に基づく端末ユーザ向け施設内サービスの提案と実装
○坂田真規, 衛門一樹, 西山裕之 (東理大)

- 3 携帯電話の格納場所判定機能の Android 携帯上への実装
○河内智志, 薛 媛, 藤波香織 (農工大)

- 4 異機種スマートフォン間で連携可能な写真共有アプリケーションの構築
○竹瀝瑛一, 平木浩二郎, 三角 甫, 濱口篤士, 庄司諒平, 成田真孝 (神奈川工科大), 加藤雄輝, 織田善雄, 小川輝樹, 井瀨裕太, 原澤有加 (はこだて未来大)

- 5 ソーシャルネットワークを用いたモバイルアプリケーション情報共有システムの一考察
○関根貴寛, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)

- 6 多機能携帯端末における通信コストを考慮した情報取得システムの提案
○岩井祐太, 西山裕之 (東理大)

- 7 アンドロイド端末を利用した家電リモコンの提案
○大橋健介, 村田嘉利, 高山 毅, 佐藤永欣, 小野寺真悦 (岩手県大)

- 8 携帯電話における TPO に応じた単語予測を行う辞書共有型 IME の提案
○足澤 憲, 澤本 潤, 杉野栄二, 瀬川典久 (岩手県大)

- 9 Android 端末における通信性能の可視化ツール
○平井弘実, 三木香央理 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [6V 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

スマートフォンとモバイルアプリケーション 座長 深澤 佑介 (NTT ドコモ)

- 1 携帯端末を用いた多言語間医療対話支援システムの開発
○尾崎 俊, 松延拓生 (和歌山大), 重野亜久里 (多文化共生センターきょうと), 吉野 孝 (和歌山大)
- 2 SmartPhone を利用した勉強会支援プラットフォーム M-Class システムの開発及びシステムのユーザビリティ評価
○久保田皓平, 李 汀戊, 富田大揮, 志田晃一郎, 安井浩之 (東京都市大)
- 3 iPhone と GoogleAppEngine を利用したすれ違いサービス「ドッペル」の提案と開発
○嶋貫聖羅, 竹内秀太 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 4 過去・現在・未来の時間感覚が混在するタイムサービス
○飯田浩史 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 5 携帯端末の位置情報と SNS を利用したコミュニケーション支援ツールの提案
○藤井拓大, 大久保雅史 (同志社大)
- 6 グループベースのサービス提供に向けたグループ同行度推定システムの設計と実装
○伊東拓矢, 松浦 寛, 西山裕之 (東理大)
- 7 携帯端末を用いた街中情報取得システムの構築に関する検討
○大島一将, 森田達也 (電機大), Niwat Thepvilojanapong (三重大), 戸辺義人 (電機大)
- 8 ケータイアプリによる体感型 RPG を用いた地域活性化サービスの提案
○松林静輝, 織田喜雄, 高橋大斗, 加藤雄輝, 白石 陽, 新美礼彦, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 9 郵便箱と 2 次元コードを用いたコミュニケーション支援
○緒方亜衣 (お茶の水女子大), 塚田浩二 (お茶の水女子大学 / 科学技術振興機構 さきがけ), 椎尾一郎 (お茶の水女子大)

学生セッション [1W 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

ユビキタスサービス (1) 座長 戸辺 義人 (電機大)

- 1 SLAM に基づく非同期分散型マイクロホンアレイによる音源定位
○三浦弘樹 (東工大)
- 2 音声を用いた農作業日誌システムの構築
○住澤卓也, 伊藤克亘 (法大)
- 3 遠隔コミュニケーションのためのウェアラブルロボットアパタの提案
○柏原忠和, 大澤博隆 (慶大), 篠沢一彦 (国際電気通信基礎技術研究所), 今井倫太 (慶大)
- 4 適応的環境を提供するパーソナルアシスタント
○HOANG LE VAN, 林 勇吾, 小川 均 (立命館大)

5 ビーズアクチュエータの試作とその応用

○辰田恵美（お茶の水女子大）、
塚田浩二（お茶の水女子大学 / 科学技術振興機構 さきがけ）、
椎尾一郎（お茶の水女子大）

6 PotPet: ペットのようなコミュニケーションをはかる植木鉢型ロボット

○川上あゆみ（お茶の水女子大）、
塚田浩二（お茶の水女子大学 / 科学技術振興機構 さきがけ）、
神原啓介、椎尾一郎（お茶の水女子大）

7 センサー椅子を用いた姿勢推定手法に関する研究

○金田将英、今野 将（千葉工大）

8 購買履歴管理システムの検討

○大金史子、久保田稔（千葉工大）

9 買物客の戸惑い動作を利用した市場情報収集システム

○高田幸典、井上雅裕（芝浦工大）

学生セッション [2W 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

ユビキタスサービス (2) 座長 今井 倫太 (慶大)

1 RW-Link+: 高反応性と省電力性を考慮した実世界リンクシステム

○宮崎 学（電機大）、岩井将行（東大）、戸辺義人（電機大）

2 センサネットワークにおけるエネルギー消費の少ないトラッキングアルゴリズム

○植村奈緒子、大下福仁、角川裕次、増澤利光（阪大）

3 無線センサーネットワークにおけるデータ集約方式の省電力化効果と遅延について

○河合佑介、李烏雲格日楽（静岡大）、萬代雅希（上智大）、
渡辺 尚（静岡大）

4 センシングデータを用いたネットワークの省電力動作制御

○新井亮裕（芝浦工大）、武田有志、仲村将司、
山口隆志（東京都立産業技術研究センター）、
井上雅裕（芝浦工大）

5 ホームネットワークシステムを用いた消費電力抑制システムの提案

○岡村将登、三井浩康（電機大）

6 多様な可視化アプリケーションとの連携を考慮した消費電力量取得 API の設計

○和田佑二郎、井垣 宏、井上亮文、星 徹（東京工科大）

7 実オフィス環境における個別照度を提供する照明システムの評価

○笠原佳浩、三木光範、廣安知之、吉見真聡（同志社大）

8 安心・安全を実現するシステム構築のためのスマート・アウトレットの開発

○野澤達也（芝浦工大）

9 家庭内消費電力の言語化による家族のエコ意識向上への取り組み

○遠藤友美、小林一郎（お茶の水女子大）

学生セッション [3W 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ロケーションウェアネス 座長 大内 一成 (東芝)

1 複数の受信強度観測に基づく人の存在検知システムの開発

○鳴海宏理、藤井雅弘、渡辺 裕（宇都宮大）

2 Bluetooth の受信強度を用いた位置推定システムにおける補正による推定精度改善に関する一検討

○木嶋 啓、藤井雅弘、渡辺 裕（宇都宮大）

3 方位センサーと無線 LAN 受信強度に基づく位置推定システムの開発

○小河原亮、藤井雅弘、渡辺 裕（宇都宮大）

4 位置特定インフラ専用無線 LAN アクセスポイントの試作と測位精度制御の検討評価

○岡 龍太、Tran Xuan Duc、新井イスミル、西尾信彦（立命館大）

5 (講演取消)

6 RFID と無線通信デバイスの連携による屋内向け位置推定システムの検討

○山田健博、田島孝治、大島浩太、寺田松昭（農工大）

7 位置推定のための無線 LAN 観測データベースの健全性維持手法

○何 韜、梶 克彦、河口信夫（名大）

8 モバイルアドホックネットワークにおける位置推定手法の提案

○林 国典、岩井祐太、西山裕之（東理大）

学生セッション [4W 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

ユーザ支援 座長 山崎 達也 (NICT)

1 多様なアプリケーションとの連携を考慮したマーカー認識型室内位置情報サービス

○小笠原貴洋、井垣 宏、井上亮文、星 徹（東京工科大）

2 無線 LAN 屋内位置推定のためのフロアマップの構造化

○鈴木友基、梶 克彦、河口信夫（名大）

3 ライフログ評価環境におけるアプリケーションの要求条件に基づくデータ品質保証に関する一検討

○山下暁香、岩木紗恵子、小口正人（お茶の水女子大）

4 高機能携帯電話を用いたライフログ収集手法の提案及び状況推測に関する研究

○松浦 寛、西山裕之（東理大）

5 多数ユーザの匿名化されたライフログを利用する行動継続支援システム

○大塚垂未、青柳龍也、吉田 葵（津田塾大）

6 一般動作の加速度データによるユーザー識別手法の提案

○山野井祐介、沼尾雅之（電通大）

7 日常生活における特徴的歩行分析に関する研究

○細井悠貴、松下宗一郎（東京工科大）

8 高齢者を見守るリモート監視システムの提案と実装

○加藤大智、山岸弘幸、渡邊 晃、鈴木秀和（名城大）

学生セッション [5W 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

コンテキストウェアネス 座長 梅澤 猛 (NICT)

1 概念コンテキストモデルに基づくコンテキストウェアサービス開発手法の提案

○杉田達哉、中道 上、青山幹雄（南山大）

2 (講演取消)

3 動的ネットワークのためのサービス生成に関する研究

○水越紀夫、久保田稔（千葉工大）

4 Enhancing War-driving for GPS Missing Area

○Tuan Nguyen Anh、藤井陽光、川崎万莉、
安積卓也、西尾信彦（立命館大）

5 ノード移動ベクトルとシンクノードまでの通信路の有無を考慮した情報収集手法の提案とシミュレーション評価

○中谷 亘、田中勇祐、坂本将光、塚田晃司（和歌山大）

6 ノード移動ベクトルとシンクノードまでの通信路の有無を考慮した情報収集手法の実装

○田中勇祐、中谷 亘、坂本将光、塚田晃司（和歌山大）

7 人の注目を惹きつける人形を用いた遠隔コミュニケーションにおける気づき支援

○山村典子、吉田昭宜、塚田晃司（和歌山大）

8 異種ネットワーク混在環境におけるデバイス連携システム

○田中 剛、伊藤崇洋、加藤悠一郎、峰野博史、水野忠則（静岡大）

9 suGATARIUM: 眺めるファッションコーディネート支援システム

○佐藤彩夏、椎尾一郎（お茶の水女子大）

学生セッション [6W 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

ネットワーク制御 座長 長谷川 輝之 (KDDI 研)

1 OpenFlow ネットワークにおける経路情報の通知手法に関する提案

○及川永寿、中山泰一（電通大）

2 新世代インターネット向け IP スルーネットワークアーキテクチャの提案

○丸田直樹、島田秀輝、佐藤健哉（同志社大）

3 Ethernet を利用した ID タグ情報収集システムの開発

○後藤建二、松田勝敬（東北工大）

4 組込み機器を用いた Ethernet フレーム制御端末の検討

○佐々木宏幸、松田勝敬（東北工大）

5 仮想 Linux 環境を活用したネットワーク構築演習システムへの SNMP 学習機能の実装

○辻本幸徳、井口信和（近畿大）

6 仮想 Linux 環境を用いたネットワーク構築演習システムの仮想ルータの機能拡張

○藏内将博、井口信和（近畿大）

- 7 VPN 遠隔接続環境におけるハードウェアターゲットを用いたストレージネットワークの評価
○浅田菜那, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 8 Ruby によるプッシュ型通信のための WebSocket ライブラリの開発
○古谷 崇, 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)

学生セッション [1X 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- ネットワークシステム 座長 加藤 由花 (産業技術大)**
- 1 既存 Web ページの利用を活発にするための Web ページ再活性化システム
○土井達也, 湯浅康史, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 2 Web ページ再活性化システムを利用した Web ページ上での協調ワークスペース
○湯浅康史, 土井達也, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 オリジナル絵本作成支援システムの提案
○船橋直也 (東洋大), 寺島賢紀 (宮城大), 藤本貴之 (東洋大)
- 4 入退出管理エージェントシステムの開発
○田中隼人, 二之形裕貴, 青木良樹, 菊池浩明 (東海大)
- 5 リバースプロキシにおけるページランクを考慮したキャッシュ置換方式
○スアンフイ ドー, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)
- 6 多人数による携帯カメラ撮影を利用した現場状況サマリー作成に関する研究
○福原 遼 (電機大), 石塚宏紀, 岩井将之, 木實新一, 瀬崎 薫 (東大), 戸辺義人 (電機大)
- 7 視聴者コメントを用いた動画検索支援のためのダイジェスト動画作成アルゴリズムの検討
○磯貝佳輝, 齊藤義仰, 村山優子 (岩手県大)
- 8 OpenSim を用いた分散型メタバースサーバのログイン処理におけるボトルネックに関する一考察
○松原麻佑, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 9 分散環境におけるメタデータ管理方式の研究
○川戸貴之, 田胡和哉 (東京工科大)

学生セッション [2X 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

- ソーシャルグラフ 座長 金井 敦 (法大)**
- 1 MediaWiki のカテゴリ編集支援システムの開発
○瀬高拓也, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 2 FOAF を用いた SNS のソーシャルグラフの統一モデル化方法の提案
○横井公紀, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 3 SNS におけるグループの為の推薦システム
○向高立一郎, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 4 ネット選挙のためのモバイルコミュニケーション支援システム
○久保田彰人, 石澤友行, 市川敬広, 中村真吾, 市村 哲 (東京工科大)
- 5 Twitter を用いた文化祭支援サービス
○神保洋介, 岡本秀輔, 小林亮太 (成蹊大)
- 6 共生コンピューティングに基づく現実空間と仮想空間の同期に関する研究
○岩田 篤, 今野 将 (千葉工大)
- 7 SNS のフォロー関係を応用した個人情報客観化する手法の提案
○山岡 卓, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)

学生セッション [3X 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- クラウドコンピューティング (1) 座長 田上 敦士 (KDDI 研)**
- 1 マップの自動生成に関する研究
○石塚健太, 中村康裕, 上原 稔 (東洋大)
- 2 協調サーチエンジンによるクラウド検索
○市川友大, 上原 稔 (東洋大)
- 3 データ処理アプリケーションにおけるクラウドリソースへの負荷分散ミドルウェアの開発
○豊島詩織 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 クラウドサービスにおける構成メタデータのバリエーションモデルの提案と評価
○黒野 望, 勝 崇, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 5 BigTable とローカル D/B を連携させた Web アプリケーションの開発
○寺島悠貴, 片瀬由貴, 山原 亨, 大谷 真 (湘南工科大)

- 6 クラウドを利用した Elastic なデータストリーム処理系の実装と評価
○石井樟志 (東工大), 鈴木豊太郎 (東京工業大学 / IBM)
- 7 SOA に基づくクラウド間連携アーキテクチャの提案
○小島弘誉, 岩本勝也, 大倉奨貴, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 8 TPM を用いたクライアントのインベントリ証明書によるアクセス制御システム
○脇田知彦, 白石善明 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 野口亮司 (豊通シスコム)
- 9 圧縮ファイルを用いた仮想ファイルディスクの研究
○柴崎敬大, 上原 稔 (東洋大)

学生セッション [4X 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

- P2P ネットワーク 座長 原 隆浩 (阪大)**
- 1 構造化オーバーレイにおける柔軟な経路表を活用したネットワーク近接性の考慮
○宮尾武裕, 長尾洋也, 首藤一幸 (東工大)
- 2 P2P を用いた動画配信サービスの提案
○柏木貴紀, 澤本 潤, 杉野栄二, 瀬川典久 (岩手県大)
- 3 パーベイス環境におけるサービスの個人化とその応用
○半井明大, 大澤由憲, 今村 理 (東北大), 武田敦志 (東北学院大), 北形 元, Chakraborty Debasish, 橋本和夫, 白鳥則郎, 木下哲男 (東北大)
- 4 階層型 DHT における探索手法の効率的な適用に関する検討
○舟橋知論, 白石 陽, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 5 ピュア型の P2P インタラクションの手法研究
○牧 誠也, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 6 GAE による仮想ストレージの研究
○絵野澤透, 上原 稔 (東洋大)
- 7 ネットワークサービスプラットフォームでの利用を前提としたデータストア
○城戸靖彦, 潮総一郎, 泉井 透, 成田雅彦, 加藤由花 (産業技術大)

学生セッション [5X 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- クラウドコンピューティング (2) 座長 野呂 正明 (富士通研)**
- 1 旧型 PC に基づくグリッドの太陽光発電による運用
○藤井賢一, 上原 稔 (東洋大)
- 2 Eucalyptus を用いたプライベートクラウドの消費電力量評価に関する一検討
○笠江優美子, 小口正人, 豊島詩織 (お茶の水女子大)
- 3 SaGa におけるキャラクターおよびストーリー制作支援システムの研究
○加藤 剛, 上原 稔 (東洋大)
- 4 仮想化リモートデスクトップ環境 VCL に関するパフォーマンスの計測
○川口謙太郎, 森 皓生, 齋藤孝道 (明大)
- 5 遠隔端末によるアプリケーションの表示
○佐野拓未, 上原 稔 (東洋大)
- 6 プライベートクラウドによる実習環境の構築
○木部真一郎, 上原 稔 (東洋大)
- 7 リモート端末による Java アプリケーション配信に関する研究
○守田光佑, 上原 稔 (東洋大)
- 8 次世代クラウドコンピューティング基盤 Raptor の実装と評価
○羽鳥孝広, 井原雄太郎, 田胡和哉 (東京工科大)
- 9 クラウド向けオブジェクトリポジトリの視覚化技法の提案
○井原雄太郎, 羽鳥孝広, 田胡和哉 (東京工科大)

学生セッション [6X 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

- ネットワークプロトコル 座長 藤崎 智宏 (NTT)**
- 1 複数チャネルによる高スループット無線マルチホップ配送の実装手法
○木ノ内隆幸, 松垣博章 (電機大)
- 2 Location-based Information Management in Wireless Multihop Networks
○内田達哉, 松垣博章 (電機大)
- 3 TCP における STUN を用いた対称型 NAT 越え手法の実装と評価
○黒田隼之輔, 中山泰一 (電通大)
- 4 高速 TCP の性能解析と公平性に関する検討
○大浦 亮, 山口実靖 (工学院大)

- 5 Linuxにおける省電力化の為に宛先IPアドレスを考慮したGigabit Ethernetの通信速度切り替え方式
○肖 夏, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 6 SNMPによるネットワークシステム管理のための報告型情報収集方式
○中尾司ピエール, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 7 ネットワーク管理支援システムのための能動的な知識管理・獲得手法
○丹治直幸, 笹井一人, 北形 元, 木下哲男 (東北大)
- 8 接続妨害攻撃を考慮したSIPセッション確立方式
○前田紗苗, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)

(セキュリティ)

一般セッション [2E会場] (3月2日(水) 14:30～17:00)

暗号理論・実装 座長 鈴木 幸太郎 (NTT)

- 1 代理人再暗号化方式の安全性について
○南雲皓介, 田中圭介 (東工大)
- 2 Non-Programmable Weakened Random Oracles
○Mario Larangeira, 田中圭介 (東工大)
- 3 Lossy Encryptionに関する考察
○竹部裕俊, 安永憲司, 田中圭介 (東工大)
- 4 紛失通信プロトコルの解析のための可能世界意味論に基づく形式体系
○小黑博昭, 萩原茂樹, 米崎直樹 (東工大)
- 5 比較可能な匿名化グループを生成する匿名化手法の提案
○豊田由起, 宮川伸也, 側高幸治, 伊東直子 (NEC)
- 6 鍵失効機能を持つ属性ベース暗号の実装評価
○満永拓邦, おまー いすまいる, 久野祐介, 田所成久, 近藤伸明 (神戸デジタル・ラボ), 藤本裕之, 五十嵐寛 (金沢工大)

一般セッション [3E会場] (3月3日(木) 9:30～12:00)

ネットワークセキュリティ 座長 北澤 繁樹 (三菱)

- 1 SVMを用いたWAFの検知機能の提案
○伊波 靖 (沖縄高専), 高良富夫 (琉球大)
- 2 欠落ロジック構造と動的ロジック補完機構による情報要素制御
○川島浩嗣 (情報制御), 渥美清隆 (鈴鹿高専)
- 3 Webメール・ソーシャルメディアフィルタリングシステムの実装
○浦川順平, 鈴木健二 (電通大)
- 4 映像盗撮防止方式における赤外フィルタ検知システムの提案
○山田隆行 (総研大), 合志清一 (シャープ), 越前 功 (国立情報学研究所, 総合研究大学院大学)
- 5 ネットワークを利用する電子投票の検討
○小林哲二 (日本工大)

一般セッション [4E会場] (3月3日(木) 15:30～17:30)

認証認可・ID連携 座長 須賀 祐治 (インターネットイニシアティブ)

- 1 クラウド向け認証基盤プラットフォームの実装と検証
○鷺尾元太郎 (三菱)
- 2 IDマッピング情報の登録方式に関する一考察
○牧 和宏, 鷺尾元太郎 (三菱)
- 3 コールスタックを用いた鍵管理方式
○砂田英之 (三菱)
- 4 OpenID属性認証にもとづく無線LAN共有スポットシステムの提案
○城間政司, 長田智和, 玉城史朗, 谷口祐治, 名嘉村盛和 (琉球大)
- 5 情報連携基盤を用いた地域医療情報連携
○楠本嘉幹, 吉野 孝 (和歌山大), 入江真行 (和歌山県医大)
- 6 企業の採用情報サイトにおける初期パスワードの現状について
○八城年伸 (安田女子大)

学生セッション [1Y会場] (3月2日(水) 9:30～12:00)

暗号 座長 藤崎 英一郎 (NTT)

- 1 秘密情報の漏洩を考慮した公開鍵暗号の構成
○Manh Ha Nguyen, 安永憲司, 田中圭介 (東工大)
- 2 弱い仮定に基づく紛失通信
○山田章央, 安永憲司, 田中圭介 (東工大)

- 3 ペアリングを用いた大小比較の秘匿計算の一手法
○宇都宮秀利, 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 土井 洋 (情報セキュリティ大)
- 4 ActionScriptによるGF(3)上の η Tペアリング演算ライブラリ
○本郷考一, 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大)
- 5 AESのS-Box構成の違いによるサイドチャネル攻撃の耐性評価
○佐藤隆亮, 吉川雅弥 (名城大)
- 6 共通鍵暗号のFPGAにおけるCPA・DPAの耐性評価
○松島大祐, 吉川雅弥 (名城大)
- 7 Webベースファイル送受信システムの処理性能と安全性に関する考察
○川村 舞, 白石善明 (名工大), 土井 洋 (情報セキュリティ大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 岩田 彰 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)
- 8 申請者と決裁者が代理決裁の可否を選択可能な電子決裁の提案
○永原裕之, 岡村真吾 (奈良高専)
- 9 無線小型デバイスにおける暗号化通信
○橙 幸宏, 芝 公仁, 岡田至弘 (龍谷大)

学生セッション [2Y会場] (3月2日(水) 14:30～17:00)

ネットワークセキュリティ 座長 竹森 敬祐 (KDDI研)

- 1 ネットワーク異常検知のための通信状態可聴化システムの設計と実装
○中島明日香, 重松邦彦, 水谷正慶, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 2 マルウェアの不正ネットワークの分析によるルールファイル自動化の設計と実装
○重松邦彦, 水谷正慶, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 3 機械語命令列の類似度分析を用いた不正コードの分類
○碓井利宣, 重松邦彦, 水谷正慶, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 4 SVMによるIP攻撃通信の判別法
○千葉大紀 (早大), 森 達哉 (NTT), 後藤滋樹 (早大)
- 5 DDoS攻撃の為に送信元識別子を用いたフィルタリング方式
○井熊一博, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 6 MANETにおけるインシデント検出をトリガとした証拠収集手法の提案
○三浦愛美, 高橋 修, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 7 Web感染型マルウェアのリダイレクト解析
○高田雄太 (早大), 森 達哉 (NTT), 後藤滋樹 (早大)
- 8 スパムメール発信源分析によるサーバ・ドメイン管理実態の推定
○竹下峰弘, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
- 9 インシデント管理に必要なポリシー違反のログを履歴属性で管理することによるログ検索の高速化
○伴 拓也, 白石善明 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 野口亮司 (豊通シスコム)

学生セッション [3Y会場] (3月3日(木) 9:30～12:00)

バイオメトリクス・アクセス制御 座長 高橋 健太 (日立)

- 1 「手指形状認識による画像認証手法を行うための特徴軸決定」主成分分析による次元圧縮
○中村孔明, 納富一宏, 高橋雅隆 (神奈川工科大), 斎藤恵一 (電機大)
- 2 音声認証における「なりすまし」の検証と対策の検討
○平澤 翼, 納富一宏 (神奈川工科大), 斎藤恵一 (電機大)
- 3 音声認識を用いた用例収集のためのプライバシーフィルタリング手法の検討
○東 拓史, 吉野 孝 (和歌山大)
- 4 自己組織化マップを用いたタッチスクリーンによるキーストローク認証手法～打鍵リズムの再現性
○野口敦弘, 中山亮介, 納富一宏 (神奈川工科大), 斎藤恵一 (電機大)
- 5 データフローを主体としたアクセス制御を実現するDF-Salviaの設計と開発
○井田章三, 河島裕亮, 檜山武浩, 瀧本栄二, 毛利公一 (立命館大)
- 6 DF-Salviaにおけるアクセス制御のためのデータフロー解析手法
○河島裕亮, 井田章三, 檜山武浩, 瀧本英二, 毛利公一 (立命館大)
- 7 Shibbolethを用いたWebアプリケーションのアクセス制御の実現
○武 佑香, 後藤浩行, 齋藤孝道 (明大), 鳥居 悟 (富士通研)
- 8 OAuthにおけるトークンを用いた権限管理方式の提案と実装
○後藤浩行, 武 佑香, 齋藤孝道 (明大), 鳥居 悟 (富士通研)

- 9 属性証明書に基づく割り引きサービス構成方式の提案
○矢田広志, 小林吉純 (阪工大)

学生セッション [4Y会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)

セキュリティシステム評価 座長 朴 美娘 (神奈川工科大)

- 盗撮に耐性のある個人認証システムの検討
○武 基裕 (芝浦工大)
- 秘匿計算を用いた Web 会計システム
○松村太一, 岡村真吾 (奈良高専)
- Web カメラを用いたステガノグラフィによる送信者確認機能付きデータ秘匿伝送方式
○掛布朋宏 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (名工大)
- 印象に残りやすい日本語パスワードの合成法について
○佐藤智貴, 長谷川真也, 鴨志田芳典, 菊池浩明 (東海大)
- IXP425 における暗号処理のオフローディング方式の実装と評価
○渥美裕太, 天野桂輔, 笠原竜大, 村上智祐, 齋藤孝道 (明大)
- IXP425 における暗号処理をオフロードする Web サーバーのパフォーマンス計測
○天野桂輔, 渥美裕太, 笠原竜大, 村上智祐, 齋藤孝道 (明大)
- UltraSPARC T2 における暗号処理のオフローディング方式の実装と評価
○村上智祐, 笠原竜大, 齋藤孝道 (明大)
- (講演取消)

学生セッション [5Y会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

トラストモデル 座長 島 成佳 (情報処理推進機構)

- セキュリティ攻撃 / 防御戦略の意思決定モデルの検討
○鈴木亜矢子, 佐藤 直 (情報セキュリティ大)
- コミュニティにおける動的なトラスト管理方式
○飯野智貴, 山口祐典 (電機大), 蜂巣洋平 (ジェイアール東日本情報システム), 矢島敬士 (電機大)
- プライバシーを保護したオントロジーマッピング手法
○張 帆, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- SNS における個人情報の抽出に関する研究
○小泉陽子, 北野光一, 寺口敏生, 田中成典, 大谷和史 (関西大)
- スマートフォンを用いた屋内における避難誘導エージェント
○野村篤史, 林 勇吾, 小川 均 (立命館大)
- 観光地防災における情報の収集と提供の支援に関する検討
○横部 径, 仲谷善雄 (立命館大)
- 個人情報を活用した人にやさしいサービスの実現方法に関する検討
○大澤由憲, 今村 理, 半井明大 (東北大), 武田敦志 (東北学院大), 北形 元, 白鳥則郎, 橋本和夫 (東北大)
- (講演取消)
- 教育現場の情報流出事故防止を目的とした USB メモリ貸出システムの提案
○上枝俊太, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 動的部分二重化を用いた自己組織化 HW の故障検出機構について
○奥村謙一, 張替拓真, 新井浩志 (千葉工大)

学生セッション [6Y会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 16:30)

著作権保護・TPM 座長 盛合 志帆 (ソニー)

- 情報漏洩元の特定を可能とする電子文書管理システムの設計
○今井正樹, 上原哲太郎 (京大), 候 書会 (北京科技大学), 津田 侑, 喜多 一 (京大)
- プラットフォーム遠隔認証
○早川 薫, 坂井修一, 五島正裕, 塩谷亮太, 都井 紘 (東大)
- 表関数による難読化方式を用いた電子透かし埋込方式
○魏 遠玉, 大関和夫 (芝浦工大)
- (講演取消)
- 端末内のイベント発生時刻保証のための TPM とタイムスタンプサービスの連携
○掛井将平 (岐阜大), 脇田知彦 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)

- 6 TPM とタイムスタンプサービスを併用した署名に基づく端末の構成管理

○甲斐正明, 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)

- 7 TPM に基づく端末認証のための認証局構築

○大川雅士 (岐阜大), 脇田知彦 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)

- 8 TPM に基づく端末認証のための公開鍵証明書の発行支援

○篠田昭人, 脇田知彦 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)

デモセッション [デモ会場]

デ-03 (3月2日(水), 3月3日(木), 3月4日(金))

鍵失効機能を持つ属性ベース暗号の実装評価

○満永拓邦, おまーる いすまいる, 久野祐介, 田所成久, 近藤伸明 (神戸デジタル・ラボ), 藤木裕之, 五十嵐寛 (金沢工大)

デ-07 (3月2日(水), 3月3日(木), 3月4日(金))

欠落ロジック構造と動的ロジック補完機構による情報要素制御

○川島浩嗣 (情報制御), 渥美清隆 (鈴鹿高専)

第4分冊

(インタフェース)

一般セッション [5E 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

CG・インタフェース

座長 金森 由博 (筑波大)

- 形状類似性制約を用いた幅の変化する曲線の対話的作成のための制約点選択法
○佐藤 信 (岩手大)
- 液晶ディスプレイ上での色の交互表示におけるちらつきの評価
○石沢千佳子, 高木誠吾, 西田 眞 (秋田大)
- 物体形状に対応する手の把持姿勢の生成手法
○京田文人, 齋藤 豪 (東工大)
- 紙 vs 液晶ディスプレイ: メディアの違いが校正作業に与える影響
~マニュアル作成における事例~
○深谷拓吾 (ATR メディア情報科学研究所 / 奈良先端科学技術大学院大),
小野 進, 水口 実, 中島青哉, 林真彩子 (WarpStyle / フジ印刷),
安藤広志 (ATR メディア情報科学研究所 / NICT)
- ウェブサイト (ホームページ) のユーザーフレンドliness についての
一試論
○横井久美子 (静岡大)
- 随意性瞬目を入力スイッチとして用いるための基礎的検討
○田邊喜一 (松江高専)

一般セッション [6E 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

グループウェア一般

座長 金子 聡 (日本アイ・ビー・エム・サービス)

- (講演取消)
- プレゼンテーションにおける範囲限定情報伝搬方式の提案と実装
○坪内進史, 越口 渉, 西山裕之 (東理大)
- 複数ミーティング間の文脈情報の獲得とその可視化による議論想起支援
○石戸谷顕太郎, 高橋 勲, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- さまざまなコンテンツの再利用を可能にする知識活動支援システムと
その応用
○土田貴裕, 石戸谷顕太郎, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- ソーシャルブックマークを活用した知識構造の推定と学習コミュニ
ティの形成支援
○山本美紀, 安間文彦, 岡本敏雄 (電通大)

学生セッション [1Z 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

講義・会議支援

座長 小林 稔 (NTT)

- 単語情報の可視化による留学生の講義理解支援システムの開発
○中條夕貴, 岡本健吾, 吉野 孝 (和歌山大)
- ホワイトボードを用いた議論の構造化に基づく議論想起支援
○森 直史, 石戸谷顕太郎, 土田貴裕, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 会議における指示情報を用いた議論の構造化とその応用
○木内啓輔, 土田貴裕, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 簡易書式によるホワイトボード動画を対象としたインデックス抽出
○谷口禎英 (東京工科大), 堀口悟史 (慶大), 井上亮文, 井垣 宏,
星 徹 (東京工科大)
- アンケート選択肢の推薦による会議中の意見交換支援システムの試作
○高崎 隼, Tatiana Zidrasco, 平田紀史, 白松 俊,
大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)
- コーディネーション相談システムの提案
○三矢慶子, 村田嘉利, 高山 毅, 佐藤永欣, 稲邊優香 (岩手県大)
- 多人数ユーザを想定した大学緑化活動における合意形成支援システム
の試作
○高橋佑也, 奥村 命, 伊藤孝行 (名工大)
- 代理読了通知機能のためのメッセージサイズとフォーカスイベントに
よる既読判定手法
○矢田久美子, 白石善明 (名工大), 毛利公美 (岐阜大),
福田洋治 (愛知教育大)
- 仮想サーバを利用した協調学習支援方式
○山崎直也, 小嶋弘行 (広島工大)

学生セッション [2Z 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

グループウェア一般

座長 由井 隆也 (北陸先端大)

- 共有知を利用した個人的発想支援システムの提案
○福中勝博, 大久保雅史 (同志社大)
- プロ型組織形成のための知識継承における蓄積情報を利用したコンテ
クト共有支援
○福山 悠 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大),
白石善明 (名工大)
- 問題志向型看護録に基づく新人看護師への看護推薦支援の試み
○木原崇博, 仲谷善雄 (立命館大)
- SECI 理論を利用した看護師組織間のポジティブフィードバックメッ
セージ導出作成支援手法の提案
○菅生佳孝, 加藤亮祐, 赤城真生, 渡辺裕太, 崎山 充 (釧路公大),
平田久美子, 渡辺佐江子, 名塚優子 (市立釧路総合病院),
皆月昭則 (釧路公大)
- マルチエージェントシステムを用いた組織的知識創造のための組織設
計手法の検討
○清水 悟, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
- RFID タグを利用した紙と電子文書の統合知識共有管理
○清水達文, 小嶋弘行 (広島工大)
- スマートフォンを用いた複数作業者に対応した遠隔地間作業指示支援
システム
○阪本敦哉, 湯瀬裕昭, 鈴木直義, 渡邊貴之 (静岡県大)
- 街中での自律的情報交換のためのユーザ間の関係性を考慮した不道德
コンテンツ判定手法
○中川文博, 高田秀志 (立命館大)
- 単一の鍵で多重帰属できるグループファイル共有システムの実装
○佐々木啓, 長澤悠貴 (名工大), 毛利公美 (岐阜大),
福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)

学生セッション [3Z 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

形状モデリング

座長 齊藤 剛 (電機大)

- 細く滑らかな曲線描画の為にフットプリントの形状と軌跡のサンプリ
ングポイントの比較と実装
○竹本義孝, 齋藤 豪 (東工大)
- SLIM 曲面を用いた局所変形の一手法
○石田夏生, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- CG による複数の紙が折り重なった状態の表現手法
○富士岡佑哉, 三谷 純, 福井幸男, 金森由博 (筑波大)
- スフェリコンをベースとした等高重心立体の形状デザインシステム
○廣瀬真輝, 三谷 純, 福井幸男, 金森由博 (筑波大)
- 逆遠近感を利用した錯視立体図形のモデリング
○伊藤紘治, 金森由博, 福井幸男, 三谷 純 (筑波大)
- 3D ポーズの一視点からの簡易指定システムの開発
○及川太陽, 金森由博, 福井幸男, 三谷 純 (筑波大)
- リアルな皮膚表現のための血管モデルの生成に関する研究
○弘中悠介, 赤木康宏, 北嶋克寛 (農工大)
- 絵画中の樹木の対話的 3 次元モデリング
○西川翔平, 藤代一成, 大野義夫 (慶大)
- 土砂の粒径を考慮した浸食ビジュアルシミュレーション
○廣川壮志, 藤代一成, 大野義夫 (慶大)

学生セッション [4Z 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

レンダリング

座長 新谷 幹夫 (東邦大)

- Texturing on Objects in Images via a Sketching Interface
○Kwanrattana Songsathaporn (東大), Henry Johan (Nanyang
Technological University), 西田友是 (東大)
- ポリゴンモデルのイラスト風半透明表現
○伊藤翔愛, 藤代一成, 大野義夫 (慶大)
- 球面ガウス関数を用いた全周波環境照明下の動的シーン的高速レンダ
リング
○古家 互, 岩崎 慶 (和歌山大)
- 光経路の前計算による random discrete media の高速レンダリング
○豊田将千, 岩崎 慶 (和歌山大)

- 5 面光源照射におけるソフトシャドウのリアルタイム生成に関する研究
○鄭 中翔, 齋藤 豪 (東工大)
- 6 多重散乱光を考慮した動的な雲のリアルタイムレンダリング
○西野孝則, 岩崎 慶 (和歌山大), 土橋宜典 (北大)
- 7 光線空間の直感的理解を目指した可視化に関する研究
○三輪貴信 (早大), 酒井幸仁 (東洋大), 橋本周司 (早大)
- 8 3次元仮想空間における Car-Parrinello 法に基づく自動視点決定法
○横井太一, 川尻崇博 (中部大),
山本千恵 (パナソニック システムソリューションズ ジャパン),
高丸尚教 (中部大)
- 5 交配に基づく 2D モデリングインタフェース
○八坂 俊, 大野義夫, 藤代一成 (慶大)
- 6 スポーツのTV鑑賞における盛り上げシステムの提案
○香川勇大, 大久保雅史 (同志社大)
- 7 身近な花材を利用した生け花支援システムの開発
○横窪安奈, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 8 個人移動履歴のパターン分類を利用したライフログ検索・閲覧手法の提案と評価
○種田英雄, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)
- 9 ロボットアームによる可動型ディスプレイを用いた能動的な情報提示の検討
○北出卓也 (慶大), 大澤博隆 (JST), 今井倫太 (慶大)

学生セッション [5Z会場] (3月4日(金) 9:30 ~ 12:00)

アニメーションと可視化 座長 佐藤 尚 (神奈川工科大)

- 1 異なる二つのイラスト間の補間によるアニメーション
○長利健治, 齋藤 豪 (東工大)
- 2 姿勢グラフを用いた人体動作生成
○虎間亮介, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 3 任意トポロジーをもつ面上におけるアリの群集シミュレーション
○佐藤靖之, 藤代一成, 大野義夫 (慶大)
- 4 皮膚表面上を流れ落ちる血液のビジュアルシミュレーション
○上田和英, 大野義夫, 藤代一成 (慶大)
- 5 砂塵の対話的ビジュアルシミュレーション
○中島 聡, 大野義夫, 藤代一成 (慶大)
- 6 人間の視覚特性に基づいた可視化情報提示
○泉 貴大, 斎藤隆文 (農工大)
- 7 ツヤを用いた多変数データの可視化に関する研究
○須田航貴, 齋藤 豪 (東工大)
- 8 (講演取消)
- 9 多次元情報解析における次元縮約過程の動的可視化手法の提案
○森 健人, 大野義夫, 藤代一成 (慶大)

学生セッション [6Z会場] (3月4日(金) 14:30 ~ 16:30)

CG応用 座長 齋藤 豪 (東工大)

- 1 複数の玉を扱う携帯型迷路ゲームの自動生成
○浅賀一樹, 藤代一成, 大野義夫 (慶大)
- 2 ステレオ実写画像からのシャドーアート制作支援システム
○松本雄大, 高井昌彰 (北大), 高井那美 (北海道情報大)
- 3 テクスチャ付きポリゴンモデルからの缶アート生成支援システム
○高橋和茂, 高井昌彰 (北大), 高井那美 (北海道情報大)
- 4 住宅庭園設計支援のためのアルゴリズムデザインに基づく提案機構の試作
○橋本 創, 夏目欣昇, 伊藤孝行 (名工大)
- 5 GFFDを用いた顔形状デフォルメシステム
○高橋 学, 北嶋克寛 (農工大)
- 6 物理シミュレーションを組み込んだイラスト調のヘアカット教習用画像生成手法
○近藤基樹, 三谷 純, 福井幸男, 金森由博 (筑波大)
- 7 靴型形状特徴量の抽出と類似度算出の研究
○野澤和正, 福井幸男, 金森由博, 三谷 純 (筑波大)
- 8 「畳織り」金網のろ過性能算出ツールの提案
○小林嵩史, 三谷 純, 福井幸男, 金森由博 (筑波大)
- 9 雲と背景のコンテンツベース検索と柔軟な合成による空の画像作成システム
○三谷隆暢, 大野義夫, 藤代一成 (慶大)

学生セッション [1ZA会場] (3月2日(水) 9:30 ~ 12:00)

インタフェースシステム (1) 座長 古市 昌一 (日大)

- 1 Webカメラを使用した書道パフォーマンスツールの開発
○端山竜也, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 2 電動車椅子の周辺把握システム
○越智雅俊, 今溝啓太, 堀越大輔, 小野里大志, 田村 仁 (日本工大)
- 3 高機能携帯端末を用いたカメラ翻訳システムの提案
○衛門一樹, 西山裕之 (東理大)
- 4 Webカメラを用いたユーザ独自のタッチインターフェース作成支援システム
○加藤慎一郎, 伊串葉月, 片田裕貴, 濱川 礼 (中京大)

学生セッション [2ZA会場] (3月2日(水) 14:30 ~ 17:00)

インタフェースシステム (2) 座長 中村 喜宏 (日大)

- 1 携帯電話の着信音による発信者の感情伝達システムの提案
○河瀬裕士, 仲谷善雄 (立命館大)
- 2 タッチパネルを用いた多人数協調型音楽制作システムの提案
○大竹駿希, 神野貴之, 花村成慶, 武田智裕, 古市昌一 (日大)
- 3 リアルタイムコミュニケーションチャートを用いた「気づき」を誘発する面接トレーニングシステムの提案
○速水達也, 佐野睦夫 (阪工大)
- 4 WebN グラムを用いた翻訳機能付き日本語入力システム
○大江 究, 安藤 禮, 松浦純樹, 山中 光, 市村 哲 (東京工科大)
- 5 小グループ向け文書情報共有システムの実装と評価
○今井良美, 角田博保, 赤池英夫 (電通大)
- 6 ピクトグラムとアニメーションを用いて文章概念を表現するシステム
○杉浦俊弥, 宇佐美寛, 小川純矢, 吉村直美, 濱川 礼 (中京大)
- 7 用例の森: 用例評価のモチベーション維持支援システム
○狩野 翔, 福島 拓, 吉野 孝 (和歌山大)
- 8 服の着用経験に基づき服自身がコーディネートを推薦するシステム
○福田未央, 仲谷善雄 (立命館大)
- 9 赤外線通信を用いたプロトコル分析支援システムの開発
○瀧口敬史, 大和田勇人 (東理大)

学生セッション [3ZA会場] (3月3日(木) 9:30 ~ 12:00)

ネットワークコミュニケーション 座長 郷 健太郎 (山梨大)

- 1 ソーシャルネットワークシステムの2次元チャットシステムへの応用
○長岡功祐, 魚井宏高 (大阪電通大)
- 2 Twitterにおけるタイムライン閲覧時の不快感軽減の試み
○田中優美, 伊藤久祥 (岩手県大)
- 3 Twitter タイムライン解析による存在感の抽出
○松田有史, 今井倫太, 大澤博隆 (慶大),
杉山 治 (ATR 知能ロボティクス研究所)
- 4 目的地にいる人々とのコミュニケーションを促進するシステムの開発
○宮本英里, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 5 ペイジアンネットワークによる現在地予測に基づくコミュニケーションシステムの設計
○村越拓真, 平石広典 (秋田高専)
- 6 インフォーマルコミュニケーション誘発のためのWebブラウザー上での他者の可視化手法の検討
○櫻井元晴, 相田 仁 (東大)
- 7 (講演取消)
- 8 ハイパーテキスト化された電子メール引用の視覚化機能とその実装
○小早川隆嗣, 鈴木正清, 原田康浩, 後藤文太郎 (北見工大)
- 9 Blu-rayのネットワーク機能を利用した映像ソーシャルブックマークシステムの開発
○覚野哲宏, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)

学生セッション [4ZA会場] (3月3日(木) 15:30 ~ 17:30)

コミュニケーション支援 座長 宮下 芳明 (明大)

- 1 聴講者とのインタラクションを促進する会議支援システム Micker の実装
○小山充智, 高崎 隼, 平田紀史, 白松 俊,
大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)

- 2 会議支援システム Micker における質疑応答履歴を用いた議事録閲覧支援
○西田亮太, 小山充智, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 同一空間内におけるグループ内会話促進を目的としたデジタルサイネージシステム
○向 恭平, 藤波香織 (農工大)
- 4 パーソナルテンポに基づいた会話支援システムの提案
○足立幸祐, 延谷直哉, 仲谷善雄 (立命館大)
- 5 ハミングを使用した思い出想起・コミュニケーション支援
○北 裕介, 仲谷善雄 (立命館大)
- 6 自動会話システムにおける擬人化エージェントの非言語メッセージが会話持続に与える効果 ～社会的スキルとエンブレムによる非言語メッセージの関係～
○高木志織 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 7 会話エージェントを利用した認知症患者のためのコミュニケーション支援
○比企野純太, 中野有紀子 (成蹊大), 安田 清 (千葉労災病院)
- 8 星空ビジョン：星空を介してのコミュニケーションを可能とするツールの開発
○金子真希, 加藤直樹, 山崎謙介 (東京学芸大)

学生セッション [5ZA 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

計算機システムのインタフェース 座長 川又 武典 (三菱)

- 1 (講演取消)
- 2 カーソル制御によるポインティングタスクの効率化支援
○高濱健児, 郷健太郎 (山梨大)
- 3 タッチスクリーン上でのタッピングによるメニュー選択のショートカット
○春日洋紀, 郷健太郎 (山梨大)
- 4 ななめメニュー
○富田あゆみ, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 5 誘導的インタフェースの表示方法の検討～対比較法を用いた横スクロール型メニューの有効性の検証～
○豊田孝明, 畑中基希, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 6 ウィンドウの表現性を拡張するインタフェースの提案
○持田光将, 深井佑希, 伊藤永悟, 藤田光治, 佐野勇司, 藤本貴之 (東洋大)
- 7 スマートフォンを用いたジェスチャーによる定型文入力方式とその応用
○今井 弦, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 8 わくこん：3D モデリングのためのわく型入力装置
○大江龍人, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)
- 9 電子書籍における隠蔽情報逐次提示システム
○原 一史, 渡辺富夫, 神代 充 (岡山県大)

学生セッション [6ZA 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

入出力インタフェース 座長 中村 嘉志 (産総研)

- 1 音声入力による人型エージェントの操作感の実験的検討
○高 欣然, 服部 峻 (東京工科大), 久保村千明 (山野美容芸術短大), 亀田弘之 (東京工科大)
- 2 デバイスの傾け操作によるインタラクション手法の提案と評価
○水越智史, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)
- 3 表示領域を考慮した類似画像表示手法の検討
○小野祐輝, 大西克彦 (大阪電通大)
- 4 アナログジョイスティックを用いた 2 段階操作での文字入力手法の検討
○鈴木瑛大, 伊藤久祥 (岩手県大)
- 5 赤外線測距センサを用いた座標と角度による感覚的入力手法の提案
○若林航佑, 金田重郎 (同志社大)
- 6 地域伝統舞踊の基本動作における腰の「落とし」動作の定量化
○最上恒義, 郡 未来, 松田浩一 (岩手県大), 清家久美子, 海賀孝明 (わらび座)
- 7 情報伝達のための室内状況可視化手法の提案
○越口 渉, 西山裕之 (東理大)
- 8 色覚異常者のための色の組み合わせ
○吉満麻菜美, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)

学生セッション [1ZB 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

ロボットとエージェント 座長 橋本 直 (JST)

- 1 対象者軌跡を自動追従するショッピングカートの設計と製作
○大川 涼, 阿部浩介, 高塚崇文, 小野里太志, 堀越大輔, 田村 仁 (日本工大)
- 2 視聴覚統合ビートトラッキングを用いた音楽ロボットとギターとの合奏システム
○糸原達彦, 大塚琢馬, 水本武志, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 3 連続音声から場所の名前を学習する自律移動ロボット
○山田雄治, 服部公央亮, 田口 亮, 梅崎太造 (名工大), 保黒政大 (中部大), 岩橋直人 (NICT), 船越孝太郎, 中野幹生 (ホンダ RIJ)
- 4 センサを用いた感覚的な発話生成するロボットの研究
○斉藤 緑, 今井倫太 (慶大), 大澤博隆 (JST)
- 5 視野外の状況も考慮したロボットの自律的行動選択～音情報による物陰の人物の認識～
○渡部 翔, 金子正秀 (電通大)
- 6 (講演取消)
- 7 しりとりにおけるロボットに対する人間らしさの帰属
○阪本綾香, 林 勇吾, 小川 均 (立命館大)
- 8 身体動作によるロボットインターフェースとしての Wii リモコンの有効性
○若林昭徳, 加藤昇平 (名工大)

学生セッション [2ZB 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

インタフェースの分析・評価 座長 志築 文太郎 (筑波大)

- 1 カメラのシャッター音の印象に対応する音要素の分析法
○重田美智代 (芝浦工大), 飯塚重善 (神奈川大), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 2 注視・相互注視に基づく会話参加者優位性順位の推定に向けた多人数インタラクションの分析
○福原佑貴, 中野有紀子 (成蹊大)
- 3 色相信号を用いた協調型ゲームにおけるコミュニケーション進化の分析
○山下祥弘, 坂野了太, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 4 ON/OFF 信号を用いた協調型ゲームにおける意思伝達プロトコルの確立過程
○野澤皓右, 坂本龍哉, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 5 複数デスクワーク同時進行中の割り込み拒否度推定に向けた頭部運動の分析
○安部亮介, 田中貴紘, 藤田欣也 (農工大)
- 6 GQM に基づくユーザエクスペリエンスの品質モデルの提案
○田中絢子, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 7 競争相手の能力の違いが作業者に及ぼす影響
○山下 翼, 大久保雅史 (同志社大)
- 8 顔の輪郭映像を用いた会話システムにおける社会的スキルと注視行動に関する考察
○花田 研 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大), 大谷 淳 (早大)
- 9 携帯電話における顔文字の印象評価
○虎谷安孝, 平山 亮 (金沢工大)

学生セッション [3ZB 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

VR 応用 座長 野嶋 琢也 (電通大)

- 1 ウェアラブル物探し支援システムのための筋電信号からの把持状態検出
○吉村昂士, 河野恭之 (関西学院大)
- 2 ハプティック AR システムの周波数応答特性による評価
○五十嵐勇太, 池田篤俊, 栗田雄一 (奈良先端大), 永田和之 (産総研), 小笠原司 (奈良先端大)
- 3 安全な化学実験教育のための他者情報の提示法
○松澤沙緒里, 宗官祥史, 侯 明偉, 品川徳秀, 江本啓訓, 藤波香織 (農工大)
- 4 困難タスク完遂支援のための, ユーザに愛情をもたれる仮想ペット
○荒川祐実, 河内智志, 藤波香織 (農工大)

- 5 仮想空間コミュニケーションのための携帯端末を用いたメディア機器の動的連携手法

○浅井俊晴, 河口信夫, 梶 克彦 (名大)

- 6 バーチャルスタディマップにおけるマルチメディアシステム
○王 玉毎, 菅野智世, 塙 亮平, 吉田眞澄 (筑波学院大)

- 7 配信王国 - 仮想空間におけるストーリーミング動画配信 -
○上村大輔, 久野琢也, 鈴木翔太, 濱川 礼 (中京大)

- 8 入力デバイスの位置角度と出力とを連動させた Digital Graffiti System の開発

○笠井 隆 (早大)

- 9 影をモチーフとしたインタラクティブコンテンツ
○須田裕美, 太田高志 (東京工科大)

学生セッション [4ZB 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

AR 座長 興梠 正克 (産総研)

- 1 ARToolKit を用いたオーディオプレイヤーインターフェースの開発
○渡邊 輝, 矢吹太郎, 佐久田博 (青学大)

- 2 ECA 規則に基づくマーカー型 AR アプリケーション開発支援環境
○山浦 伶, 井垣 宏, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)

- 3 AR マーカーを用いた机上協調作業のための現実仮想融合インタフェースの構築
○成富 徹, 井上亮文, 井垣 宏, 星 徹 (東京工科大)

- 4 AR 技術を利用した体感型の魚観察コンテンツ
○楡本崇史, 太田高志 (東京工科大)

- 5 AR における前後関係を考慮した現実と CG の表示
○鈴木 翼, 太田高志 (東京工科大)

- 6 AR 技術とテーブルトップインターフェースの連携利用の試み
○石井孝幸, 太田高志 (東京工科大)

- 7 書籍の背表紙画像を用いたウェアラブル AR 図書検索システム
○高橋政樹, 高井昌彰 (北大)

- 8 AiR surface : 拡張現実上の平面を用いたインタフェース
○加茂浩之, 田中二郎 (筑波大)

- 9 超解像処理を用いたマーカー認識の一手法
○福岡篤志, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)

学生セッション [5ZB 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

タッチパネルインタフェース 座長 寛 康明 (慶大)

- 1 タッチパネルにおける小ターゲット向けマルチタッチ操作の提案・実装・評価
○南條和弘, 角田博保, 赤池英夫 (電通大)

- 2 マルチタッチ / マルチジェスチャ実装用ライブラリの開発
○山脇直樹, 飯田 聡, 大杉友哉, 高見友幸 (大阪電通大)

- 3 子供向け電子絵本における集中力持続のためのマルチモーダル・インタフェースの提案
○栗飯原萌, 小林貴之, 村上雄太郎, 菅原祐人, 花村成慶, 武田智裕, 古市昌一 (日大)

- 4 複数ユーザ認識機能を備えたテーブルトップ型 HMI の協調型音楽制作への応用法の提案と評価
○花村成慶, 武田智裕, 菅原祐人, 栗飯原萌, 志甫侑紀, 古市昌一 (日大)

- 5 電動車椅子用マルチタッチインタフェースの製作
○飯澤貴洋, 小島春樹, 堀越大輔, 小野里太志, 田村 仁 (日本工大)

- 6 タッチスクリーン用ソフトウェアキーボードへの物理的手がかりの付与
○天野貴之, 郷健太郎 (山梨大)

- 7 パネルの遊びから押せる場所が分かるタッチディスプレイの開発
○棚瀬直政, 島田景司, 長松 隆, 赤澤輝彦, 鎌原淳三 (神戸大)

- 8 画面外におけるスタイラスの動作を用いた入力インタフェース
○鈴木文佳, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)

- 9 身体的インタラクション解析のための Eye-Tracking 液晶ペンタブレットの開発
○吉田圭介, 佐藤広志, 山本倫也 (関西学院大), 長松 隆 (神戸大), 渡辺富夫 (岡山県大)

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [1F 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

教育学習支援 座長 高岡 詠子 (上智大)

- 1 走行消費電力の低さを競う教育コンテンツの構築
○山下直仁, 松田昭信 (九州組込みソフトウェアコンソーシアム)

- 2 HTML5 を用いた授業支援システムの構築
○郡司貴之 (湘南工科大)

- 3 電子書籍用端末の大学講義での利用の検討
○奥田隆史 (愛知県大)

- 4 動画像教材を対象とした LMS の負荷テスト
○小柏香穂理, 浜本義彦, 哲上興平, 原田貴大, 平野佳浩 (山口大)

- 5 成績予測のための過去の受講生のデータのクラスター分析
○伊藤宏隆, 伊藤曉人, 舟橋健司 (名工大)

- 6 法廷弁論教育における立証準備システム: ArgPLAN
○角田篤泰 (名大)

一般セッション [2F 会場] (3 月 2 日 (水) 14:30 ~ 17:00)

システムと社会環境 座長 原田 要之助 (情報セキュリティ大)

- 1 システムアーキテクチャへの概念共有欲求の反映
○木下博之 (慶大)

- 2 気象庁防災情報 XML データの自治体防災への応用
○西尾雅弘, 森 正寿 (近畿大)

- 3 Intelligent Market: 市場安定化のためのマーケットメイカー型ブレイン・コンピュータ・インターフェイスの作成
○下川哲矢 (東理大), 木下寛大 (楽天), 宮川和太 (一橋大), 参沢将匡 (富山大)

- 4 複数参照座標系の点群データからの半自動統合地図生成システム
○秋山英久 (産総研), 竹内栄二郎, 田所 諭 (東北大), 下羅弘樹, 野田五十樹 (産総研)

- 5 携帯電話内蔵カメラの撮影表示に関する検討
○若松 梓, 小町祐史 (阪工大)

- 6 携帯端末を用いたマルチタッチ操作の提案・実装・評価
○南條和弘, 角田博保, 赤池英夫 (電通大)

一般セッション [3F 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

QoL の向上 座長 中山 泰一 (電通大)

- 1 全盲視覚障害者の音座標ガイドを利用した図形描画練習支援手法の提案
○伊藤史人 (一橋大)

- 2 発達障がいと聴覚障がいを併せ有する児童のための算数用デジタルコンテンツの研究
○池守 樹, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大), 濱田豊彦 (東京学芸大)

- 3 聴覚障害児童向け日本語文法学習支援 e ラーニング教材の開発と評価
○篠原久美子, 石井玲佳, 井上品太, 稲葉竹俊, 松永信介 (東京工科大)

- 4 環境学習 e ラーニング教材の開発と評価
○岡 裕美, 白坂友香梨, 稲葉竹俊, 松永信介 (東京工科大), 千葉さち子 (未来舎)

- 5 聴覚障害学生に授業の臨場感を伝える感情フォントの提案
○瀬戸就一, 新井 浩 (金城大短大), 杉森公一, 下村有子, 川辺弘之 (金城大)

- 6 「質より量のアプローチ」による音声認識のシミュレーションと計算機の性能評価
○川辺弘之, 杉森公一 (金城大), 瀬戸就一 (金城大短大), 下村有子 (金城大)

- 7 聴覚障害学生に授業の臨場感を伝える感情フォントの提案
○瀬戸就一, 新井 浩 (金城大短大), 杉森公一, 下村有子, 川辺弘之 (金城大)

- 8 「質より量のアプローチ」による音声認識のシミュレーションと計算機の性能評価
○川辺弘之, 杉森公一 (金城大), 瀬戸就一 (金城大短大), 下村有子 (金城大)

- 9 聴覚障害学生に授業の臨場感を伝える感情フォントの提案
○瀬戸就一, 新井 浩 (金城大短大), 杉森公一, 下村有子, 川辺弘之 (金城大)

一般セッション [4F 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

情報教育・教育システム 座長 立田 ルミ (獨協大)

- 1 履修者データによるプログラミング入門教育へ SIEM を導入した効果の分析 (その 2)
○土肥紳一, 宮川 治, 今野紀子 (電機大)

- 2 可読性の指摘を行うプログラミング教育システムの開発 - 反復構造の自動検出による関数化の指摘 -
○松本章代 (東北学院大), Martin Duerst (青学大)

- 3 教育用プログラミング環境 Alice の日本語化
○淡誠一郎 (大阪学院大)

- 4 教員養成系大学におけるコンピュータサイエンスアンブレグド実践の試み
○樫山淳雄, 森本康彦, 新藤 茂, 宮寺庸造, 加藤直樹, 南葉宗弘, 伊藤一郎, 山崎謙介 (東京学芸大)

- 5 情報システム構築の上流工程フェーズの大学教育における一考察について
○石野正彦, 上田翔太 (福井工大), 工藤 司 (静岡理工科大), 五月女健治 (法大)

- 6 組込み技術における教育システムの開発
○馬場伸一 (九州組込みフォーラム), 高本博文 (レガートデザインコーポレーション), 松田昭信 (九大)

一般セッション [5F 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

情報教育の理念・実践 座長 久野 靖 (筑波大)

- 1 小中学校の情報化支援
○凍田和美 (大分県立芸術文化短期大), 渡辺律子 (ハイパーネットワーク社会研究所)
- 2 高等学校における教科「情報」の現状と課題—全国調査から見た教育内容と教員の意識—
○若林義啓 (広島国際学院大), 栢木紀哉 (摂南大), 上田千恵 (旭川荘厚生専門学院)
- 3 工科系新入大学生の意識と情報基礎教育の在り方
○早坂成人, 石坂 徹, 石田純一, 刀川 眞 (室蘭工大)
- 4 京都地区における複数大学 e ラーニング連携事業の取組
○阿部一晴 (京都光華女子大), 森川知史 (京都文教短大), 小波秀雄 (京都女子大), 都築英明 (明治国際医療大), 坪内伸夫 (京産大)
- 5 PDA の一般化とコンピュータリテラシ教育
○新田雅道 (小松短大)
- 6 高大連携に活用する経営情報分野の導入教材開発
○佐々木宣介, 小川仁士, 竹本康彦, 陳 春祥, 宇野 健 (広島県大)
- 7 選択理論による情報化社会における教育の考察
○榎本守伸 (別府大)

一般セッション [6F 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

インテリジェントタッグ 座長 義久 智樹 (阪大)

- 1 省電力プラットフォーム「グリーンタッグ」の開発 (1)
○岩田真琴, 甲斐正義, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 2 省電力プラットフォーム「グリーンタッグ」の開発 (2) ~ 通年動作可能な長寿命無線環境センサの開発 ~
○山村幸太郎, 石田和生, 岩田真琴, 甲斐正義, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 3 省電力プラットフォーム「グリーンタッグ」の開発 (3) ~ 電力波形を用いた家電機器特定技術の開発と評価 ~
○岩佐淳史, 岩田真琴, 甲斐正義, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 4 省電力プラットフォーム「グリーンタッグ」の開発 (4) ~ 実証実験と今後の課題 ~
○稲垣嘉信, 宮崎 徹, 坂本 久, 岩田真琴, 甲斐正義, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)

一般セッション [1G 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

人文社会への応用 座長 鈴木 卓治 (国立歴史民俗博物館)

- 1 要約した物語テキストからの漫画コマ割生成
○高嶋航大, 鬼沢武久 (筑波大)
- 2 Wikipedia を用いた文化差判定の検討
○吉野 孝, 宮部真衣 (和歌山大)
- 3 (講演取消)
- 4 校本に基づく諸本の階層的分類と伝本系譜の推定
○野村厚志 (山口大), 熊本守雄 (山口県大)
- 5 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示の研究 - 線分交叉を伴う一系図表示アルゴリズム -
○杉山正治 (立命館大), 生田敦司, 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大)

- 6 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示の研究 - 養子縁組関係を表示するための前提と整理 -
○生田敦司 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大)

- 7 東南アジア大陸部における人口密度分布に関する定量的考察
○梅川通久 (東京外語大)

一般セッション [3G 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

産業応用 座長 児玉 公信 (情報システム総研)

- 1 航空管制における統合情報管理システム要件開発工程に関する一考察
○藤田雅人 (電子航法研)
- 2 線形回帰分析を用いた保守部品の生涯需要予測
○飯塚新司, 宗形 聡, 手塚 大, 浦邊信太郎 (日立東日本ソリューションズ)
- 3 企業の業務改善に向けた作業履歴データ分析
○江川誠二, 櫻井茂明, 早川ルミ (東芝ソリューション)
- 4 PSI 特徴マップによる問題在庫の絞込みと在庫管理
○浦邊信太郎, 宗形 聡, 手塚 大, 飯塚新司 (日立東日本ソリューションズ), 荒木協和, 白川洋一郎 (STARLECS)
- 5 高品質ミカン育成のためのフィールド情報収集・活用システムの構築
○柳生弘之, 沼野なぎさ, 神谷俊之 (NEC システムテクノロジー), 藤田絢香, 中村元一 (三重県熊野農林商工環境事務所), 須崎徳高, 一ノ木山浩道 (三重県農業研究所), 橋本 篤, 亀岡孝治 (三重大)
- 6 携帯電話による農作物の育成状況入力とその利用
○沼野なぎさ, 柳生弘之, 神谷俊之 (NEC システムテクノロジー), 須崎徳高 (三重県農業研究所), 中村元一 (三重県熊野農林商工環境事務所), 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 7 ペルソナ法を活用したソーシャルデザインプロセスの検討 ~ 介護分野での試行 ~
○中村亜紀, 指田直毅, 渡辺 理 (富士通研)

学生セッション [1ZC 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

語学・技能の学習支援 座長 中平 勝子 (長岡技科大)

- 1 留学生のためのメディア統合型モバイル日本語学習支援システムの構築
○安 暁旭, 吉野 孝 (和歌山大)
- 2 外国人留学生を対象とした初級用日本語教材の研究 - 聞き取りと発話を目的としたアクセント学習コンテンツの開発 -
○三浦 麗 (東京工科大)
- 3 (講演取消)
- 4 留学生を対象とした初級用日本語教材の開発 - 受給表現を題材とした映像教材の効果的な制作手法の研究 -
○坂下涼太, 岩根 信, 村井誠紀 (東京工科大)
- 5 フラッシュカードを用いた外国語習得のための支援機能の分析
○須藤章裕, 平野裕作, 吉見将太, 橋本和夫 (東北大)
- 6 小学校の英語活動においてクイズを利用した効果的な学習方法の研究
○宮田 修 (東京工科大)
- 7 メール文書の形式を指摘する文書校正支援システムの提案
○大森由美子, 尾上弘奈, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 8 メール文書における敬語表現指摘方法の提案
○尾上弘奈, 大森由美子, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 9 塗装作業における技能差の評価のための一検討
○熊谷翔太, 松田浩一 (岩手県大)
- 10 単調作業の総合的支援システムによる労働の質的向上の研究
○川上賢太, 藤波香織 (農工大)

学生セッション [2ZC 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

教育学習支援 (1) 座長 井上 仁 (九大)

- 1 戦術アニメーション機能を備えた競技用作戦盤の開発
○林田真弥, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 2 拡張現実感を利用したホログラム撮影方法体感学習ツールの開発 ~ 光量を考慮した光学系構築の学習 ~
○柴田将志 (日大)

- 3 陰影表現における稜線を捉えるための初心者向け対話的デッサン学習支援システムの検討
○柴田博樹, 亀田昌志 (岩手県大)

- 4 農業体験学習の経験を食育に結び付ける学習支援システムの提案
○吉田昌平, 佐藤俊幸, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)

- 5 3D カメラと加速度センサを用いた読み聞かせ支援システムの構築と評価
○野村悟司, 上坂和也, 岩城拓郎 (同志社大), 高橋一夫, 新谷公朗 (常磐会短大), 金田重郎 (同志社大)

- 6 スマートフォンを活用した地域学習支援システムの開発
○植竹健太, 稲葉竹俊, 安藤公彦, 松永信介 (東京工科大)

- 7 小学校の英語授業における電子黒板活用の試み
○大坂朋也, 奥平泰隆, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)

- 8 小学校英語活動におけるデジタル絵本教材の開発
○坂井香澄, 石井祐生 (東京工科大)

- 9 中学生向け合唱練習用ラーニングシステムの開発
○本田雅治, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)

- 10 異なる簡易 VR 学習環境下での学習効果の差異に関する研究
○鈴木貴大, 鈴木崇弘, 千葉紗由李, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)

学生セッション [3ZC 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

情報技術教育支援 座長 中村 純 (広島大)

- 1 TCP/IP の可視化ツールの開発 -TCP の順序制御とトランスポート層におけるコネクション / コネクションレス型の違いの可視化ツール
○高橋祥吾, 荒井正之 (帝京大)

- 2 TCP/IP の可視化ツールの開発 -アプリケーションプロトコルの可視化
○柳瀬貴博, 荒井正之 (帝京大)

- 3 仮想教室による Cisco CCNA 資格取得支援システムの方式の提案
○Nattapong Sihakriangkrai, Nattaporn Sihakriangkrai, 月江伸弘, 村上 博, 西部俊孝 (日本工学院八王子専門学校)

- 4 情報セキュリティ教育における基礎学習の実践的教材開発
○静岡貴史, 河村 圭 (山口大), 川村 保 (イルボンテ), 糸山修一 (山口大)

- 5 フィジカルデバイスを利用した大学での組込ソフトウェア教育
○和田佑介, 竹川貴博, 仲石資紀, 兼宗 進 (大阪電通大)

- 6 相互学習に対応した UNIX コマンド学習支援システムの構築と評価
○藤原 啓 (阪大), 長瀧寛之 (岡山山大), 大下福仁, 角川裕次, 増澤利光 (阪大)

- 7 チームプログラミングを可能とした教育支援システムの開発
○本間皇成, 松本翔太 (青学大), 松本章代 (東北学院大), 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)

- 8 学習履歴の収集・参照機能を備えたプログラミング講義支援システム
○草野裕紀, 山本昭成, 平野洋行, 市村 哲 (東京工科大)

- 9 Web ディレクター育成のための PBL 向けマルチメディアケース教材の評価と検討
○杉澤愛美, 安田光孝, 斎藤 一, 隼田尚彦, 向田 茂 (北海道情報大)

- 10 Excel ファイルを対象とした自動採点システム
○田村繁人, 安留誠吾 (阪工大)

学生セッション [4ZC 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

教育学習支援 (2) 座長 坂東 宏和 (ボトス)

- 1 スマートアプライアンスを用いた論述式課題のための添削支援サービスの開発
○今村咲貴, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)

- 2 ドキュメントスキャナを用いた半自動採点システムの構築
○茂木良平, 大枝真一 (木更津高専)

- 3 地域に対する知識ベース充実へ向けた作問支援システムの設計
○菅原遼介, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)

- 4 「e ラーニングシステムと実機シミュレーションの連携による組込みソフトウェア学習支援」
○和宇慶達也, 久保田稔 (千葉工大)

- 5 学習環境センシング情報を活用した e-learning コンテンツ制御
○岡 亮太, 中平勝子, 福村好美 (長岡技科大)

- 6 多次元パターンの分布を可視化する理解促進教育用文字認識システム
○久田隆太郎, 竹下鉄夫, 江崎信行 (豊田高専)

- 7 ブラウザ操作の自動再生システムの構築
○椿晃一郎, 疋田輝雄 (明大)

- 8 ベクトル幾何的に再構成される図法幾何教材の CAD インターフェース
○伊藤勇磨, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)

学生セッション [5ZC 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

教育学習支援システム 座長 長 慎也 (明星大)

- 1 学生プロジェクトによる e ラーニング教材制作モデルの提案と実践
○元木一喜, 石井拓郎, 斎藤 一, 隼田尚彦, 向田 茂, 安田光孝 (北海道情報大)

- 2 複合コンテンツによる e-Learning 教材作成支援システムにおけるアンケート機能の開発
○萩野 基, 越智洋司, 井口信和 (近畿大)

- 3 未回答者追跡可能な匿名アンケートシステムの実現
○高木里紗, 山守一徳 (三重大)

- 4 授業映像と参観者のメモを同期閲覧できる授業評価記録・閲覧システムの開発
○山崎 岳, 加藤直樹, 山崎謙介 (東京学芸大)

- 5 教員と生徒のコミュニケーションを促進する授業評価システムの試作
○田中俊介, 伊藤孝行, 橋本 創 (名工大), 田中雅章 (鈴鹿短大)

- 6 出席管理システムからの代理返事検出
○鈴木里奈, 三浦孝夫 (法大)

- 7 電子教科書と連携する Web 検索支援システムの提案
○中村愛実, 小川克彦 (慶大)

- 8 USB メモリを効果的に活用したより安心・安全な Web 学習環境の提案
○宇佐美裕康, 尾崎正弘, 足達義則 (中部大)

- 9 鳥取県版環境教育システムの構築
○陰山大貴, 田淵宏太, 豊田寿行, 名古屋孝幸 (鳥取環境大)

- 10 EQUAL SUM SUBSETS に対する遺伝的アルゴリズムを用いた学習者適応型 e ラーニングシステムの開発
○田淵宏太, 陰山大貴, 名古屋孝幸, 豊田寿行 (鳥取環境大)

学生セッション [6ZC 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

教育支援ツール 座長 中野 由章 (千里金蘭大学)

- 1 デジタルペンを利用したデジタル教材ツールの開発
○前川 司, 古川文人, 高井久美子, 渡辺博芳 (帝京大)

- 2 デジタルカメラを利用した演習時間における教育支援システムの開発
○石坂 智, 加藤直樹, 山崎謙介 (東京学芸大)

- 3 スマート文房具へのアプローチ (1) - デジタルペンを用いて講義中における学生教員間のリアルタイムインタラクションを支援するサービス -
○清 貴幸, 久次米麻衣, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 4 スマート文房具へのアプローチ (2) - 復習を前提とした大学生のノートテイキング方法の比較とノートフォームの提案 -
○久次米麻衣, 清 貴幸, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 5 スマート文房具の要件の検討 (1) - 学習における文字のストロークを筆順に沿って提示することの効果 -
○山田博之, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 6 スマート文房具の要件の検討 (2) - マインドマップを用いた要約と従来の要約の比較検討 -
○山口奈菜, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 7 スマート文房具の要件の検討 (3) - 手書きノートテイキングにおける低網羅率克服への試み -
○小甲啓隆, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

学生セッション [1ZD 会場] (3 月 2 日 (水) 9:30 ~ 12:00)

教育学習評価 座長 井上 仁 (九大)

- 1 プレゼンテーション・ラーニングにおいて授業クラスや学習者の習熟度が学習結果に与える影響について
○チョレンドラ アディカリ (中部大), 武岡さおり, 杉村 藍 (名古屋女子大), 宇佐美裕康, 尾崎正弘 (中部大)

- 2 (講演取消)

- 3 インタラクティブなクイズによる力学の理解度の調査
○筒井達郎, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 4 項目反応理論を用いた類似問題群からの適応的なテスト出題方式に関する検討
○池田信一, 勅使河原可海 (創価大), 高木輝彦 (電通大), 高木正則 (岩手県大)
- 5 学習者の理解度を用いた自習システムの設計
○大塚 稔, 今野 将 (千葉工大)
- 6 学生の学習履歴による難易度調整時間割自動作成システム
○西森友省, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 7 チケット駆動開発を適用したグループ並行型 PBL のための開発履歴可視化・分析システム
○矢ヶ崎隆磨, 井垣 宏, 田胡和哉 (東京工科大)
- 8 教育用 Web システムにおける多次元的データマイニングシステムの開発
○中富竜一郎, 杉本典子, 堀江隆太, 光吉和哉 (崇城大)
- 9 プロジェクト型学習を支援するデジタルポートフォリオの構築と評価
○石井拓郎, 元木一喜, 斎藤 一, 隼田尚彦, 向田 茂, 安田光孝 (北海道情報大)

学生セッション [2ZD 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

協調学習・活動支援 座長 渡辺 博芳 (帝京大)

- 1 認知的徒弟制理論に基づくソフトウェア開発教育における協調学習支援システムの提案
○張 龍明, 樋山淳雄 (東京学芸大)
- 2 AHP とルーブリックを併用した CSCL 向けハイブリッド型相互評価モジュールの開発
○舟橋正仁, 宮崎佳典 (静岡大)
- 3 協調学習における学習者間のインタラクションの状況に基づく学習キーワードの提示
○斉藤史徳, 有我祐人, 林 康弘, 小松川浩 (千歳科技大)
- 4 アノートによる単語情報を活用したプレゼンテーションにおけるリアルタイム相互支援システムの提案と実装
○小松直樹, 岩井祐太, 西山裕之 (東理大)
- 5 試験問題の協調作成を支援するネットワークサービスの開発
○渡辺詩織, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 6 就職活動用エントリーシートの品質向上に関する協調学習の効果
○平田恵梨奈, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 7 さんさ踊りにおける下半身動作の特徴の抽出方法における一検討
○菊地 愛, 松田浩一 (岩手県大)
- 8 ノリを中心とするストリートダンス教授法支援システムの検討
○岡田大地, 仲谷善雄 (立命館大)

学生セッション [3ZD 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

学生生活支援 座長 小松川 浩 (千歳科学技術大)

- 1 キャンパスライフを応援する Google カレンダーと連携したタイムマネージメントサービス
○関口 宰, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 2 iPad を用いて卒研活動を支援するスマートなコミュニケーションサービス - 在室表とカレンダー情報, 伝言情報との連携による実現 -
○宮下裕太 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 3 大学生の就職活動支援を目的としたキャリアエンカレッジシートサービスの構築と運用
○上野 歩, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 4 就職活動における大学生生活の学びの記録と活用支援サービスの提案と試行的実践
○弥富健太, 上林憲行 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房)
- 5 研究室における就職活動支援システムの開発
○三鬼安加里, 南野謙一, 後藤裕介, 渡邊慶和 (岩手県大)
- 6 研究室における学生の研究活動支援システムの開発
○田村 亘, 南野謙一, 後藤裕介, 渡邊慶和 (岩手県大)
- 7 プロジェクト演習におけるマネジメント支援システムの開発
○藤澤将吾, 南野謙一, 後藤裕介, 渡邊慶和 (岩手県大)

- 8 学生による学習支援者支援システムの開発と運用
○武山 俊, 久保裕也 (千葉商科大)
- 9 双方向コミュニケーションを可能とした俯瞰図に基づく集団統率者養成システム
○永田 健, 池木拓馬, 金田重郎 (同志社大)

学生セッション [4ZD 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

社会活動と情報処理 座長 兼宗 進 (大阪電通大)

- 1 検索によって変化するフィードバック付きデータベース
○鈴木慎一郎, 山口治男 (東京工科大)
- 2 市場原理を用いた授業担当者の割当て手法の検討
○杉浦由季, 鈴木麗璽, 有田隆也 (名大)
- 3 自己組織化マップによる企業別特許マップの作成
○加藤拓巳, 河野久志, 小原和博 (千葉工大)
- 4 家系図の視覚化: 時系列の直系検索機能を持つ親族検索システム
○鄭 寧, 村上晴美 (大阪市大)
- 5 Web リソースの経年変化を用いた情報基盤利用状況の分析
○難波弘行, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
- 6 A study on seasonal adjustment method for time series data: the case of Vietnam
○Tuong Van Do, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
- 7 合意形成会話における非言語行動の文化比較 - 文化適応的な会話エージェントの実現を目指して -
○法 文恵, Afia Lipi, 中野有紀子 (成蹊大)

学生セッション [6ZD 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

エンタテインメント評価 座長 高田 明典 (フェリス女学院大)

- 1 スマートフォンのセンサーを用いた歩数計測ソフトウェアの開発
○児島誠也, 黒田久泰 (愛媛大)
- 2 ゲームにおけるイベントの重要性の変化がプレイヤーに及ぼす影響
○山口泰弘, 大久保雅史 (同志社大)
- 3 意識的注意を喚起する対面協調型観光情報システムの拡張
○高橋恭平, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
- 4 くやしさを利用した観光地リピータ誘導の試み
○益田真輝, 仲谷善雄 (立命館大)
- 5 百人 eye 首: 視線に基づく行動予測でレベル制御するテーブルトップ対戦型百人一首ゲーム
○森田祐衣, 米田宗弘, 山本倫也 (関西学院大), 長松 隆 (神戸大), 渡辺富夫 (岡山県大)
- 6 音声情報を用いたエンターテインメント動画のシーン分析と評価
○漆畑龍典, 山内俊明, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 7 ゲームにおける客観評価手法の提案
○植村恭平, 松下宗一郎 (東京工科大)
- 8 インターネット言説の価値構造分析 - 美容整形にまつわるネット上テキストの構造分析を通して -
○佐々木慶子, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 9 オンラインゲームの訴求構造分析手法の提案 - ゲーム内チャットのマルチモーダルコーパス解析を通して -
○竹野真帆, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 10 メディアアートの現代的意義と分類に関する試論
○津久井めぐみ, 高田明典 (フェリス女学院大)

学生セッション [2ZE 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

地域活性化 座長 柿崎 淑郎 (東理大)

- 1 ポイント利用による地域活性化支援システムの提案
○水野加央里, 芦田陽香, 小笠原功大, 酒井貴尊, 三浦雄己, 森 翔太, 松浦祐太, 吉見哲哉, 小林 隆, 辻 秀一 (東海大)
- 2 デジタルサイネージの地域活性化への利用事例調査
○畠 直輝, 嶋津恵子 (慶大)
- 3 UGC を用いた地域資源情報発信システムの開発
○佐々木研弥, 窪田 論, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 4 商店街におけるコミュニティ・ビジネスを対象とした情報技術の活用
○野中大志郎, 堀川三好, 岡本 東, 菅原光政 (岩手県大)
- 5 レコメンドにより店舗サイト間を接続するバーチャルモールの提案
○保田涼佑 (中京大), 浦 正広 (名大), 遠藤 守, 宮崎慎也, 山田雅之 (中京大), 安田孝美 (名大)

- 6 地域 SNS のためのポイントシステムの開発と運用
○三浦友美, 窪田 論 (岩手県大), 佐々木敬志 (滝沢村), 瀧澤寛之 (HCC), 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 7 着地型観光を対象としたマーケティング支援システムの構築
○佐々木丈, 堀川三好, 岡本 東, 菅原光政 (岩手県大)
- 8 地域ポータルサイトにおける概念体系間の関係と文書分類技術を用いたカテゴリ分類モデルの構築
○小林拓也, 竹野健夫, 堀川三好, 岡本 東, 菅原光政 (岩手県大)
- 9 クーポン情報の多メディア配信システムとその評価
○福安真奈 (中京大), 浦 正広 (名大), 久野秀幸 (瀬戸市), 中 貴俊, 山田雅之, 遠藤 守, 宮崎慎也 (中京大), 安田孝美 (名大)

学生セッション [3ZE 会場] (3月3日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- 観光** **座長 富澤 眞樹 (前橋工科大)**
- 1 絵巻資料画像の任意の対応点に基づく比較表示手法の検討
○川北明広 (芝浦工大), 安達文夫 (国立歴史民俗博物館), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 2 音声合成を利用した UD 観光情報システムの拡張
○河本祐幣, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
- 3 野外美術館を対象とした作品鑑賞支援システムの改善と運用
○永井田麻友, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
- 4 携帯電話を用いたフィールドミュージアム案内システムの開発と評価
○工藤 彰, 窪田 論, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 5 UD に配慮した観光情報システムにおける CMS の開発
○荻原勇一, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
- 6 博物館におけるインタープリテーション導入のための来館者のフェーズ分析と検討
○宮田 岳, 杉山岳弘 (静岡大)
- 7 動物園の魅力を引き出す動物生態観察を誘発させる映像コンテンツの評価検討
○八木侑子, 杉山岳弘 (静岡大)
- 8 消費者行動モデルを活用した観光情報配信システムの構築
○鈴木裕介, 堀川三好, 岡本 東, 菅原光政 (岩手県大)
- 9 Twitter を用いたリアルタイム情報収集による観光地情報推薦システム
○免田哲矢, Victor Kryssanov, 林 勇吾, 小川 均 (立命館大)

学生セッション [4ZE 会場] (3月3日 (木) 15:30 ~ 17:30)

- 防災システム** **座長 塚田 晃司 (和歌山大)**
- 1 マルチエージェントによるリアルな売場モデルを用いた避難シミュレーション
○小野塚誠, 小原和博 (千葉工大)
- 2 視覚と聴覚に訴える避難行動体験システム
○佐々木龍之介, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 3 訓練への適用による災害意識の向上を目指す災害時作業計画システム
○川村誠吾, 仲谷善雄 (立命館大), 田中 聡 (エヴァステージ), 矢津田智子 (AIVICK)
- 4 大規模水害を想定した避難計画のシミュレーション評価に関する考察
○湯川誠太郎, 畑山満則, 多々納裕一 (京大)
- 5 小学生の通学路災害対策のための父母向け支援システム
○辻 康祐, 仲谷善雄 (立命館大)
- 6 観光客の広域避難誘導方法の評価支援システム
○衣笠成輝, 仲谷善雄 (立命館大)
- 7 バンドパスフィルタによる重力データ上のカルデラ輪郭の改善
○野中翔太, Oky Dicky Ardiansyah Prima (岩手県大)
- 8 災害時対応に用いるプライバシー情報共有の方式
○長澤悠貴 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (名工大)
- 9 3D GIS と Google Earth の連携による災害情報表示システム
○イリ ツアン, 森 正壽 (近畿大)

学生セッション [5ZE 会場] (3月4日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- 農業・水産業** **座長 神沼 靖子 (IPSJ フェロー)**
- 1 Analyzing the Impact of Government's Policy towards Product Innovation on Firms by Using Evolutionary Game Theory
○LIEN THI QUYNH LE, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)

- 2 時空間分析からみた可降水量とインドネシアの米収穫量との関連
○海田俊輝, Oky Dicky Ardiansyah Prima (岩手県大), 菅野洋光 (東北農業研究センター)
- 3 酪農における業務支援システムの構築
○高橋剛史, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 4 個人酪農家を対象とした業務支援システムの構築
○川原啓輔, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 5 水産物仲卸業における仕入れ・販売業務支援システムの構築
○芦野健太郎, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 6 VoIP 技術を用いた農業情報配信システムの提案
○伊藤貴之, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 7 農業支援型コミュニティモデルの提案
○近野麻衣 (宮城大), 山田智子 (仙台応用情報学研), 金指文明 (カラビナシステムズ), 富樫 敦 (宮城大)

学生セッション [6ZE 会場] (3月4日 (金) 14:30 ~ 16:30)

- 医療支援と公共の安全** **座長 瀬々 潤 (お茶の水女子大)**
- 1 在宅医療支援システムにおけるコンテキストの一提案
○北條史教, 辻 秀一 (東海大)
- 2 デジタルフォトフレームを活用した独居高齢者見守りシステムの提案
○田中貴介, 白 真人, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 3 歩行リハビリ支援のための腰部に着目した変化の定量化
○中村範斗, 松田浩一 (岩手県大)
- 4 手指消毒プロセスにおけるインタラクションを付加した感染対策支援システムの開発
○加藤亮祐, 銀田圭吾, 菊池慎也, 藤岡直矢, 板倉佑典 (釧路公大), 白取加代子, 名塚優子 (市立釧路総合病院), 皆月昭則 (釧路公大)
- 5 理学療法学習支援システム
○加藤真理夫, 廣瀬 誠 (松江高専)
- 6 児童見守り支援システムのための目的地推定機能の試作
○山出智也, 今野 将 (千葉工大)
- 7 幼児教育を対象としたコミュニケーション支援システムの構築
○浅井勇貴, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 8 幼稚園を対象とした情報配信・共有支援システムの構築
○小野寺瞬, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)

学生セッション [1ZF 会場] (3月2日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- バイオ情報** **座長 瀬々 潤 (お茶の水女子大)**
- 1 線虫の初期胚発生に関連する遺伝子ネットワークの推定
○岡野文香, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)
- 2 原始コドン仮説に基づいた遺伝符号の進化に関する研究
○三上 達, 森 太郎, 水田智史 (弘前大)
- 3 GPU 配列相同性検索ツールのマルチ GPU 向け最適化と長断片への対応
○坂田幸佑, 鈴木脩司, 石田貴士, 秋山 泰 (東工大)
- 4 タンパク質ドッキング計算結果の可視化とその解析
○山本航平, 大上雅史, 松崎由理, 石田貴士, 秋山 泰 (東工大)
- 5 情報エントロピーによるタンパク質のリガンド結合部位予測
○佐々木孝章, 関嶋政和 (東工大)
- 6 タンパク質-リガンド間の結合性解析の自動パイプライン化
○尾渡裕成, 関嶋政和, 秋山 泰 (東工大)
- 7 特徴選択とサポートベクターマシンを用いた薬物トランスポート予測システムの構築
○池田和史 (東工大), 前田和哉, 尾瀬 淳, 杉山雄一 (東大), 秋山 泰 (東工大)
- 8 立体構造情報を用いたドッキング計算による大規模タンパク質-RNA 間相互作用予測手法
○大上雅史, 松崎由理, 秋山 泰 (東工大)

学生セッション [2ZF 会場] (3月2日 (水) 14:30 ~ 17:00)

- バイオ・医療情報** **座長 関嶋 政和 (東工大)**
- 1 淘汰圧に着目した生物進化モデル
○佐藤倫太郎, 長谷川智史, 穴田 一 (東京都市大)
- 2 免疫ネットワークモデルにおける状態遷移
○高頭和輝, 長谷川智史, 穴田 一 (東京都市大)
- 3 (講演取消)

- 4 DNA 計算を用いた SAT の解法
○坂本典子, 村上和樹, 青山真之, 會澤邦夫 (島根大)
- 5 予防医療のための Web 生体機能測定アプリケーションの動作精度保証機構
○杉浦 圭, 矢田久美子 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 中井敏晴 (国立長寿医療研究センター研究所), 田中あゆ子 (国立保健医療科学院), 白石善明 (名工大)
- 6 院内における感染予防支援システムの開発
○菊池慎也, 板倉佑典 (釧路公大), 本間隆徳 (釧路工業高校), 藤岡直矢, 加藤亮祐, 銀田圭吾 (釧路公大), 白取加代子, 三宮乙恵, 真鍋千恵子, 名塚優子 (市立釧路総合病院), 皆月昭則 (釧路公大)
- 7 (講演取消)
- 8 環境情報と生体情報の統合による健康管理システム
○鈴木一徳, 山田拓人, 和良品友大, 林 隆史 (会津大)

学生セッション [3ZF 会場] (3 月 3 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

医療情報 座長 日紫喜 光良 (東邦大)

- 1 使いやすいインタフェースを備えた診療予約業務支援システム
○上平拓弥, 西崎博光, 関口芳廣 (山梨大), 西崎香苗, 倉金理沙, 池上仁志 (貢川整形外科病院)
- 2 食事への関心の抽出のための 3D モーションセンサを用いた箸の動作分析
○雨宮寛敏, 山岸勇貴, 金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)
- 3 反射異常の自動検出による嚥下障害検査手法の提案
○宇野修司, 生田賢二, 金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)
- 4 遠隔眼科診療システムに対する医師の利用者要求
○山田章平, 郷健太郎, 柏木賢治 (山梨大)
- 5 福祉施設で用いる記録用紙の電子データ化および認識精度の向上
○加藤雄大, 大枝真一 (木更津高専)
- 6 回想法適用時におけるグループ形成支援システムの一考察
○上島洋人, 板倉佑典, 渡辺裕太 (釧路公大), 林 秀彦 (鳴門教育大), 皆月昭則 (釧路公大)
- 7 インフォームドコンセントにおける医療画像理解を促進するシステムの一考察
○赤城真生, 加藤亮祐 (釧路公大), 八重樫祐司, 中澤拓也, 渡邊浩幸, 坂上雅俊 (市立釧路総合病院), 皆月昭則 (釧路公大)
- 8 活性化遷移パターンに著目した頭脳作業の類似性定量化手法の提案
○黄 偉智, 大木幹雄 (日本工大)

学生セッション [4ZF 会場] (3 月 3 日 (木) 15:30 ~ 17:30)

空間把握 座長 小林 亜令 (KDDI 研)

- 1 アーム型傘回収ロボットのモデリングと制御
○梨本由佳 (山梨大)
- 2 ツインボリッシュロボットののためのオムニホイールを用いた位置・姿勢角検出システム
○久繁哲史 (山梨大), 布施嘉裕 (山梨県富士工業技術センター), 清弘智昭 (山梨大)
- 3 下方カメラ観測型傘回収ロボットの開発
○久保田聖崇 (山梨大)
- 4 ゾウリムシを模擬した自律探索型ロボット群の開発
○豊巻敬太, 石渡信吾, 内藤直樹 (横浜国大)
- 5 センサ共有システムにおけるミドルウェアに用いられるプラグインの半自動生成機能の開発
○大塚陽介, 井口信和, 溝渕昭二 (近畿大)
- 6 交通提言投稿システムの構築とその効果
○山田真吾, Oky Dicky Ardiansyah Prima, 伊藤久祥 (岩手県大), 宮腰直人 (日本自動車連盟), 細江達郎 (岩手県大)
- 7 WebGIS を用いた道路維持管理における情報ポータルの開発と運用
○菅原貴衡, 窪田 論 (岩手県大), 橋本忠義 (岩手県南広域振興局), 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 8 住民参加型に基づく 3 次元ユニバーサルデザインマップの開発
○深澤公哉, 窪田 論, 市川 尚, 狩野 徹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 9 道路維持管理におけるタブレット PC を用いた台帳管理システムの検討
○坂本大介, 窪田 論 (岩手県大), 菊池正樹 (岩手県南広域振興局), 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)

学生セッション [5ZF 会場] (3 月 4 日 (金) 9:30 ~ 12:00)

企業活動と情報 座長 児玉 公信 (情報システム総研)

- 1 多段階識別を用いた工事写真からの手書き文字認識に関する研究
○若林克磨, 安彦智史, 田中成典, 村本晋一 (関西大)
- 2 初心者利用を想定したオープンソース EC サイト構築パッケージに関する考察
○中原豊益, 豊田寿行 (鳥取環境大)
- 3 災害対策立案のための設備優先順位付けの意思決定支援の試み
○金子龍平, 仲谷善雄 (立命館大), 田中 聡 (エヴァステージ), 矢津田智子 (AIVICK)
- 4 マルチエージェントシミュレーションを用いたプロモーション戦略の最適化に関する研究
○村松 瞳, 北野光一, 寺口敏生, 田中成典, 大谷和史 (関西大)
- 5 DEA を用いたコンビニエンスストア業界の分析
○福田晃文, 豊田寿行 (鳥取環境大)
- 6 KJ 法を用いたボトムアップなオブジェクトデザイン技法
○今井祐介, 岡田 裕, 野田祐希, 金田重郎 (同志社大)
- 7 インメモリデータ処理を用いた第三正規形を主体とする業務システム実現法の提案
○中西義尚, 川上拓也, 金田重郎 (同志社大)

学生セッション [6ZF 会場] (3 月 4 日 (金) 14:30 ~ 16:30)

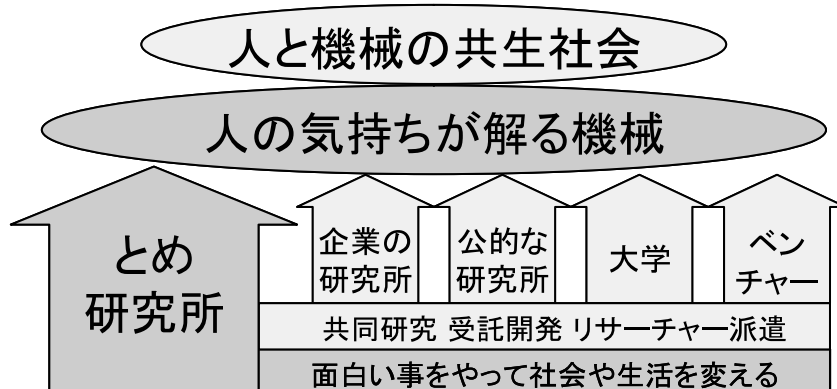
オフィス情報 座長 辻 秀一 (東海大)

- 1 Strobe: ディスプレイの位置関係を素早く取得するための手法
○田中 潤, 太田高志 (東京工科大)
- 2 投射型立体映像装置の立体条件に関する基礎的研究
○毛利彰宏 (日本工大)
- 3 デスクワークの効率化のための環境映像呈示方法の検討
○分林直之, 大久保雅史 (同志社大)
- 4 色温度可変方式による照明システムの構築
○谷口由佳, 三木光範, 廣安知之, 吉見真聡, 富島千歳 (同志社大)
- 5 実オフィスに導入した照明制御システムの稼働状況の監視
○今宮久夫, 三木光範, 廣安知之, 吉見真聡 (同志社大)
- 6 目標の色度および照度を実現する LED 照明システム
○富島千歳, 三木光範, 廣安知之, 吉見真聡, 谷口由佳 (同志社大)
- 7 外光照度分布を基に個別照度を実現する分散制御型照明システムの構築
○秋田雅俊, 三木光範, 廣安知之, 吉見真聡 (同志社大)
- 8 統治型アーキテクチャーを用いた消費電力計測システムにおける管理サーバの負荷軽減に関する検討
○日室聡仁, 井口信和 (近畿大), 稲垣嘉信, 坂本 久, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 9 ネットワークシステムの消費エネルギーを最適化するポリシーに関する検討
○西 徹也, 大澤由憲, 橋本和夫 (東北大)

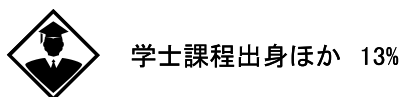
知能情報処理をコアコンピタンスとした

★新しいアウトソーシング研究所★

知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・国家研究機関・企業研究所・ベンチャーと国家PJ応募・共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき“人と機械が共生する社会”の構築に貢献します。



★ポスドク相当のリサーチャーが共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します★



エンジニアの内訳(2010年4月現在)

- ・約1/4のエンジニアが博士号を取得しており、約1/2のエンジニアが博士課程出身です。
- ・情報関連だけではなく、数学、物理学、ロボット関連の研究室出身者なども多く、多様な課題を多角的に調査、研究することができます。
- ・難解な技術課題を解決するアルゴリズムの研究開発や社会を変えるシステムの開発を目指す志の高いエンジニアの集団です。
- ・他社では太刀打ちできない難解な技術課題でも、高度な科学的知見とソフトウェア技術で、お客様とともに解決に当たります。

★研究開発段階から、応用開発、組み込みソフト開発までお任せください★

- ・研究開発: 画像、音等の認識、数値解析、自然言語処理等の新アルゴリズム研究
- ・応用開発: 知識情報、知識制御、ユーザインタフェース、画像処理等の応用開発
- ・組み込みソフト開発: 知識制御、FA、ネットワーク等の組み込みソフト開発

とめ 株式会社とめ研究所

URL: <http://www.tome.jp> E-mail: info@tome.jp

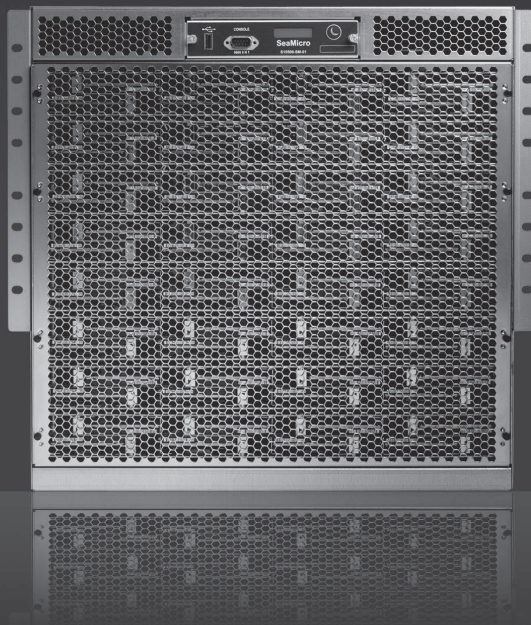
□本社ラボ 京都市下京区中堂寺南町134 京都高度技術研究所内4F TEL 075-315-0074 FAX 075-315-0274

□京阪奈ラボ 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザラボ棟13F TEL/FAX 0774-94-4187

□東京ラボ 川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク西棟3F TEL/FAX 044-833-7155

※ とめ は株式会社とめ研究所の登録商標です。

これまでの省電力、 省スペースサーバとは、 ワケが違う。



消費電力
75%削減

設置スペース
75%削減

革新的なアーキテクチャを搭載した超省電力・省スペースサーバ、SM10000新登場。

データセンターの大きな課題となっている消費電力、機器設置スペースを劇的に削減するスケールアウト型サーバ。それが、米国SeaMicro社のSM10000です。高さわずか10RUサイズのラックに、インテル® Atom™ プロセッサ512個、1TBメモリ、ストレージ、スイッチ機能、負荷分散機能、サーバ管理機能を集約して搭載。従来型のサーバに比べ、消費電力および設置面積を約75%*削減し、大幅なTCO削減を実現します。SM10000は膨大な量の低CPU負荷処理に最適化されているため、大量のアクセスを受け付けるWebサーバなどに好適。フロントエンドからミドルでの活用に大きな効果を発揮します。

- データセンター内のラックに搭載される機器を10RU(約45cm高)にすべて集約。
- マザーボードの部品を90%削減し、クレジットカードサイズへと小型化。
- 512個のマザーボードを超高速スループット(1.2テラビット/秒)で相互接続。
- 特定のCPUに作業負荷を動的に割り当て、利用率を制御することが可能。
- x86アーキテクチャ対応、既存のデータセンターの環境に手を加えることなく容易に導入可能。

* これまでのラックマウント型サーバで同程度のCPU能力をもつ環境を構築した場合と比較。

※ NetOneSystemsの名称およびロゴは、ネットワンシステムズ株式会社の登録商標です。 ※ その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

〈開発元〉



〈販売元〉

ネットワンシステムズ株式会社

〒140-8621 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲
<http://www.netone.co.jp/>

ネットワンパートナーズ株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲
<http://www.netone-pa.co.jp/>



データセンター向け超省電力・省スペースサーバ

SM10000

SM10000

検索

第73回全国大会委員名簿

第73回全国大会組織委員会

委員長 村上 篤道(三菱電機)
副委員長 吉川 正俊(京大)
委員 大場みち子(はこだて未来大), 串間 和彦(NTT), 佐藤 三久(筑波大), 砂原 秀樹(慶大), 近山 隆(東大), 塚本 昌彦(神戸大), 宗森 純(和歌山大), 村上 和彰(九大), 渡辺 治(東工大)

第73回全国大会プログラム委員会

委員長 佐藤 三久(筑波大)
委員 今村 賢治(NTT), 清水 将吾(産業技術大学院大), 杉野 暢彦(東工大), 田中 浩明(東芝), 塚本 昌彦(神戸大), 中川 晋一(NICT), 中川 裕志(東大), 屏 雄一郎(KDDI研), 松崎 公紀(高知工科大), 村松 茂樹(KDDI研), 茂木 強(三菱電機), 吉川 正俊(京大), 鷺崎 弘宜(早大), 渡辺 治(東工大)

第73回全国大会実行委員会

委員長 渡辺 治(東工大)
副委員長 佐伯 元司(東工大)
幹事 田中 圭介(東工大)
委員 遠藤 敏夫(東工大), 河内 亮周(東工大), 吉瀬 謙二(東工大), 権藤 克彦(東工大), 首藤 一幸(東工大), 千葉 滋(東工大), 野呂 智哉(東工大), 林 晋平(東工大), 丸山 直也(東工大), 安永 憲司(東工大)
渡邊 寿雄(東工大)
顧問 酒井 善則(東工大)

第73回全国大会プログラム編成WG

委員長 佐藤 三久(筑波大)
委員 井上 仁(九大), 今泉 貴史(千葉大), 井村 誠孝(阪大), 金井 敦(法政大), 金井 秀明(北陸先端大), 上地 宏一(大東文化大), 川又 武典(三菱電機), 岸 知二(早大), 岸本 章宏(東工大), 桐村 昌行(三菱電機), 鯉淵 道紘(NII), 児玉 公信(情報システム総研), 小向 太郎(情報通信総合研究所), 猿渡 俊介(東大), 須賀 祐治(インターネットイニシアティブ), 関嶋 政和(東工大), 高岡 詠子(上智大), 田上 敦士(KDDI研), 富永 和人(東京工科大), 豊田 正史(東大), 中村 祐一(NEC), 並木美太郎(農工大), 西田 昌史(同志社大), 西村 拓一(産総研), 野口 拓(立命館大), 野村 俊之(NEC), 長谷川 立(東大), 早川 栄一(拓殖大), 藤代 一成(慶大), 堀 幸雄(香川大), 堀川 隆(NEC), 松尾 治夫(日産自動車), 宮尾 祐介(NII), 山崎 達也(NICT), 山中 克久(電通大), 渡辺知恵美(お茶の水女大)

第73回全国大会 イベント企画

スマートグリッドの技術優位性を事業優位性に活かす戦略
関口 智嗣(産業技術総合研究所), 佐藤 三久(筑波大学)
グリーンなスパコンでグリーンな未来を創る
須田 礼仁(東京大学), 佐藤 三久(筑波大学)
グリーン・ライフイノベーションと国際標準
村上 篤道(三菱電機), 吉川 正俊(京都大学)
プライバシー保護データマイニング
中川 裕志(東京大学)
グリーンITの先進的な取り組みーデータセンタのエネルギー効率向上についてー
縣 敦子(電子情報技術産業協会), 杉野 暢彦(東京工業大学), グリーンIT推進協議会
医療クラウドは患者生存に貢献できるか
中川 晋一(情報通信研究機構)
私の詩と真実
発田 弘(沖コンサルティングソリューションズ), 情報処理学会 歴史特別委員会
ERATO凄離散構造処理系プロジェクトシンポジウム(第2回)
白井 康之(科学技術振興機構), 山中 克久(電気通信大学), 情報処理学会アルゴリズム研究会
RSA-1024はもう危険なのか?暗号2010年問題を正しく理解する
須賀 祐治(インターネットイニシアティブ), 情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会
情報教育関連合同シンポジウムー情報科学技術における高度人材育成の取り組み
渡辺 治(東京工業大学), 脇田 建(東京工業大学)
スマートシティ実現のためのIT技術開発と省エネビルの現状
瀬戸 洋一(産業技術大学院大学), 清水 将吾(産業技術大学院大学)
情報教育関連合同シンポジウムーPCスキル教育からの脱却
河村 一樹(東京国際大学), 脇田 建(東京工業大学), 情報処理学会 一般情報教育委員会
情報教育関連合同シンポジウムー情報処理学会員の皆様, 間違っていないですか?
久野 靖(筑波大学), 脇田 建(東京工業大学), 情報処理学会 初等中等教育委員会
情報教育関連合同シンポジウムー情報分野の高大連携
萩谷 昌己(東京大学), 脇田 建(東京工業大学)
情報教育関連合同シンポジウムー発注者教育はどうあるべきか
児玉 公信(情報システム総研), 脇田 建(東京工業大学), 情報処理学会 技術士委員会
情報教育関連合同シンポジウムー大学学部専門教育での情報教育
角田 博保(電気通信大学), 脇田 建(東京工業大学), 情報処理学会 コンピュータ科学教育委員会
会員の研究活動活性化に向けた論文の書き方・査読の仕方
横田 治夫(東京工業大学), 情報処理学会 論文誌ジャーナル/JIP編集委員会
JGN2plus の成果とその後継プロジェクト
中山 雅哉(東京大学), 情報通信研究機構
ロボカップ春季競技会
野田五十樹(産業技術総合研究所), ロボカップ日本委員会
TSUBAME 大公開(見学・紹介ツアー)
遠藤 敏夫(東京工業大学), 渡邊 寿雄(東京工業大学), 丸山 直也(東京工業大学)

今大会では、東京工業大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。

一般社団法人 情報処理学会

一流の科学者が書く 英語論文

- アン・M・コーナー著／瀬野悍二訳
A5判・232頁 定価2730円
- ◆いま必要なのは、“科学哲学”と“英語力” 論文投稿・学会発表・審査員との交渉スキルの研き方とは？ 相手に響く英文の表現力とは？ 科学界の保全、社会とのバランスに気を配る科学者の責任とは？ 日本人の英語論文を長年添削してきた著者が、まちがいだらけの英語表現を指摘。科学英語の語彙や文章表現の論理性を、語学面を強調しながらわかりやすく解説。否定的な意見や意地悪な攻撃に対しても、慌てずに対処する科学者の心構えを説く。意外と知られていない便利なインターネット上の実践英語サイトを徹底紹介。

テキストマイニングハンドブック

●Ronen Feldman他著／辻井潤一監訳、IBM東京基礎研究所テキストマイニングハンドブック翻訳チーム 訳 A5判・528頁 定価7560円

ネットワークコーディング

●トレイシー・ホー、デズモンド・S・ラン著／河東晴子、松田哲史、矢野雅嗣、スピトラナ・ビエレンコ訳 A5判・216頁 定価3465円

入門Mathematica【決定版】

Ver.7
対応

●日本Mathematicaユーザ会編著 A5判・288頁 定価3045円

よくわかる ワイヤレス通信

●田中博、風間宏志著 A5判・184頁 定価2415円

よくわかる 情報通信ネットワーク

●山内雪路著 B5判・152頁 定価1995円

数学eラーニング

数式解答評価システムSTACKとMoodleによる理工系教育

●中村泰之著 B5変形判・224頁 定価2835円

これ一冊 でわかる eラーニング専門家の基本

ICT・ID・著作権から資格取得準備まで

●玉木欽也編著 A5判・304頁 定価3570円

消費者行動の科学

サービス工学のための理論と実践

●北島宗雄、内藤耕編著 A5判・290頁 定価3465円

食品表示を裏づける分析技術

科学の目で偽装を見破る

●表示・起源分析技術研究懇談会編 B5判・240頁 定価2940円

《科学コミュニケーション叢書》

科学技術は社会とどう共生するか

ジャーナリズムは科学技術とどう向き合うか

科学技術ジャーナリズムはどう実践されるか

科学技術政策に市民の声をどう届けるか

コンセンサス会議、シナリオ・ワークショップ、ディープ・ダイアローグ

●岡本暁子、西村吉雄、若杉なおみ編
A5判・208頁 定価2625円

●小林宏一、瀬川至朗、谷川建司編
A5判・258頁 定価2625円

●小林宏一、西村吉雄、谷川建司、若杉なおみ編
A5判・296頁 定価3360円

●若松征男著 A5判・256頁 定価2940円



東京電機大学出版局

〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2 TEL 03-5280-3433(営業)
FAX 03-5280-3563 URL <http://www.tdupress.jp/>